岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事

日　付　2025 年　12月　（令和7年）

意　匠			意　匠			意　匠			構　造		
番号	図 面 名	縮尺	番号	図 面 名	縮尺	番号	図 面 名	縮尺	番号	図 面 名	縮尺
A101	特記仕様書-1	-	A151	建具詳細図（SLW）	図示	A613	メーカー参考図（放射線機器-13）	図示	S101	構造関係共通図(配筋標準図その1)	-
A102	特記仕様書-2	-	A152	部分詳細図-1	図示	A614	メーカー参考図（ボックスカルバート）	図示	S102	構造関係共通図(配筋標準図その2)	-
A103	特記仕様書-3	-	A153	部分詳細図-2	図示				S103	構造関係共通図(配筋標準図その3)	-
A104	特記仕様書-4	-	A154	部分詳細図-3	図示				S104	構造関係共通図(配筋標準図その4)	-
A105	特記仕様書-5	-	A155	サインキープラン（1階、2階）	1/200				S105	構造関係共通図(配筋標準図その5)	-
A106	特記仕様書-6	-	A156	サイン詳細図-1	図示				S106	壁、床及びスリーブ補強	-
A107	特記仕様書-7	-	A157	サイン詳細図-2	図示				S107	ボーリング柱状図	-
A108	特記仕様書-8	-							S108	深層混合処理工法特記仕様書	-
A109	工事区分表	-	A201	特記仕様書-1（改修）	-				S109	改良体伏図・ピット及び基礎伏図	1/100
A110	敷地求積図、求積表（H26敷地分割時）	1/800	A202	渡り廊下詳細図-1	1/50				S110	１階伏図・２階伏図・R階伏図	1/100
A111	敷地測量図（計画範囲）	1/100	A203	渡り廊下詳細図-2	1/50				S111	軸組図（1）	1/100
A112	配置図（既存）	1/600	A204	【リニアック棟】渡り廊下接続部改修図	1/50				S112	軸組図（2）	1/100
A113	配置図（計画）	1/600	A205	建具表（AW、SD、SMR）	1/100				S113	基礎断面リスト	1/40
A114	配置図（既存・計画範囲）	1/200	A206	建具詳細図（SD）	図示				S114	基礎梁断面リスト・基礎小梁断面リスト	1/40
A115	配置図（計画・計画範囲）	1/200	A207	サイン詳細図	図示				S115	柱断面リスト	1/40
A116	建物求積図、求積表-1	1/500							S116	大梁断面リスト・小梁断面リスト・壁リスト	1/40
A117	建物求積図、求積表-2	1/500	A301	外構図（新設図）	1/150				S117	スラブリスト	1/40
A118	建物求積図、求積表-3	1/500	A302	外構詳細図（新設図）	図示				S118	遮蔽躯体配筋詳細図	1/50
A119	表示略号・記号、仕上共通事項	-	A303	植栽図（新設図）	1/150				S119	配管トレンチピット配筋詳細図	1/30
A120	仕上表（増築・改修含む）	-	A304	排水施設工計画平面図	1/200				S120	配管、スリーブ打込要領	-
A121	【病院棟】地下二重ピット・免震ピット平面図（参考図）	1/300	A305	排水施設工縦断図-1	1/100						
A122	ピット・【病院棟】地下1階平面図（全体）	1/300	A306	排水施設工縦断図-2	図示				S201	構造関係共通図(配筋標準図その1)	-
A123	１階平面図（全体）	1/300	A307	排水施設工標準構造図	1/20				S202	構造関係共通図(配筋標準図その2)	-
A124	2階平面図（全体）	1/300	A308	既設利用集水桝詳細図	1/30				S203	構造関係共通図(配筋標準図その3)	-
A125	3階平面図（全体）	1/300	A309	グレーチング詳細図-1	1/5				S204	構造関係共通図(配筋標準図その4)	-
A126	ピット平面図	1/100	A310	グレーチング詳細図-2	1/5				S205	構造関係共通図(配筋標準図その5)	-
A127	１階・２階平面図・屋根伏図	1/100	A311	排水流域区分図	1/300				S206	壁、床及び梁のスリーブ補強	-
A128	立面図	1/100	A312	サイン詳細図	図示				S207	構造関係共通図(鉄骨標準図その1)	-
A129	断面図	1/100							S208	構造関係共通図(鉄骨標準図その2)	-
A130	矩計図-1	1/50	A401	外構図（既存・撤去図）	1/150				S209	構造関係共通図(鉄骨標準図その3)	-
A131	矩計図-2	1/50	A402	外構詳細図（既存・撤去図）	図示				S210	ボーリング柱状図	-
A132	矩計図-3	1/50	A403	植栽図（既存・撤去図）	1/150				S211	【渡り廊下】深層混合処理工法地業特記仕様書	-
A133	階段詳細図	1/50	A404	排水施設撤去図	図示				S212	【渡り廊下】構造伏図	1/100
A134	ピット平面図（キープラン）	1/50							S213	【渡り廊下】軸組図	1/100
A135	1階平面図（キープラン）	1/50	A501	仮設計画図（案）-1	1/200				S214	【渡り廊下】部材断面リスト	1/30
A136	２階平面図（キープラン）	1/50	A502	仮設計画図（案）-2	1/200				S215	【渡り廊下】鉄骨詳細図、雑詳細図	1/30
A137	屋根伏図（キープラン）	1/50	A503	仮設計画図（案）-3	1/200				S216	配管、スリーブ打込要領	-
A138	便所詳細図	1/50									
A139	放射線シールド詳細図-1	図示	A601	メーカー参考図（放射線機器-1）	-						
A140	放射線シールド詳細図-2	図示	A602	メーカー参考図（放射線機器-2）	図示						
A141	配管ピット詳細図	1/50	A603	メーカー参考図（放射線機器-3）	図示						
A142	展開図-1（待合ホール・廊下-1・2）	1/50	A604	メーカー参考図（放射線機器-4）	図示						
A143	展開図-2（大会議室・廊下-3）	1/50	A605	メーカー参考図（放射線機器-5）	図示						
A144	１階・2階天井伏図	1/100	A606	メーカー参考図（放射線機器-6）	図示						
A145	建具表-1（共通事項編）	-	A607	メーカー参考図（放射線機器-7）	図示						
A146	建具表-2（AW、ACW、AG、SH、SSH、SD）	1/100	A608	メーカー参考図（放射線機器-8）	図示						
A147	建具表-3（LD、LH、SLW、WD）	1/100	A609	メーカー参考図（放射線機器-9）	図示						
A148	建具詳細図（ACW-1）	1/5	A610	メーカー参考図（放射線機器-10）	図示						
A149	建具詳細図（ACW-2）	1/5	A611	メーカー参考図（放射線機器-11）	図示						
A150	建具詳細図（SSH）	図示	A612	メーカー参考図（放射線機器-12）	図示						

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図 名	図面リスト－1
日 付	2025/12（令和7年）

電　気　設　備		
番号	図 面 名	縮尺
E101	特記仕様書-1	-
E102	特記仕様書-2	-
E103	特記仕様書-3	-
E104	特記仕様書-4	-
E105	工事区分表	-
E106	配置図	1/600
E107	分電盤-1	-
E108	分電盤-2	-
E109	サイバーナイフ治療室　配管配線図	1/100
E110	病院本棟免震階平面図　幹線設備	1/300
E111	病院本棟地下1階(全体)平面図　電気室配置図　幹線設備	1/300
E112	ピット・1階平面図　幹線設備　動力設備	1/100
E113	2階・屋根伏平面図　幹線設備　動力設備	1/100
E114	照明器具仕様参考姿図	-
E115	ピット・1階平面図　電灯設備	1/100
E116	2階・屋根伏平面図　電灯設備	1/100
E117	1・2階平面図　電灯（防災照明）設備	1/100
E118	1階平面図　電灯（コンセント）設備　電熱設備	1/100
E119	2階・屋根伏平面図　電灯（コンセント）設備　電熱設備	1/100
E120	病院本棟地下1階（全体）平面図　通信幹線	1/300
E121	病院本棟1階（全体）平面図　通信幹線	1/300
E122	1・2階平面図　構内情報通信網・構内交換・テレビ共同受信設備	1/100
E123	1・2階平面図　拡声設備	1/100
E124	1・2階平面図　自動火災報知設備	1/100
E125	自動火災報知設備系統図	-
E126	外構図	1/200

電　気　設　備		
番号	図 面 名	縮尺

機　械　設　備		
番号	図 面 名	縮尺
M001	特記仕様書-1	-
M002	特記仕様書-2	-
M003	特記仕様書-3	-
M004	工事区分表	-
M005	凡例・配管材質表	-
M101	空気調和設備　機器表（1）	-
M102	空気調和設備　機器表（2）	-
M103	空気調和設備　換気計算書・制気口リスト	-
M104	空気調和設備　ダクト系統図	-
M105	空気調和設備　1階・2階ダクト平面図	1/100
M106	空気調和設備　ダクト詳細図	1/50
M107	空気調和設備　サイバーナイフ棟・病院本棟配管系統図	-
M108	空気調和設備　ピット階配管平面図	1/100
M109	空気調和設備　1階・2階配管平面図	1/100
M110	空気調和設備　空調機械室配管詳細図	1/50
M111	空気調和設備　病院本棟　熱源配管系統図	-
M112	空気調和設備　病院本棟　免震階配管平面図	1/200
M113	空気調和設備　病院本棟　地下1階機械室詳細図	1/50
M114	自動制御設備　中央監視装置	-
M115	自動制御設備　中央監視点一覧表	-
M116	自動制御設備　計装図（1）	-
M117	自動制御設備　計装図（1）制御内容	-
M118	自動制御設備　計装図（2）	-
M119	自動制御設備　計装図（3）・機器盤バルブサイズ表	-
M120	自動制御設備　配線・設備機器凡例図	-
M121	自動制御設備　１階・２階平面図	1/100
M122	自動制御設備　病院本棟　地下１階平面図	1/200
M123	給排水衛生設備　機器表・器具表	-
M124	給排水衛生設備　衛生配管系統図	-
M125	給排水衛生設備　ピット階平面図	1/100
M126	給排水衛生設備　1階・2階平面図	1/100
M127	給排水衛生設備　病院本棟　免震階平面図	1/100
M128	消火設備　凡例・注記・系統図	-
M129	消火設備　病院本棟　免震階平面図	1/200
M130	消火設備　ピット階平面図	1/100
M131	消火設備　1階平面図	1/100
M132	消火設備　2階平面図	1/100
M133	医療ガス設備　特記仕様書・器具図	1/100
M134	医療ガス設備　リニアック棟・サイバーナイフ棟　1階平面図	1/100
M301	給排水衛生設備　外構図（新設）	1/200
M401	給排水衛生設備　外構図（撤去）	1/200

機　械　設　備		
番号	図 面 名	縮尺

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図 名	図面リスト－2
日 付	2025/12（令和7年）

Ⅰ 設計概要

1.建物概要

1. 工事件名　岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事

2. 建築主
- 氏　名　岩手県　代表者　県立病院等事業管理者　医療局長
- 郵便番号　020-0023
- 住　所　岩手県盛岡市内丸11-1
- 電話番号　019-629-6311

3. 工事場所及び敷地条件
- 地名地番　岩手県北上市村崎野17地割10番地
- 住居表示
- 都市計画区域　● 都市計画区域内　（ ・市街化区域　・市街化調整区域　● 区域区分非設定 ）
- の内外の別等　・準都市計画区域内　・都市計画区域及び準都市計画区域外
- 防火地域　・防火地域　・準防火地域　● 指定なし
- その他の区域　・法第22条区域　・法第52条第７項適用区域
- 地域、地区、街区　・
- 道　路　幅　員　6.0～16.0 m　敷地と接している部分の長さ　　m
- 敷地面積　89,873.28 ㎡　　㎡　　㎡　　㎡
- 用途地域等　特定用途制限地域
- 許容容積率　200 %　　%　　%　　%
- 許容建ぺい率　70 %　　%　　%　　%
- 敷地面積合計　　㎡
- 建築可能な容積率　　%
- 建築可能な建ぺい率　　%
- 備考

4. 建築物
- 主要用途　病　院　（区分　08260　）
- 工事種別　増　築

建築面積	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築面積】	556.46 ㎡	14,568.92 ㎡	15,125.38 ㎡
【建ぺい率】			15.61 %

延べ面積	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築物全体】	776.87 ㎡	33,789.78 ㎡	34,566.65 ㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【容積率対象延べ面積】			33,764.94 ㎡
【容積率】			34.85 %

- 高　さ　最高の高さ　10.00 m　最高の軒の高さ　9.87 m
- 階　数　地　上　2 階　地　下　0 階　塔　屋　0 階
- 構　造　鉄筋コンクリート 造　一部　鉄　骨 造

建物別概要　耐震安全性の分類：「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成25年版」

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第	耐震安全性の分類 構造体	建築非構造部材	建築設備
サイバーナイフ棟	RC	2	701.52	（６）イ	Ⅰ類	A類	甲類
渡り廊下棟	S	1	75.35	（６）イ	Ⅰ類	A類	甲類
病院本棟	RC	6	30,019.99	（６）イ			
リニアック棟	RC	1	1,128.62	（６）イ			
緩和ケア病棟	RC	1	1,537.16	（６）イ			
マニホールド室	RC	1	30.60	（６）イ			
公用車車庫	S	1	0.00	（13）イ			
一般駐輪場	RC	1	0.00	（16）ロ			
職員用駐輪場	RC	1	0.00	（16）ロ			
身障者用駐車場	RC	1	0.00	（13）イ			
東屋	木	1	13.24	－			
バス待合所	S	1	5.74	（10）			
倉庫棟	S	2	252.71	（14）			
扇型歩廊	RC	0	0.00	－			
歩廊	RC	0	0.00	－			

構造種別（部位別）仕様　建物名称：サイバーナイフ棟

部位	構造種別・仕様	部位	構造種別・仕様
屋根	● RC ・その他（　）	外壁	● RC　・CB　・ 外装　・ALC ・押出成形セメント板 ・
小梁	・S　● RC ・SRC　・その他（　）		
大梁	・S　● RC ・SRC　・その他（　）	内壁	● RC　・CB　・
柱	・S　● RC ・SRC　・その他（　）	１階床	● 構造スラブ　・土間コンクリート
基礎	・杭 ● 直接　・独立　・連続 ・複合　・べた	地業	・杭　・砕石 ● 地盤改良　・地肌 ・敷砂利

構造種別（部位別）仕様　建物名称：渡り廊下棟

部位	構造種別・仕様	部位	構造種別・仕様
屋根	● RC ・その他（　）	外壁	・RC　・CB　・ 外装　・ALC ● 押出成形セメント板 ・
小梁	● S　・RC ・SRC　・その他（　）		
大梁	● S　・RC ・SRC　・その他（　）	内壁	・RC　・CB　・
柱	● S　・RC ・SRC　・その他（　）	１階床	● 構造スラブ　・土間コンクリート
基礎	・杭 ・直接　● 独立　・連続 ・複合　・べた	地業	・杭　・砕石 ● 地盤改良　・地肌 ・敷砂利

構造設計条件（架構計画）　建物名称：サイバーナイフ棟

X方向	・ラーメン構造　● 耐力壁を有するラーメン構造　・ブレースを有するラーメン構造 ・ブレース構造　・壁式構造
Y方向	・ラーメン構造　● 耐力壁を有するラーメン構造　・ブレースを有するラーメン構造 ・ブレース構造　・壁式構造

構造設計条件（計算法）　建物名称：サイバーナイフ棟

建物の区分	・１ 建築基準法（以下「法」という）第20条第１号に掲げる建築物 ・２ 法第20条第２号に掲げる建築物 ● ３ 法第20条第３号に掲げる建築物 ・４ 法第20条第４号に掲げる建築物
構造計算書に係る構造計算の種類	・１ 建築基準法施行令（以下「令」という）第81条第１項に定める基準に従った構造計算 ・２ 令第81条第２項第１号イに規定する構造計算 ・３ 令第81条第２項第１号ロに規定する構造計算 ・４ 令第81条第２項第２号イに規定する構造計算 ● ５ 令第81条第３項に定める基準に従った構造計算 ・６ その他（　）
・重要度係数	● 1.5（Ⅰ）　・1.25（Ⅱ）　・1.0（Ⅲ）
・地域係数	● 1.0　・0.9　・0.8　・0.7
・増築予定	● 無　・有（　）

構造設計条件（架構計画）　建物名称：渡り廊下棟

X方向	● ラーメン構造　・耐力壁を有するラーメン構造　・ブレースを有するラーメン構造 ・ブレース構造　・壁式構造
Y方向	● ラーメン構造　・耐力壁を有するラーメン構造　・ブレースを有するラーメン構造 ・ブレース構造　・壁式構造

構造設計条件（計算法）　建物名称：渡り廊下棟

建物の区分	・１ 建築基準法（以下「法」という）第20条第１号に掲げる建築物 ・２ 法第20条第２号に掲げる建築物 ● ３ 法第20条第３号に掲げる建築物 ・４ 法第20条第４号に掲げる建築物
構造計算書に係る構造計算の種類	・１ 建築基準法施行令（以下「令」という）第81条第１項に定める基準に従った構造計算 ・２ 令第81条第２項第１号イに規定する構造計算 ・３ 令第81条第２項第１号ロに規定する構造計算 ・４ 令第81条第２項第２号イに規定する構造計算 ・５ 令第81条第３項に定める基準に従った構造計算 ・６ その他（　）
・重要度係数	・1.5（Ⅰ）　・1.25（Ⅱ）　● 1.0（Ⅲ）
・地域係数	● 1.0　・0.9　・0.8　・0.7
・増築予定	● 無　・有（　）

2.工事概要

1. 工事種目

1. 建物
- 1）サイバーナイフ棟
  - ・鉄筋コンクリート造2階建て　増築1棟　建築面積：481.11㎡　延床面積：701.52㎡
  - ・配管トレンチピット（地中埋設）　建築面積：約50㎡
- 2）渡り廊下棟
  - ・鉄骨造1階建て　増築1棟　建築面積：75.35㎡　延床面積：75.35㎡

3. 外構工事（新設）
- 1）舗装、砂利敷き、縁石　新設一式
- 2）屋外雨水排水設備　新設一式

4. 外構工事（撤去）
- 1）アスファルト舗装、植栽、縁石
- 2）埋設雨水排水配管、雨水桝等の撤去および盛替え

5. 設備
- 1）電気設備　新設一式
- 2）機械設備　新設一式

※一括発注のため、建築・電気設備・機械設備全てが工事対応範囲となる。

2. 指定工事範囲　・無し　● 有り　（指定工期　令和 8 年 4 月　日）
- 対象部分：　外構工事（撤去）

3. 工事範囲
- ※「1.工事種目」全てを工事範囲とする
- ・「1.工事種目」のうち下記の工事を除いたすべてを工事範囲とする

3.建築設備の耐震性などに関する規定（建築基準法施行令第129条の2の4の規定）

1. 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
- ● 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び繋結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
- ・屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
- ・煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
- ・煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
- ● 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
  - ● 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
  - ● 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
  - ● 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
  - ● 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- ・法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

4.案内図

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1.共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」による。以下「標準仕様書」という。なお、昇降機設備工事、機械式駐車設備工事については、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和７年版による。以下「標準仕様書（機械設備工事編）」という。
(2) 図中の【0-00-0】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す。
(3) 図中の【△0○】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）。
(4) 「標準仕様書」で規定している「監督職員」は「監理者」と読み替える。

2.特記仕様

(1) 項目は、番号の前に●印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。
　●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　●印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ，，）内表示番号は、「標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す。
　（ ，，）内の表示番号は「標準仕様書（機械設備工事編）」の当該項目、当該表及び当該図を示す。
(4) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　）内は製品名を示す。

項　目	特　記　事　項
● 1.一般共通事項	
● 1. 適用基準等	● 建築工事標準詳細図（令和４年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修課監修 ● 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編（平成30年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・敷地調査共通仕様書（令和4年3月14日付）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
● 2. 工事実績情報登録システム（コリンズ）への登録	※ 適用する　(1.1.4)
● 3. 情報共有システム	● 適用する　（ ● 電子メール等　・　）　(1.1.5)
● 4. 遠隔臨場の実施	● 適用する　（ ● Web会議システム等による、監理者の立ち合い　・　）　(1.1.14)
● 3. 風圧力等算定基準	※ 建築基準法に基づく風圧力区分等を必要とする場合は次による ◎ 基準風速（Vo=30 ） ◎ 地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　● Ⅲ　・Ⅳ　） ● 積雪区分　平成12年　建告示第1455号　別表（19　）
● 4. 電気保安技術者	※ 適用する　(1.3.3)
● 5. 施工条件	◎（1.3.5(1)）による　(1.3.5) ・（1.3.5(1)）による、但し、12/29～1/3および国民の祝日を除く土曜日は施工を行うことができる ● 解体工事ほか、振動・騒音の伴う作業は病院の休業日（土日祝）を基本とする。 また、近接診療室等の業務に支障を与える恐れのある作業は、診療時間外に行うものとする。 詳細は病院担当者と調整とすること。
● 6. 発生材の処理	・現場説明書による　● 構外搬出適切処理　(1.3.11) ●「発生材調書」を作成し監理者の指示に従って処理し、自由処分（一般廃棄物及び産業廃棄物）は専門の処理業者に処分させる以外は、請負人の責任において「リサイクル法」、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」及びその他の関係法令を遵守し、県または関係市町村の指導に従って処理する。 また、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理し、監理者に報告する。
● 7. 環境への配慮	(1) 環境負荷の低減 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12 年法律第100 号。以下「グリーン購入法」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努める。 (2) 化学物質を放散させる建築材料等 使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ、石綿を含有しないものとする。 次の1)～5) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単層積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。 規制対象外　① JIS及びJASのF☆☆☆品 ② 建築基準法施工令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 第三種　① JIS及びJASのF☆☆☆品 ② 建築基準法施工令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③ IBJASのEo品 ④ IBJASのFco品　(1.4.1)
● 8. 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質計画及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監理者に提出して承諾を受けるものとする。 また、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監理者の承諾を受ける。　(1.4.2)
● 9. 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製造所の指定する工法による
● 10. 技能士	(1.5.2) 適用工事種類 ／ 技能検定職種（選択作業） 仮設工事 ／ ● とび 鉄筋工事 ／ ● 鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
	コンクリート工事 ／ ● 型枠施工 ● コンクリート圧送施工
	鉄骨工事 ／ ● 鉄工（構造物鉄工作業）
	コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事 ／ ・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・エーエルシーパネル施工 ● 押出成型セメント板施工
	防水工事 ／ 防水施工 ● アスファルト防水工事作業　● ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・セメント系防水工事作業　・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ● シーリング防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　● 塩化ビニル系シート防水工事作業 ● 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業
	石工事 ／ ・石材施工（石張り作業）
	タイル工事 ／ ● タイル張り
	木工事 ／ ● 建築大工（大工工事作業）
	屋根及びとい工事 ／ ● 建築板金（内外装板金作業）　・スレート施工
	金属工事 ／ ● 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ・建築板金（内外装板金作業）
	左官工事 ／ ● 左官
	建具工事 ／ ● サッシ施工　● ガラス施工 ● 自動ドア施工
	カーテンウォール工事 ／ ● カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール工事作業） ● サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ● ガラス施工
	塗装工事 ／ ● 塗装（建築塗装作業）
	内装工事 ／ 内装仕上げ施工 ● プラスチック系床仕上げ工事作業 ● カーペット系床仕上げ工事作業 ● ボード仕上げ工事作業 ● 表装（壁装作業）
	排水工事 ／ ● 配管（建築配管作業）
	舗装工事 ／ 路面標示施工 ・溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ● 加熱ペイントマシンマーカー工事作業
	植栽工事 ／ ● 造園
● 11. 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること　(1.5.9) 測定はパッシブ型採取機器により行う 測定対象室　・図示　● 治療室、待合、大会議室　測定箇所数　・図示　● 3ヵ所 濃度測定の具体的方法 官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について（平成24年4月5日　国営整第4号）に準ずる
● 12. 製本製図の提出	受注者の負担で、下記設計図を製本（表紙及び背表紙には、年度、工事名などを明朝体文字明記）し、指定部数を監理者に提出する ・設計図A1版白黒複写図製本　（ ※ 4部　・　部 ） ● 設計図A3版白黒複写図製本　（ ※ 4部　● 5部 ）
● 13. 提出書類	1.工事全体共通 ／ ● 総合施工計画書
	2.仮設工事 ／ ● 総合仮設計画書
	3.土工事 ／ ● 土工事施工計画書
	4.地業工事 ／ ・杭工事施工計画書　・杭工事施工報告書 ● 地業工事施工計画書　● 地業工事施工報告書 ・地盤の平板載荷試験計画書　・地盤の平板載荷試験報告書 ・杭載荷試験計画書　・杭載荷試験報告書
	5.鉄筋工事 ／ ● 鉄筋工事施工計画書　● 圧接検査報告書　・鉄筋材料強度試験報告書 ● 配筋及び型枠検査是正報告書　● 鉄筋加工図（主要箇所）　● 鋼材規格証明書 ● 圧接部施工計画書　● 社内（請負者）配筋及び型枠検査報告書
	6.ｺﾝｸﾘｰﾄ工事 ／ ● コンクリート工事施工計画書　● 型枠工事施工計画書 ● コンクリート計画調合書　● コンクリート試し練り結果報告書 ● 構造体コンクリート試験結果報告書　● 躯体施工図 ● 出来形検査報告書
	7.鉄骨工事 ／ ● 工場製作要領書　● 工事現場施工計画書 ● 工作図　● 開先検査記録書 ● 工場製品社内検査報告書　● 工場製品受入検査報告書 ● 鋼材規格証明書又は成績試験書（鋼材・高力ボルト・スタッドボルト） ・溶接工技量試験報告書 ● 溶接部の溶接入熱量及びパス間温度管理記録報告書 ● 高力ボルト材料受入試験報告書　● 建方施工報告書 ・現場溶接接合検査報告書　● 完了報告書
	8.ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCパネル・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ／ ・コンクリートブロック工事施工計画書　・ALCパネル工事施工計画書 ● 押出成形セメント板工事施工計画書
	9.防水工事 ／ ● アスファルト防水工事施工計画書　● 改質アスファルト防水工事施工計画書 ● 合成高分子ルーフィングシート防水　● 塗膜防水工事施工計画書 ● シーリング工事施工計画書
	10.石工事 ／ ・石工事施工計画書
	11.タイル工事 ／ ● タイル工事施工計画書
	12.木工事 ／ ● 木工事施工計画書
	13.屋根及びとい工事 ／ ● 屋根工事施工計画書（ ・長尺金属板葺　・折板葺　・スレート波板葺　・粘土瓦葺　● とい ）
	14.金属工事 ／ ● 軽量鉄骨下地工事施工計画書　・金属成形板張り工事施工計画書 ● アルミニウム製笠木施工計画書　● 金属工事施工計画書（手すり、タラップ） ● 金属工事施工計画書（エキスパンションジョイント金物）
	15.左官工事 ／ ● 左官工事施工計画書　● 床コンクリート直均し仕上げ工事施工計画書 ● 仕上塗材仕上げ工事施工計画書
	16.建具工事 ／ ● アルミニウム製建具工事施工計画書　● 鋼製建具工事施工計画書 ● 鋼製軽量建具工事施工計画書　● ステンレス製建具工事施工計画書 ● 木製建具施工計画書　● 自動ドア開閉装置施工計画書 ・シャッター工事施工計画書　・オーバーヘッドドア工事施工計画書 ● ガラス工事施工計画書　・
	17.ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事 ／ ● メタルカーテンウォール工事施工計画書 ・PCカーテンウォール工事施工計画書
	18.塗装工事 ／ ● 塗装工事施工計画書
	19.内装工事 ／ ● 内装工事施工計画書（ビニル床シート・ビニル床タイル・ゴム床タイル張り） ● 内装工事施工計画書（カーペット敷き） ● 内装工事施工計画書（合成樹脂塗り床） ・内装工事施工計画書（フローリング張り） ・内装工事施工計画書（畳敷き） ● 内装工事施工計画書（せっこうボード・その他・合板張り） ● 内装工事施工計画書（壁紙張り） ● 内装工事施工計画書（断熱・防露）
	20.ﾕﾆｯﾄ及びその他工事 ／ ● ユニット工事施工計画書 ・プレキャストコンクリート工事施工計画書 ・間知石及びコンクリート間知ブロック積み、敷地境界石標工事施工計画書
	21.排水工事 ／ ● 排水工事施工計画書

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図名	特記仕様書－1
縮尺	―
日付	2025/12（令和7年）
	意匠
	A101

22.舗装工事　● 外構工事施工計画書
23.植栽及び屋上緑化工事　● 植栽工事施工計画書
・ 屋上緑化工事施工計画書
その他工事　・ 敷地調査報告書
上記の他に監理者の指示するもの

● 14. 立会検査、試験等
2.仮設工事　● ベンチマーク
3.土工事　● 根切り底検査
4.地業工事　・ 地盤の平板載荷試験　・ 杭載荷試験　・ 既製杭受入検査　● 試験杭施工
5.鉄筋工事　● 配筋検査　● 超音波探傷試験
・ ガス圧接抜取検査　・ ガス圧接工技量検定附加試験
6.ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　● コンクリート試し練り　・ コンクリート受入検査　● 型枠検査　● 出来形検査
7.鉄骨工事　・ 鉄骨材料検査　・ 現寸検査　・ 組立、開先検査
・ 高力ボルト材料受入試験　● 工場製品受入検査　● 建方検査
・ 現場溶接接合検査　・ 溶接工技量検定附加試験
8～23の各工事　● 各工事毎の受入検査等（監理者との協議による）
・ 石製品検査　・ タイル製品検査
・ 免震エキスパンションジョイント金物製品検査　・ アルミサッシ製品検査
・　・
その他工事　・ 免震部材製品検査　・
・　・
上記の他に監理者の指示するもの
なお、場外立会検査に要する諸費用は、全て受注者の負担とする

● 15. 試験機関　コンクリート及び鋼材の試験
※ 公的機関　・ 監理者の承認する機関
なお、試験に要する諸費用は、全て受注者の負担とする

● 16. 施工図等の取扱い　当該建築物に限る施工図等の著作権に係わる使用権は、発注者に移譲するものとする

● 17. 設備工事との取合い　施工図（製作図を含む）
各設備機器の位置、各設備工事との取合いなどの検討ができる資料及び図面を提出して、監理者の承諾を受けること
総合図［複合図］　※ 作成する　・ 作成しない
監理者の指示により、備品、機器等の配置と必要な設備記号（電気・空調・衛生設備等）をプロットした施工図（平面詳細図、天井伏図、展開図等）（縮尺1/50）
（総合図作成に必要な資料収集、製造者等との打合せ含む）

● 18. 技術検査　中間検査　（・ 審査機関　・ 監理者　）
（　1回　・ 2回　・　　）
※但し、放射線防護が必要となる治療室の躯体厚および遮蔽等に関する施工精度の確認や検査等について、監理者の求めに応じ行うこととする
◎ 完成検査　（●審査機関　●監理者　●監督員　●施主　）

19. モデルルーム及び先行ルーム等
・ モデルルーム（仮設建物にて設置する）　・ モデルルーム（計画建物内にて設置する）
対象居室　・　・　設置場所　・
設置期間
・ 先行ルーム（計画建物にて設置する）
対象居室　・　・　設置場所　・
モデルルーム及び先行ルームの程度
※ 設計図に記載のある見えがかり部分全て　・ 現場説明書による

● 20. 完成図（竣工図）等
※ 完成図を受注者の責任において作成する　(1.7.1～1.7.3)(表1.7.1)
※ (表1.7.1)による
・ (表1.7.1)による他（ ・ 特定天井図　・ 昇降機設備　・ 機械式駐車場 ・　　）を作成する
完成図全員（完成図に含まれる施工図、施工計画書は除く）に以下の注意書きを記載する
「本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください」

※ 完成図の製本提出
・ 完成図（原図）　A-1サイズ3ツ折図面ケース入　部数　※　部
※ 完成図（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 1 部　・
・ 完成図（縮小版第2原図）　A-3サイズ2ツ折図面ケース入　部数　※　部
※ 完成図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折焼黒文字　部数　※ 3 部　・
※ 完成図（データ）　※ DWG　※ PDF　● DXF　部数　※ 3 部　・
● JWW
※ 施工図、総合図［複合図］の製本提出（内容については監理者の指示による）
※ 施工図（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 1 部　・
・ 施工図（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※　部　・
● 施工図（データ）　● DWG　● PDF　● DXF　部数　※ 3 部　・
● 総合図［複合図］（製本）　A-1サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※ 1 部　・
・ 総合図［複合図］（縮小版製本）　A-3サイズ2ツ折白焼黒文字　部数　※　部　・
● 総合図［複合図］（データ）　● DWG　● PDF　● DXF　部数　※ 3 部　・
● 施工計画書等　適宜　部数　※ 1 部　・

※ 保全に関する資料
※ (1.7.3(1)の(ｱ)～(ｶ))　部数　※ 2 部　・
● 上記のもの他に予備品一覧表　部数　※ 2 部　・
● 上記のもの他に工事関係書一覧表　部数　※ 2 部　・

● 21. 完成写真　下記の物を製本のうえ監理者に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする
製本形式　・ 中折れ包み製本（A4版）　・ アルバム金文字製本

分類・規格		撮影箇所数	部数	原板の大きさ(mm)
・ モノクローム	※ キャビネ版 ※ べた焼	外部（　）内部（　）	※ 2 ・	※ 100×125以上 ・
● カラー	※ キャビネ版 ※ べた焼	外部（ 5 ）内部（ 20 ）	※ 2 ・ 6	※ 100×125以上 ・
・ カラーパネル ・ イレパネ	・ 全紙　・ 半切 ・ 四切　・	外部（　） 外部（　）	※ 1 ・	
● 電子データ（デジタルカメラ）		外部（ 5 ）内部（ 20 ）	※ 2 ・	※ CD-R保存
・				

・ 他に外観正面1カット（カラーキャビネ版）のみ（ 1 ）枚提出
・ 航空機またはドローン（無人航空機）空撮による鳥瞰写真を含む
100×125以上の原板を使う場合は、監理者にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける
撮影業者　※ 監理者の承認する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）
電子データはCD-R保存とし、解像度：300dpi、写真幅（長辺方向）：2,000ピクセル程度、データ形式：TIFF又はJPEGとする

● 22. 設計GL　※ 図示　・ 設計GL＝現状GL
（増築のため、現況を確認のうえ監理者との協議と調整を行うこと）

● 23. 省エネ基準への適合確認　省エネ基準に関わる確認項目については、施工者の責任において施工計画、施工記録書、製品ラベル、納入仕様書等により仕様や施工状況を確認し、監理者に書類にて報告すること
「省エネ基準工事監理報告書」に必要な書類は監理者の求めに応じ遅滞なく提出すること

● 2.仮 設 工 事
● 1. 監理者事務所　設計図書による規定の他、特記なき事項は、(社)日本建築学会JASS２による
※ 設ける　(2.3.1)

監理者事務所の規模（会議室とは別）
・ 10㎡程度　● 20㎡程度　・ 35㎡程度　・ 65㎡程度　・ 100㎡程度　・　㎡程度
監理者事務所の仕上げ
● 受注者事務所同程度　・
監理者事務所の備品　(2.3.1)
● 監理者事務所備品（ 5 人分）
備品は(2.3.1(2))による他、下記の物を備える
・ 外線電話機　・ ファクシミリ　・ コピー機（ ・ A3カラー　・ A1モノクロ ）
・ パーソナルコンピューター　）
（ モニター　・　）
（ アプリケーション　・ Office　・ AutoCAD　・　）
（ ネットワーク接続　・　）
・ プリンター（　）
・ デジタルカメラ　（ ※ 300万画素以上　・　）
● 安全靴　・ 上ばき　● 防寒服　・ 帽子　● ヘルメット
● 長靴　・ 安全帯
● その他（　）
常備図書
● 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
● 建築工事標準詳細図
● 建築工事監理指針（上下巻）
● 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編
・
連絡員
※ おかない　・ おく

連絡用機材等
・ WEB会議用機材
※ 機器・設置場所・運用方法等は監理者と協議による
・（　）
・ クラウドサーバー等による情報共有
※ 機器・運用方法等は監理者と協議による
・（　）

● 2. 工事用水　構内既存の施設　※ 利用できない　・ 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）
● 3. 工事用電力　構内既存の施設　※ 利用できない　・ 利用できる　（ ※ 有償　・ 無償 ）
● 4. 仮囲　● 万能鋼板　（ ● 塗装　・ アート・デザイン（　）　）
・ 単管シート
※ 指定しない（総合仮設計画書による）
● 5. 看板　◎ 監理事務所看板　（ ※ 仮囲に設置　・ 大きさ 900□　）
● 工事名看板　（ ● 仮囲に設置　・ 外部足場に設置　・ 大きさ（ □）　）

● 3.土 工 事
● 1. 埋戻し及び盛土　設計図書による規定の他、特記なき事項は、(社)日本建築学会JASS３による
種別　(3.2.3)(表3.2.1)
・ A種　※ B種　・ C種　・ D種
● 2. 建設発生土の処理　・ 現場説明書による　(3.2.5)
● 構外搬出適切処理　・ 構内指示の場所にたい積　・ 構内指示の場所に敷き均し
処理に際しては、関係法令等に従い、適切に処理すること
● 3. 山留めの撤去　※ 撤去する　・ 存置する　(3.3.3)
抜き跡の処理　※ 鋼材等の抜き跡に地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる
・（　）

● 4.地 業 工 事
1. 試験杭　設計図書による規定の他、特記なき事項は、(社)日本建築学会JASS４による
杭本数　※ 最初の一本　・ 図示　(4.2.2)
杭の種類　※ 本杭と同じ　・ 図示
2. 杭の載荷試験　杭本数及び位置　・ 図示　(4.2.3)
試験方法　・（　）
試験荷重　・（　）
3. 平板載荷試験　試験位置　（　ヶ所）　※ 図示　(4.2.4)
試験深さ(m)　・ 設計GLより（　）m　試験対象土質　・
計画最大荷重　（　）kN　長期許容支持力度（　）kN/㎡の3倍以上を確認
反力装置　※ 実荷重に反力をとる方式又はアンカーに反力をとる方法
載荷方法　※ 段階式載荷
試験方法は、「敷地調査共通仕様書」４章９節による
4. 既製コンクリート杭地業　種類　・ PHC杭　・ SC杭　・　（ ・ JIS規格品　・　）　(4.3.3)
工法　・ セメントミルク工法　(4.3.4)(4.3.5)
・ 特定埋込杭工法
・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力度で α=250を採用できる工法
・ 大臣認定番号（　）
寸法、継手箇所数及び材質　(4.3.3)

	杭径(mm)	杭長(m)及び種類	継手数	セット数	コンクリート強度(N／mm²)	長期設計支持力(kN／本)	備考
試験杭		上杭					
		中杭					
		下杭					
本杭		上杭					
		中杭					
		下杭					

先端部形状　※ 開放形　・（　）　(4.3.3)
杭打機の種類　・ 3点支持式クローラークレーン　・（　）
支持層　・ 土質（　）　設計GL－（　）m
杭の継手方法　※ 機械式継手（工法：　）　・ アーク溶接　(4.3.6)
杭頭の処理　※ 図示　・（　）　(4.3.8)
杭の水平方向の位置すれの精度　※ 図示　・（　）
5. 鋼杭地業　工法　・（　）　(4.4.4)
寸法、継手箇所数及び材質　(4.4.5)

	杭径(mm)	杭長(m)及び種類	継手数	セット数	鋼管強度(N／mm²)	長期設計支持力(kN／本)	備考
試験杭							
本杭							

先端部形状　※ 開放形　・（　）　(4.4.3)
支持層　・ 土質（　）　設計GL－（　）m
杭の継手方法　※ 溶接工法　・ 機械式　・（　）　(4.4.5)
杭頭の処理　※ 図示　・（　）　(4.4.6)
杭の水平方向の位置すれの精度　※ 図示　・（　）

6. 場所打ちコンクリート杭地業　工法　(4.5.1)(4.5.5)
※ アースドリル工法　（ 安定液　※ 使用する　・ 使用しない ）
・ オールケーシング工法　（ 孔内の水張　※ 行う　・ 行わない ）
・ リバース工法
・ 大臣認定工法　・ 拡底杭
・ 場所打ち鋼管コンクリート杭
材料
鉄筋の種類　5章鉄筋工事２節材料による　(4.5.4)
セメントの種類　※ 高炉セメントB種　・（　）　(4.5.4)
コンクリートの種別　・ A種　※ B種　(4.5.4)(表4.5.1)
設計基準強度(Fc)　（　）N/mm²
構造体強度補正値（S）　※ 3N/mm2　・（　）N/mm²
スランプ　※ 18cm　・（　）cm
支持層　・ 土質（　）　設計GL－（　）m
杭の水平方向の位置すれの精度　※ 図示　・（　）
杭の側壁測定　・ 行う（　）　・ 行わない　(4.5.5)

	杭径(mm)（)内は拡底径を示す	本数	備考
試験杭			
本杭			

注）拡底径は設計径を示し、施工径は設計径＋100とする

● 7. 直接基礎　基礎形式　● 独立　・ 布　・ ベタ　・ 深礎　（ ・ 手堀り　・ 機械堀り ）
支持層　● 土質（ 砂礫　）　設計GL－（　）m
長期許容支持力度（　）kN/㎡　支持地盤　・
● 8. 地盤改良

工法	長期許容支持力度(kN/㎡)	適用範囲
● 深層混合処理工法	350、300	サイバーナイフ棟（350）、渡り廊下（300）
・ 浅層混合処理工法 工法（　）		
・（　）		

● 9. 砂利地業　※ 再生クラッシャラン　・ 切込み砂利又は切込み砕石　(4.6.2)(4.6.3)
厚さ　※ 60mm
・　（適用範囲　）
● 10. 捨てコンクリート地業　厚さ　※ 50mm　(4.6.4)
・　（適用範囲　）
● 11. 床下防湿層　ポリエチレンフィルム　厚さ0.15mm以上　重ね幅　縦横共250mm以上　(4.6.5)
施工個所　※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　・

● 5.鉄 筋 工 事
設計図書による規定の他、特記なき事項は各部配筋参考図（公共工事標準仕様書令和4年版）による
● 1. 鉄筋の種類　(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)	規格等
● SD295	D10、D13、D16	※ JIS G 3112
● SD345	D19以上	※ JIS G 3112
・ SD390		※ JIS G 3112
・		
・		

● 2. 溶接金網　JIS規格品　縦目の形状・寸法（100@）　鉄線の径（6φ）　施工箇所（ 無筋コンクリート ）　(5.2.2)
JIS規格品　縦目の形状・寸法（50@）　鉄線の径（2.6φ）　施工箇所（ 屋上排水溝　）
● 3. 鉄筋の継手　(5.3.4)(表5.3.2)

部位	接合方法	呼び名(mm)
柱・梁の主筋	※ ガス圧接　・ 機械式継手　・ 溶接継手	D19以上
地下壁、耐圧版の主筋	※ 重ね継手　・　・	
その他	※ 重ね継手　・　・	D16以下

● 4. 鉄筋の最小かぶり厚さ　最小かぶり厚さは目地底から算定する　(5.3.5)
耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による　(表5.3.6)

施工箇所	標準仕様書表5.3.6に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※ 10　・
塩害のおそれのある部分	・
	・

● 5. 帯筋　※ H形　・ SP形　・ W-Ⅰ形　・ 溶接閉鎖形　・　(各部配筋参考図2.2)
● 6. 最上階柱頭補強　※ 図示　・ 行わない
● 7. 壁開口部の補強　一般壁　※ A形　・ B形　● 図示　(各部配筋参考図4.3)(表4.3)(表4.4)
耐力壁　※ 図示
● 8. 梁貫通孔の補強　※ H形　・ M形　・ MH形　(各部配筋参考図7.2)(表7.1～7.3)
● 建設技術評価制度「鉄筋コンクリート造の梁貫通補強材の開発」において評価を取得したもの、
又は、(財)日本建築センターの評定を受けたもの
● 9. 圧接完了後の試験　※ 超音波探傷試験　・ 引張試験　(5.4.10)
１ロットあたりの試験体　※ 3本　・ 5本
10. 圧接以外の完了後の試験　溶接継手　※ 超音波探傷試験　(5.6.5)(5.6.6)
機械式継手　※ メーカー仕様による　(5.5.5)(5.5.6)

● 6.ｺﾝｸﾘｰﾄ工事
設計図書による規定の他、特記なき事項は、(社)日本建築学会JASS５による
● 1. レディーミクストコンクリートの類別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　(6.2.1)(表6.2.1)
・ 大臣認定品
● 2. 普通コンクリートの設計基準強度　(6.2.2)(6.2.4)

設計基準強度Fc (N/mm²)	スランプ(cm)	適用範囲
● 24	18	建物躯体
● 24	15	放射線遮蔽マスコンクリート
・		
● 24		外構構造物

調合管理強度は、設計基準強度（Fc）に構造体強度補正値（S）を加えた値以上、　(6.3.2)(表6.3.2)
かつ、品質が標準仕様書11～15節の関係する節の規定を満たすものとする
● 3. セメントの種類　◎ 普通ポルトランドセメント　(6.3.1)(6.12.2)(6.13.2)(表6.3.1)
・ 高炉セメントA種
・ シリカセメントA種
・ フライアッシュセメントA種
● 高炉セメントB種　適用箇所（ マスコンクリート　）
・ フライアッシュセメントB種　適用箇所（　）
・ 普通エコセメント　適用箇所（　）
● 4. 骨材　骨材のアルカリシリカ反応性による区分（JIS A 5308 附属書A）　(6.3.1)(6.5.4)
※ A　・ B
● 5. 水　水は、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）の附属書C（規定）［レディーミクスト　(6.3.1)
コンクリート練混ぜに用いる水］による
● 6. 混和剤　※ 混和剤　(6.3.1)(6.3.2)
※ AE剤、AE減水剤標準形又は高性能AE減水剤標準形（JIS A 6204）
高性能AE減水剤の適用部位（　）
・ 混和材
・ フライアッシュ（JIS A 6201）のⅠ種、Ⅱ種若しくはⅣ種
・ コンクリート用高炉スラグ（JIS A 6206）
・ コンクリート用シリカフューム（JIS A 6207）
・ コンクリート用膨張材（JIS A 6202）
● 7. 型枠の存置期間及び取外し　(6.8.4)
(表6.8.2)　せき板の最小存置期間

施工箇所		基礎、梁側、柱、壁			
セメントの種類		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種	混合セメントのB種	中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント
コンクリートの材齢による場合(日)	存置期間中の平均気温15℃以上	2	3	5	6
	存置期間中の平均気温5℃以上	3	5	7	8
	存置期間中の平均気温0℃以上	5	8	10	12
コンクリートの圧縮強度による場合	-	圧縮強度が5N/mm²以上となるまで			

(表6.8.3)　支柱の最小存置期間

施工箇所		スラブ下			梁下
セメントの種類		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント混合セメントのA種	中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント、混合セメントB種	左記のすべてのセメント
コンクリートの材齢による場合(日)	存置期間中の平均気温15℃以上	8	17	28	28
	存置期間中の平均気温5℃以上	12	25		
	存置期間中の平均気温0℃以上	15	28		
コンクリートの圧縮強度による場合	-	圧縮強度が設計基準強度(Fc)の85%以上又は12N/mm²以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで			圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで

混合セメントのA種：高炉セメントA種、シリカセメントA種、フライアッシュセメントA種
混合セメントのB種：高炉セメントB種、シリカセメントB種、フライアッシュセメントB種

(a)型枠の取外しは、型枠の最小存置期間の経過後に行う
(b)型枠の最小存置期間は、(表6.8.2)及び(表6.8.3)により、コンクリートの材齢又はコンクリートの圧縮強度により定める。なお、寒冷のため強度の発現が遅れると思われる場合は、コンクリートの圧縮強度により存置期間を定める。
(c)コンクリートの圧縮強度を圧縮強度試験により定める場合は、(6.9.3)によるコンクリートの試験結果及び安全を確認するための資料により、監理者の承諾を受ける。
(d)コンクリートの圧縮強度を「現場打コンクリートの型わく及び支柱の取りはずしに関する基準」（昭和46年1月29日　建設省告示第110号）第1号第一号ロにより定める場合は、コンクリートの圧縮強度の計算結果により、監理者の承諾を受ける。
(e)片持梁、ひさし、長大スパンの梁、大型スラブ等の型枠を支持する支柱、又は施工荷重が著しく大きい場合の支柱等は、必要に応じて、存置期間を延長する。
(f)スラブ下及び梁下のせき板は原則として、支柱を取り外し後に取り外す。なお、これにより難い場合は、監理者と協議する。なお、支柱の盛替えは行わない。
8. 軽量コンクリートの設計基準強度　(6.10.1)(表6.10.1)

設計基準強度Fc(N/mm²)	スランプ(cm)	種類	気乾単位容積質量(t/m³)	適用範囲
※ 21	21			
・				

9. 寒中コンクリート　寒中コンクリートの適用期間　(6.11.1)
※ JASS５による
・ 月　日 ～　月　日
構造体強度の補正値（S）　(6.11.2)
※ 材齢28日までの予想平均気温により定める(表6.3.2)
ただし、材齢91日までの積算温度が840゜D・Dは上に限る
・ 積算温度により定める。　S＝　(N/mm2)
10. 暑中コンクリート　暑中コンクリートの適用期間　(6.12.1)
※ JASS５による
・　月　日 ～　月　日
構造体強度の補正値（S）　(6.12.2)
※ S＝6(N/mm2)
・ S＝　(N/mm²)
● 11. マスコンクリート　セメントの種類　(6.13.2)
● 普通ポルトランドセメント
・ 中庸熱ポルトランドセメント
・ 低熱ポルトランドセメント
● 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ シリカセメント
適用箇所　● 図示（　）による　・
※ 混和剤　(6.13.2)
※ AE減水剤又は高性能AE減水剤（JIS A 6204）
● 高性能AE減水剤（JISA6204）
◎ 混和材
※ JIS A 6206に適合するコンクリート用高炉スラグ微粉末の3000又は4000　(6.13.2)
・ JIS A 6201に適合するコンクリート用フライアッシュのⅡ種
● 膨張材（適用箇所：放射線治療室の地中梁、柱、梁、壁、床）
施工計画及び施工管理

設　計　者					件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	Job-No. 25005
					図名	特記仕様書－2	意匠
					縮尺	― 日付 2025/12（令和7年）	A102

マスコンクリートの打設にあたり、セメントの水和熱による温度上昇で有害なひび割れが発生しないように、打設時の温度解析等に基づき、調合計画、打設計画、養生計画を行い監理者の承諾を受ける。

● 12. 無筋コンクリート
コンクリートの種類　※ 普通コンクリート　・（　　　　　　）　(6.14.1)(6.14.2)
設計基準強度（Fc）　※ 18N/㎟　・（　　）N/㎜2
スランプ　※ 15又は 18㎝　・（　　）㎝
施工箇所：　捨コンクリート、防水押えコンクリート、かさ上げコンクリート
機械室等で用いる配管埋設用コンクリート

13. 流動化コンクリート
※ 適用しない　・ 適用する　適用部位（　　　　　　）　(6.15.1)
流動化コンクリートの材料、調合、流動化の方法、品質管理の方法等必要な事項を施工計画書にまとめ、監理者の承諾を受ける。

● 14. レディーミクストコンクリートの単位水量の測定
※ 行わない　● 行う　(6.5.1)
試験回数　●（ マスコンクリートの品質管理計画に従い、監理者と協議による ）
測定方法　※ 試験方法は事前に監理者に承諾を受ける。

● 15. コンクリート打放し仕上げ
(6.2.5)(6.8.5)(表6.2.4)

種別	コーンの穴埋め	施工箇所
● A種	・ 面内に仕上げる ※ 面に合せて仕上げる	
● B種	・ 面内に仕上げる ※ 面に合せて仕上げる	
● C種		

● 16. コンクリートの仕上がりの平坦さ
(6.2.5)(表6.2.5)

種別	平坦さ	施工箇所
● a種	3mにつき7㎜以下	一般部
・ b種	3mにつき10㎜以下	
・ c種	1mにつき10㎜以下	

● 17. コンクリートの打増し厚さ
外部　（打放し仕上げ面、塗装等の仕上を行う場合を含む）　(6.8.1)
※ 20㎜　・（　　）㎜
内部　（打放し仕上げ面、塗装等の仕上を行う場合を含む）
※ 10㎜　・（　　）㎜
床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合の梁側面
※ 10㎜　・（　　）㎜

18. 外装タイル後張り面の躯体表面処理
躯体表面処理工法　(6.8.2)
※ MCR工法
MCR工法は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする
・ 高圧水洗工法の目荒らし
高圧水洗工法の目荒らしは、超高圧（150MPa程度）の水洗いとし、施工計画書を監理者に提出し承諾を受ける。また、目荒らしの状態は、事前に監理者に承諾を受ける

コンクリートの増打ち厚さ
※ 20㎜　・（　　）㎜

● 19. 床せき板の種類
◎ 合板　● 鋼製デッキプレート(t= 1.2　㎜)　・ 図示　(6.8.2)

● 20. ひび割れ誘発目地打継ぎ目地
目地寸法　● 標準仕様書9.7.3による　(6.8.1)(6.6.4)(9.7.3)
間隔・位置・形状　● 図示（　　　）による
ひび割れ誘発目地は原則、柱際、開口部周辺、パラペット天端部分に設け、間隔は3m内外、面積は15㎡以下とする。

● 21. スリーブの材料
(6.8.2)(表6.8.1)

地中部	水密を要する部分	※ つば付き鋼管
	水密を要しない部分	※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）
地上部	一般部	※ 溶融亜鉛めっき鋼板
	屋内の壁および床で補強筋不要な部分かつ径200㎜以下	※ 紙スリーブ

紙スリーブは型枠取り外し後に取り除く。

● 22. 型枠取り外し後の釘等の処置
※型枠取り外し後、スリーブやインサート固定に用いた釘等の突出物は切断し除去する。

● 7.鉄 骨 工 事

● 1. 適用基準等
● 建築構造設計基準及び参考資料　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和3年版）
● 建築工事標準仕様書　JASS6　鉄骨工事　日本建築学会（2018年）
● 鉄骨工事技術指針・工場製作編　日本建築学会（2018年）
● 鉄骨工事技術指針・工事現場施工編　日本建築学会（2018年）
● 鉄骨精度測定指針　日本建築学会（2018年）
● 鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準・同解説　日本建築学会（2018年）

● 2. 鉄骨の製作工場
製作工場の加工能力　(7.1.3)
※ 監理者が承諾する製作工場
● 建築基準法第77条の45第1項に基づき、国土交通大臣から性能評価機関として許可を受けた(株)日本鉄骨評価センター、または(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める以下のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場、または同等以上の能力のある工場
・ Sグレード　・ Hグレード　● Mグレード　・ Rグレード　・ Jグレード
入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・ 図示　● 柱・梁・ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件　※ 告示による　・ 図示

● 3. 施工管理技術者
※ 適用する　・ 適用しない　(7.1.4)

● 4. 鋼材
鋼材の材質　(7.2.1)(表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
・ SN400A		※ JIS G 3136
● SN400B	渡り廊下　大梁	※ JIS G 3136
・ SN490B	渡り廊下　ベースプレート	※ JIS G 3136
● SN490C	渡り廊下　タイヤフラム	※ JIS G 3136
● SS400	渡り廊下　間柱・小梁	※ JIS G 3101
・ SSC400		※ JIS G 3350
・ BCP295	渡り廊下　柱	※認定品
・		

5. ターンバックル
※ JIS A 5540（建築用ターンバックル）及びJIS A 5541（建築用ターンバックル胴）
胴の種類　※ 割枠式　・ パイプ式　・　(7.2.6)
ボルトの種類　※ 羽子板ボルト　・

● 6. 高力ボルト
※ トルシア形高力ボルト　(一社) 日本鋼構造協会規格JSS Ⅱ 09　(7.2.2)(7.12.5)
・ JIS形高力ボルト　JIS B 1186 2種 (F10T)
・ 大臣認定による高力ボルト　認定番号（　　　　）
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　大臣認定品　1種(F8T)相当
溶融亜鉛めっき高力ボルトの摩擦面の処理
・ ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・ リン酸塩処理
すべり耐力の確認方法　※ すべり耐力試験
・ 対比試験片との照合

● 7. 溶接部の試験
社内（製作工場）における検査は、超音波探傷試験・外観検査とも100%とする
第三社検査の外観検査は30%とする
超音波探傷試験の第三者検査
AOQL　※ 4.0%　・ 2.5%　(7.6.12)
検査水準　※ 第6水準　・ 第　水準　(7.6.12)(表7.6.2)
放射線透過試験　・ 行う　※ 行わない
マクロ試験　・ 行う　※ 行わない
現場溶接部の第三者検査は、外観検査，超音波探傷試験とも100%とする
内質検査
硬さ検査　・ 行う　※ 行わない
示温塗料塗布　・ 行う　※ 行わない

● 8. 耐火被覆
建築基準法に基づく主要構造部の耐火時間　(7.9.3)

部位＼階	耐火構造の耐火構造（時間）							
	壁				柱	梁	床	屋根
	間仕切壁	外壁						
		耐力壁	非耐力壁（開口補強含む）					
			延焼部分	左記以外				
1階	1h	1h	1h	0.5h	1h	1h	1h	0.5h

(7.9.2～7.9.8)

種別	材料・工法	部位
・ ラス張りモルタル塗り		
● 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール	
	● 半乾式吹付けロックウール 製造所（製品名）	
	・ 湿式ロックウール	
	・	
・ 耐火板張り	・ けい酸カルシウム板 製造所（製品名）	
	・ 製造所（製品名）	
・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱無機繊維フェルト耐火被覆材 製造所（製品名）	
・ 耐火塗料	・ 発泡型耐火塗料 製造所（製品名）	

● 9. アンカーボルト
アンカーボルトの材質　(7.2.4)(7.10.3)(表7.2.1)

種別	材質	使用箇所	規格等
● 構造用アンカーボルト	● SNR400B　※ 転造ねじ　・ 切削ねじ		※ JIS G 3138
	● SNR490B　※ 転造ねじ　・ 切削ねじ		※ JIS G 3138
	・		
● 建方用アンカーボルト	● SS400		※ JIS G 3101
	・		

転造ねじ：建築構造用転造両ねじアンカーボルト　JIS B 1220　ABR400、ABR490
切削ねじ：建築構造用切削両ねじアンカーボルト　JIS B 1221　ABM400、ABM490
片ねじアンカーボルトは、上記規格に準じる。

● 10. アンカーボルトの保持及び埋込工法
・ A種　● B種　(7.10.3)(表7.10.1)

● 11. 柱底均しモルタル工法
※ A種　・ B種　(7.2.9)(表7.2.5)(7.10.3)(表7.10.2)
※ 圧縮強度　材齢28日　45N/㎜2以上、品質及び試験方法は(表7.2.5)による。
調合等は無収縮モルタル製造所の仕様による。

柱底均しモルタルの厚さ
・ 50㎜　● 30㎜　・ 図示

12. 溶融亜鉛めっき工法
(7.12.4)(14.2.3)(表14.2.2)
溶融亜鉛めっき作業は、JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）によるJISマーク表示認証工場で行うこと

亜鉛めっきの種別	めっきの種類	記号	板厚(㎜)	適用部位
A種	2種	HDZT 77	6.0以上	
B種		HDZT 63	3.2㎜以上	
C種		HDZT 49	1.6㎜以上 普通ボルト、ナット類、アンカーボルト類	

素地ごしらえは、JIS H 9124 溶融亜鉛めっき作業指針による

● 13. 錆止め塗装
(7.8.2)(7.8.3)(表18.3.1)

種別	規格名称	種類	素地ごしらえ（表18.2.2）	適用	塗装箇所
As種	● JIS K 5674	1種	・ A種　・ B種 ※ C種	屋外 屋内	(7.8.2)により指定されている範囲以外
Bs種	・ JASS18　M-111	-	・ A種　・ B種 ※ C種	屋内	
	・ JIS K 5674	2種			

耐火被覆材が接着する面の塗装
● 塗装しない
・ 塗装する　塗装の範囲　・ 屋外部材　・ 耐火材巻付け部材
・ 図示

● 8.コンクリートブロック、ALC、押出成形セメント板工事

● 3. 押出成形セメント板（ECP）
厚さ50㎜以上　種類　※ 無石綿タイプ（タイプⅡ）　・　(8.5.2～8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)(表8.5.3)

施工箇所	表面形状	厚さ(㎜)	取付工法（種別）	耐火性能
● 外壁	※ フラットパネル	・ 50　● 60	● A種（縦張り工法）	※ 有り
	・ デザインパネル（図示）	・ 50　・ 60	・ B種（横張り工法）	（　　）
	・ タイルベースパネル	・ 60		・ 無し
・ 間仕切り	※ フラットパネル	・ 50　・ 60	・ B種（横張り工法）	※ 有り
	・ デザインパネル（図示）	・ 50　・ 60	・ C種（縦張り工法）	（　　）
	・ タイルベースパネル	・ 60		・ 無し

パネル相互の目地幅　※ 長辺8㎜以上、短辺15㎜以上　・　(8.5.3)
出隅入隅の目地幅(㎜)　※ 15　・
パネル開口の限度　・
製造所（製品名）　ノザワ（アスロック F-60590）同等品
厚さ50㎜未満　種類　※ 無石綿タイプ　・

施工箇所	表面形状	厚さ	耐火性能
	※ フラットパネル ・ デザインパネル（図示）	・	※ 無し ・ 有り(　　)

製造所（製品名）

耐震性能　※ 1/100の変形追従　・（　　　　）
耐風圧性能　再現期間　※ 100年　・ 50年　・ 200年

● 9.防 水 工 事

● 1. アスファルト防水
(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)～(表9.2.8)

種別		施工箇所
● AⅠ-2	・ AⅠ-3	各所屋上
・ A-2	・ A-3	
・ D-2		
・ BⅠ-2	・ BⅠ-3	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・ E-1	・ E-2	
・		

アスファルトの種類　(9.2.2)
※ JIS K 2207 に基づく3種
押さえ金物の材質、形状寸法　(9.2.2(6))
※ アルミニウム製、L-30×15×2.0程度　・
屋根保護防水断熱工法の断熱材　(9.2.2(8))
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材　JIS A 9521　3種bA（スキン層付き）
・ A種フェノールフォーム保温板1種2号
（厚さ(㎜)　※ 25　● 70　）
（ただし、特定フロンを含まないもの）
屋根露出防水断熱工法の断熱材　(9.2.2(9))
※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 JIS A 9521　2種1号又は2号で透湿係数を除き規格に適合するもの
・ 発泡プラスチック断熱材 JIS A 9521（種類　種　）
（厚さ(㎜)　・　・　）
（ただし、特定フロンを含まないもの）
絶縁用シートに使用する材料　(9.2.2(10))
屋根保護防水密着工法 又は
屋根保護防水絶縁工法の場合　※ ポリエチレンフィルム 0.15㎜　・
屋根保護防水密着断熱工法 又は
屋根保護防水絶縁断熱工法の場合　※ フラットヤーンクロス 70g/㎡程度　・
伸縮調整目地　(9.2.2(11))(9.2.5)(表9.2.1)
※ 成形伸縮目地 W=25㎜
製造所（製品名）
立上がり部の保護の方法　(9.2.2(14)(15))(9.2.5(5))(表9.2.3～表9.2.8)
・ モルタル押え（屋内等）　・ コンクリート押え
・ 乾式保護材　※ 押出成形セメント板（厚さ15㎜）
● 合成高分子系ルーフィングシート防水押え
製造所（製品名）住べ（サンロイドDN防水システム）　同等品

● 2. 改質アスファルトシート防水
(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.2)(表9.3.3)

種別	施工箇所
・ AS-T1（トーチ工法）	
・ AS-T2（トーチ工法）	
・ AS-T3（トーチ工法）	
・ AS-T4（トーチ工法）	
● AS-J1（常温粘着工法）	地下ピット外壁部分
・ ASI-T1（トーチ工法）	
・ ASI-J1（常温粘着工法）	

仕上塗料の種類及び使用量　・
製造所（製品名）日新工業（カスタムPA 後やり工法+プロテクションN）　同等品

● 3. 合成高分子系ルーフィングシート防水
合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～9.4.3)

種別	厚さ(㎜)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・ S-F1加硫ゴム系	※ 1.2　・		・ シルバー　・ カラー	※ 非歩行 ・ 軽歩行
・ S-F2塩化ビニル樹脂系	※ 2.0　・			
・ S-M1加硫ゴム系	※ 1.5　・		・ シルバー　・ カラー	
● S-M2塩化ビニル樹脂系	※ 1.5　・			
・ S-M3熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ系	※ 1.2　・			

仕上塗料の種類及び使用量　・
製造所（製品名）住べ（サンロイドDN防水システム）　同等品
合成高分子系ルーフィングシート防水（断熱工法）

種別	厚さ(㎜)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・ SI-F1加硫ゴム系	※ 1.2　・		・ シルバー　・ カラー	※ 非歩行 ・ 軽歩行
・ SI-F2塩化ビニル樹脂系	※ 2.0　・			
・ SI-M1加硫ゴム系	※ 1.5　・		・ シルバー　・ カラー	
・ SI-M2塩化ビニル樹脂系	※ 1.5　・			

仕上塗料の種類及び使用量　・

合成高分子系ルーフィングシート防水（屋内保護密着工法）

種別	厚さ(㎜)	工箇所
・ S-C1エチレン酢酸ビニル樹脂系	※ 1.0　・	

モルタル塗り厚さ(mm)　・

● 4. 塗膜防水
(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料塗り
・ X-1		● シルバー　・ カラー
● X-2	パラペット部	使用量　kg/㎡
・ Y-1	地下外壁防水	
・ Y-2	屋内防水	

ウレタン系塗膜防水（X-1）の脱気装置　・ 設ける　(9.5.3)(表9.5.1)
設置数量（　　　　㎡当たり1箇所　）
材質（ ・ ステンレス　・ ABS　・ ポリエチレン　・ 鋳鉄 ）
ゴムアスファルト系塗膜防水（Y-2）の保護層　・ 設ける　(9.5.3)(表9.5.2)
上記以外の塗膜防水
・ アクリルゴム系　・ クロロプレン系　・ FRP系
組成
施工箇所：　製造所（製品名）

7. 複合防水
組成　＋
施工箇所：　製造所（製品名）

8. 各種槽内の防水
内装仕様（床、壁、天井とも）

工法	ライニング工法						コーティング工法						断熱防水工法
下団仕様による種別	D種			C種			一般防食仕様						
材料名 厚さ（㎜）	ビニルエステル樹脂系 2プライ	エポキシ樹脂系ガラス 2プライ		ビニルエステル樹脂系 1プライ	エポキシ樹脂系ガラス 1プライ		無溶剤型エポキシ樹脂 コーティ	無溶剤型タールエポキシ コーティ	水性エポキシ樹脂モル	ポリマーセメント系塗	床・壁 モルタ / 天井 コンクリ	コンクリート打ち放し	（専門業者による蓄熱断
	t>2.0	t>1.3		t>1.0	t>0.7				t>2.4				
・ 検査排水槽	・ ・	※											
・ 透析排水槽	・ ・	※											
・ 厨房排水槽	※	・ ・											
・ 排水処理放流槽				・ ・	・ ・		※	・ ・	・ ・				
・ 汚水槽	・ ・	・ ・		・ ・	※								
・ 雑排水槽	・ ・	・ ・		・ ・	・ ・		※	・ ・	・ ・				
・ 雑用水槽				・ ・	・ ・		・ ・	・ ・	・ ・	※	・ ・	・ ・	
・ 工業用排水槽							・ ・	・ ・	・ ・	※	・ ・	・ ・	
・ 消火水槽										※	・ ・	・ ・	
・ 雨水貯留槽										※	・ ・	・ ・	
・ 自家発冷却槽										※	・ ・	・ ・	
・ 補給水槽										※	・ ・	・ ・	
・ 駐車場排水槽							・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	※	・ ・	
● 湧水槽												※	
・ 蓄熱槽													・ ・
・ 設備排水槽							・ ・	・ ・	・ ・	※	・ ・	・ ・	
・ ボイラー排水槽													
・ オートクレーブ排水槽													
製造所（製品名）	ABC商会（プロテクリートV）程度	ABC商会（プロテクリートE）程度					ABC商会（ケミクリートE1）程度						

日本下水道事業団の腐食環境条件による分類
1）C種：硫化水素の滞留が多く、腐食が厳しい環境
2）D種：C種の環境条件で構造上の条件により、事実上補修等のメンテナンスが困難と考えられる施設、部位
流入水が55℃を超えることがある場合はビニルエステル樹脂系を使用する

● 9. シーリング
下表以外は、(表9.7.1)による　(9.7.2)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法　(9.7.3)

施工箇所	幅(㎜)	深さ(㎜)
コンクリートの打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地	※ 20以上　・	※ 10以上　・
ガラス回りの目地 (16.14.3[ガラス溝の寸法形状等] による場合を除く)	※ 5以上　・	※ 5以上　・
上記以外	※ 10以上　・	※ 10以上　・

接着性試験　(9.7.5)
※ 行う　（ ※ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験（部位：　　）　・ 行わない

● 10. 防水の保証期間

防水種別	保証期間	備考
● アスファルト防水	※ 10年　・	
・ 改質アスファルトシート防水	※ 10年　・	
● 合成高分子ルーフィングシート防水	※ 10年　・	
● 塗膜防水	※ 10年　・ 7年	
・ ステンレス防水	※ 15年　・	
・ セメント系防水	※ 5年　・	
● シーリング材	※ 5年　・ 7年	
・		
・		

● 11.タイル工事

● 1. 陶磁器質タイル張り
タイルの種類　(11.2.2)

施工箇所	形状・寸法(㎜)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわ薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	製造所（製品名）
外部階段 段鼻	150×60	●	・	・	●	・	●	・	●	・	●	・	ニットー（6号階段）同等品
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

タイルはJIS A 5209に基づくものとする
役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　）
耐滑り性　各用途に求められる耐滑り性を有すること

2. 壁タイル張りの工法
内装タイル　※ 壁タイル接着剤張り　・ 改良圧着張り　(11.3.5)(表11.3.2)
外装タイル　・ 密着張り　・ マスク張り
・ 壁タイル接着剤張り　・ 改良圧着張り
躯体表面の処理　・ 行う
※ MCR工法（6章による）
・ 目荒し工法（高圧水洗工法：超高圧150MPa程度）　(15.3.4(3))
施工範囲　※ 図示　・
タイルの試験張り　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　）　(11.2.2)

● 12.木 工 事

● 1. 木材の品質
見え掛り面の表面の仕上げ程度　(12.1.4)(表12.2.1)(表12.2.2)

適用箇所	造作材 含水率	造作材 材面の品質	下地材 含水率
※ 洗面カウンター下部	A種(15%以下)	A種	A種(15%以下)
・	B種(18%以下)	B種	B種(18%以下)
・			

含水率は全断面の平均の推定値とする
但し、木材の製材で含水率を指定しているものは、その指定による。
但し、(12.2.1(2)～(6))で、含水率を規定しているものは、その規定による

● 2. 木材
・ 製材　(12.2.1)
・ 「製材の日本農林規格」による製材
・ 下地用針葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示
等級　※ 2級　・　形状　・ 耳付材　・ 押角
・ 造作用針葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示
等級　見え掛り面　※ 上小節　形状　・ 板類　・ 角類
上記以外　※ 小節以上
保存処理　※ JIS K 1570　・
・ 広葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	特記仕様書ー3	意匠
縮尺 ー	日付 2025/12（令和7年）	A103

等級　※ 1等　・　含水率 ※ 10%以下　・
形状　・ 耳付材有　・ 耳付材無
保存処理　※ JIS K 1570　・
材面の品質　（　）

・「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種　・　寸法　※ 図示
材面の品質　造作材　※ A種　・ B種　（表12.2.2）
上記以外　・ A種　・ B種
防虫処理　・（　）難燃処理　・（　）

● 造作用集成材　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆　（12.2.1）
● JAS 1152(集成材)に基づく造作用集成材
● 造作用集成材　品名　●（ タモ　）
樹種　・　寸法　※ 図示
見付材面の品質　※ 1等　見付材面数　※ 図示
・ 化粧ばり造作用集成材　品名　・（　）
樹種（ 化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・
見付材面の品質　※ 1等　見付材面数　※ 図示
・ 化粧ばり構造用集成柱　品名　・（　）
樹種（ 化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
・ 造作用集成材　樹種　・　寸法　※ 図示
見付材面の品質　・　含水率 ※ 15%以下　・
・ 化粧ばり造作用集成材　樹種（ 化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・
見付材面の品質　・
含水率 ※ 15%以下　・
・ 化粧ばり構造用集成柱　樹種（ 化粧薄板　・　芯材　・　）
寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・
含水率 ※ 15%以下　・

・ 造作用単板積層材（LVL）　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆　（12.2.1）
・「単板積層材の日本農林規格」による単板積層材
厚さ　・　表面の品質　・　防虫処理　・
・「単板積層材の日本農林規格」以外の単板積層材
厚さ　・　表面の品質　・　防虫処理　・
含水率 ※ 14%以下　・

・ 直交集成板　（12.2.1）
・「直交集成板の日本農林規格」第3条「規格」に基づく
品名　・　曲げ強度(強度等級)　・
種別　・　接着性能(使用環境)　・
樹種　・　寸法　※ 図示

・ 合板等　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆　（12.2.1）
・ 普通合板　品名（　）　厚さ　※ 5.5㎜
単板の樹種　・ 広葉樹（　）　板面の品質　※ 2等以上
・ 針葉樹（　）　板面の品質　※ C-D以上
接着の程度　※ 1類　・ 2類
（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1類とする）
防虫処理　・ 行う
・ 構造用合板　品名（　）　厚さ　※ 12㎜
単板の樹種　・（　）
等級　※ 2級以上　板面の品質　※ C-D以上
接着の程度　・ 特類　※ 1類
（上記に関わらず、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、特類とする）
強度等級　・　防虫処理　・
・ 化粧ばり構造用合板
・「合板の日本農林規格」第7条「化粧ばり構造用合板の規格」に基づく
品名（　）　厚さ　・
単板の樹種　・（　）
接着の程度　・ 特類　※ 1類
（上記に関わらず、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、特類とする）
防虫処理　・

・ 天然木化粧合板
・「合板の日本農林規格」第8条「天然木化粧合板の規格」に基づく
厚さ　・
化粧板に使用する単板の樹種　・（　）
接着の程度　・ 1類　・ 2類
（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1類とする）
防虫処理　・

・ 特殊加工化粧合板
・「合板の日本農林規格」第8条「特殊加工化粧合板の規格」に基づく
品目　・　厚さ　・
接着の程度　・ 1類　・ 2類
（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1類とする）
単板の樹種　・（　）防虫処理　・
化粧加工の方法
・ オーバーレイ　・ プリント　・ 塗装　・（　）

・ パーティクルボード
パーティクルボードの製材　（12.2.1）JIS A 5908

施工箇所	表裏面の状態による区分		曲げ強さ	耐水性	難燃性	厚さ
	区分	記号	による区分	による区分	による区分	(㎜)
	化粧パーティクルボード｜単板オーバーレイ		13	MR1(M)		
	構造用パーティクルボード｜研磨板		S18	MR2(P)	難燃2級	15

・ 構造用パネル
・「構造用パネルの日本農林規格」に基づく
品名　・　厚さ　・

・ ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)
MDFの製材　（12.2.1）JIS A 5905

施工箇所	表裏面の状態による区分		曲げ強さ	接着剤	難燃性	厚さ
	区分	記号	による区分	による区分	による区分	(㎜)
	普通MDF｜化粧MDF｜プラスチックオーバーレイ		25タイプ	Mタイプ	難燃3級	30
	構造用MDF｜無研磨板		15タイプ	Pタイプ	難燃2級	9

● 3. 接着剤　接着剤は、接着する材料に適したものとする。ただし、接着剤のホルムアルデヒド放散量は、（12.2.2）下記とする。
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・

4. 防腐・防蟻処理　以下の(a) または (b) の処理方法により防腐・防蟻処理を行う。（12.3.1）
加圧注入処理を行った後、加工、切断、孔あけ等を行った面所は、標準仕様書　（12.3.1(イ)）
により処理を行う。
(a) JAS 1083 に基づく保存処理の性能区分K２からK４までに適合するもの、又はこれと同等の保存処理性能のものとする。
(b) 人体への安全性及び環境への影響について配慮し、JIS K 1570 (木材保存剤) に基づく加圧注入用木材保存剤又はこれと同等の性能を有する木材保存剤を用いて、JIS A 9002 (木質材料の加圧式保存処理方法) に基づく加圧式保存処理等を行う。
なお、JIS A 9002に基づく使用薬剤、注入量等の証明書を、監理者に提出する。

処理方法	性能区分	施工箇所・適用部材等
(a)	K2	
	K3	
	K4	
(b)	―	

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
・ 行う（施工箇所：　）

合板等の加圧注入等による防腐・防蟻処理
※「合板の日本農林規格」、「集成材の日本農林規格」若しくは JAS 0701（単板積層材）の保存処理の性能区分K３に適合するもの又はこれと同等の保存処理性能の製材を使用する。

5. 防虫処理　※ 行う（施工箇所：　）（12.3.2）

6. 床板張り　フローリング及び縁甲板張り床　（12.6.2）(表12.6.1)

下張り用床板	※ 無し		
	・ 有り	※ 合板張り	
		・ 板張り	
床板	※ 単層フローリング (19.5.2)による		
	・ 縁甲板	※ ひのき　・	
	・ 上がりがまち	※ ひのき　・	

● 13.屋根及びひび工事
1.長尺金属板葺き　（13.2.2）(13.2.3)（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類及び記号による表示	板厚(㎜)
・	※ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) CGLCCR-20-AZ150	※ 0.4
	・	・

塗膜の種類と厚さは(表14.2.2)による

下葺材料
・ JIS A 6005 (アスファルトルーフィングフェルト) に基づくアスファルトルーフィング940
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材　（表13.2.2）
・ 一般タイプ
・ 複層基材タイプ
・ 粘着層付タイプ

建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法　（13.2.3）

屋根葺形式・工法　※ 図示（　）（13.2.3）

雪止め　・ 設ける　・ 設けない　（13.2.3）
製造所

2. 折板葺き　（13.3.2）(13.3.3)（表13.2.1）

形式	※ 重ね形　・ はぜ締め形　・ かん合形
形状(㎜)	山高（　）㎜　山ピッチ（　）㎜　板厚　※ 0.6　・
材料 (規格等)	※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・
軒先面戸板	※ 有り　・ 無し
断熱材	※ 有り（種別：　厚さ：　㎜）　・ 無し
防火性能	※ 屋根30分耐火　・ 無し

● 3. といルーフドレイン
といの材種　※ 配管用鋼管　・ 硬質塩化ビニル管　・ ステンレス　（13.5.2）(表13.5.1)
・ 耐火二層管
※ 耐火二層管は、伸縮継手・掃除口を設け、漏水試験を実施する。詳細は、耐火二層管協会「耐火二層管による建物内雨水排水管の設計施工指針」等による)
・（　）
鋼管製といの防露　※ 表 13.5.4による　（13.5.3）(表13.5.4)
ロックウール又はグラスウール保温筒のホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
といの塗装　・ 行う　（ ※ 合成樹脂調合ペイント塗り　・ グラファイトペイント塗り ）
掃除口　※ 有り　・ 無し
ルーフドレイン　材種は13.5.2による他下記による　（13.5.2）(13.5.3)（表13.5.1）
個所数　※ 図面表示による　・ 下表による

種類	材種			径(φ)	個所数	施工箇所
● ろく屋根用（縦型）	※ 鋳鉄製	・ SCS製	・ SUS製	100	4	屋上-1・2階屋上
● ろく屋根用（横型）	※ 鋳鉄製	・ SCS製	・ SUS製	100	6	屋上-2・渡り廊下屋上
・ バルコニー用	※ 鋳鉄製	・ SCS製	・ SUS製			
・ バルコニー中継用	※ 鋳鉄製	・ SCS製	・ SUS製			
・	※ 鋳鉄製	・ SCS製	・ SUS製			

SCS製：ステンレス鋼鋳鋼品　SUS製：ステンレス鋼
工法　※ コンクート先付　・
※ 軒どいの取付け間隔　（ ※ 1.0m 以下　・ 0.5m 以下 ）（13.5.3）
・ 軒どいの取付け間隔(多雪地域)　（ ・ 1.0m 以下　※ 0.5m 以下 ）

● 4. オーバーフロー管　材種　※ ステンレス　● 塩ビ配管
径(φ)　※ 50　・　施工箇所：　トレンチピット内の既存擁壁部

● 5. 防じん網　材種　※ ステンレス　・
種類　● 縦型用　● 横型用　・ バルコニー用　・ バルコニー中継用
施工箇所：　各屋上ルーフドレン　（図示）

● 6. アルミバンドレスといい　丸形 (呼称)　・ 60φ　・ 89φ　● 114φ　・ 140φ　・ 165φ　・ 210φ
各形 (呼称)　・ 75角　・ 100角　・ 125角　・ 150角
支持金物　・ 高強度支持金物　● 簡易支持金物
電解着色　・ シルバー　● ステンカラー　● ブラック　・（ 特注色 ）
管内面塗装　● エポキシ樹脂塗装40μm以上
製造所（製品名）　タニタハウジングウェア（ビルアルミ丸たてとい）同等品

7. 免震継手及び免震システム　材種　・ 特殊高分子ゴム製　ステンレスフランジ
径（φ）　・　φ
免震継手　製造所（製品名）
免震システム　製造所（製品名）

● 8. 砠受石　コンクリート平板　300×300×60程度
施工箇所：屋上-1　→　2ヶ所、渡り廊下地上面　→　1ヵ所
製造所（製品名）

● 9. 凍結防止ヒーター　種類　● 自己温度制御型ヒーター
製造所（製品名）　→　電気設備工事による

● 14.金 属 工 事
● 1. ステンレスの材種及び表面仕上げ　材質　※ SUS304　・ SUS316L
表面仕上げ　（14.2.1）

種別	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※ HL程度	下記以外の見え掛かり全て
・ 鏡面仕上げ	
・ バフ仕上げ	

● 2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　（14.2.2）(表14.2.1)

種別	種類	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・ BB-1種（無着色）	※ B　・	
● BB-2種（　・ ﾌﾞﾗｳﾝ系　● ﾌﾞﾗｯｸ　・ ｽﾃﾝｶﾗｰ ）	※ B　・	東面ウィング頂部笠木
● C種（ぶっ素樹脂焼付）		AW-6継板

陽極酸化皮膜　※ 二次電解着色
の着色方法　（陽極酸化皮膜厚　※ 9μm以上+合成樹脂塗料皮膜厚　※ 7μm以上　・ 12μm以上）
・ 三次電解着色

3. 鉄鋼の亜鉛めっき　（14.2.3）(表14.2.2)

表面処理方法 (規格名称・番号)	種別	記号又は等級	板厚(㎜)	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき (JIS H 8641)	・ A種	HDZT 77	6 以上	
	・ B種	HDZT 63	3.2 以上	
	・ C種	HDZT 49	1.6 以上	
電気亜鉛めっき (JIS H 8610)	・ D種	5 級	―	
	・ E種	4 級	―	
	・ F種	3 級	―	

溶融亜鉛めっきのりん酸亜鉛処理
・ 行う　施工箇所

● 4. 軽量鉄骨天井下地　天井下地材　（14.4.2）
※ JIS A 6517適合下地材
・ 一般普及材
・ 高耐食天井下地材　施工箇所
・ ステンレス製天井下地材　施工箇所
野縁の仕様及び種類　（14.4.2）(表14.4.1)
※（表14.4.1)による　（ 屋外　・ 19形　※ 25形　屋内　※ 19形　・ 25形 ）
野縁の間隔(屋外の場合)　㎜　（14.4.3）(表14.4.2)
吊りボルトの間隔が(ダクト等により)900㎜を超える場合の補強方法　（14.4.4）
● 監理者との協議による　・ 図示
大規模空間等の天井下地材における耐震性能を考慮した補強
・ 特定天井（6m超高さにある面積200㎡超、質量2Kg/㎡超の吊り天井）
天井特記仕様書による
・ その他の天井（特定天井以外）
適用範囲　※ 図示　・
天井材の質量　・ 2kg/㎡以下　※ 2kg/㎡超～20kg/㎡以下　・ 20kg/㎡超
工法　※ 耐震天井システム
天井面と周囲部位、設備のクリアランス　※ 60㎜以上　・ 計算により　㎜以上
ブレース（斜め部材）数量　※ 計算により負担面積　㎡/対
ブレース（斜め部材）角度　※ 30～60度　・ 40～55度
ふさぎ天井見切り　・ アルミ製　W=　（ ・ 焼付塗装　・　）
製造所（製品名）
屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強　（14.4.4）
※ 行う　（ ※ 補強方法は下記による　・ 補強方法は図示による　・ (-21 ）　・ 行わない
吊りボルト@600以下、ブレース補強（L30×30×3）XY方向共@3,000以下及び野縁受@300以下を原則とするが、耐風圧計算により補強方法を決定すること。
天井ふところの振止め補強（屋内 1.5m未満、屋外 1.0m未満の場合）　（14.4.4）
※ 行わない　● 行う　（ ● (14.4.4(8))による　・ 図示 ）
天井ふところの水平補強・斜め補強（1.5m未満）　（14.4.4）
※ 行わない　● 行う　（ ● (14.4.4(8))による　・ 図示 ）
天井ふところの水平補強・斜め補強（3.0mを超える場合）　（14.4.4）
※ 図示（　）

● 5. 軽量鉄骨壁下地　壁下地材　（14.5.2）
※ JIS A 6517適合下地材
・ 一般普及材
・ 高耐食壁下地材　施工箇所
・ ステンレス製壁下地材　施工箇所
スタッド、ランナ等の仕様及び種類　（14.5.3）(表14.5.1)
※（表14.5.1)及びJIS A 6517による
開口部補強の板厚
※（表14.5.1)による　・ 1.6㎜
高さ5mを超える場合（一般壁）
・ 角型間仕切下地材　・ 軽量鉄骨　製造所（製品名）
鉛入りボード等を使用する場合のスタッド
・ 100形　・

6. 金属成形板張り　（14.6.2）(14.6.3)（表14.2.1）

形状	製法	材種	寸法(㎜)	厚さ(㎜)	表面処理
・ スパンドレル形	・ 押出し	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製			・ BB-1種
	・ ロール	・			・ BB-2種　（ ・ ﾌﾞﾗｳﾝ系
・ パネル形	※ プレス				・ ﾌﾞﾗｯｸ　・ ｽﾃﾝｶﾗｰ ）
					・ ぶっ素樹脂焼付

伸縮調整継手　※ 設けない　・ 設ける（施工箇所は図示）　（14.6.3）
陽極酸化皮膜　※ 二次電解着色
の着色方法　（陽極酸化皮膜厚　※ 9μm以上+合成樹脂塗料皮膜厚　※ 7μm以上　・ 12μm以上）
・ 三次電解着色
防露処理　外部に面する部分は結露防止吹付材 t＝5.0とする

● 7. アルミニウム製笠木　（14.7.2）(表14.2.1)（表14.7.1）

種類	呼称肉厚(㎜)	表面処理	固定間隔	備考
● 250形	1.6以上	※ AB-1種又はBB-1種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当り部等の役物は、本体製造所の仕様による
・ 300形	1.8以上	・ BB-2種（　）		
・ 350形	2.0以上	・ C種（ぶっ素樹脂焼付）		
● 400形	2.5以上			

陽極酸化皮膜　※ 二次電解着色
の着色方法　（陽極酸化皮膜厚　※ 9μm以上+合成樹脂塗料皮膜厚　※ 7μm以上　・ 12μm以上）
（14.7.3）
建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法　※ 図示（　）

8. ガルバリウム鋼板　製造所（製品名）

9. ぶっ素樹脂塗装鋼板　製造所（製品名）

10. パンチングメタル　製造所（製品名）

● 11. エキスパンションジョイント金物　材種　・ ステンレス（SUS304）既製品　● アルミニウム合金既製品
クリアランス　・ 50　● 100　・ 150　・
耐火性能　● 有り（　）・ 無し
防水型　※ 適用する　・ 適用しない
外部に取り付くもの、建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※ 図示（　）
製造所（製品名）床（サイバーナイフ棟側）：エービーシー商会（EU-FX100 耐火仕様）同等品
床（リニアック棟側）：エービーシー商会（EU-FX100 耐火仕様）同等品
内壁：エービーシー商会（EU-BC100）同等品
天井：エービーシー商会（EU-BC100）同等品
外壁：エービーシー商会（EU-100C 耐火断熱仕様）同等品
屋根：エービーシー商会（H350-APW 耐火断熱仕様）同等品

12. 金属製キャットウォーク
・ キャットウォーク
材種　・ 鉄　・
表面処理　・ 亜鉛めっきC種　・
形状及び設置範囲　・ 図示　・
・ 屋外メンテナンスデッキ
材種　・　・
表面処理　・　・
下地鉄骨等　・ 図示　・
形状及び設置範囲　・ 図示　・
製造所（製品名）

13. 金網類等

種類	線径及び網目、規格等	適用	施工箇所
・ ひし型金網		・ SUS　・ 亜鉛めっき	
・ きっ甲金網		・ SUS　・ 亜鉛めっき	
・ 平織金網		・ SUS　・ 亜鉛めっき	
・ クリンプ金網		・ SUS　・ 亜鉛めっき	
・ エキスパンドメタル		・ SUS　・ 亜鉛めっき	
・ 溶接金網（正方形）		錆止め塗料仕(18.3.3)、(表18.3.4)により、仕上は　とする	
・ 溶接金網（長方形）			

亜鉛めっきはJIS G 3547（亜鉛めっき鉄線）による亜鉛めっき鉄線の3種とする。

● 15.左 官 工 事
● 1. モルタル塗り材料　吸水調整材　（15.3.2）

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎟)	界面破断率(%)
表示値±1.0	30分で1ｇ以下	0.98以上	0以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以下	80%以下
	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

膨張性のひび及びそりがないこと

モルタル
● 現場調合材料　（15.3.2）(1)(ｱ)（表15.3.1）
・ 既調合材料　（15.3.2）(1)(ｲ)）
製品名・配合等特記

吸水調整材　（15.3.2(4)）(表15.3.2)
下地調整塗材はJIS A 6916に基づくものとする　（15.3.2(5)）
既製目地材　（15.3.2(6)）
適用箇所
形状

調合及び塗厚　（15.3.3）
天井で耐防火上の指定がある場合、塗厚を20mm以上とする箇所　※ 図示

接着力試験　（15.3.5）
下地モルタル塗り(外装タイル張り下地等)　● 試験する　・ 試験しない
抽出方法　※ 監理者と協議　・ 図示　・ 同一施工サイクルに1箇所
下地調整塗材塗り　● 試験する　・ 試験しない
抽出方法　※ 監理者と協議　・ 図示　・ 同一施工に1箇所

2. 下地
・ ラス系下地　（15.2.4）

・	下地の種類	素材による区分	種類及び単位面積当たりの質量		
		ラス及び補強用平ラス	ラス		補強用平ラス
外壁通気工法	・ 二層下地	・	※ 波形ラス(W700) ・ こぶラス(K800) ・ 力骨付きラス(BP700)		・ (F450)
	・ 単層下地	・	※ リブラスC(RC800)に裏打ち材と一体化したラス ・		・ (F450)

・	下地の種類
直張り工法	・ ラスモルタル下地
	・ ラスシートモルタル下地
	ラスシート　※ 角波亜鉛鉄板ラス(JIS A 5524) ラス目による区分　※ M　・ 山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 耐力壁　・ LS1　・ LS2　・ LS1　※ LS4 耐力壁以外　・ LS1　・ LS2　・ LS1　・ LS4 ・

建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定がある箇所　※ 図示

ステープル(JIS A 5556)　※ L925TS(リブラスC(RC800)の場合)
※ L1019JS(波形ラス(W700)の場合)

・ せっこうボードその他のボード下地　（15.2.5）

下地の種類	適用規格番号	種類(記号)・厚さ及び適用箇所
・ せっこうボード	JIS A 6901	※ 図示
・ 木モセメント板	JIS A 5404	※ 図示

● 3. 床コンクリートの直均し仕上げ　※ 下表以外は(表6.2.4)及び(15.4.2)による　（表6.2.5）(15.4.1)（15.4.2）

施工箇所	平たんさ(㎜)	備考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	3mにつき7以下	

5. セルフレベリング　（15.5.1）～(15.5.5)（表15.5.1）

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図名	特記仕様書ー4
縮尺	―
日付	2025/12（令和7年）

意匠
A104

材塗り

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・せっこう系	※ 10 ・	
・セメント系	※ 10 ・	
・高強度型セメント系	※ 10 ・	

製造所（製品名）

● 6. 仕上塗材仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	
		・平たん状 ・凹凸状	こて塗り	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
		・着色骨材砂壁状	吹付け	
		・着色骨材砂壁状	こて塗り	
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	
		・平たん状 ・凹凸状	こて塗り	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
		・凹凸状	吹付け	
	・外装薄塗材S	砂壁状	吹付け	
	・内装薄塗材C	・凹凸状	吹付け	
	・内装薄塗材L	・平たん状 ・凹凸状	こて塗り	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
	・内装薄塗材Si	・砂壁状じゅらく	吹付け	
	・内装薄塗材E	・ゆず肌状		
		・平たん状 ・凹凸状	こて塗り	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
	・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく	吹付け	
		・ゆず肌状		
		・平たん状 ・凹凸状	こて塗り	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	
		・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
		・ひき起こし		
		・かき落とし		
	・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	吹付け	
	・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
		・ひき起こし	・ローラー	
	・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	
		・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
		・ひき起こし		
		・かき落とし		
	・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・内装厚塗材G	・ひき起こし		
		・かき落とし		
	・内装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	吹付け	
	・内装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
		・ひき起こし	・ローラー	
● 複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性
	・複層塗材RE	・凸部処理 ※ 凹凸状	吹付け	・耐候形１種
	・複層塗材Si			・ﾌｯｿ系
	・複層塗材E			・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系
				・耐候形２種
	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	※ 耐候形３種
		・凸部処理 ※ 凹凸状	吹付け	上塗材
				溶媒 ※ 水系
	・防水形複層塗材CE	● ゆず肌状	ローラー	・溶媒系
	・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ◎ 凹凸状	吹付け	・溶媒系
	● 防水形複層塗材E			樹脂 ※ アクリル系
				・
				外観 ◎ つやあり
				・つやなし
				● メタリック
				防水形の増膜材
				※ 行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	※ 砂壁状	吹付け	
	・こて塗用軽量塗材	※ 平たん状	こて塗り	

仕上塗材は、JIS A 6909 (建築用仕上塗材) によるものとする。
内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆
外装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆
防火材料の指定 (15.6.2)
※ 屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする
内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材を用いる場合
※ JIS A 6909 に基づく［調湿形］の表示のあるものを使用する
※ 適用箇所は図示

複層仕上塗材の耐候性
※ サンドセラミック調装飾仕上塗材（HL仕上）
製造所（製品名）エスケー化研（ サンドエレガンテ 微弾性仕様 ヘアーライン仕上げ ） 同等品

複層仕上塗材の上塗材
※ サンドセラミック調装飾仕上塗材（テール仕上）
製造所（製品名）エスケー化研（ サンドエレガンテ 微弾性仕様 テール仕上げ ） 同等品

複層仕上塗材の上塗材
※ 水性反応硬化形弾性アクリルシリコン樹脂塗料
製造所（製品名）エスケー化研（ 水性弾性コンポシリコン ） 同等品

● 5. ロックウール吹付け

鉄骨工事における耐火被覆を除く (15.12.1)～(15.12.4)(表15.12.1)

種類	色彩	仕上げ吹付け厚さ(mm)			施工箇所
※ 乾式	・着色	・25	・35	・	
● 半乾式	・着色	・25	・35	● 65	図示

ロックウールのホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆
接着剤(合成樹脂系)のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆

6. ﾏｽﾁｯｸ塗材塗り

マスチック塗材塗り (15.7.1)(15.7.2)(表15.7.1)

種別	施工箇所
・A種 ・B種	

7. せっこうプラスター塗り

せっこうプラスター塗り(下塗り及び中塗り) (15.8.1)～(15.8.6)(表15.8.1)

下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター(JIS A 6904)	施工箇所
※ 既調合プラスター (下塗り用) ・ 現場調合プラスター (下塗り用)	

※下地がせっこうボードの場合、既調合プラスター (下塗り用)とする

せっこうプラスター塗り(上塗り) (15.8.1)～(15.8.6)(表15.8.1)

上塗りに用いるせっこうプラスター(JIS A 6904)	施工箇所
・既調合プラスター (上塗り用)	

● 16.建 具 工 事

1. 見本の製作等
建具見本の製作 ※ （建具番号： ） ・適用なし (16.1.4)
特殊な建具の仮組（建具番号 ※ （建具番号： ） ・適用なし

2. 防火戸
防火戸の指定 ※ 図示（ ）による ・適用なし (16.1.3)
自動閉鎖機構及び防火戸、ヒューズ装置、熱・煙等感知器との連動
※ 図示（ ）による ・適用なし

3. 防犯建物部品
防犯建物部品の選用 ※ 図示（ ）による ・適用なし (16.1.6)

● 4. 建具の性能及び構造 (16.2.2(11))
ドアセット ※ JIS A 4702 (ドアセット) ・（普及品 ）
サッシ ※ JIS A 4706 (サッシ) ・（普及品 ）

● 5. 網戸等
防虫網 (16.2.3)
形式 ◎ 外部可動式 ● 内部可動式 ・固定式
網の種類 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製 ・合成樹脂製
網目 ※ #16～18 ・#20 ・
防鳥網 (16.2.3)
網の種類 ※ ステンレス (SUS304) 線材 ・（ ）
線径 ※ 1.5㎜ ・（ ）㎜
網目寸法 ※ 15㎜ ・（ ）㎜

● 6. アルミニウム製建具
外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地） (表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
● A種	S-4	※ A-3	※ W-4	※ 70	※ 図示
・B種	S-5	・	・	・100	※ 図示
● C種	S-6	● A-4	● W-5	※ 100 ● 70	※ 図示

外部に面する建具の性能等級等（木下地） (表16.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・D種	S-2	・A-3	・W-3	※ 100 ・	※ 図示
・E種	S-3	・A-3	・W-3	※ 100 ・	※ 図示

外部に面する建具
表面処理 無着色 ※ BB-1種 ・（ ） (14.2.2)(表14.2.1)
着色 ● BB-2種 ・（ ）
着色色（ ※ ブラウン系 ● ブラック ● ステンカラー ）
屋内建具 (14.2.2)(表14.2.1)
表面処理 無着色 ※ AC-1種又はBC-1種 ・AC-1種 ・BC-1種 ・（ ）
着色 ・AC-2種又はBC-2種 ・AC-2種 ・BC-2種 ・（ ）
着色色（ ※ ブラウン系 ● ブラック ● ステンカラー ）

陽極酸化皮膜 ※ 二次電解着色 (16.2.4)(14.2.2)
の着色方法 ・三次電解着色
ステンレス製くつずり ● 使用する （ 仕上 ※ HL ・ ） (16.2.4)

防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性 (16.2.2)
※ 該当する建具は等級を図示 ・該当する建具なし
断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性 (16.2.2)
※ 該当する建具は等級を図示 ・該当する建具なし ● H-3
耐震ドアとする場合の面内変形追随性 (16.2.2)
※ 該当する建具は等級を図示 ・該当する建具なし
結露水の処理方法 (16.2.4)
※ 製造所の標準仕様で設ける ・図示（ ）による
水切り板、ぜん板等 (16.2.5)
※ 製造所の標準仕様で設ける ・図示（ ）による

● 8. 鋼製建具
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2)(表16.4.1)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・適用しない
特定防火設備の戸 ・適用する (表16.4.2)

外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地） (表16.2.1)(表16.4.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※ A-3	※ W-1	※ 70	※ 図示
・B種	S-5	・	・	・100	※ 図示
● C種	S-6			※ 100 ・	※ 図示

扉・枠ともFLからt=1.0までSUS HL仕上げとする。
品質規格
※ 建築工事標準仕様書(16.5節)による
※ 製造所標準仕様による（製造所： ）
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.5.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・適用しない
召合わせ、縦小口包み板等の材質 (16.5.3)
※ 鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材
鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さ (16.5.4)(表16.5.1)

区 分	使 用 箇 所		厚 さ (mm)
枠 類	一般部分		※ 1.6 ・
	くつずり		※ 1.5 ・
戸	表面板		※ 0.6以上 ・
	力骨、中骨		※ 1.6 ・
	召合わせ	鋼板	※ 0.6以上 ・
	縦小口包み板	ステンレス鋼板	※ 0.6以上 ・
	押縁	アルミニウム押出形材	・
その他	額縁、添え枠		※ 1.6 ・
補強板の類			※ 2.3以上 ・

製造所（製品名）

● 10. ステンレス製建具
材質 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1（屋外はSUS304） ・SUS316L
表面仕上げ ※ HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・ (16.6.4)
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・角出し曲げ（補強有り） (16.6.5)
種類 ※ スライディングドア ・回転ドア ・スイングドア ・大型回転ドア
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.6.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・適用しない
特定防火設備の戸 ・適用する (表16.6.1)
外部に面するステンレス製建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地） (表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・A種	S-4	※ A-3	※ W-4	※ 図示
・B種	S-5	・	・	※ 図示
・C種	S-6	・A-4	・W-5	※ 図示

耐震ドアとする場合の面内変形追随性 (16.2.2)
※ 該当する建具は等級を図示 ・該当する建具なし
製造所（製品名）

● 11. 自動ドア開閉装置及び自動ドアガード
自動ドア開閉装置の安全性全般 (16.9.2)
※ JIS A 4722（歩行者用自動ドアセット一安全性） ・
（ただし、多機能トイレ出入口に設置するものを除く）
駆動装置の性能値
多機能トイレ出入口に設置するもの以外
※ 引き戸用駆動装置の場合、(表16.9.1)による (表16.9.1)
・
多機能トイレ出入口に設置するもの
※ 引き戸用駆動装置の場合、(表16.9.2)による (表16.9.2)
・
機構 (16.9.3)
検出装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、(表16.9.3)による (表16.9.3)
・
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 (表16.9.4)

戸の開閉方式	引き戸用検出装置の種類
※ スライディングドア	● 光線（反射）センサー
・スイングドア	・音波センサー
・回転ドア	・電波センサー
・大型回転ドア	● 押しボタンスイッチ
・	※ 熱線センサー
・	・光電センサー
	・タッチスイッチ （ ・無線式 ・光線式（非接触））
	・押しボタンスイッチ
	・車椅子使用者用操作スイッチ （ ・大型押しボタン ・非接触 ）
	・フットスイッチ
	・壁付型センサー（非接触スイッチ）
	・

安全用光電スイッチ ● 有り（ ・1段 ● 2段 ）
寒冷地における凍結防止措置 ・行う（ガイドレール部に凍結防止用ヒーター組込）

開作動時の安全対策
・ガードスクリーン
フレーム ・図示 ・ステンレス （仕上 ・HL ・鏡面 ）
面材 ・図示 ・透明強化ガラス （厚さ ）
・自動ドアガード（保護柵）
フレーム ・図示 ・SUS304 FBt=5 HL程度 ・SUS304 φ42.7×2.0 HL程度
パネル ・図示 ・ポリカーボネート ・
● 保護装置（開保護センサー）
製造所（製品名） ナブコシステム（ロスカ）同等品

● 12. 自閉式上吊り引戸装置
性能等 ※（16.10.3)による ・製造所標準仕様による（16.10.1)～(16.10.4)(表16.10.1)
製造所 くろがね工作所（アキュドアユニット） 同等品

13. 自閉式開閉折戸
開閉方式 ・双方向 ・片方向
額及びガラリ等の塗装 ・行う（アクリル樹脂焼付塗装）
キックプレート ・有（ステンレスSUS304t=1.0 HL H=300）
製造所（製品名）

● 14. 木製建具
建具材の加工及び組立時の含水率 (16.7.2)(表16.7.1)

種別	加工及び組立時の含水率（質量百分率）	建具符号
・A種	15%以下	
※ B種	18%以下	WD-1

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） (16.7.2)
フラッシュ戸の普通合板の板面の品質 ※ 広葉樹１等 ・（ ） (16.7.2)
ふすまの種別 ・Ⅰ型 ※Ⅱ型 ・適用種別は図示
ふすまの上張り ※ 新鳥の子又はビニル紙程度（押入れ等の裏面は除く） ・鳥の子 (表16.7.3)
材料等のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (16.7.2)
フラッシュ戸の表面板の厚さ (16.7.3)(表16.7.6)

表 面 材	厚さ(mm)
・普通合板	※ 2.5 以上 ・ ・図示
・天然木化粧合板	※ 3.2 以上 ・ ・図示
● 特殊加工化粧合板	※ 2.4 以上 ・ ・図示

各木製建具の見込み寸法 (16.7.3)(表16.7.7)

名 称	見込み寸法(mm)
● かまち戸	※ 36 ・ ・図示
・ふすま戸	※ 19.5 ・ ・図示
・戸ふすま	※ 30 ・ ・図示
・紙張り障子	※ 30 ・ ・図示

フラッシュ戸引戸の定規縁 召合せかまち ※ いんろう付き ・適用しない (16.7.4)(表16.7.8)

15. 特殊な性能の建具 (16.2.2～16.6.2)

種類	性能等級	建具符号
・防音ドアセット	遮音性 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4	
・防音サッシ		
・断熱ドアセット	断熱性 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4	
・断熱サッシ	・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8	
・耐震ドアセット	面内変形追随性 ・D-1 ・D-2 ・D-3	

16. 特殊防火戸
・ガラス入り防火戸 品質・規格 製造所
・木製防火戸 品質・規格 製造所
・

17. その他の建具
・エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等

● 18. 建具用金物
下記以外は建具表による (16.8.4)
マスターキー ※ 製作する ・製作しない
種類・個数
※ マスターキー（MK） 3 個 ・グランドマスターキー（GMK） 個
・グレートグランドマスターキー（GGMK） 個
・逆マスターキー（RMK） 個

建具金物（下記以外は建具表、標準仕様書による）

ヒンジ	・ロングヒンジ	製造所（製品名）
	・	
取手	● レバーハンドル	製造所（製品名）ユニオン（UL1007-001、UL1045）同等品
	● 引き手	製造所（製品名）ユニオン（G1121-01-023）同等品
	● 押棒	製造所（製品名）ユニオン（G1179）同等品
	・押板	製造所（製品名）
	・	
	・	

シリンダーサイド 建具表に特記なき場合は、外側シリンダー、内側サムターンとする。
軸吊りヒンジ 建具表に特記なき場合は、自閉装置なしとする。
ドアクローザー 建具表に特記なき場合は、ドアクローザーのディレードアクション機能なしとする。
戸当り 建具表に特記なき場合は、あおり止め(フック)なしとする。

● 19. ガラス
下記以外は建具表による (16.14.2)
JIS R 3205

	品種	構成種類
・合わせガラス	※ フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス
	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス

JIS R 3206

	材料板ガラスによる種類	種類
● 強化ガラス	※ フロート強化ガラス	※ フロート板強化ガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス
	・型板強化ガラス	※ 型板強化ガラス

JIS R 3208

	品種	色調
・熱線吸収板ガラス	※ 熱線吸収フロート板ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

JIS R 3209

	品種	板ガラスの組み合わせ
● 複層ガラス	● 断熱複層ガラス	図示
	・日射熱遮へい複層ガラス	

JIS R 3221

	品種	反射被膜面	色調	映像調整
・熱線反射板ガラス	※ 熱線反射ガラス	※ 内面 ・外面	・ブルー ・グレー	※ 行わない
	・高性能熱線反射ガラス	・内面	・ブロンズ ・シルバー	・行う

製造所

JIS R 3222

	板ガラスによる種類	色調
・倍強度ガラス	※ 倍強度フロート板ガラス	-
	・倍強度熱線吸収板ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・

JIS A 5212

	寸法(mm)	色調	パターン	防火性能
・ガラスブロック		※ クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー（ ）		※ 無し ・有り

規格 JIS A 5212に準ずる (16.14.5)
材料 (16.14.5)
壁用金属枠及び補強材 ※ 図示 ・
力骨の材質、寸法及び形状 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 径5.5mm のはしご形状複筋及び単筋
・
シーリング材(9.7)による ※ SR-1 ・
工法 (16.14.5)
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法

目地幅の寸法
平積みの場合 ※ 8㎜以上、15㎜以下とする
・
曲面積みの場合 ※ 曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10倍以上とし、
外側15㎜以下、内側6㎜以上とする
・
伸縮調整目地の位置 ・6m以下ごとに幅10～25㎜の伸縮調整目地を設ける
・

● 20. ガラス留め材及び溝
ガラス留め材 (16.14.2)(16.14.3)(図16.14.1)
※ 建具の製造所の仕様による。但し、ガスケットを使用する場合には、ガスケットの使用温度範囲による区分の特記事項を満たすこと。
・下表による

建具の種類	種 類	
	シーリング材 (9.7)	ガスケット JIS A 5766
アルミニウム製	※ SR-1 ・	・種類は下表「ガスケットの種類」による 但し、FIX部はシーリング材とする
鋼製及び軽量鋼製	※ SR-1 ・	
ステンレス製	※ SR-1 ・	

ガスケットの使用温度範囲による分類

記 号	使用温度範囲	特 記 事 項
・T1	−20℃～+70℃	
・T2	−20℃～+85℃	主成分 PVC軟質系、CR発泡系、CR硬質系は使用しない
・T3	−40℃～+70℃	
・T4	−40℃～+85℃	主成分 PVC軟質系、CR発泡系、CR硬質系は使用しない

ガスケットの種類
※ 建具の製造所の仕様による、但し、ガスケットの使用温度範囲による区分の特記を満たすこと。
・下表による

性 状	形 態	主 成 分
・Ss(軟質系) ・Cl(発泡系) ・Hm(硬質系)	・Sf(単一成形品) ・Mf(多重成形品)	・SR(シリコーンゴム系) ・EPDM(エチレン・プロピレンゴム系) ・CR(クロロプレンゴム系) ・TPE(サーモ・プラスチック・エラストマー系) ・PVC(ポリ塩化ビニル系)

ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする
板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.14.3)(図16.14.1)
(16.14.3)以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(一社)日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監理者に提出する

● 21. ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
◎ ガラス飛散防止フィルム	第２種	※ 内張り ・外張り	飛散防止率 D１
● 視線遮へいフィルム	第２種	※ 内張り ・外張り	飛散防止率 D１
・太陽光屈折フィルム			
・			

品質 JIS A 5759による
製造所（製品名） GF（1）サンゲツ（ CLEAS GF1864 ）同等品 1階廊下管理扉
GF（2）サンゲツ（ CLEAS GF1909 ）同等品 1階放射線科自動ドア
GF（3）サンゲツ（ CLEAS GF1902 ）同等品 1階各所外部・内部建具
GF（4）サンゲツ（ CLEAS GF1204 ）同等品 2階各所外部建具

強化ガラスの飛散防止フィルム張り ※ 行う ・行わない

27. 可動間仕切 (20.2.3) JIS A 6512

構造形式	パネル部分の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	仕上げ
※ スタッド式(スタッド内蔵) ・スタッド式(スタッド露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式	・60 ・80 ・	※ 鋼板 （ ※ 0.6 ・0.8 ）	※ メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付塗装 ・

品質 ※ JIS A 6512による ・

件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図名 特記仕様書ー5		意匠
縮尺 ―	日付 2025/12（令和7年）	A105

不燃材料の認定　・有り
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
遮音性(dB/500Hz)　・0　・12　・20　・28　・36　・(　　)
製造所（製品名）

● 28. 移動間仕切　(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ		施工箇所
・一般タイプ（36db未満）	・	※ 鋼板	・焼付塗装	・壁紙張り	
● 遮音タイプ（36db以上）	● 60	※ 鋼板	・焼付塗装	● 塩ビﾌｨﾙﾑ	2階大会議室

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音タイプはJIS A 6512の遮音試験に準拠し、透過損失として36db以上のもの
取り付け方法は製造所の仕様により、適切な資料を監理者に提出する
製造所（製品名）　小松ウォール（ライトリーウォール　LW-60D）問等品

29. アコーディオンカーテン
材質　※ 塩ビレザー　・
たたみ込み幅　※ 約120　・
製造所（製品名）

30. 防水（止水）板及び防水（止水）ドア
想定浸水深　設計GL+　　m
防水板

種類	設置高さ(mm)	仕様	中柱	漏水量による等級(相当)
・ 脱着式アルミ防水板	※ ・ 図示	・ アルミ押出型材 ・ アルミハニカム	・ あり ・ なし	※ Ws-5　・ Ws-4 ・ Ws-
・ シート式防水板	※ ・ 図示	※ 床下収納式 ・	・ あり ・ なし	※ Ws-6　・ Ws-5 ・ Ws-
・ 起伏式防水板	※ ・ 図示	・ 自動浮力式 ・ 手動油圧式 ・ 電動油圧式		※ Ws-6　・ Ws-5 ・ Ws-4　・ Ws-
・ スィング式防水板	※ ・ 図示	・ ステンレス製 ・ スチール製 ・ アルミ製		※ Ws-6　・ Ws-5 ・ Ws-
・ 簡易脱着式	※ ・ 図示	・ アルミ製 ・ ポリカーボネート製 ・ シート製		・ Ws-5　・ Ws-4 ・ Ws-3　・ Ws-2 ・ Ws-1
・	※ ・ 図示	・		・

製造所（製品名）

防水ドア、防水シャッター

種類	設置高さ(mm)	仕様	片開き扉ハンドル	漏水量による等級(相当)
・ 防水ドア（非水没）	※ ・ 図示	・ ステンレス製 ・ スチール製	※ レバー ・ グレモン	・ Ws-5　・ Ws-4 ・ Ws-
・ 防水ドア（水没）	※ ・ 図示	・ ステンレス製 ・ スチール製	※ グレモン	・ Ws-5　・ Ws-4 ・ Ws-
・ 防水シャッター	※ ・ 図示	・ ステンレス製 ・ スチール製	※ レバー ・ グレモン	・ Ws-5　・ Ws-4 ・ Ws-
・	※ ・ 図示	・	・	・

製造所（製品名）

● 17.カーテンウォール工事

● 1. メタルカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による
カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

種類	規格等
※ アルミニウム製	※（16.2.3)のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォールの方式
● 方立方式
・ バックマリオン方式　（ ・ 単純2辺支持構法　・ SSG構法　）
・ スパンドレル方式
・ パネル方式
・ 小型パネル組み合わせ方式　（ ・ ノックダウン方式　・ ユニット方式 ）

シーリング及びガラス取付材料　(9.7.2)(17.2.2)(表9.7.1)

被着体の組み合わせ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス	SR-2	2成分形シリコーン系	10030
	石、タイル			
ガラス	ガラス	SR-2	2成分形シリコーン系	10030

上記以外のシーリング材の種類は(表9.7.1)による
構造用ガスケット　※ 適用しない　(17.2.2)
・ 適用する（施工箇所：　　）
断熱材　※ 適用しない　(17.2.2)
● 適用する（種類：吹付材・成形板、厚さ(mm)：25　施工箇所：　※ 図示 ）
製品の寸法許容差　※（表17.2.1)による　(17.2.3)(表17.2.1)
・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理　(17.2.3)(表14.2.1)

種別	色彩等
・ A-1種　・ B-1種	無着色
・ A-2種　● B-2種	※ ブラウン系　● ブラック　・ ステンカラー　・
・ 着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

陽極酸化皮膜の着色方法　※ 二次電解着色
（陽極酸化皮膜厚　※ 9μm以上+合成樹脂塗料皮膜厚　※ 7μm以上　・ 12μm以上）
・ 三次電解着色

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※ 建築基準法施行令第82条の5及び建設省告示第1458号に定められた風圧力に対して安全であること
● 正圧　1340 N/㎡以上及び負圧　840 N/㎡以上に対して安全であること

主要部材のたわみ

支点間距離(h)	たわみ量	状態
※ 4m以下	※ ±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下	※ 各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと
・ 4mを越える	・	

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向(KH)　※ 1.0　・
垂直方向(KV)　※ 0.5　・

構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※ ±(1/100)×h以上 ・	※ 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないシーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ ±(1/200)×h以上 ・	

水密性　・ W-4　● W-5　・　(17.1.3)

気密性　・ A-3　● A-4　・　(17.1.3)
耐火性能　※ 適用しない　・ 適用する（　時間、施工箇所：図示　）
映像調整　適用は16章建具工事の13節ガラスによる
製造所

● 18.塗装工事

● 1. 材料
屋内の壁、天井仕上げ材は、防火材料とする　(18.1.3)
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

● 2. 素地ごしらえ
鉄鋼面　(18.2.3)(表18.2.2)

7節（DP）の場合	・ A種	※ B種	・ C種
上記以外	・ A種	・ B種	※ C種

亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種別　(18.2.4)(表18.2.3)(表18.3.4)

種別	及び塗料種別
・ A種	※ 塗り工法に応じた節の規定による　・
・ B種	※ 塗り工法に応じた節の規定による　・

モルタル及びせっこうプラスター面　(18.2.5)(表18.2.4)
・ A種　※ B種
コンクリート、ALCパネル面（7節（DP）を除く）　(18.2.6)(表18.2.5)
・ A種　※ B種
押出成形セメント板面及び7節（DP）におけるコンクリート面　(18.2.6)(表18.2.6)
（塗り工法に応じた節の規定による）
● A種　※ B種
せっこうボード、その他ボード面　(18.2.7)(表18.2.7)
せっこうボードの目地処理が継目処理工法の場合　※ A種　・ B種
上記以外　・ A種　※ B種

● 3. 錆止め塗料塗り
鉄鋼面の錆止め塗料の種別　(18.3.2)(表18.3.1)

8節（EP-G）の場合	・ As種	※ Bs種
その他	※ As種	・

亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別　(18.3.2)(表18.3.2)

8節（EP-G）の場合	※ Cz種	・
その他	・ Az種	※ Bz種

錆止め塗料塗りの工程種別（7節（DP）を除く）　(18.3.3)(表18.3.3)(表18.3.5)

鉄鋼面	見え掛かり部分	※ A種	・ B種
	見え隠れ部分	・ A種	※ B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製の建具等	※ A種	・ B種
	鋼製の建具等以外	・ A種	※ B種

B種に用いる錆止め塗料は、表18.3.2のB種とし、8節の場合はC種とする。

● 4. 耐候性塗料塗り（DP）
鉄鋼面の耐候性塗料塗り及び亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗りの工程(18.7.2)(18.7.3)(表18.7.1)(表18.7.2)

塗装面	上塗り塗料（種類・等級）	施工部位
・ 鉄鋼面	・ ぶっ素樹脂（1級） ・ シリコーン樹脂（2級） ・ ポリウレタン樹脂（3級）	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ ぶっ素樹脂（1級） ・ シリコーン樹脂（2級） ・ ポリウレタン樹脂（3級）	

コンクリート面の耐候性塗料塗り及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗りの工程　(18.7.4)(表18.7.3)

塗装面	工程・上塗り塗料（種類・等級）	施工部位
・ コンクリート面	・ A種　ぶっ素樹脂（1級） ・ B種　シリコーン樹脂（2級） ・ C種　ポリウレタン樹脂（3級）	
● 押出成形セメント板面	● A種　ぶっ素樹脂（1級） ・ B種　シリコーン樹脂（2級） ・ C種　ポリウレタン樹脂（3級）	

● 5. コンクリート系素地に対する透明塗料
● 浸透性吸水防止材　製造所（製品名）　日本ペイント（　キソエース　）　問等品
・ 常温乾燥形ふっ素樹脂クリヤ　製造所（製品名）
・ アクリルシリコン樹脂クリヤ　製造所（製品名）
・ 2液型ポリウレタン樹脂クリヤ　製造所（製品名）

6. 特殊塗料
・ 遮熱塗料　製造所（製品名）
・ 光触媒塗料　製造所（製品名）

● 19.内装工事

● 1. 接着剤
接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(19.2.2)(19.3.3)(19.5.5)(19.5.6)(19.7.2)(19.8.2)
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

● 2. ビニル床シート張り　(19.2.2)(19.2.3)

種類及び記号	表示略号	厚さ(mm)	工法	模様張り	製造所（製品名）
● 発泡層あり	VS(1)	※ 2.0 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ● 行う	東リ（ホスビリュームNW）問等品
● 発泡層なし	VS(2)	※ 2.0 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	東リ（フロアリュームNW）問等品
● 発泡層なし	VS(3)	※ 2.0 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	東リ（消臭NSトワレNW）問等品
● 発泡層なし	VS-E	※ 2.0 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	東リ（帯電防止フロアリューム）問等品

VS-E：　体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10^9Ω以下、
または、漏えい抵抗値（JIS A 1454による）1.0×10^{10}Ω未満

3. ビニル床タイル張り　(19.2.2)

種類及び記号	表示略号	厚さ(mm)	製造所（製品名）
・	VT	※ 2.0 ・	
・	VT(1)	※ 2.0 ・	
・	VT(2)	※ 2.0 ・	
・	VT-E	※ 2.0 ・	

VT-E：　体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10^9Ω以下、
または、漏えい抵抗値（JIS A 1454による）1.0×10^{10}Ω未満

4. 天然リノリウム床シート張り　(19.2.3)

種類及び名称	表示略号	厚さ(mm)	工法	模様張り	製造所（製品名）
・ 天然リノリウム床シート	LS	※ 2.5 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	
・ 天然リノリウム床シート	LS(1)	※ 2.5 ・	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	

5. ゴム床シート張り及びゴム床タイル張り　(19.2.2)(19.2.3)

種類及び名称	表示略号	主原料	厚さ(mm)	工法	製造所（製品名）
・ ゴム床シート	RS	※ 単層 ・ 積層		・ 熱溶接 ・ 突付け	
・ ゴム床タイル	RT	※ 単層 ・ 積層			

● 6. ビニル幅木　(19.2.2)

種類及び名称	表示略号	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
● 軟質	VB	※ 2.0 ・	● 60　・ 75　◎ 100 ・ 300　・ 350　・	
・ 半硬質	VB-F	※ 2.0	・ 60　・ 75　※ 100　・ 330	
・ 硬質	VB-H	※ 2.5	・ 100	

7. その他の幅木

種別	表示略号	厚さ(mm)	高さ(mm)	材種及び仕上げ	備考
・ 木製					
・ 金属					
・ モルタル					
・ アルミ					R巾木

● 8. カーペット敷き
・ 織じゅうたん　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)(表19.3.2)

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	製造所（製品名）
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループパイル併用	人体帯電性 ※ 3kv以下 ・	※ 単一色（無地） ・ 柄物（標準色） ・	

・ タフテッドカーペット　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性	製造所（製品名）
・ カットパイル ・ マルチレベルループ ・ レベルループパイル ・ カット、ループ併用	※ 5～7　・ ※ 4～6　・ ※ 4　・ ・　・	※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	人体帯電圧 ※ 3kv以下 ・	

● タイルカーペット　※ナイロン製　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	種別	パイル縦重量(g/㎡)	電気抵抗値(Ω)	製造所（製品名）
※ ループパイル ・ カットパイル	※ 第一種 ・ 第二種	※ 780 ・	※ 適用しない ・ 10^6Ω以下	サンゲツ（シャドウコントラストF）　問等品

・ マットカーペット

どろよけ	種類	パイル素材	タフト規格	パイル重量(g/㎡)	厚さ(mm)
及び水ふき用	タフテッド	ポリアミドナイロン100%	1/10ゲージ	900	9.0

製造所（製品名）

9. 合成樹脂塗床　(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～表19.4.8)

型別	種別	工法及び仕上げ
厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	※ 薄膜流し展べ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ） ・ 厚膜流し展べ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ） ・ 樹脂モルタル工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ）
薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	※ 薄膜型塗床工法（平滑）

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
製造所（製品名）

10. 床用塗料塗り
材質　ウレタン樹脂系塗料　（ ※ 標準色　・　）
仕上種別　※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りの上、主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

● 11. 防塵用塗料塗り
材質　・ 水性アクリル樹脂系塗料　（ ※ 標準色　（ ※ グレー系　）・　）
● 特殊型ウレタン樹脂系防塵塗料（ ※ 標準色　（ ※ グレー系　）・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする
製造所（製品名）　ABC商会（カラートップU　コーティング工法）　問等品

14. ポリスチレンフォーム床下地
畳下地　厚さ(mm)　※ 40　・ 65　・ 80　・
フローリング類下地　厚さ(mm)　※ 80　・ 95　・

15. 緩衝材
浮き床用ロックウール緩衝材（JIS A 6321）
・ 1種(100～150kg/m^3)　・ 2種(100～200kg/m^3)　・ 3種(150～250kg/m^3)

● 16. せっこうボード及びその他のボード張り
ボード張りに使用する製品の図面等での表現は下記の表示略号、または、（表19.7.1）に示される
JIS A 6901 等の規格に示されている GB-R-H-Hc 等の記号を用いる。
せっこうボード製品　JIS A 6901(表19.7.1)

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)
● せっこうボード(壁)	GB-R	－	・ 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
● せっこうボード(天井)			・ 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
● シージングせっこうボード	GB-S	－	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(準不燃)　● 12.5(不燃)
・ 強化せっこうボード	GB-F	－	・ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)　・ 21(不燃)
● 普通硬質せっこうボード	GB-H	－	・ 9.5(不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ せっこうラスボード	GB-L	－	※ 9.5
● 不燃積層せっこうボード	GB-NC	模様なし	※ 9.5(不燃)
	GB-NC(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾃｨﾝ	・ 9.5(不燃)
・ 化粧せっこうボード	GB-D(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾃｨﾝ	・ 9.5(準不燃)
	GB-D(W)	木目模様	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(不燃)
・ 吸音用あなあきせっこうボード	GB-P	－	※ 9.5(準不燃)
・ 繊維混入せっこうボード	FGB	－	・ 5　・ 6　・ 8　・ 10 製造所（製品名）
・			

繊維強化セメント板　JIS A 5430(表19.7.1)

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)
・ けい酸カルシウム板（無石綿）0.8Kタイプ2	0.8FK	－	・ 6　・ 8　・ 10　・ 12
・ 吸音用穴あきけい酸カルシウム板	FK-P	－	・ 6　・
・ フレキシブル板（無石綿）	フレキ板	－	・ 4　・ 6　・ 8　・

繊維板及びパーティクルボード　JIS A 5905・JIS A 5908(表19.7.1)

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)
・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	ホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆	・ 3　・ 7　・ 9 ・ 12　・ 15　・
・ パーティクルボード	－	・ F☆☆☆	・ 10　・ 12　・ 15 ・ 18　・ 20　・

吸音材料　JIS A 6301(表19.7.1)

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)及び仕様
● ロックウール化粧吸音板	DR	普通	※ 9　・ 12
	DR(凹凸)	立体模様	※ 12　・ 15　・ 19
・ ロックウール化粧吸音板（軒天用）	DR(軒天)	普通	※ 9(不燃(個))
	DR(軒天凹凸)	立体模様	※ 12(不燃(個))　・ 15(不燃(個))
・ ロックウール吸音板	RW-B	1号	※ 25　・ 50
・ ロックウール吸音フェルト	RW-F		
● グラスウール吸音ボード	GW-B	2号64K	※ 25（ガラスクロス包み） ● 50（ガラスクロス包み）
・ グラスウール吸音フェルト	GW-F		

木質系セメント板　JIS A 5404(表19.7.1)

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)
・ 硬質木毛セメント板	HW	－	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 普通木毛セメント板	NW	－	・ 15　・ 20　・ 25　・

特殊板及び特殊合板

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)	
・ 天然木化粧合板	W(A)	・ ・	化粧単板 板	※ 0.3未満　・ ※ 4.2　・
・ 不燃天然木化粧板	W(B)	・ ・	化粧単板 基材	・ ・
・ メラミン化粧板	－		※ 1.2　・	JIS K 6903による
・ ポリエステル化粧合板	－		※ 2.7　・ 4.0	
● メラミン不燃化粧板張り	－		化粧単板 基材（合板）	※ 1.2　・ ※ 4.0　● 3.0
● ABS樹脂芯材PVCフィルム貼り			● 8	

製造所（製品名）メラミン不燃化粧板張り：アイカ工業（セラールウィルテクトPlus　EFN）　問等品
ABS樹脂芯材PVCフィルム貼り：アイカ工業（アイカ腰壁システム 見切り25）問等品

その他

種類	表示略号	製造所（製品名）
● 化粧けい酸カルシウム板	FK-C	アイカ工業（ルナライト）問等品
・ 特殊UV塗装硬質セメント板	FK-G	
・ ダップポストフォームけい酸カルシウム板	FK-D	
・		

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※ 適用する　・ 適用しない

● 17. 壁紙張り　(19.8.2)

壁紙の種類	防火性能	表示略号	製造所（製品名）
● プラスチック製壁紙	不燃	VC	サンゲツ（FAITH（表面強化））問等品
● プラスチック製壁紙	不燃	VC(1)	サンゲツ（FAITH（抗菌））問等品
● プラスチック製壁紙	不燃	VC(2)	サンゲツ（FAITH（消臭））問等品
● プラスチック製壁紙	不燃	VC(3)	サンゲツ（FAITH PROCESS#100）問等品
● プラスチック製壁紙	不燃	VC(4)	サンゲツ（FAITHプロジェクター用）問等品
・		VC(5)	

素地ごしらえ　(表18.2.4)(表18.2.5)(表18.2.7)
モルタル、せっこうプラスター面
※ B種　・ A種　（施工箇所：　　）
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面（7節（DP）を除く）
※ B種　・ A種　（施工箇所：　　）
せっこうボード面及びその他ボード面

せっこうボードの目地処理が継目処理工法の場合	※ A種　・ B種　（施工箇所：　　）
上記以外	・ A種　※ B種　（施工箇所：　　）

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

壁紙の種類	製造所（製品名）
・ 塗装用壁紙	
・ ガラスクロス化粧壁紙	
・	

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

● 18. 塩化ビニル樹脂系フィルム張り（PVF）

施工箇所	屋外仕様	製造所（製品名）
2階会議室 各建具		アイカ工業（オルティノ）問等品

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

19. オレフィンシート張り

施工箇所	製造所（製品名）

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

● 20. 断熱材　(19.9.2)(19.9.3)(19.9.4)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等	備考
● 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	※ 2種bA ・ 2種bB ・ 2種bC	※ 一般部	※ 25 ・	フロン類を用いないもの	JIS A 9521規格適合品
	※ 3種bA（ｽｷﾝ層付） ・ 3種bB（ｽｷﾝ層付） ・ 3種bC（ｽｷﾝ層付） ・ 3種bD（ｽｷﾝ層付）	● 土層接地スラブ下面	※ 25 ● 100 ・		
● 現場発泡断熱材（吹付硬質ウレタンフォーム）		※ 断熱材補修部分	―	フロン類を用いないもの	JIS A 9526規格適合品による
		・ 一般部	※ 30 ● 65	難燃性を有するもの ※ A種1 ● A種1H	
		製造所　性能の確認できる資料を監理者に提出する			
● 断熱材兼用型枠		● 壁（図示の範囲）	※ 40以下 ● 50	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上(t・㎡・kl/w)	JIS A 1412による
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの			

断熱材等のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
ウレタンフォーム類は室内または排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用する場合は防火コートを施すサッシ周りは、(16.2.5)の(2)(ア)によるモルタル充填を完全に行ったうえで断熱を枠または額縁まで施し、断熱材の欠損をなくすこと
断熱材現し部分は不燃仕様とする。断熱材：製造所（製品名）
製造所（製品名）　巾木部下　：デュポン・スタイロ（ドマフォームB1　厚100）　問等品
SN棟ピット：デュポン・スタイロ（ピットワーク　PW-50）　問等品

● 20.ユニット及びその他の工事

● 4. 床下換気塔
箇所数：　2　箇所　　塩ビ配管　200φ
製造所（製品名）

● 5. 階段滑り止め　(20.2.7)
材　種　ステンレス SUS304
形　状　ビニルタイヤ入
両端フラットエンド　・ 無し　※ 有り　（ ・ ステンレス製SUS304　※ ビニル製 ）
幅(mm)　※ 約35　・　取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	特記仕様書ー6	意匠
縮尺 ―	日付 2025/12（令和7年）	A106

製造所（製品名）　ナカ工業（ハイステップ ノンスリップNSP_40L）同等品

(14.2.1)(20.2.6)(20.2.12)(表14.2.2)

● 6. 手すり及びタラップ

種類	材料の種別	表面処理	形状・製造所（製品名）
・手すり	※ ステンレス SUS304	※ HL程度 ・鏡面程度	・図示 ・
・鉄		亜鉛めっき 外部　※ C種　・ 内部　※ E種　・	・図示 ・ ・
・アルミニウム		・AB-1種又はBB-1種 ・BB-2種（　　）	・図示 ・
・タラップ	※ ステンレス SUS304	※ 研磨無し　※ ステップ ・研磨　：ローレット加工	※ 【8-31-1】 ・
・鉄		亜鉛めっき　内外部　※ C種	・ ・
● タラップ（梯子状）	※ ステンレス SUS304	※ 研磨無し　※ ステップ ・研磨　：ローレット加工	※ 【8-31-2】 ・
● タラップ（梯子状、かご付）	※ ステンレス SUS304	※ 研磨無し　※ ステップ ・研磨　：ローレット加工	※ 【8-31-3】 ・

● 7. 階段手すり

※ 樹脂製（ ● 34φ　・ 40φ ）　製造所（製品名）ナカ工業（ビニレーン O-34type）同等品
（溝隠し　※ 有り ）
・ビニル製ハンドレール（幅 約50㎜）　製造所（製品名）
・集成材クリアラッカー仕上げ（市販品 径 約45㎜）　・図示
抗菌仕様　● 有り　点字サイン　・ 有り

● 8. 廊下手すり

材　種　※ 樹脂製　（溝隠し ※ 有り ）　・
径　・28φ　※ 34φ　・ 40φ　・図示
ブラケット　※ アルミ製　・　抗菌仕様　・ 有り
製造所（製品名）ナカ工業（ビニレーン O-34type）同等品

● 9. コーナーガード

材種	仕上	寸法(W×D×H㎜)	製造所（製品名）
● ステンレス	SUS304HL	H=2200	創建（SUS出隅ジョイナー64087）同等品
● 樹脂製	既製品	50×50×2500	ナカ工業（セーフティーコーナーNS）同等品
・木製			
・合成ゴム製	既製品		
・軟質塩化ビニル	既製品		
・			

10. トイレブース

表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板　・鋼板焼付塗装　(20.2.5)
・ポリエステル樹脂系化粧板　・ダップ樹脂系化粧板　・図示
表面材の色　・標準色　・指定色
エッジ　・アルミ製アールエッジ　（ ・パネル同色焼付　・アルミ色 ）
・
足形状　※ 幅木型（ステンレス）　・足金物型
扉　※ 非常時外開きドア　・一般タイプドア
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
製造所（製品名）

● 11. 便所及び浴室等補助手すり等

用途	形状・形式	数量	製造所（製品名）
・洗面カウンター用			
・壁掛洗面器用	・杖使用者型		
	・車いす・杖使用者兼用型		
・小便器用			
● 腰掛け便器用	・固定式（L型）		
	・固定式（P型）		
	・固定式（T型）		
	・可動式（スイング型）		
	● 可動式（はね上げ型）	1	TOTO（ T112J-HK8R ）同等品
	・背もたれ		
	・アームレスト（背もたれ付）		
	・前傾姿勢支持介護器具		
・和便器用	・たて手すり付		
	・たて手すりなし		
	・床固定式		
● 多用途用	● I 型	1	TOTO（ T112C6 ）同等品
	・ L 型		
・浴室用	・洗い場用（ I 型）		
	・入り隅用（ L 型）		

材種　● ステンレス製　・スチール製　・
表面仕上げ材 ・ ステンレスHL　※ 硬質塩化ビニル製　・　抗菌仕様　● 有り
個所数　※ 図面表示による　・ 上表による

● 14. 洗面器一体型カウンター

材種　※ 人工大理石
形状　・シーム接着　● 一体成型　・図示
排水トラップ　※ 有り　抗菌仕様　● 有り
奥行き(㎜)　・ 約450　● 約 600
オーバーフロー　● 無し　・ 有り
製造所（製品名）TOTO（ MC60・MFT3 NB12 ）同等品

● 15. 鏡その他

・鏡　※ 個所、寸法は図面表示による　(20.2.10)
・右記による　寸法　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
厚さ(㎜)　※ 5　・
耐食処理　※ 有り
枠　※ なし　・ 有り　（ ※ ステンレス　・　　）
● 化粧鏡（規格品）　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）TOTO（ YM3580AC ）同等品
● 全身鏡（規格品）　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）TOTO（ YMK50K ）同等品
・安全ミラー（規格品）　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）
・タオル棚、タオル掛け　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）
・化粧棚　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）
・フック　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）
・小物入れ　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）
・ペーパータオルホルダー　箇所数：　※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）

● 16. 流し台ユニット

種類	寸法(L=㎜)	適用内容	規格・品質等
● 流し台	※ 1,200　・ 1,050　・	トラップ付	※ 優良住宅部品
・コンロ台	※ 600　・ 700　・	バックガード ※ 有り	
・吊戸棚	※ 1,200　・ 1,050　・ 600		・
・水切り棚	※ 1,200　・ 1,050　・	ステンレス製 ※ 1段式	※ 市販品

製造所（製品名）LIXIL（ Tio ）同等品

● 26. カーテンレール　(20.2.16)

材種	形状			形式	
・ステンレス	・C型	・D型	・角型	・片引き	・引き分け
● アルミニウム	・C型	・D型	● 角型	・片引き	● 引き分け
・樹脂製	・C型	・D型	・角型	・片引き	・引き分け
・アルミニウム焼付塗装	・C型	・D型	・角型	・片引き	・引き分け

引き分けで暗幕用の場合は300㎜以上の召合わせの重ね掛けとする
静音タイプ　・ 有り　（施工箇所：　　）
製造所（製品名）タチカワブラインド（ ファインティア ）同等品
● 医療・福祉施設用
静音タイプ　・ 天吊型　製造所（製品名）
● 直付型　製造所（製品名）タチカワブラインド（ ファインフィット ）同等品

● 27. ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

● 市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ(㎜)　・ 90×150　・ 150×80　・ 120×80　● 120×150
色彩　※ B－1 種　・ B－2 種　（ ※ ブラウン系　・ブラック　● ステンカラー）
・ D種（焼付塗装　・　　）

・ 硬質樹脂製

種類	寸法(㎜)	製造所（製品名）
・ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽﾚｰﾙ（壁付タイプ）	×	
・ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽﾚｰﾙ（梁下・天井付タイプ）	×	
・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	×	

・ 図示

● 28. ピクチャーレール

材種　※ アルミ製　・ ステンレス製
安全荷重　・ 8kg　・ 20kg　● 30kg　・ 50kg
フック及びランナー　● フック　・ ランナー
製造所（製品名）　タチカワブラインド（ピクチャーレール　VP-30A）同等品

● 34. 表示標識

● 衝突防止表示 ※ 図示（市販品 ※ ステンレス製　径約30㎜　● 塩ビシート　）　(20.2.11)
・ 無し
・ 非常用進入口表示　※ 図示（市販品）　・
● 室名札、ピクトグラフ、案内板等　※ 図示　・
● 消火栓、補助散水栓等の表示　・ 図示　・
・ アイドリングストップ表示　・ 図示　・
・ 障害者用駐車スペース標識　・ 図示　・
・ 消防水利標識　・ 図示　・
・ 点字表示　・ 図示　・ 傾斜路手すり端部　・ 多機能トイレ入口
・ 階段手すり端部　・ 案内板等
・ AED表示　・ 図示
製造所　監理者の承諾する製造所

38. 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※ 完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

目地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法(㎜)	※ 25×15　・	※ 25×15　・

製造所（製品名）

● 39. 止水板（止水材）

形　状　● 差込式　・ 据置式　・ 壁張り式
材　質　● 水膨張性弾性ゴム材　・ 塩ビ製　・
寸　法　● 厚10㎜×幅20㎜　・
施工箇所　※ GL（土かぶりとなる部分）下の打継部分（縦横共）　● 図示
※ カルバート躯体と既製ボックスカルバートの接続部分（四周）　● 図示
製造所（製品名）早川ゴム（サンタックスパンシール W-1020-PP ）同等品

寸　法　● 厚6㎜×幅200㎜　・
施工箇所　※ 建物躯体とカルバート躯体の接続部分（四周）　● 図示
製造所（製品名）早川ゴム（サンタックゴム止水板 E-620-N ）同等品

寸　法　● 173㎜×125㎜　・
施工箇所　※ 既存擁壁とカルバート躯体の接続部分（四周）　● 図示
製造所（製品名）早川ゴム（サンタックL型止水板 ）同等品

● 40. 点検口

天井点検口

材種	寸法	形式		仕上	数量
● アルミニウム製	・450×450 ・600×600	一般型	● 額縁タイプ ● 目地タイプ	・アルミ　・ 電着　※ 焼付 ・アルミ　・ 電着　※ 焼付	
		・密閉型		・アルミ　※ 焼付	
● アルミニウム製	・450×450 ● 600×600	一般型	● 額縁タイプ ● 目地タイプ	・アルミ　・ 電着　※ 焼付 ・アルミ　・ 電着　※ 焼付	
		・密閉型		・アルミ　※ 焼付	

個所数　※ 図面表示による　・ 上表による
製造所（製品名）額縁タイプ：ナカ工業（ハイハッチSEⅡ）同等品
製造所（製品名）目地タイプ：ナカ工業（ハイハッチMMHⅡ）同等品

壁点検口

材種	寸法	数量
● アルミニウム製	・400×700　・ 600×600　● 450×600　● 325×325	
● 塩ビ製	・200×200　・ 250×250　● 300×300	
・塩ビ製（吸音型）	・200×200　・ 250×250　・ 300×300　・	

個所数　※ 図面表示による　・ 上表による
製造所（製品名）アルミニウム製（450×600）：創建（ウォールリーフ目地）同等品
製造所（製品名）アルミニウム製（325×325）：ナカ工業（ウォールハッチWHA）同等品
製造所（製品名）塩ビ製：フクビ化学工業（壁用点検口枠NF11）同等品

床点検口

材種	寸法	形式	強度	用途	数量
・アルミニウム製（ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	
● ステンレス鋼製（ ※ ボルト固定型）	・450×450 ● 600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	● 歩行用	● モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	6
・鋼製（ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	

個所数　※ 図面表示による　● 上表による
製造所（製品名）カネソウ（フロアーハッチ MSXW-M ）同等品

大口径床点検口

材種	寸法	形式	強度	用途	数量
・ （ ※ ボルト固定型）	・600×1200 ・図示	・一般型 ※ 密閉型 （ ※ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用	

個所数　※ 図面表示による　・ 上表による

● 41. 既製トラフ（ 配線、配管ピット及び排水ピットふた）

配線・配管ピットふた

材種	幅	受枠	用途	数量
● アルミニウム製 ・	・150 ・200 ・250 ● 350	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	● 樹脂タイル用　・カーペット用 ・モルタル充填用　・フローリング用 ・縞鋼板（SS400）	

個所数　※ 図面表示による　・ 上表による
製造所（製品名）カネソウ（ラインピット SC-15　350・400・450×600×15 ）同等品

排水ピットふた

材種	幅	形式	受枠	仕様	数量
・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・樹脂製	・100 ・150 ・200 ・300 ・	・グレーチング ※ 細目　・ 普通目 ・縞鋼板製（SS400）	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・ノンスリップ ・	

縦目タイプ　・ 適用する　適用箇所（　　）
個所数　※ 図面表示による　・ 上表による

集水桝ふた

材種	大きさ	形式	受枠	仕様	数量
・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製	・350角 ・400角 ・450角 ・500角 ・600角	・グレーチング ※ 細目　・ 普通目 ・縞鋼板製（SS400）	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・ノンスリップ ・	

個所数　※ 図面表示による　・ 上表による

42. 鋳鉄製マンホール

屋内の鋳鉄製マンホールふた

施工箇所	形式	適用荷重	備考	数量
・各種水槽	・中蓋付密閉型 ※ 密閉型（ﾃｰﾊﾟｰ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・簡易気密型（パッキン式）	・T-2用 ※ T-6用	ボルト固定型 文字入り	
・蓄熱槽	※ 蓄熱槽用（断熱型）密閉型	・T-2用 ※ T-6用	ボルト固定型 文字入り	

個所数　※ 図面表示による　・ 上表による

43. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※ 1 種　・ 2 種　・ 3 種

製造所

● 44. 造作家具

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤等のホルムアルデヒドの放散量　(12.2.2)
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆　(19.7.2)

45. かぎ箱

市販品　形式　・ 30組用　・ 60組用　・ 120組用　・ 200組用
キープラン、室名札付とする　箇所数：　箇所
製造所（製品名）

46. くつふきマット

市販品　材質　・ 塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）　・ 硬質アルミニウム製（受枠とも）
・ビニル製（ステンレス製受枠）　・ ステンレス製（受枠とも）
製造所（製品名）

● 51. 誘導用及び注意喚起用床材（視覚障害者用誘導床材）

屋内
・ 塩化ビニル製（ ・ シート ・ 鋲 ）　・ 磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300　・　　）
・ レジンコンクリート製　● ステンレス鋲
屋外
・ レジンコンクリート製　・ 磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300　・　　）
・ 花こう岩　・ ステンレス鋲
製造所（製品名）ナカ工業（ガイドステップSCS14）同等品

52. 敷地境界石標

・ 花こう石類（文字記号等入り）　・ コンクリートブロック製の市販品程度

55. フェンス

・ 格子型　高さ(㎝)　・ 600　・ 900　・ 1,200　・
製造所（製品名）
・ 網型　高さ(㎝)　・ 800　・ 900　・ 1,000　・ 1,200　・ 1,500　・ 1,800
製造所（製品名）

56. 車止め支柱及び車止め等

車止め支柱（上下式）　・ ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　径 114.3㎜　t=2.5㎜　H=GL+700㎜
※ スプリング付　・ スプリング無
製造所（製品名）

車止め支柱（一般）　・ ステンレス製　・ スチール製　・ アルミ製　・ 擬石
・ 固定式　・ 差込式　・ 差込式かぎ付
寸法
製造所（製品名）

車止め（アーチ型）　・ ステンレス製　・ スチール製　・
・ 固定式　・ 差込式　・ 差込式かぎ付
寸法
製造所（製品名）

タイヤ止め　・ PC既製品　・ 樹脂製　・
製造所（製品名）

57. ツリーサークル

製造所（製品名）

● 58. 避難器具

避難器具の種類	形式・仕様等	箇所数	製造所（製品名）
・避難はしご	・一般型（格納箱 ※ ステンレス製 ・ 鋼製焼付塗装 ） （格納箱　・ 鋼製焼付塗装 ）		
	・避難ハッチ式 （ ※ ステンレス製　・ 鋼製焼付塗装 ） （ ・ スラブ型　・ 二重天井型 ） （ ※ 上階操作　・ 上下階操作 ）		
● 緩降機			オリロー（ORIRO緩降機 B型）同等品
・救助袋	・垂直式（格納箱 ※ ステンレス製 ） ・斜降式（格納箱　・ 鋼製焼付塗装 ）		
	・避難ハッチ式 （ ※ ステンレス製　・ 鋼製焼付塗装 ）		
・			

● 59. 消火器ボックス

● 全埋込型　・ 半埋込型　・ 露出型
材質　※ 電気亜鉛めっき表面処理鋼板加工合成樹脂調合ペイント仕上
・
箇所数：　2　箇所　待合ホール、廊下3
製造所（製品名）　ユニオン（ UFB-1F-3026-PWH ）同等品

60. 硬質樹脂系保護シート

厚さ(㎜)　・ 1.0　・ 1.2　・ 1.5　・ 2.0
製造所（製品名）

61. プレキャストコンクリート工事

溶接金網　※ 径3.2㎜　・
コンクリートの設計基準強度(Fc)
※ 水セメント比65%以下、単位セメント量の最小値285kg/m³を満足する調合強度
・
配　筋　※ 配筋を定めた計算書を監理者に提出する
・
取付け方法　・

62. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2～20.4.4)
材　料　・ 間知石（ 材種　・ 花こう岩（割肌[野面]）　・　　）
・ コンクリート間知ブロック　種類　質量区分　　）
積み方　※ 谷積み（練積み）　・
目塗り　・ 行う
伸縮調整目地　材種　厚さ

● 63. 既製アルミ庇

・ アルミハニカム庇　製造所（製品名）
● アルミハニカム形材庇　製造所（製品名）ABC商会（ インターバイザー　CAN1001B ）同等品

64. 高所作業車

作業高さ
耐荷重　アウトリガー寸法(㎜)　×
製造所（製品名）

● 65. 空気孔

寸　法　● 幅300㎜　・
施工箇所　● 図示
製造所（製品名）　スガツネ（APK-H300WT）同等品

● 66. 防火ダンパー及び耐火パテ

※ 不燃材料とし、型式承認品もしくは国土交通大臣認定を取得したものであること

● 21.排 水 工 事

● 1. 排水管

排水管用材料　(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（ ※ 1 種　・ 2 種 ）	B形（ゴム接合）
● 硬質ポリ塩化ビニル管	※ VP　● VU　・ RS-VU	

車道部の排水管の敷設　※ 図示　・ 砂基礎（地業厚さ20cm以上　材質　山砂の類）　(21.3.1)(21.3.3)

凍上抑制層の材料　※ 再生クラッシャラン　・ クラッシャラン　(21.2.1)
・ 切り込み砂利　・ 砂
砂の粒度　・ 4.75㎜　・ 2.36㎜　・ 75μm　(表21.2.2)
砂の粒度試験　※（ JIS A 1102　）に基づいて実施する　・ 実施しない
凍上抑制層の厚さ　※ 図示　・（　　）

● 2. 排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた　(21.2.1)

種類	形式		適用荷重	
● マンホールふた	・水封型 ・中蓋付密閉型	● 密閉型（ﾃｰﾊﾟｰ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・簡易気密型（パッキン式）	・T-2用 ・T-6用	● T-20用 ・
・化粧マンホールふた	・水封型 ・中蓋付密閉型	・密閉型ﾃｰﾊﾟｰ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・簡易気密型（パッキン式）	・T-2用 ・T-6用	・T-20用 ・
・インターロッキング用マンホールふた	・水封型 ・中蓋付密閉型	・密閉型（ﾃｰﾊﾟｰ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・簡易気密型（パッキン式）	・T-2用 ・T-6用	・T-20用 ・

グレーチングふた　(21.2.1)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
● 鋼製	※ 受枠付き ・ ボルト固定 ※ 無し ● 有り	・溝ふた用 ● 桝ふた用 ・かさあげ用 ・U字溝用	・歩行用 ● T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ● T-25用	※ 細目 ※ 普通目 ● 細目	※ 凹凸形 ※ 平形 ・凹凸形
・ステンレス製	※ 受枠付き ・ ボルト固定 ※ 無し ・有り	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※ 細目 ※ 普通目 ・細目	※ 凹凸形 ※ 平形 ・凹凸形

カラー舗装用ふた　(21.2.1)

材質	種類	仕上材及び充填深さ	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	・溝ふた用 ・桝ふた用	・タイル 充填深さ　㎜ ・インターロッキング 充填深さ　㎜ ・ 充填深さ　㎜	・歩行用 ・T-2用 ・T-14用	※ 細目 ・普通目 ※ 普通目 ・細目	※ 凹凸形 ・平形 ※ 平形 ・凹凸形

● 3. 地業の材料

● 砂地業　・ 砂利地業　(21.2.2)

● 4. 埋戻し土

・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　(3.2.3)(表3.2.1)

5. 浸透管及び浸透桝

※ 図示による

● 22.舗 装 工 事

● 1. 路床

盛土に用いる材料　(22.2.3)(表3.2.1)
・ A種　※ B種　・ C種　・ D種
フィルター層及び凍上抑制層の材料　(22.2.2)(22.2.3)(21.2.1)
・ フィルター層　※ 川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）
・
厚さは図示
・ 凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン　・ クラッシャラン　・ 切り込み砂利　・ 砂
厚さは図示
路床安定処理用材料　(22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)
・ 添加材料による安定処理
種類　・ 普通ポルトランドセメント　・ 高炉セメントB種　・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰（ ・ 特号　・ 1 号）　・ 消石灰（ ・ 特号　・ 1 号）　(22.2.2)
添加量　kg/m³　（目標CBR　※ 5以上　・　　）
支持力比試験　JIS A 1211(路床土支持力比（CBR）試験方法)　(22.2.5)
※ 行う　（ ※ 乱した土　・ 乱さない土 ）
締固め度の試験　JIS A 1214（砂置換法による土の密度試験方法）　(22.2.5)
※ 行う
現場CBR試験　JIS A 1222（現場CBR試験方法）　(22.2.5)
・ 行う

● 2. 路盤

舗装の種類と路盤の厚さ　(22.3.2)(22.3.3)(表22.3.1)

件 名　岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名　特記仕様書－7		意匠
縮 尺　—	日 付　2025/12（令和7年）	A107

舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部	歩道部
● アスファルト舗装	・100 ・150 ● 250 ・350	100
・コンクリート舗装	・150	100
・カラー舗装	・100 ・150 ・250 ・350	100
・半たわみ性舗装	・100 ・150	
・透水性アスファルト舗装	―	100
・コンクリート平板舗装	―	100
・インターロッキングブロック舗装	・100 ・150 ・250	100
・舗石、れんが舗装	―	100

路盤材料 (22.3.3)(表22.3.1)
※ 再生クラッシャラン（RC-40）
・ クラッシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
・（ ）

● 3. アスファルト舗装

舗装の種類	車道部の基層
※ アスファルト舗装	※ 無し ・ 有り

(22.4.2)

アスファルト ※ 再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3)(表22.4.1)
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)

区分	※ 一般地域	● 寒冷地域
表層	※ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)	※ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)

アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (22.4.6)

4. コンクリート舗装
早強ポルトランドセメント ※ 使用しない ・ 使用する (22.5.3)
注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2)
溶接金網 ※ 有り ・ 無し (22.5.3)(22.5.4)
コンクリート版の厚さ試験 ※ 行わない ・ 行う (22.5.6)

5. 半たわみ舗装
製造所（製品名）

6. カラー舗装
・ 加熱系 (22.6.2～22.6.4)(表22.6.1)
表層に用いる加熱系混合物の結合材 加熱系混合物への添加物
・ アスファルト混合物 ・ 着色骨材
・ 石油樹脂系混合物 ・ 自然石
製造所（製品名）

・ 常温系 (22.6.2～22.6.4)(表22.6.1)
着色部の下部
・ アスファルト舗装
・ コンクリート舗装
製造所（製品名）

7. 透水性アスファルト舗装
アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (22.7.6)(22.4.6)

8. ブロック系舗装
・ コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類		寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※ 普通平板（N）	・ カラー平板（C）	※ 300角	※ 60	※ 砂
・ 洗出平板（W）	・ 擬石平板（S）	・		・ モルタル

・ インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	厚さ(mm)		表面加工等
※ 標準ブロック	車道部	※ 80 ・	※ 標準品
・ 透水性ブロック	歩道部	※ 60 ・	・
・ 誘導、注意喚起用ブロック			
・ 植生ブロック	※ 80 ・ 100		

製造所 ※ 監理者の承諾する製造所 ・

・ 舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
※ 小舗石（花こう岩）	※ 80～100	※ うろこ張り	※ コンクリート舗装
・	・		・ アスファルト舗装

(21.3.1)(21.3.2)(21.2.1)(22.8.3)
● 縁石 （ ※ 道路用境界ブロック ・ 擬石コンクリート製品 ・ 自然石 ）
・ L型側溝 （ ※ 道路用境界ブロック ・
歩道切り下げ部分の段差 ・ 20mm ・ ±0mm
・ 側溝 （ ※ 道路用上ぶた式U型側溝 ・ U型側溝 ・ U型側溝（現場打ち） ）
・ 側溝ふた （ ・ 無し ※ 有り：・ プレキャスト ※ グレーチングふた ・ ）
・ その他 （ ・ 製造所（製品名） ）

● 9. 街きょ、縁石及び側溝

● 10. 砂利敷き
(22.9.2)(表22.9.1)

施工箇所	種別		砂利の種類及び大きさ
通路	※ A種	下敷き	※ 表22.9.1による ・
		上敷き	※ 表22.9.1による ・
	・ B種		※ 表22.9.1による ・
建物周囲、その他	・ ・ A種	下敷き	※ 表22.9.1による ・
		上敷き	※ 表22.9.1による ● 玉砂利：甲質 3分
	※ B種		※ 表22.9.1による ・

● 11. 路面表示用塗料
路面表示塗料
品質 JIS K 5665による ※ 3種1号 ・
寸法 幅(mm) ※ 150 厚さ(mm) ※ 1.0 施工 溶融式
路面表示位置・仕様等は、道路交通法に （ ※ 準拠する ・ よらない ）

12. グラウンド・コート整備工事

● 23.植栽及び屋上緑化工事

● 1. 樹木の植栽基盤整備
芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
※ 行う ・ 行わない	※ 20 ・	※ B種	※ 植栽範囲 ・ 図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・ 12以上	※ 100 ・ 120 ・ 150	※ A種	・ 葉張りの範囲
・ 7以上～12未満	※ 80 ・ 100	・ B種	ただし、低木は植栽範囲
・ 3以上～7未満	※ 60 ・ 80	・ C種	● 図示
● 3未満	※ 50 ・ 60	・ D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする
ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込用土で盛土を行う

● 2. 植込み用土
※ 現場発生土の良質土 ● 客土 （ ※ 畑土 ・ 黒土 ） (23.2.3)

3. 土壌改良材
※ 適用する (23.2.3)(23.2.4)
種 類： ・
施工箇所： ※ 植栽範囲 ・ 図示

4. 支柱材
種類 ※ 杉の焼き丸太 ・ ひのき ・ から松 (23.3.2)
・ 竹 ・ ワイヤー（防錆処理品）
形状 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハの掛形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 (23.3.3)

5. 幹巻き用材料
※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2)

6. 芝張り、吹付けは種及び地被類
・ 芝張り 種類 ※ こうらい芝 ・ 野芝 ・（ ） (23.4.2)
・ 吹付けは種 種類 ※ 洋芝類 ・ シロツメクサ ・（ ）
種子の量 g/㎡
・ 地被類 樹種 芽立数 pod/㎡

7. 植栽地の試験
土壌の水素イオン濃度(pH)、水溶性塩類（EC）等の試験 ※ 行わない ・ 行う (23.1.3)

9. 銘板
設置方式 ・ 樹木取付用 ・ 地上設置用
銘板は樹脂製とし、表示面は耐候性アルミ板とする。
銘板の記載内容 ・ 学名 ・ 和名 ・ 科名 ・ 属名 ・ 解説

● 10. 枯保証期間
完成引渡し後の期間
高木・低木 ※ 1年 ・ 2年
地被 ※ 1年 ・ 2年

● 26.医療施設工事

1. 放射線遮蔽鉄板
材料

材質・規格品	一枚あたりの厚さ(mm)
※ JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材） SS400	※ 50 ・
・	※ 50 ・

厚みの許容差はプラス側公差とする

工法
(1) 遮蔽鉄板の建て込み時における地震等に対する補強は、建築基準法の規定により行い、事前に構造計算を行い、監理者の承諾を受ける
(2) 壁及び天井遮蔽鉄板には、原則としてボルト等の孔明けはしない。孔明けをする場合は、遮蔽欠損の補填を行う
(3) 壁の遮蔽鉄板と天井の遮蔽鉄板との重なり部には、鉄板を敷き詰める
(4) 釣りピース等はガスで切断し、切断面と溶接面と溶接面をグラインダー等で平滑に仕上げ、次の鉄板を敷き込む
(5) 全ての鉄板取り付けが終了後、鉄板小口を溶接する

● 2. 放射線遮蔽扉開閉機構及び機能
開閉方法 ※ スライディングドア（引き扉） ・
・ スイングドア（開き扉）
検出装置の種別 ・ マットスイッチ ・ フットスイッチ ● タッチスイッチ
・

性能及び耐久性
引き扉の開閉力及び開き速度

開閉方法	適用扉重量(kg)	開閉力(kg)	開閉速度(m/sec)	寸法 幅×高(mm)
片引き	120～1,000	14以上	0.30以下	)×2,100
	1,000以上	16以上	0.30以下	)×2,100
ステップバック	5,000以上	50以上	0.30以下	)×2,100

片開き扉（両開き扉）の開閉トルク及び開き角度

開閉方法	適用扉重量(kg)	開閉力(kg)	開閉速度(θ°/sec)	寸法 幅×高(mm)
片開き	120～1,000	8以上	3以上	)×2,100
	1,000～3,000	10以上	3以下	)×2,100
	3,000以上	30以上	3以下	)×2,100
両開き	120～1,000	8以上	3以上	)×2,100
	1,000～3,000	10以上	3以下	)×2,100
	3,000以上	30以上	3以下	)×2,100

耐久性は上記表の扉を用いて開閉動作を1万回繰り返し、性能に著しい変化を生じたり、部品に損傷を与えないものでなければならない

施工図など
設計図書に基づき施工図を作成し、監理者に提出の上承諾を受ける

● 3. 鉛板入り建具
次に示す以外については、16章3節［鋼製建具］による
(1)鉛板は、JIS H 4301を使用する 鉛板の材料厚さ(mm) ・ 1.5 ・ 2.0 ・ 3.0 ● 8.0
(2)鉛板の重ねは下記を標準とする。公差は±2mm以下とする
(ア) 扉と枠の鉛板の重ねは、15mm以上とする
(イ) コンクリート壁と枠の鉛板との重ねは、70mm以上とする
(ウ) 鉛板入りプラスターボードと枠の鉛板の重ねは35mm以上とする
(エ) 扉召し合わせの鉛板と扉の重ねは、20mm以上とする
(3)鉛板は室内側に張り付けること
(4)鉛板は鉄板表面から中桟及び力骨に450mmピッチで小ネジ類を用い止める
(5)建具の吊り金物は、計算に基づき、建具重量に充分耐えうるものとする

4. 放射線散乱防御塗料
表示記号： RPP 製造所

● 5. 放射線防護工事
放射線防護工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする
また、性能の確認を行うこと。
測定方法 ● 別途、遮蔽計算書による 性能 ● 別途、遮蔽計算書による
検査記録書・検査写真・材料証明等は、監理者との協議のうえ、提出すること。

6. MRIシールド工事
MRIシールド工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする
また、性能の確認を行うこと
測定方法 ・ 性能 ・

7. 手術室内装工事
手術室内装工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする
また、性能の確認を行うこと
測定方法 ・ 性能 ・

8. ストレッチャーガード
※ 既製品 型式
・ 特注品
抗菌仕様 ・ 有り ・ 無し 製造所（製品名）

9. 点滴フック及び点滴レール
製造所（製品名）

10. 医療パネル
製造所（製品名）

11. 床頭ロッカー
製造所（製品名）

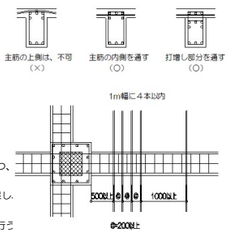
12. 床頭台
製造所（製品名）

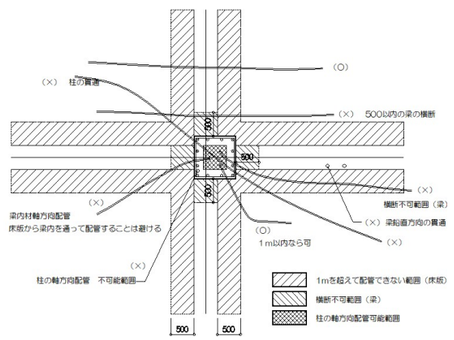
● 27.配管スリーブ打ち込み要領

1.スリーブ施工図作成要領
1) ベース図は監理者および各施工者間の調整事項を反映した建築躯体図（縮尺1/50）とする
部分図の場合は全体キープランを図中に記入し、その範囲を示す
2) 施工図には工事名称・図面名称・図面番号・施工者名・各工種の審査者名及び作成年月日等を記入する
3) 表示する内容はスリーブ径、平面上の位置と高さ、梁の上下のへりあき、補強種別及び工事種別とする
工事種別は略号で表記し図中に凡例を記入する（線の色で種別分けをしても構わない）
（例：建築K、衛生P、空調A、電気E、搬送T）
4) 次の箇所は展開図を作成する
(1) すべての耐力壁
(2) 機械室周囲の壁等で開口が集中する箇所
(3) 梁貫通孔が集中する箇所（ピット内地中梁人通孔周り等）
(4) その他監理者が指示する部位
5) 外壁やホール、吹き抜け等の意匠上見えがかりとなる箇所は、意匠検討を行うため建築立面図や展開図に記入する（意匠監理者と協議を行う）
6) 床開口が集中する場合の補強方法について、構造監理者の指示を受けること
7) 梁貫通補強で既製品を使用する場合は、製造所の施工仕様と補強計算書を事前に提出し構造監理者の確認を受けること
8) 放射線防護壁内の埋設配管は、事前に構造監理者と協議を行うこと
9) 工事区分（補強筋施工・スリーブ施工）、施工工程（各関連業種の施工手順と日程）は事前に調整、確認すること

2.埋設配管共通事項
1) 屋根スラブ、外壁への埋め込み配管は行ってはならない。
やむを得ず、外壁への埋め込む場合は、コンクリートのひび割れを抑制する為、ワイヤーメッシュ等にて適切な処置を行う。ただし、耐震壁及び埋設配管が見周する箇所に置いては、構造監理者と協議を行い、適切な処置を行うこと
2) 一般床、壁への埋め込みボックス類は十分深いものを検討し、埋め込み配管を床、壁の中央に行う
3) スリーブ等は必ず鉄筋より30mm以上離し、必要かぶり厚さを確保する
4) 構造スリットへの貫通は行ってはならない

3.梁の埋設配管
1) 梁に軸方向の配管はしてはならない
2) 梁にボックス類の埋設はしてはならない
3) 配管が集中する分電盤まわり等は、梁の鉛直方向貫通をしてはならない。やむを得ず行う場合は、梁の側面を打増して配管する等の対処を行う
4) 梁を横断する配管は、梁の主筋の内側を通す。ただし、梁を下げてその上部を通す場合はその限りではない
5) 梁を横断する配管は、梁の材軸とできるだけ直角に横断して配管する
6) 梁の端部では、配管は柱の面から500mm以上離す
配管の間隔は、あばら筋の間に1本以下とし、かつ、その相互の間隔は200mm以上とする
7) 配管は1m幅に4本までとし、1m以上離隔を確保し、次配管を埋設する。やむを得ず、5本の場合はひび割れ防止としてワイヤーメッシュ等で補強を行う
8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す
9) 配管は梁スリーブの外周から200mm以上離す。





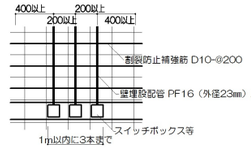
柱梁仕口部周り配管要領図

4.柱の埋設配管
1) 柱面に埋設するボックス類について
(1) 柱面にボックス類は埋設してはならない
やむを得ず柱位置にボックスを設ける場合は、乾式工法（軽鉄下地）またはコンクリートの打ち増し等を検討する
2) 柱内に埋設する配管
(1) 柱内に埋設する配管に関する規定
原則として柱内に配管類を埋設してはならない
ただし、避雷設備については、PF28（外径37mm）以下の配管を図の柱中心範囲に限り可とする
その他の配管で、やむを得ず配管が必要となる場合は構造担当者と協議すること

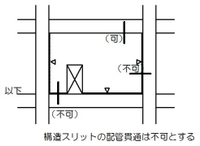
(2) 柱に埋設する配管の施工要領
① 柱に埋設する配管は、主筋に沿わせて配管してはならない
② 配管はフープの内側を通すものとし、配管用補助鉄筋（設備工事）を配置し固定する

3) 柱筋への溶接
(1) アース端子板等、鉄筋への溶接は十分な管理の下、溶接の有資格者が行うこと

5.壁の埋設配管
1) 壁に埋設する配管について
(1) 外壁および耐力壁には原則として配管を埋込んではならない
(2) 一般壁（厚さ150mm以上ダブル配筋）の配管は、PF22（外径31mm）以下とし、配管相互の間隔を200mm以上とする
(3) 一般壁（厚さ150mm以上シングル配筋）の配管は、PF16（外径23mm）以下とし、下図に示す補強筋を配筋する
(4) 外壁において打放し仕上げ（塗装仕上げ含む）は、t=150の場合、打ち込みはしてはならない
(5) 構造スリットを貫通する配管はしてはならない
(6) 地下外壁には、接地用配管および防犯用配管を除き、原則として配管を埋め込んではならない
(7) EPS内は、露出配管またはケーブル配線とし、躯体に埋設してはならない
(8) 埋込み型の分電盤、端子盤等を設置するときは二重壁にする等の対応を行う
やむを得ない場合は、構造監理者と協議し、鉄筋量を増やす等の処置を行う
(9) 開口部の周囲に設置するスイッチ等のボックスについては、開口補強との納まりを構造担当者と協議する



シングル配筋の壁内配管と補強例



構造スリットの配管貫通は不可とする

構造スリットの配管貫通

2) 見えがかりとなる面の設備貫通孔など
(1) 外壁等で見えがかりとなるベントキャップ類は、意匠監理者と位置について協議を行う

6.床の埋設配管
1) 床の埋設配管
(1) 屋根スラブや防水仕様のスラブには、埋設配管を行ってはならない
(2) 配管が集中するプルボックスまわり等は、構造監理者と協議しスラブ厚さを増す、鉄筋量を増す等の処置を行う
(3) EPSなどで配管が集中して立ち上がる場所は、その1スパンの範囲内の梁およびスラブを150mm以上下げ、増し打ちしたスラブの配管の上部には、メッシュ筋（6φ-150×150程度）を敷設する
(4) 平行する配管は、1m幅に4本以下とする。また、配管相互の間隔は、150mm以上離す
(5) 埋設配管の径は、PF22（外径31mm）以下とする
(6) 埋設配管をやむを得ず交差させる場合は、鉄筋と重ならない位置で交差させる
特に3重の交差にならないように注意する。また、カップリングも鉄筋位置を避ける
(7) 梁スリーブ補強の範囲は、床埋設配管を行ってはならない
(8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す
(9) フロアダクトを埋設する場合は、施工要領、配置について構造監理者と協議する

件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図名 特記仕様書ー8		意匠
縮尺 ―	日付 2025/12（令和7年）	A108

	項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
負担金等	負担金（工事用以外のもの）										
	イ．　電気引込	・	・	・	・	・				※	
	ロ．　水道引込	・	・	・	・	・				※	
	ハ．　下水道接続	・	・	・	・	・				※	
	ニ．　ガス引込	・	・	・	・	・				※	
	引渡しまでの各種料金（基本料金、使用料金共）										
	イ．　給水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	ロ．　ガス	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	ハ．　電気	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	ニ．　油	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	公害調査費及び対策費（工事に関する以外のもの）	・	・	・	・	・				※	
	電波受信障害調査費及び対策工事費	・	・	・	・	・				※	
屋外・工作物等	門扉、囲障	※	・	・	・	・				・	
	植樹	※	・	・	・	・				・	
	舗装	※	・	・	・	・				・	
	擁壁	※	・	・	・	・				・	
	ゴミ集積所	※	・	・	・	・				・	
	ゴミ焼却炉	※	・	※	・	・				・	焼却炉本体及び据付は衛生工事
	屋外貯油槽										
	イ．　外郭躯体及び乾燥砂、マンホール	※	・	・	・	・				・	
	ロ．　オイルタンク	・	・	・	※	・				・	
	ハ．　タンクの据付	・	・	・	※	・				・	
	煙　突	※	・	・	・	・				・	
	給気塔・排気塔及びコンクリート風道	※	・	・	・	・				・	
	ガスガバナー棟	※	・	・	・	・				・	
	医療ガスボンベ棟	※	・	・	・	・				・	
コンクリート槽・溝等	雑用受水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
	湧水槽・雨水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
	汚水槽・雑排水槽・化学排水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
	発電機用冷却水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
	コンクリート槽の釜場	※	・	・	・	・				・	
	コンクリート槽の通気口、通水口、連通口等	※	・	・	・	・				・	
	コンクリート躯体桝	※	・	・	・	・				・	
	コンクリート製グリーストラップ	※	・	・	・	・				・	
	既製グリーストラップ	・	・	※	・	・				・	
	コンクリート製ガソリントラップ	※	・	・	・	・				・	
	ドライエリア、サービスコートの排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
	駐車場、スロープ等の排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
	屋内排水溝及び蓋	※	・	・	・	・				・	
	各種トレンチピット及び点検口	※	・	・	・	・				・	
設備機器の基礎等	屋内設備の基礎（建築図にあるもの）	※	・	・	・	・				・	
	屋内設備の基礎（建築図にないもの）	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
	屋上設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
	屋外設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
	機器取付け架台、アンカーボルト	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
	機械室、厨房等の配管用増打コンクリート	※	・	・	・	・				・	
	各種設備機器設置のための吊フック	※	・	・	・	・				・	
	医療機器用アンカーボルト及び金物の取付	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
	医療機器用基礎及び仕上	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
S・SRC・RC造の貫通穴・開口部	鉄骨部の鋼管スリーブ	※	・	・	・	・				・	
	貫通穴のスリーブ	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	開口部の型枠	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	上記３行の補強	※	・	・	・	・				・	
	貫通孔・開口部の墨出し	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	貫通穴のスリーブ空隙及び予備貫通穴の充填	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	外壁貫通スリーブの防水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	既存擁壁のスリーブ施工	・	※	※	※	・				・	（注-1）参照

	項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
ボード等の貫通口・開口部	ＡＬＣパネル等を貫通する配管配線の穴明け	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
	ＰＣ板を貫通する配管配線の穴明け	※	・	・	・	・				・	
	壁・天井の軽量鉄骨下地の開口補強	※	・	・	・	・				・	
	壁、天井ボード類の切込み	※	・	・	・	・				・	位置出しは各工事別とする
	既製間仕切壁等の切込み及び補強	※	・	・	・	・				・	
インサート及び吊ボルト	設備機器・器具・配管・配線用	・	※	※	※	・				・	各工事別とする
給排水その他設備	雨水用ドレイン及び配管	※	・	・	・	・				・	インサートを含む
	フロアードレイン	・	・	※	・	・				・	
	屋外雨水排水設備	※	・	・	・	・				・	
	雨水第１桝	※	・	・	・	・				・	
	屋外雑排水及び汚水排水設備	・	・	※	・	・				・	
	同上まず及びますぶた	・	・	※	・	・				・	
	浄化槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
	消防用水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
	ＲＩ排水貯留槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
電気	自家発電機用排気筒（横引）	・	※	・	・	・				・	
	自家発電機用冷却装置	・	※	・	・	・				・	
	自家発電機用冷却装置の一時側給水管、排水管	・	・	※	・	・				・	
	自家発電機燃焼用の給排気設備	・	※	・	・	・				・	
	自家発電機用給油設備（屋外オイルタンクよりサービスタンク迄）	・	・	・	※	・				・	サービスタンクより発電機までの配管は電気工事
	ボイラー操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
	冷凍機用動力操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
	パッケージ型空調用手元開閉器並に配管配線	・	※	・	・	・				・	
	電動シャッター、自動扉の操作盤、押釦取付及び二次側配管配線	※	・	・	・	・				・	
	水中ポンプ及びケーブル、電極の取付	・	・	※	・	・				・	
	同上制御盤への接続	・	※	・	・	・				・	
	映像情報装置	・	・	・	・	・				※	
	視聴覚装置及び関連機器	・	・	・	・	・				※	
	スタジオ用関係機器	・	・	・	・	・				※	
	コンピュータ関連機器及び専用電源	・	・	・	・	・				※	
	ページング装置（携帯用受信機共）	・	・	・	・	・				※	
	電話交換装置	・	・	・	・	・				※	
防災	防火戸										
	イ．　防火戸閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
	ロ．　連動制御装置、煙感知器の取付及び配線	・	※	・	・	・				・	
	防火シャッター										
	イ．　シャッター閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
	ロ．　連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
	防煙垂れ壁										
	イ．　防煙垂れ壁閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
	ロ．　連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
	防煙ダンパー										
	イ．　ダンパー閉鎖装置（ＳＦＤ）	・	・	・	※	・				・	
	ロ．　連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
	排煙口（機械排煙）										
	イ．　排煙口開閉装置	・	・	・	※	・				・	
	ロ．　手動の操作箱	・	・	・	※	・				・	遠隔操作及び開閉表示は電気工事
	防犯監視設備	・	・	・	・	・				※	
	電気錠	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事

	項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
制御	空調用自動制御機器	・	・	・	※	・				・	
	同上配管配線	・	・	・	※	・				・	
	同上電源供給	・	※	・	・	・				・	
	中央監視										
	イ．　電気	・	※	・	※	・				・	
	ロ．　空調	・	※	・	※	・				・	
	ハ．　衛生	・	※	・	※	・				・	
	ニ．　防災	・	※	・	・	・				・	
	ホ．　ガス警報	・	※	・	・	・				・	
	ヘ．　昇降機	・	・	・	・	※				・	
	ト．　搬送	・	・	・	・	・				・	搬送工事とする
	各制御盤遠方監視及び操作制御	・	・	・	※	・				・	
	動力制御インターロック	・	※	・	・	・				・	
	中央監視装置利用のインターロック	・	※	・	・	・				・	
	天井吊ファンコイルの手元制御用配管配線	・	・	・	※	・				・	
	動力制御盤と中央監視リモート盤間配管配線	・	・	・	※	・				・	
昇降機	エレベーター三方枠、幕板	・	・	・	・	※				・	
	エレベーター化粧枠・化粧幕板	※	・	・	・	・				・	
	エレベーター中間ビーム	※	・	・	・	・				・	
	エレベーター用吊フック	※	・	・	・	・				・	
	エレベーター用インターホン及び監視テレビ	・	・	・	・	※				・	昇降路内の配管配線は昇降機工事
	同上昇降路外の配管配線	・	※	・	・	・				・	
	エレベーターピット内タラップ	※	・	・	・	・				・	
	エレベーターピット内コンセント	・	※	・	・	・				・	
	中央監視運行表示板	・	・	・	・	※				・	
	地震感知器から制御盤までの配管配線	・	・	・	・	※				・	
器具	造作流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
	既製流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
	陶製流し（排水トラップ付）	・	・	※	・	・				・	
	洗面化粧台（既製品）	・	・	※	・	・				・	
	洗面カウンター（切込みを含む）	※	・	・	・	・				・	器具、水栓、配管接続は衛生工事
	洗面器一体型カウンター（排水トラップ付、取付を含む）	※	・	・	・	・				・	水栓取付は衛生工事
	コンクリート製流し	※	・	・	・	・				・	
	同上水栓目皿、排水トラップ及び配管接続	・	・	※	・	・				・	
	ユニットバス本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
	浴槽（フタ付）本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
	ユニットシャワー本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
	鏡	※	・	・	・	・				・	
	化粧棚	※	・	・	・	・				・	
	厨房器具	・	・	・	・	・				※	
	厨房用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
	システムキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
	ミニキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
	洗濯機用防水パン（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	接続は衛生工事
	ウォータークーラー	・	・	※	・	・				・	据付及び二次側配管共一次側電源供給は電気工事
	各種自動販売機	・	・	・	・	・				※	据付及び二次側配管共
	避難器具	※	・	・	・	・				・	
	排気扇及びウェザーカバー	・	・	・	※	・				・	
	同上取付枠及び穴明け	※	・	・	・	・				・	
	消火器ボックス	※	・	・	・	・				※	壁埋込型は建築工事
	消火器	・	・	・	・	・				※	
	壁掛大便器取付スタンド	・	・	※	・	・				・	

	項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
その他	点検口（床、天井、シャフト等）	※	・	・	・	・				・	
	外壁取付がらり（防虫網共）	※	・	・	・	・				・	
	同上ダンパ（ＦＤ）	・	・	・	※	・				・	
	外壁取付ダクト接続用がらり（防鳥網共）	※	・	・	・	・				・	
	同上ダンパ（ＦＤ）	・	・	・	※	・				・	
	アコーディオンカーテン	※	・	・	・	・				・	
	ブラインド	・	・	・	・	・				※	
	カーテン、暗幕	・	・	・	・	・				※	
	カーテンボックス及びブラインドボックス	※	・	・	・	・				・	
	カーテンレール	※	・	・	・	・				・	
	ファンコイルカバー	※	・	・	・	・				・	
	フリーアクセスフロアー	※	・	・	・	・				・	
	電動ラック、移動棚等	・	・	・	・	・				※	
	サイン（室名表示、階段表示、案内板等）	※	・	・	・	・				・	
	サイン内部照明	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は電気工事
	自動ドア	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事
医療機器等	蒸溜水製造装置	・	・	・	・	・				※	
	純水製造装置	・	・	・	・	・				※	
	滅菌水製造装置	・	・	・	・	・				※	
	人工透析装置及び二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	
	ＲＩ用各モニター	・	・	・	・	・				※	
	同上二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	
	医療用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
	屍体用冷蔵庫、保存庫	・	・	・	・	・				※	
	一般ベット用設備ユニット	※	・	・	・	・				・	
	ＩＣＵ用医療パネル	・	・	・	・	・				※	
	オートクレーブ	・	・	・	・	・				※	
	手術用手洗器	・	・	・	・	・				※	
	便器消毒器	・	・	・	・	・				※	
	歯科用コンプレッサー	・	・	・	・	・				※	
	同上二次側エア配管、及び電源	・	・	・	・	・				※	
	ドラフトチャンバーの排気処理装置	・	・	・	・	・				※	
	自動現像装置及びミキシングバルブ、流量計、フィルター	・	・	・	・	・				※	
	水治療用特殊浴槽	・	・	・	・	・				※	
	暗室用特殊照明	・	※	・	・	・				・	
	手術室、分娩室の壁埋込医療機器	※	・	・	・	・				・	壁切込み開口補強は建築工事
	手術室、分娩室の無影灯	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
	手術室、分娩室のシーリングコラム	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
	バイオクリーンルーム（ＣＬＡＳＳ　　）	・	・	・	・	・				※	
	シールド室内装										
	放射線シールド	※	・	・	・	・				・	図示による
	電磁波シールド	※	・	・	・	・				・	
	電波シールド	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
	防音室内装	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
	エアーシャワー	・	・	・	・	・				※	
	パスボックス	・	・	・	・	・				※	
	Ｘ線室　天井走行レール	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
	点滴レール	※	・	・	・	・				・	
	点滴フック	※	・	・	・	・				・	
	上記以外の別途工事となる各種医療機器本体及び据付	・	・	・	・	・				※	
	同上二次側配管、配線、ダクト	※	・	・	・	・				※	配線のみ別途工事
	各種医療機器一次側配管立上り、立下り（バルブ止め）	・	・	※	※	・				・	
	同上トラップ	・	・	※	・	・				・	
	同上電源、手元スイッチ	・	※	・	・	・				・	
	一次側ダクト立下り（ダンパー止め）	・	・	・	※	・				・	
	ドラフトチャンバー	・	・	・	・	・				※	
	同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
	安全キャビネット	・	・	・	・	・				※	
	同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
	クリーンベンチ	・	・	・	・	・				※	
	同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	
	同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	

※グレーハッチは本工事該当なしの項目を示す

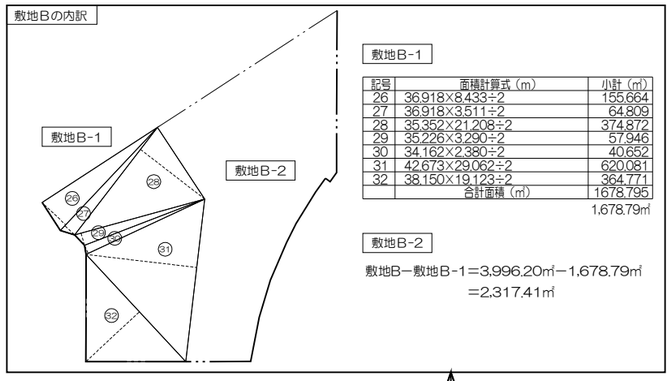
（注）表中の●印を付したものを適用し、各工事負担とする。
●の付かない場合は、※印付いたものを適用し、各工事負担とする。
●印と◎印の付いた場合は、共に適用し、各工事負担とする。

（注-1）コア抜き前の鉄筋位置の非破壊検査実施（電磁探査）
建築構造の補強筋無し・非破壊検査結果を実施し、配管位置は構造監理者と協議すること。

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図名	工事区分表		意匠
縮尺	―	日付　2025/12（令和7年）	A109

開発区域求積図

敷地Bの内訳



敷地B-1

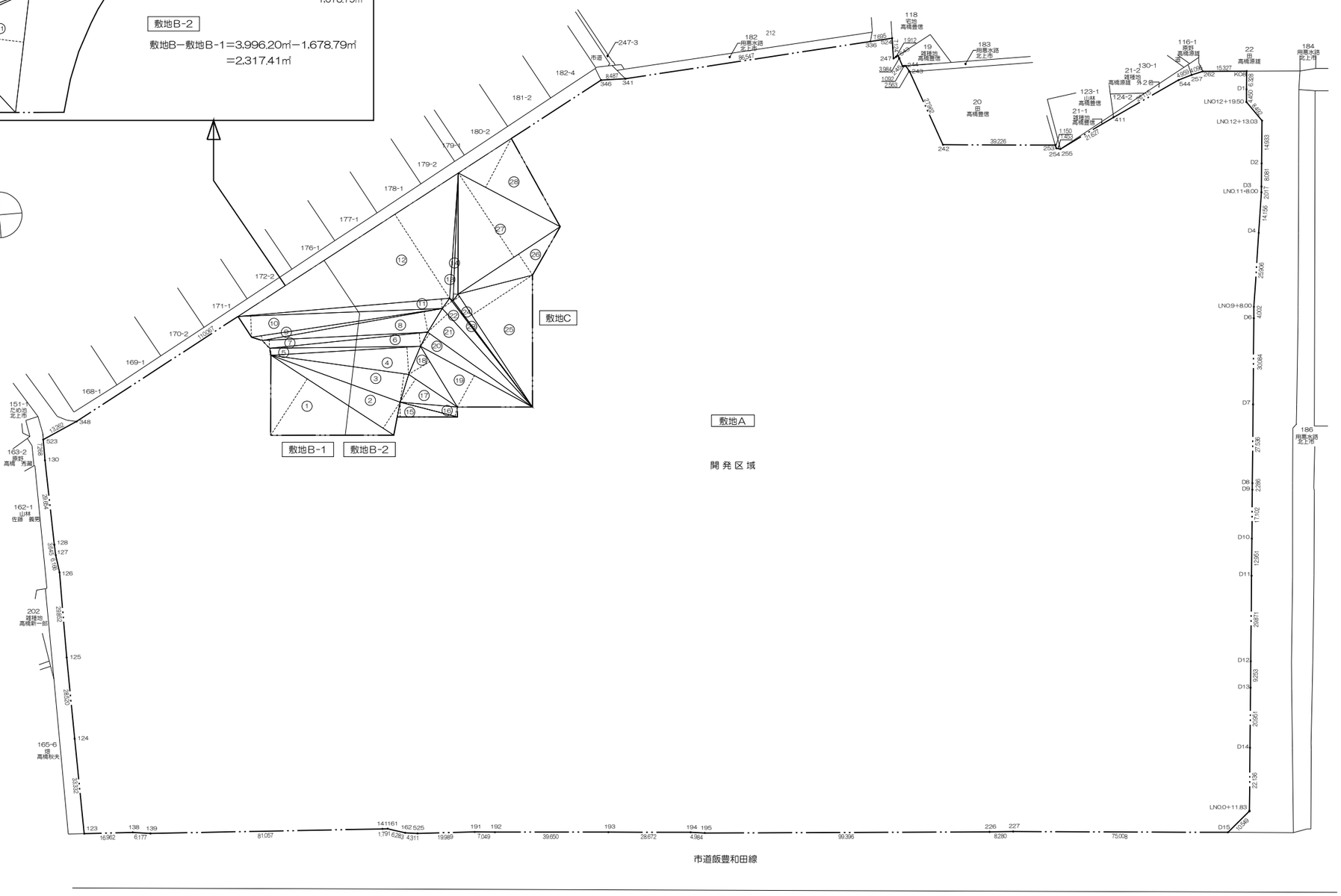
記号	面積計算式（m）	小計（㎡）
26	36.918×8.433÷2	155.664
27	36.918×3.511÷2	64.809
28	35.352×21.208÷2	374.872
29	35.226×3.290÷2	57.946
30	34.162×2.380÷2	40.652
31	42.673×29.062÷2	620.081
32	38.150×19.123÷2	364.771
	合計面積（㎡）	1,678.795

1,678.79㎡

敷地B-2

敷地B－敷地B-1＝3,996.20㎡－1,678.79㎡
＝2,317.41㎡

求積図



全体面積

求積表

地番	開発区域			
NO	Xn	Yn	Yn+1－Yn-1	Xn・(Yn+1－Yn-1)
123	-74101.858	23369.457	-35.392	2626612.958336
138	-74118.690	23367.357	-3.375	250150.78750
139	-74124.734	23366.082	-11.770	872448.119180
141	-74205.109	23355.587	-10.985	792881.596955
161	-74206.890	23355.397	-2.504	185814.152560
162	-74212.731	23353.083	-3.165	234883.259615
525	-74216.957	23352.232	-3.322	246548.731154
191	-74236.793	23349.761	-3.597	267029.744421
192	-74243.751	23348.635	-7.031	522007.813281
193	-74282.959	23342.730	-10.222	759320.406868
194	-74311.304	23338.413	-5.282	392512.307726
195	-74316.194	23337.448	-15.375	1142611.482750
226	-74414.540	23323.038	-15.509	1154095.100860
227	-74422.747	23321.939	-12.557	934526.434079
015	-74496.875	23310.481	-5.228	389469.662500
LNO.0+11.83	-74505.388	23316.711	28.090	-2092856.348820
D14	-74508.875	23338.571	42.549	-3170278.122375
D13	-74512.176	23359.260	29.826	-2222400.161376
D12	-74513.634	23388.397	38.635	-2878634.249590
D11	-74518.341	23397.895	42.287	-3151157.985867
D10	-74520.382	23410.684	29.677	-2211543.376614
D9	-74523.076	23427.572	19.145	-1426744.290020
D8	-74525.436	23439.629	29.449	-2194640.666754
D7	-74527.774	23457.021	56.900	-4240630.340600
D6	-74532.514	23486.729	33.660	-2508764.421240
LNO.9+8.00	-74533.144	23490.681	29.265	-2181212.459160
D4	-74538.655	23519.994	39.145	-2917815.649075
LNO.11+8.00	-74541.668	23529.826	15.824	-1179547.354432
D3	-74541.986	23531.818	9.972	-743332.684392
D2	-74543.259	23539.798	22.726	-1694070.104034
LNO.12+13.03	-74545.612	23554.544	22.002	-1640152.555224
LNO.12+19.50	-74541.200	23561.800	11.650	-868404.980000
D1	-74541.901	23566.194	10.643	-793349.452343
KO6	-74542.898	23572.443	8.470	-631378.346060
262	-74527.733	23574.664	1.547	-115294.402951
257	-74523.693	23573.990	-1.790	133397.410470
544	-74518.861	23572.874	-10.598	789515.229248
411	-74484.517	23563.422	-17.656	1315275.192152
255	-74474.507	23555.218	-7.730	575687.999110
254	-74473.134	23555.892	1.609	-119827.272006
253	-74472.949	23556.827	7.112	-529651.813288
242	-74434.181	23562.804	32.872	-2446800.397832
243	-74426.529	23589.699	29.195	-2172882.514155
244	-74425.398	23591.999	2.361	-175718.364679
245	-74424.308	23592.060	3.924	-292040.984592
543	-74423.333	23595.923	3.104	-231010.025632
247	-74421.578	23595.164	6.339	-471758.392942
524	-74422.183	23602.262	7.080	-527057.900006
336	-74414.488	23602.246	-0.167	12427.219496
341	-74327.941	23602.095	0.641	-47644.210181
346	-74319.491	23602.887	-44.201	3284995.821691
534	-74220.811	23557.894	-90.656	6728561.842016
348	-74120.663	23512.231	-50.194	3720412.558622
523	-74108.199	23507.700	-11.782	873142.800618
130	-74107.695	23500.449	-36.982	2739240.006990
128	-74106.538	23470.818	-33.276	2465969.158488
127	-74106.503	23467.173	-9.798	726095.516394
126	-74106.901	23461.020	-35.942	2663550.226742
125	-74104.958	23431.231	-58.271	4318170.007618
124	-74103.487	23402.749	-61.774	4577668.805938
			合計	-193774.092367
			合計面積	96887.031183
			地積	96887.03㎡

開発区域面積：96887.03㎡

地　　積：96887.03㎡

敷地A　岩手県立中部病院　敷地
89,873.28㎡

敷地B　敷地B-1：1,678.79㎡
敷地B-2：2,317.41㎡

記号	面積計算式（m）	小計（㎡）
1	51.208×23.507÷2	601.873
2	51.208×10.873÷2	278.392
3	48.559×9.997÷2	242.722
4	52.358×9.526÷2	249.381
5	52.727×2.419÷2	63.773
6	55.500×4.702÷2	130.480
7	57.843×2.836÷2	82.021
8	63.817×7.225÷2	230.538
9	67.331×1.689÷2	56.861
10	71.366×7.449÷2	265.802
11	74.164×3.327÷2	123.371
12	91.828×35.010÷2	1607.449
13	44.688×1.249÷2	27.907
14	44.688×1.595÷2	35.638
	合計面積（㎡）	3996.208

3,996.20㎡

敷地C　3,017.55㎡

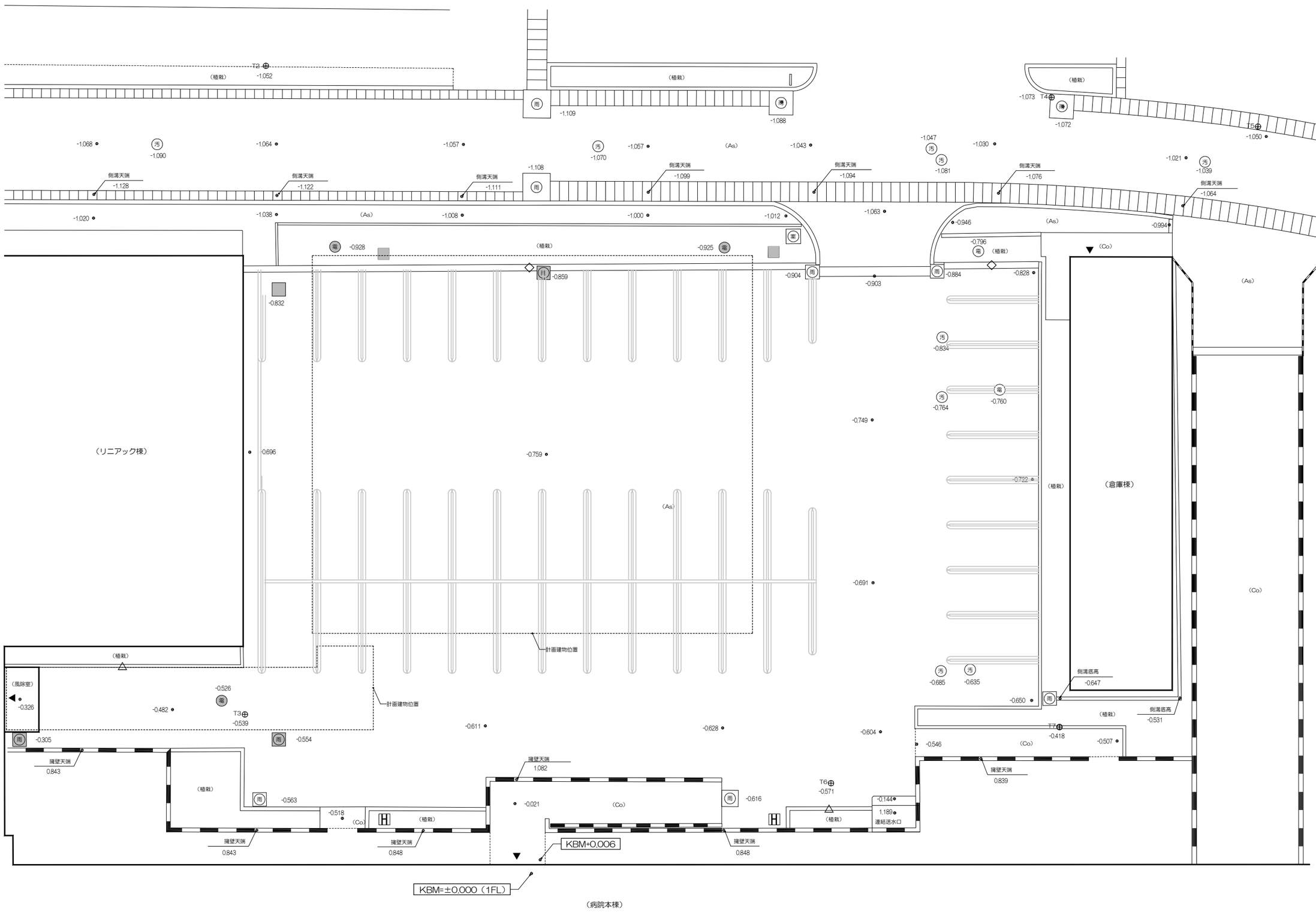
記号	面積計算式（m）	小計（㎡）
15	20.946×5.151÷2	53.946
16	20.612×3.321÷2	34.226
17	20.476×9.685÷2	99.155
18	24.776×8.640÷2	107.032
19	44.461×12.512÷2	278.148
20	44.993×5.500÷2	123.730
21	46.678×9.298÷2	217.006
22	47.754×4.212÷2	100.569
23	47.754×0.433÷2	10.338
24	47.258×2.701÷2	63.821
25	47.258×25.399÷2	600.152
26	42.790×8.802÷2	188.318
27	42.790×35.222÷2	753.574
28	40.183×19.289÷2	387.544
	合計面積（㎡）	3017.559

3,017.55㎡

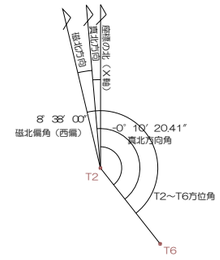
※当図は本館竣工時の敷地求積図/求積表である。

【特記事項】
※当図は本館竣工時の敷地求積図/求積表である。

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	敷地求積図、求積表（H26敷地分割時）	意匠
縮　尺	1/800(A1),1/1,600(A3)　日　付　2025/12（令和7年）	A110



磁北・真北　計算結果略図

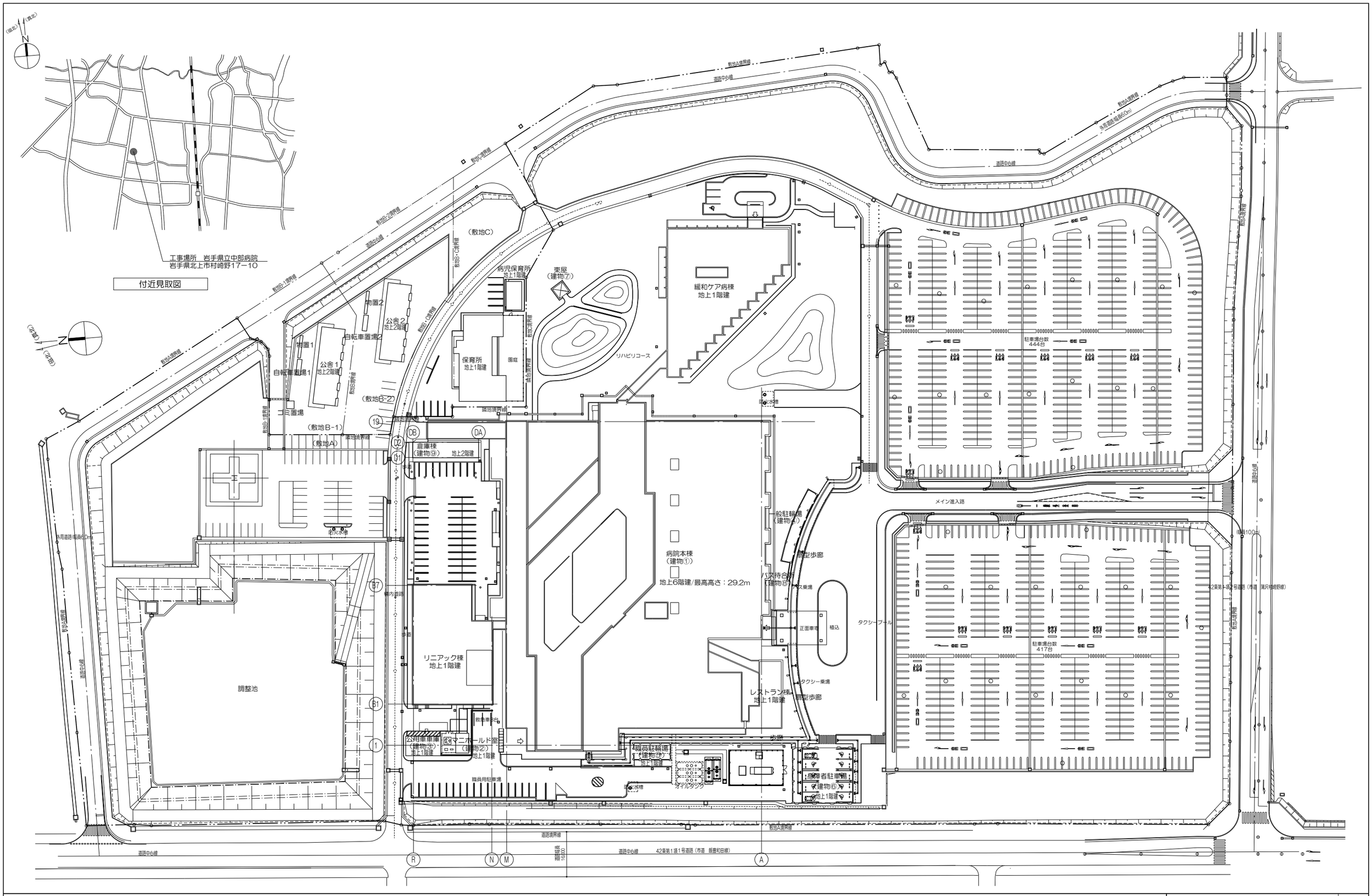


業務名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟計画敷地測量調査業務
所在地	北上市村崎野18地割　地内
図面名	現　況　平　面　図
年月日	令和 7年 8月 4日
作成者	株式会社　中央システム　　測量士　阿部雅洋

外構凡例

雨水桝		フェンス	
ハンドホール(電気設備工事)		擁壁・ブロック塀	
外灯（《撤去》は基礎とも)(電気設備工事)	(As)	アスファルト舗装	
汚水桝	(Co)	コンクリート舗装	
案内サイン		現況線	
縁石A（W200）			
縁石B（W350）		※ ▭ は《撤去》	

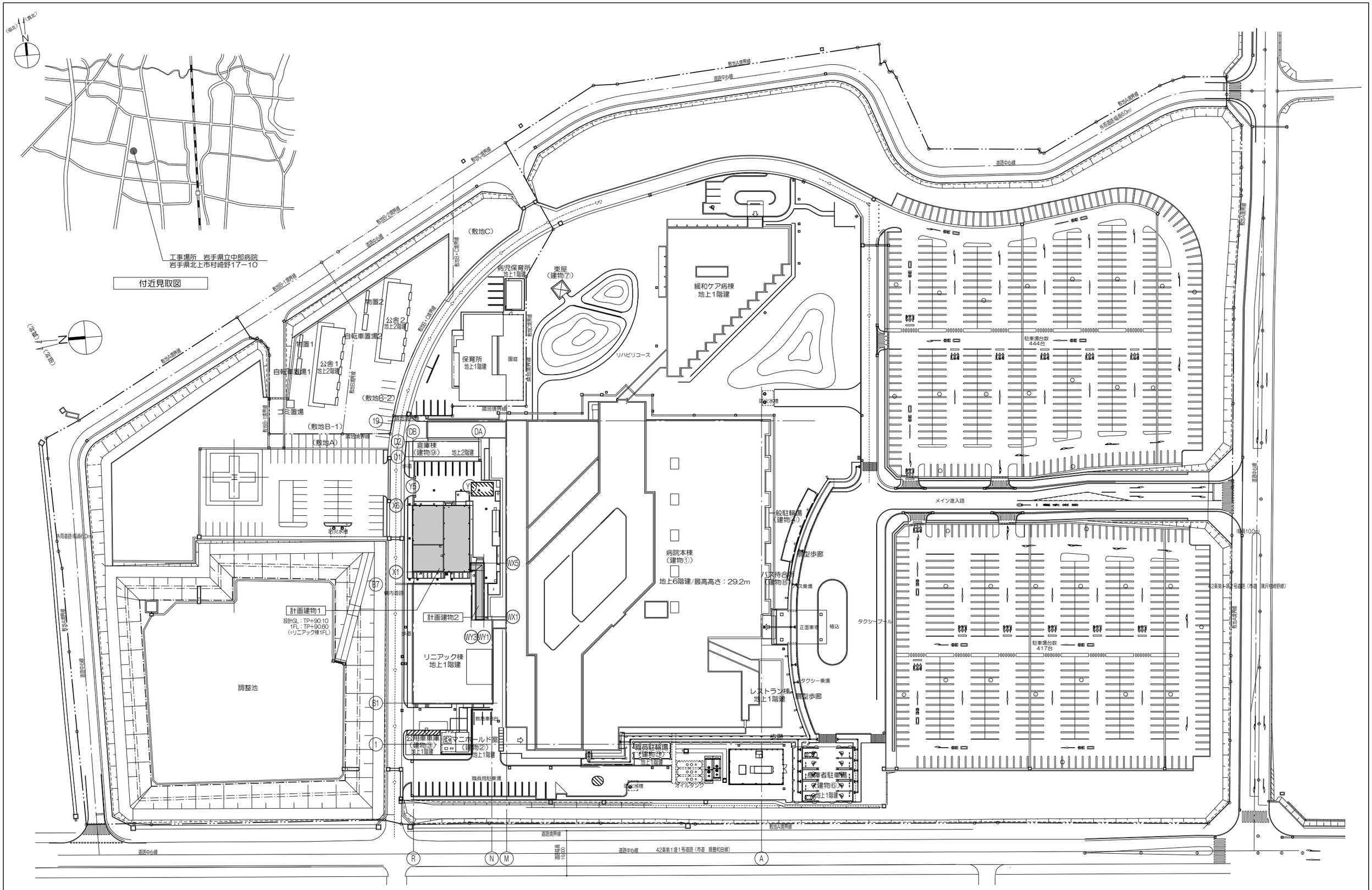
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	敷地測量図（計画範囲）	意匠
縮　尺 1/100(A1),1/200(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A111



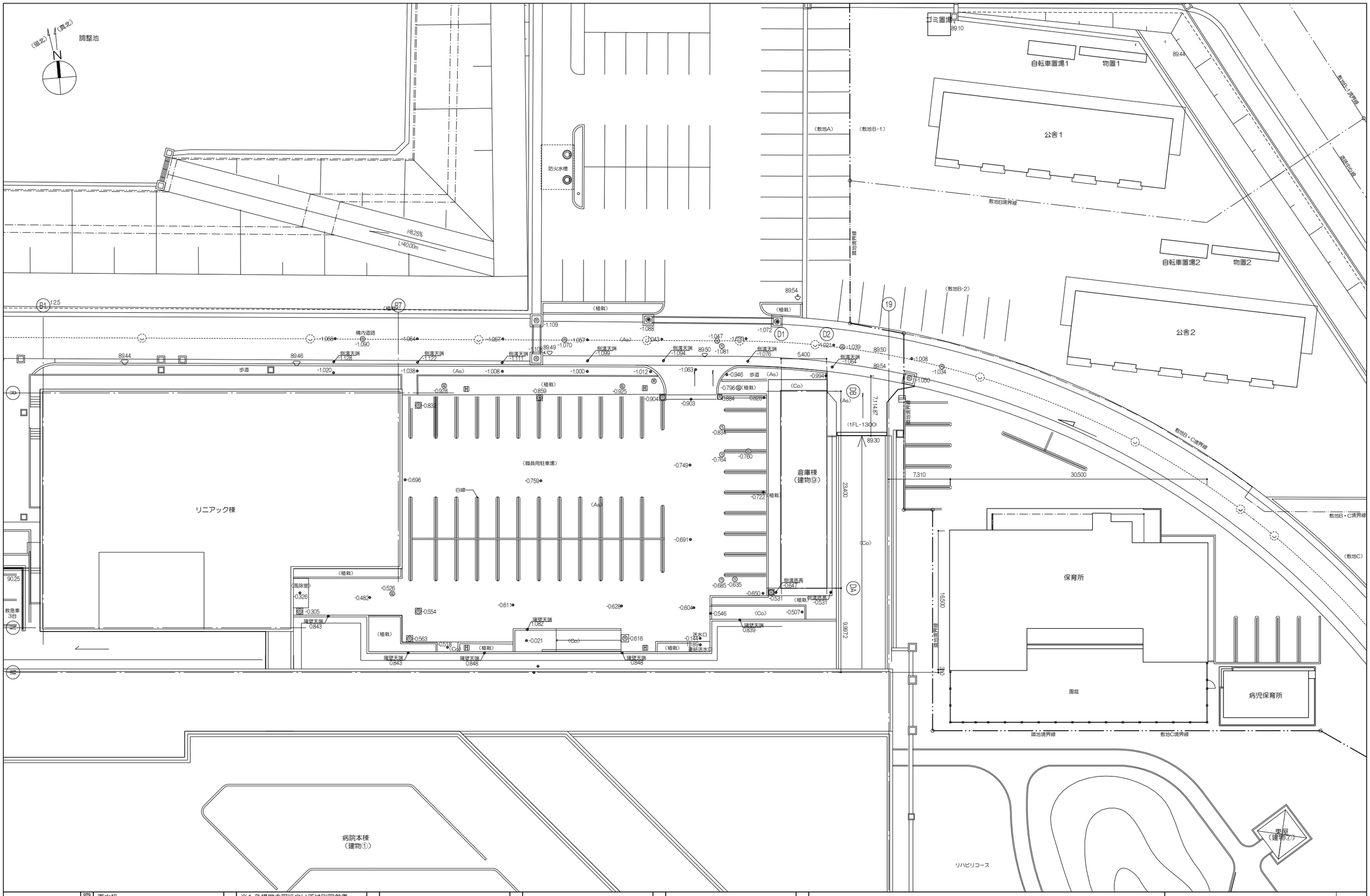
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図　名	配置図（既存）
縮　尺	1/600(A1),1/1,200(A3)
日　付	2025/12（令和7年）

意匠

A112

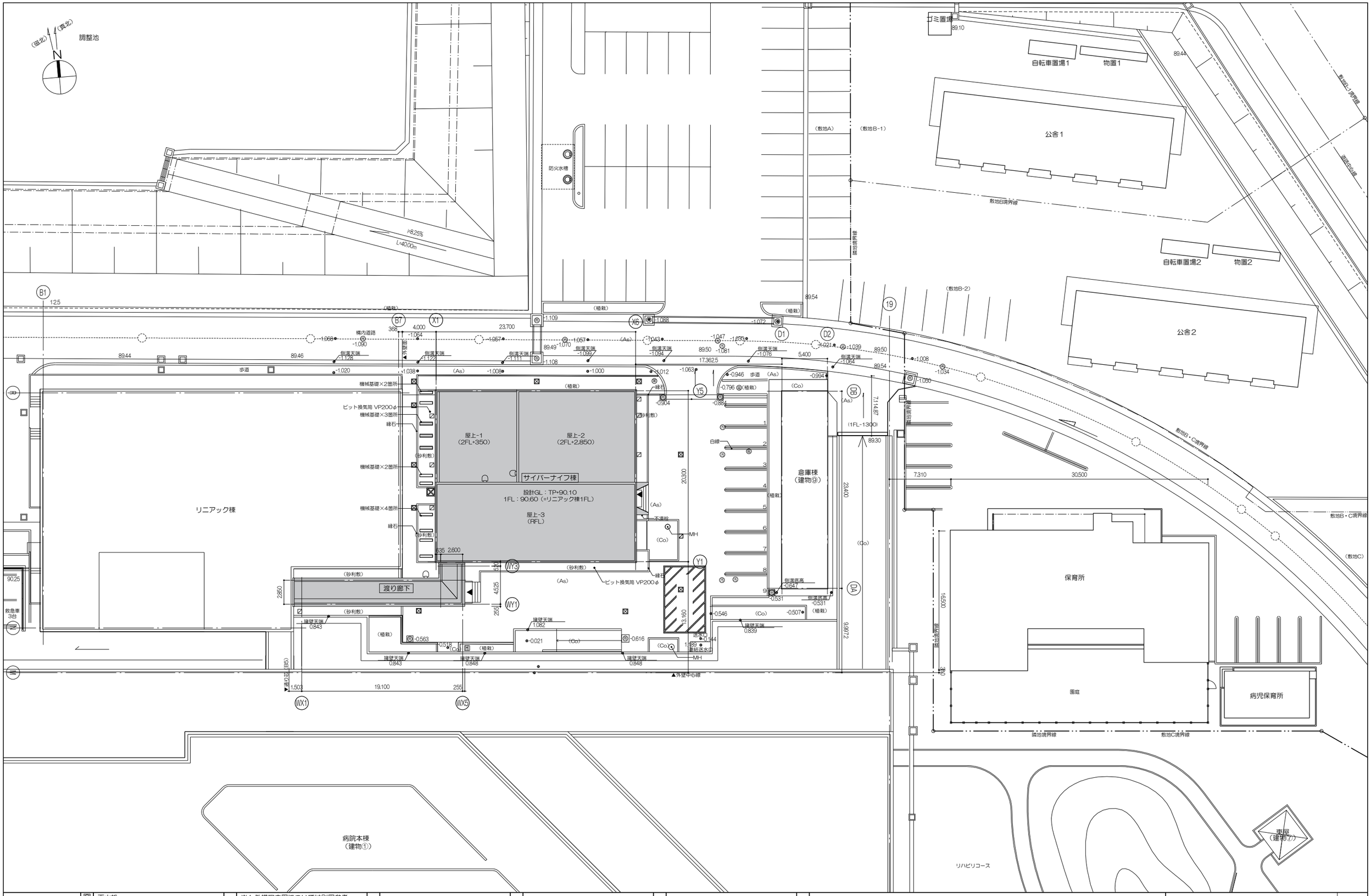


件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	配置図（計画）	意匠
縮　尺	1/600(A1),1/1,200(A3)　日　付　2025/12（令和7年）	A113



外構凡例		
	雨水枡	※1 外構撤去図については別図参考
	ハンドホール(電気設備工事)	
	外灯(電気設備工事)	
	汚水桝	
	案内サイン	
(As)	アスファルト舗装	
(Co)	コンクリート舗装	

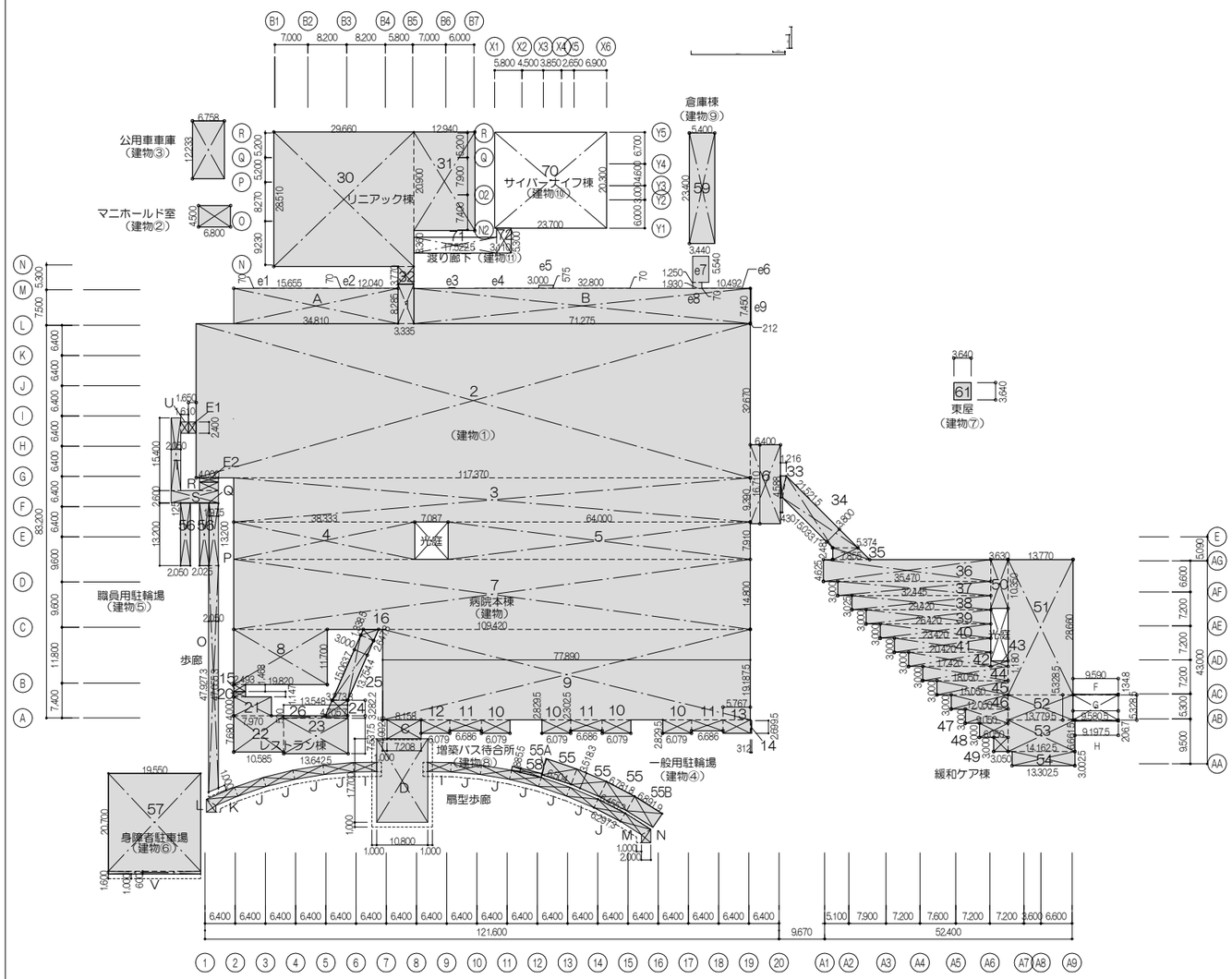
件 名	岩手県立中部病院サイパーナイフ棟整備工事	
図 名	配置図（既存・計画範囲）	意匠
縮 尺	1/200(A1),1/400(A3)	日 付 2025/12（令和7年）
		A114



外構凡例		
	◎	雨水桝
	◎	ハンドホール(電気設備工事)
	H	外灯（電気設備工事）
	◎	汚水桝
	◎	案内サイン
	(As)	アスファルト舗装
	(Co)	コンクリート舗装

※1 外構撤去図については別図参考

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	配置図（計画・計画範囲）	意匠
縮 尺 1/200(A1),1/400(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A115



（建物①） 病院本棟（病院棟・レストラン棟）

NO	計算式(m)	計(㎡)
1	3.335 × 8.285	27.630475
2	117.370 × 32.670	3,834.4779
3	109.420 × 9.390	1,027.4538
4	38.333 × 7.910	303.21403
5	64.000 × 7.910	506.24
6	6.400 × 16.710	106.944
7	109.420 × 14.800	1,619.416
8	19.820 × 11.700	231.894
9	77.890 × 19.1875	1,494.514375
10	6.079 × 2.8295 × 4	68.802122
11	6.686 × 2.3025 × 3	46.183545
12	6.079 × 2.8295	17.20053
13	5.767 × 2.8295	16.317726
14	0.312 × 2.6995	0.842244
15	1.468 × 2.493	3.659724
16	(1.3385 + 2.6478) × 3.0000 × 1/2	5.97945
計	病院棟	9,310.769921
		9,310.76
20	2.493 × 1.147	2.859471
21	7.970 × 4.000	31.88
22	10.585 × 7.680	81.2928
23	13.6425 × 7.5375	102.830343
24	(3.2733 + 4.7057) × 3.2822 × 1/2	13.094336
25	(13.7544 + 15.0637) × 3.0000 × 1/2	43.22715
26	13.548 × 0.500	6.774
計	レストラン棟	281.9581
		281.95
	病院本棟合計	9,592.71

リニアック棟

NO	計算式(m)	計(㎡)
30	29.660 × 28.510	845.6066
31	12.940 × 20.900	270.446
32	3.335 × 3.770	12.57295
合計		1,128.62555
		1,128.62

緩和ケア棟

NO	計算式(m)	計(㎡)
33	(0.430 + 1.216) × 4.588 × 1/2	3.775924
34	(15.0331 + 21.5215) × 3.800 × 1/2	69.45374
35	(5.374 + 7.855) × 2.481 × 1/2	16.410575
36	35.470 × 4.625	164.04875
37	32.445 × 3.000	97.335
38	29.420 × 3.025	88.9955
39	26.420 × 3.000	79.26
40	23.420 × 3.000	70.26
41	20.420 × 3.000	61.26
42	17.420 × 3.000	52.26
43	3.630 × 1.180	4.2834
44	18.050 × 3.000	54.15
45	15.050 × 3.000	45.15
46	12.050 × 3.000	36.15
47	9.050 × 3.000	27.15
48	6.050 × 3.000	18.15
49	3.050 × 3.000	9.15
50	3.630 × 10.350	37.5705
51	13.770 × 28.660	394.6482
52	13.7795 × 5.3285	73.424066
53	14.1625 × 6.6615	94.343494
54	13.3025 × 3.0025	39.940756
合計		1,537.169905
		1,537.16

（建物②） マニホールド室

NO	計算式(m)	計(㎡)
55	6.800 × 4.500	30.6
合計		30.6
		30.60

（建物③） 公用車車庫

NO	計算式(m)	計(㎡)
56	6.758 × 12.233	82.670614
合計		82.670614
		82.67

（建物④） 一般駐輪場

NO	計算式(m)	計(㎡)
55	(6.504 + 6.7818) × 3.5183 × 1/2 × 3	70.115145
55A	(6.6141 + 6.8919) × 3.5183 × 1/2	23.759079
55B	(3.2526 + 3.2613) × 0.1101 × 1/2	0.35859
合計		110.234807
		110.23

（建物⑤） 職員駐輪場

NO	計算式(m)	計(㎡)
56	2.050 × 13.200 × 2	54.12
合計		54.12
		54.12

（建物⑥） 身障者駐車場

NO	計算式(m)	計(㎡)
57	19.550 × 20.700	404.685
合計		404.68
		404.68

（建物⑦） 東屋

NO	計算式(m)	計(㎡)
61	3.640 × 3.640	13.2496
合計		13.2496
		13.24

（建物⑧） バス待合所

NO	計算式(m)	計(㎡)
58	(6.4552 + 6.5252) × 0.8855 × 1/2	5.747072
合計		5.747072
		5.74

（建物⑨） 倉庫棟

	NO	計算式(m)	計(㎡)
2F	60	欠番	
	計		
1F	59	5.400 × 23.400	126.36
	計		126.36
合計			126.36

（建物①） サイバーナイフ棟

NO	計算式(m)	計(㎡)
70	23.700 × 20.300	481.110
合計		481.110
		481.11

（建物①） 渡り廊下

NO	計算式(m)	計(㎡)
71	17.5225 × 3.360	58.8756
72	3.110 × 5.300	16.483
合計		75.3586
		75.35

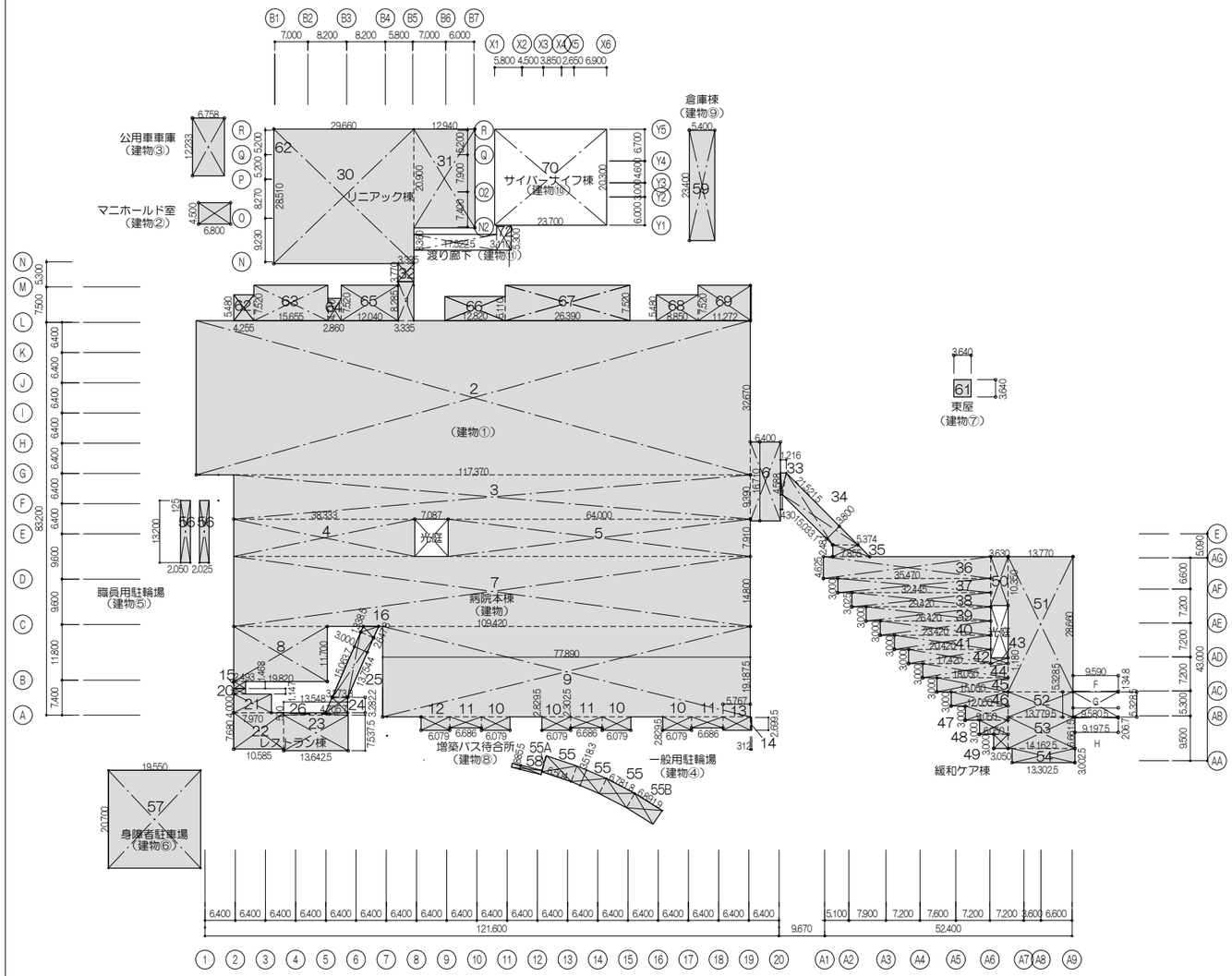
キャノピー・庇等面積

棟	NO	計算式(m)	計(㎡)
病院本棟	A	34.810 × 7.450	259.3345
	B	71.275 × 7.450	530.99875
	C	7.208 × 4.0025	28.85002
	D	10.800 × 17.750	191.16
	E1	1.650 × 2.400	3.96
	E2	4.000 × 0.930	3.72
	計		1,018.02327
			1,018.02
病院本棟（2015年工事増築分）	e1	0.070×15.655	1.095
	e2	0.070×12.040	0.842
	e3	0.133×1.337	0.177
	e4	0.070×32.800	2.296
	e5	0.575×3.000	1.725
	e6	0.070×10.492	0.734
	e7	5.540×3.440	19.057
	e8	1.250×1.930	2.412
	e9	7.450×0.212	1.579
	計		29.917
			29.91
病院本棟　小計			1,047.93
緩和ケア棟	F	9.590 × 0.1348	1.292732
	G	9.5805 × 5.3285	51.049694
	H	9.1975 × 0.2067	1.901123
	計		54.243549
			54.24
扇型歩廊	I	(4.9223+5.0116) × 2.000 × 1/2×2	19.8778
	J	(6.2973+6.4552) × 2.000 × 1/2 × 10	127.525
	K	(4.7166+6.1181) × 2.000 × 1/2	10.8347
	L	(1.1449+2.4675) × 2.000 × 1/2	3.6124
	M	(5.3803+6.5658) × 2.000 × 1/2	11.9461
	N	(1.0373+2.1438) × 2.000 × 1/2	3.1811
	計		176.9771
			176.97
歩廊	O	(4.0553+4.7927) × 2.050 × 1/2	97.355115
	P	1.975 × 13.200	26.07
	Q	7.995 × 0.125	0.999375
	R	1.770 × 4.000	7.08
	S	9.995 × 2.600	25.987
	T	2.050 × 15.400	31.57
	U	1.610 × 2.400	3.864
	計		192.92549
			191.92
身障者駐車場	V	19.570 × 0.365	7.14305
	計		7.14305
			7.14
キャノピー・庇等面積			1,478.20

□建築面積　（㎡）

	棟	1階床面積	ｷｬﾉﾋﾟｰ・庇面積	計(㎡)
既存	病院本棟	9,592.71（竣工時）	1,047.93（増築含む）	10,640.64
	リニアック棟	1,128.62	―――	1,128.62
	緩和ケア棟	1,537.16	54.24	1,591.40
	マニホールド室	30.60	―――	30.60
	公用車車庫	82.67	―――	82.67
	一般駐輪場	110.23	―――	110.23
	職員用駐輪場	54.12	―――	54.12
	身障者用駐車場	404.68	11.73	416.41
	東　屋	13.24	―――	13.24
	バス待合所	5.74	―――	5.74
	扇型歩廊	―――	176.97	176.97
	歩廊	―――	191.92	191.92
	倉庫棟	126.36	―――	126.36
	既存小計			14,568.92
増築	サイバーナイフ棟	481.11	―――	481.11
	渡り廊下	75.35	―――	75.35
	増築小計			556.46
合計				15,125.38

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	建物求積図、求積表-1	意匠
縮　尺 1/600(A1),1/1,200(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A116



（建物①） 病院本棟（病院棟・レストラン棟）１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
1	3.335 × 8.285	27.630475
2	117.370 × 32.670	3,834.4779
3	109.420 × 9.390	1,027.4538
4	38.333 × 7.910	303.21403
5	64.000 × 7.910	506.24
6	6.400 × 16.710	106.944
7	109.420 × 14.800	1,619.416
8	19.820 × 11.700	231.894
9	77.890 × 19.1875	1,494.514375
10	6.079 × 2.8295 × 4	68.802122
11	6.686 × 2.3025 × 3	46.183545
12	6.079 × 2.8295	17.200530
13	5.767 × 2.8295	16.317726
14	0.312 × 2.6995	0.842244
15	1.468 × 2.493	3.659724
16	(1.3385 + 2.6478) × 3.0000 × 1/2	5.97945
計	病院棟	9,310.769921
		9,310.76
20	2.493 × 1.147	2.859471
21	7.970 × 4.000	31.88
22	10.585 × 7.680	81.2928
23	13.6425 × 7.5375	102.830343
24	(3.2733 + 4.7057) × 3.2822 × 1/2	13.094336
25	(13.7544 + 15.0637) × 3.0000 × 1/2	43.322715
26	13.548 × 0.500	6.774
計	レストラン棟	281.9581
		281.95
病院本棟合計		9,592.71

2015年工事増築分

NO	計算式(m)	計(㎡)
62	4.255×5.480	23.317
63	7.520×15.655	117.725
64	4.710×2.860	13.470
65	7.520×12.040	90.540
66	12.820×5.110	65.510
67	26.390×7.520	198.452
68	5.480×8.850	48.498
69	7.520×11.272	84.765
合計		642.277
		642.27

リニアック棟　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
30	29.660 × 28.510	845.6066
31	12.940 × 20.900	270.446
32	3.335 × 3.770	12.57295
合計		1,128.62555
		1,128.62

緩和ケア棟　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
33	(0.430 + 1.216) × 4.588 × 1/2	3.775924
34	(150.031 + 21.5215) × 3.800 × 1/2	69.45374
35	(5.374 + 7.855) × 2.481 × 1/2	16.410575
36	35.470 × 4.625	164.04875
37	32.445 × 3.000	97.335
38	29.420 × 3.025	88.9955
39	26.420 × 3.000	79.26
40	23.420 × 3.000	70.26
41	20.420 × 3.000	61.26
42	17.420 × 3.000	52.26
43	3.630 × 1.180	4.2834
44	18.050 × 3.000	54.15
45	15.050 × 3.000	45.15
46	12.050 × 3.000	36.15
47	9.050 × 3.000	27.15
48	6.050 × 3.000	18.15
49	3.050 × 3.000	9.15
50	3.630 × 10.350	37.5705
51	13.770 × 28.660	394.6482
52	13.7795 × 5.3285	73.424065
53	14.1625 × 6.6615	94.343494
54	13.3025 × 3.0025	39.940756
合計		1,537.169905
		1,537.16

（建物②） マニホールド室　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
55	6.800 × 4.500	30.6
合計		30.6
		30.60

（建物③） 公用車車庫　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
56	6.758 × 12.233	82.670614
合計		82.670614
		82.67

（建物④） 一般駐輪場　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
55	(6.504 + 6.7818) × 3.5183 × 1/2 × 3	70.115145
55A	(6.6141 + 6.8919) × 3.5183 × 1/2	23.759079
55B	(3.2526 + 3.2613) × 0.1101 × 1/2	0.35859
合計		110.234807
		110.23

（建物⑤） 職員駐輪場　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
56	2.050×13.200× 2	54.12
合計		54.12
		54.12

（建物⑥） 身障者駐車場　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
57	19.550 × 20.700	404.685
合計		404.68
		404.68

（建物⑦） 東屋　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
61	3.640 × 3.640	13.2496
合計		13.2496
		13.24

（建物⑧） バス待合所　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
58	(6.4552+ 6.5252) × 0.8855× 1/2	5.747072
合計		5.747072
		5.74

（建物⑨） 倉庫棟床面積

	NO	計算式(m)	計(㎡)
2F	60	欠番	
	計		
1F	59	5.400 × 23.400	126.36
	計		126.36
合計			126.36

（建物⑩） サイバーナイフ棟　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
70	23.700 × 20.300	481.110
合計		481.110
		481.11

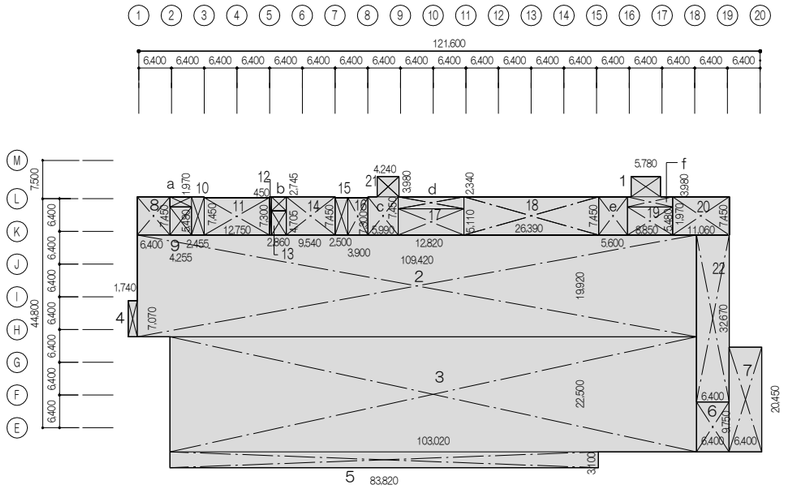
（建物⑪） 渡り廊下　１階床面積

NO	計算式(m)	計(㎡)
71	17.5225 × 3.360	58.8756
72	3.110 × 5.300	16.483
合計		75.3586
		75.35

□延床面積　面積表（㎡）

階	建物①　病院本棟										合計	建物②	建物③	建物④	建物⑤	建物⑥	建物⑦	建物⑧	建物⑨	②～⑨	総計
	既存部分							増築部分				マニホールド室	公用車車庫	一般駐輪場	職員用駐輪場	身障者用駐車場	東　屋	バス待合所	倉庫棟	合計	
	病院本棟（2015年工事増築分を含む）				リニアック棟	緩和ケア棟	小計	サイバーナイフ棟	渡り廊下	小計											
		地下サービスヤード		小計																	
		容積対象内部分	容積対象除外部分																		
6F	412.57			412.57			412.57				412.57										412.57
5F	3,032.91			3,032.91			3,032.91				3,032.91										3,032.91
4F	3,032.91			3,032.91			3,032.91				3,032.91										3,032.91
3F	3,360.59			3,360.59			3,360.59				3,360.59										3,360.59
2F	4,024.08			4,024.08			4,024.08	220.41		220.41	4,244.49								126.36	126.36	4,370.85
1F	10,234.98			10,234.98	1,128.62	1,537.16	12,900.76	481.11	75.35	556.46	13,457.22	30.60	(82.67)	(110.23)	(54.12)	(404.68)	13.24	5.74	126.36	827.64	14,284.86
B1F	4,986.02	935.93	(150.01)	6,071.96			6,071.96				6,071.96										6,071.96
合計	29,084.06	935.93	(150.01)	30,170.00	1,128.62	1,537.16	32,835.78	701.52	75.35	776.87	33,612.65	30.60	(82.67)	(110.23)	(54.12)	(404.68)	13.24	5.74	252.72	954.00	34,566.65
（　）床面積			(150.01)	(150.01)			(150.01)				(150.01)		(82.67)	(110.23)	(54.12)	(404.68)				(651.70)	(801.71)
容積対象延床面積	（　）内面積除外										33,462.64	30.60					13.24	5.74	252.72	302.30	33,764.94

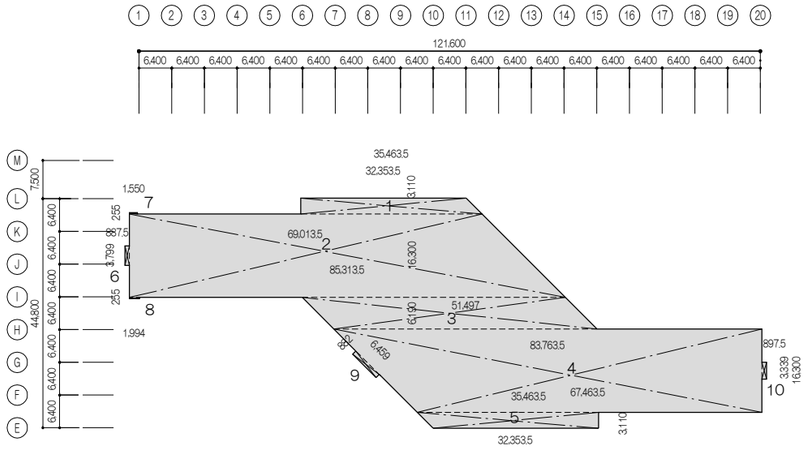
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	建物求積図、求積表-2	意匠
縮　尺 1/600(A1),1/1,200(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A117



病院本棟　地下１階床面積

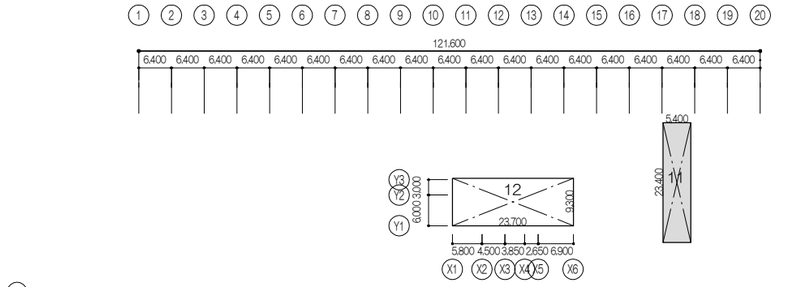
記号	面積計算式（m）	小計（㎡）
1	5,780×3,980	23,004
2	109,420×19,920	2179,646
3	103,020×22,500	2317,950
4	1,740×7,070	12,301
5	83,820×3,100	259,842
6	6,400×9,750	62,400
7	6,400×20,450	130,880
小計		4986,023
		4986,02
8	6,400×7,450	47,680
9	4,255×5,480	23,317
10	2,455×7,450	18,289
11	12,750×7,300	93,075
12	0,450×7,450	3,352
13	2,860×4,705	13,456
14	9,540×7,450	71,073
15	2,500×7,300	18,250
16	3,900×7,300	28,470
17	12,820×5,110	65,510
18	26,390×7,450	196,605
19	8,850×5,480	48,498
20	11,060×7,450	82,397
21	4,240×3,980	16,875
22	6,400×32,670	209,088
小計	サービスヤード　容積対象内部分	935,935
		935,93
a	4,255×1,970	8,382
b	2,860×2,745	7,850
c	5,990×7,450	44,625
d	12,820×2,340	29,998
e	5,600×7,450	41,720
f	8,850×1,970	17,434
小計	サービスヤード　容積対象外部分	150,010
		150,01
小計		6,071,96

※a～fは外部に開放されているため、容積対象外



病院本棟　４階床面積

NO	計算式(m)	計（㎡）
1	(32,3535 ＋ 35,4635)× 3,110× 1/2	105,455435
2	(69,0135 ＋ 85,3135)× 16,300× 1/2	1,257,76505
3	51,497 × 6,190	318,76643
4	(67,4635 ＋ 83,7635)× 16,300× 1/2	1,232,50005
5	(32,3535 ＋ 35,4635)× 3,110× 1/2	105,455435
6	0,8975 × 3,799	3,371613
7	1,550 × 0,255	0,39525
8	1,994 × 0,255	0,50847
9	6,459 × 0,882	5,696838
10	0,8975 × 3,339	2,996753
合計		3,032,911324
		3,032,91



病院本棟　２階床面積

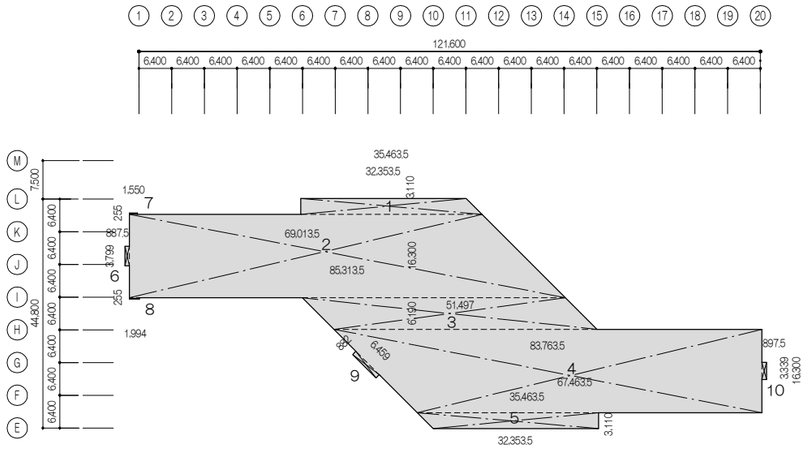
NO	計算式(m)	計（㎡）
1	83,820 × 3,110	260,6802
2	117,370× 16,300	1,913,131
3	(61,0635 ＋ 83,5535)×22,490× 1/2	1,626,218165
4	(32,3535 ＋ 35,4635)× 3,110× 1/2	105,455435
5	6,400 × 16,505	105,632
6	0,8975 × 3,799	3,371613
7	1,550 × 0,255	0,39525
8	1,994 × 0,255	0,50847
9	6,459 × 0,882	5,696838
10	0,8975 × 3,339	2,996753
合計		4,024,085724
		4,024,08

倉庫棟　２階床面積

NO	計算式(m)	計（㎡）
11	5,400 × 23,400	126,36
合計		126,36
		126,36

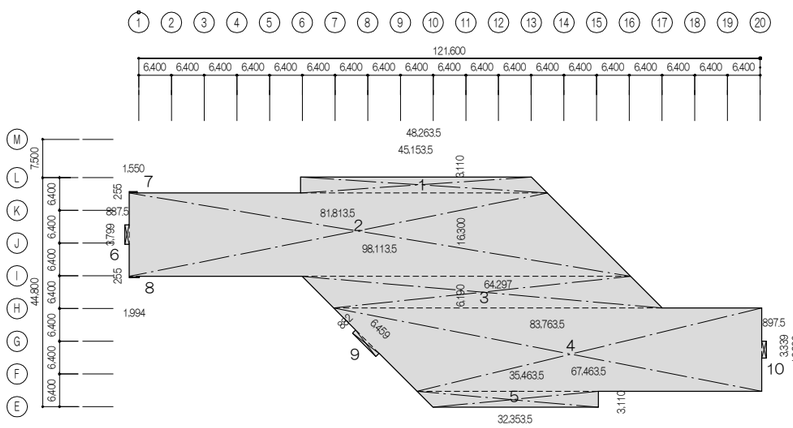
サイバーナイフ棟　２階床面積

NO	計算式(m)	計（㎡）
12	23,700 × 9,300	220,41
合計		220,41
		220,41



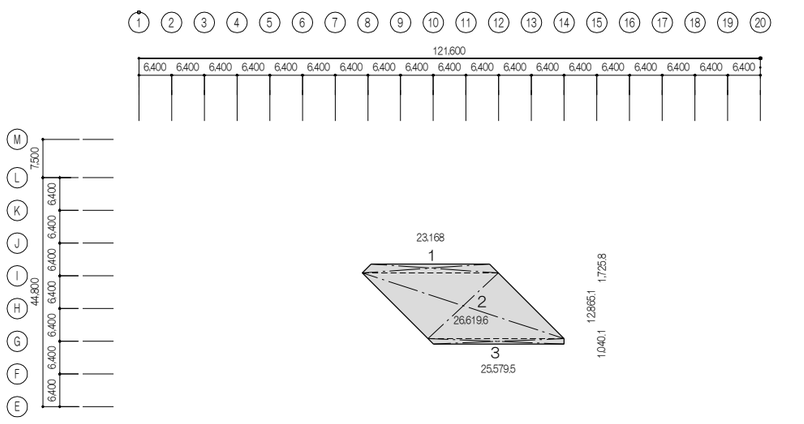
病院本棟　５階床面積

NO	計算式(m)	計（㎡）
1	(32,3535 ＋ 35,4635)× 3,110× 1/2	105,455435
2	(69,0135 ＋ 85,3135)× 16,300× 1/2	1,257,76505
3	51,497 × 6,190	318,76643
4	(67,4635 ＋ 83,7635)× 16,300× 1/2	1,232,50005
5	(32,3535 ＋ 35,4635)× 3,110× 1/2	105,455435
6	0,8975 × 3,799	3,371613
7	1,550 × 0,255	0,39525
8	1,994 × 0,255	0,50847
9	6,459 × 0,882	5,696838
10	0,8975 × 3,339	2,996753
合計		3,032,911324
		3,032,91



病院本棟　３階床面積

NO	計算式(m)	計（㎡）
1	(45,1535 ＋ 48,2635) × 3,110× 1/2	145,263435
2	(81,8135 ＋ 98,1135) × 16,300× 1/2	1,466,40505
3	64,297 × 6,190	397,99843
4	(67,4635 ＋ 83,7635) × 16,300× 1/2	1,232,50005
5	(32,3535 ＋ 35,4635) × 3,110× 1/2	105,455435
6	0,8975 × 3,799	3,371613
7	1,550 × 0,255	0,39525
8	1,994 × 0,255	0,50847
9	6,459 × 0,882	5,696838
10	0,8975 × 3,339	2,996753
合計		3,360,591324
		3,360,59



病院本棟　６階床面積

NO	計算式(m)	計（㎡）
1	(23,168 ＋ 26,6196)× 1,7258× 1/2	42,961720
2	26,6196 × 12,8651	342,463815
3	(25,5795 ＋ 26,6196)× 1,0401× 1/2	27,146141
合計		412,571676
		412,57

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	建物求積図、求積表-3	意匠
縮　尺 1/600(A1),1/1,200(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A118

表示略号

部位	表示略号	表示事項	部位	表示略号	表示事項
一般事項	PRF	塔屋屋上階	塗装	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
	P1F	塔屋1階		CL	クリアラッカー塗り
	RF	屋上階（塔屋のないもの）		NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
	MF	中2階		DP	耐候性塗料塗り
	1F	1階		DP（ふっ素）	耐候性塗料塗り（ふっ素樹脂）
	B1F	地下1階		DP（ｼﾘｺｰﾝ）	耐候性塗料塗り（シリコーン樹脂）
	BM	ベンチマーク		DP（ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ）	耐候性塗料塗り（ポリウレタン樹脂）
	GL	基準地盤面		EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
	SL	躯体床面		EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
	FL	基準床仕上面		EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
	CH	天井高さ		UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
	PS	パイプスペース		LE	ラッカーエナメル塗り
	DS	ダクトスペース		WP	木材保護塗料塗り
	EPS	電気配線スペース		OS	オイルステイン塗り
	CS	搬送設備スペース		防塵	防塵用塗料塗り
	CH	煙突		RPP	放射線散乱防護塗料塗り
	EV	エレベーター			
	ESC	エスカレーター			
	DW	小荷物専用昇降機			
	RC	鉄筋コンクリート			
	NRC	無筋コンクリート　溶接金網6 ϕ@100			
	CB	コンクリートブロック			
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル			
	ECP	押出成形セメント板			
	LGS	軽量鉄骨下地			
	W	幅			
	L	長さ			
	H、h	高さ			
	D、d	奥行、直径			
	ϕ	直径			
	R、r	半径			
	℄	センターライン			
	@	間隔			
	t、厚	厚さ			
床・幅木・壁・天井	VS（ ）	ビニル床シート	その他	PF	押出法ポリスチレンフォーム保温板
	VS-E	ビニル床シート（帯電防止）		A	アルミニウム押出型材
	VT（ ）	ビニル床タイル		V	ビニル
	VT-E	ビニル床タイル（帯電防止）		M	モルタル金鏝
	RS（ ）	ゴム床シート		m	タイル下地モルタル
	RT	ゴム床タイル		AS防（ ）	アスファルト防水（種別）
	LS（ ）	天然リノリウム床シート		M防	モルタル防水
	VB	ビニル系軟質幅木		CR	カーテンレール天井直付け
	VB-F	ビニル系半硬質幅木		CR（吊）	カーテンレール天井吊付け
	VB-H	ビニル系硬質幅木		AC	アコーディオンカーテン
	CPT	カーペット		PR	ピクチャーレール
	CPT（T）	タイルカーペット		BX	カーテンボックス及びブラインドボックス
	FAF（ ）	フリーアクセスフロアー		LD	洗面化粧台
	TL	タイル		L	手洗い（設備工事）
	MTL	モザイクタイル		SK	掃除流し、汚物流し（設備工事）
	GB-R	せっこうボード		UBT	ユニットバストイレ
	GB-S	シージングせっこうボード		US	ユニットシャワー
	GB-F	強化せっこうボード		UT	ユニットトイレ
	GB-H	硬質せっこうボード		UST	ユニットシャワートイレ
	GB-L	せっこうラスボード		UB	ユニットバス
	GB-NC	不燃積層せっこうボード（模様なし）		RD	ルーフドレイン（SUS製防塵網付き）
	GB-NC（T）	不燃積層せっこうボード（トラバーチン）		RDB	バルコニー用ドレイン
	GB-D（T）	化粧せっこうボード（トラバーチン）		RDR	バルコニー中継用ドレイン
	GB-D（W）	化粧せっこうボード（木目模様）		D	縦樋
	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード		GR	点滴レール
	0.8FK	けい酸カルシウム板（無石綿）		GH	点滴フック
	FK-P	吸音用穴あきけい酸カルシウム板（無石綿）		HPS	硬質樹脂系保護シート
	FK-C	化粧けい酸カルシウム板（無石綿）		W	製材
	FK-G	施柚硬質けい酸カルシウム板（無石綿）		WL	造作用集成材
	FK-D	ダップポストフォームけい酸カルシウム板（無石綿）		WL（化）	化粧ばり造作用集成材
				WLP（化）	化粧ばり構造用集成柱
	フレキ板	フレキシブル板（無石綿）		MDF（化）	化粧張りMDF
	DR	ロックウール化粧吸音板		LVL	造作用単板積層材
	DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板（立体模様）			
	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天用）		PVF	塩化ビニル樹脂フィルム
	DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板（立体模様）（軒天用）			
	RW-B	ロックウール吸音ボード			
	RW-F	ロックウール吸音フェルト			
	GW-B	グラスウール吸音ボード			
	GW-F	グラスウール吸音フェルト			
	MDF	ミディアムデンシティーファイバーボード			
	HW	硬質木毛セメント板			
	NW	普通木毛セメント板			
	W（A）	天然木化粧合板			
	W（B）	不燃天然木化粧板			
	VC（ ）	壁紙			
	RC（直）	床：コンクリート直均し仕上げ 標仕表6.2.5による			
	RC（ ）	壁、天井：コンクリート打放し（種別）（ ）の記載がない場合は、コンクリート打ちのままとする 標仕表6.2.4による			

（1）各項目の※及び・の適用は特記仕様書と同じとする
（2）【O-OO-O】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【△OO】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）

表示記号

表示事項	表示記号 S=1/200	表示記号 S=1/100	表示記号 S=1/50	標準詳細図番号及び部分詳細図番号
鉄筋コンクリート				
無筋コンクリート				
コンクリートブロック				
ALCパネル、押出成形セメント板				【2-31-1】
軽量鉄骨下地壁				【2-21-1】【2-22-1】【2-23-1】【2-24-1～8】
軽量鉄骨下地壁（鉛板入）		Pb	Pb	【2-21-1】【2-22-1】【2-23-1】【2-24-1～8】
可動間仕切			PT	
コンクリート増打ち				
保温・断熱・吸音材				【7-01-1】（寒冷地）【7-01-2】（標準地及び暖地）
カーテンレール　直付型 天吊型		CR CR(吊)	CR CR(吊)	
アコーディオンカーテン		AC	AC	
ピクチャーレール		PR	PR	
シャッター	SS	SS	SS	
防煙垂壁（固定式）	SM	SM	SM	回転降下式：SMF 垂直降下式：SMR
床点検口				
床点検口（密閉型）		密	密	
鋳鉄製マンホール蓋				
天井点検口				
天井点検口（気密型）		AT	AT	
タラップ（一般型ステンレス製）		T	T	【8-31-1】
タラップ（梯状型ステンレス製）		Ⓣ	Ⓣ	【8-31-2】
タラップ（かご付ステンレス製）		Ⓣ	Ⓣ	【8-31-3】
第一雨水桝				【9-14-1～2】
縦型ルーフドレイン		RD	RD	【5-31】【5-32】【5-33】
横型ルーフドレイン		RD	RD	【5-31】【5-32】【5-33】
バルコニードレイン		RDB	RDB	【5-31】【5-32】【5-33】
バルコニー中継用ドレイン		RDR	RDR	【5-31】【5-32】【5-33】
縦樋 特記なき限り ϕ		D	D	【5-31】【5-32】【5-33】
縦樋(ステンレス製) 特記なき限り ϕ		D(SUS)	D(SUS)	
縦樋(アルミバンドレス) 特記なき限り ϕ		D(A)	D(A)	
廊下手摺		手摺	手摺	【H01】
ストレッチャーガード		SG	SG	
コーナーガード（樹脂製）				【H02】
コーナーガード（木製）				
コーナーガード（ステンレス製）				【H02】
コーナーガード（ゴム製）				
消火器ボックス（置き型）		F	F	
消火器ボックス（半埋込型）		F	F	
消火器ボックス（全埋込型）		F	F	
丸環				【H03】
分電盤（電気設備工事）		分電盤	分電盤	
端子盤（電気設備工事）		端子盤	端子盤	
屋内消火栓（機械設備工事）		補助散水栓	補助散水栓	
連結送水管放水口（機械設備工事）		連結送水管	連結送水管	

外部仕上共通事項　特記なき限り下記による

部位	種別	種別
床	・大型床タイル【1-01-5】（・200角　・　　　）	・
	・一般床タイル及びユニットタイル【1-01-6】（・　　角）	・
	●RC（直）のうえ、モルタル金鏝仕上	・
	・天然石（ひき石）【1-01-9】	・

壁・柱・はり
※RC（B）増打厚さ20㎜【2-02-8～11　◎出隅面取り=20㎜　●出隅角面取り=20×20㎜】のうえ、
●防水型複層塗材（E）　・外装薄塗材（　　）　・AE塗り　　・塗装なし　・　　・
●水性反応硬化形基礎専用シリコン系塗料　●サンドセラミック調装飾仕上塗材（HL仕上・テール仕上）
・磁器質タイル密着張り　【2-01-4　躯体面の処理　・MCR工法　・目荒し工法】
・磁器質タイルマスク張り【2-01-7　躯体面の処理　・MCR工法　・目荒し工法】
・磁器質タイル接着張り　【2-01-10　躯体面の処理　・MCR工法　・目荒し工法】

腰
※壁、柱、はりに同じとする

屋根
※下地RCのうえ、
※アスファルト防水（AⅠ-2）、シート防水（S-M2）カバー、ポリスチレンフォーム3種bA t70
フラットヤーンクロス（70g/㎡ 程度）、押さえコンクリート厚さ80㎜（溶接金網入り）直均し仕上げ、伸縮調整目地
・アスファルト防水（A-3）、ポリエチレンフィルム厚さ0.15㎜
押さえコンクリート厚さ80㎜直均し仕上げ、伸縮調整目地
・アスファルト防水（D-2）
・
・

内部仕上共通事項　特記なき限り下記による

床

仕上種別	詳細番号
VS、VS-E、VT、VT-E、LS、LT	【1-01-4：t=10】RC
タイルカーペット	【1-02-5】に準ずる
RC、床用塗料、防塵用塗料	【1-01-3：t=10】RC
モルタル、防水モルタル	【1-01-1】防水モルタル厚（※15　・30）

（1）　床仕上の異なる部分には、　・くつずり【4-31-1】　●目地棒【4-31-2】とする
（2）　改修部分の仕上は、撤去後、下地補修を行ったうえで新設するものとする

幅木

仕上種別	高さ(㎜)	詳細番号
VB	●100　・60　・	【2-11-1】
VB-F	・100　・60　・	【2-11-1】
VB-H	・100　・60　・	【2-11-1】
VS（床シート巻き上げ）	●100　・60　・	【2-11-2】

（1）　VS（床シート巻き上げ）の壁との取り合いは、ジョイナー（◎塩ビ製　●アルミ製）とする

壁・柱型

種別	厚さ(㎜)			
GB-R	・ 9.5（準不燃）	●12.5（不燃）	・15　（不燃）	
GB-S	・ 9.5（準不燃）	・12.5（準不燃）	●12.5（不燃）	
GB-F	・12.5（不燃）	・15　（不燃）	・21　（不燃）	
GB-H	・ 9.5（不燃）	●12.5（不燃）	・15　（不燃）	
GB-L	・ 7　（不燃）	・ 9.5（不燃）		
GB-NC	・ 9.5（不燃）			
0.8FK	・ 6　（不燃）	・ 8　（不燃）	・10　（不燃）	・12　（不燃）
FK-C	・ 5　（不燃）	● 6　（不燃）		
FK-G	・ 4　（不燃）	・ 6　（不燃）	・10　（不燃）	
GW-B	・25　（不燃）	●50　（不燃）		

ボード2枚張の場合（LGS下地一般壁）

種別	下張(㎜)	上張(㎜)	種別	下張(㎜)	上張(㎜)
GB-R + GB-R	12.5	12.5	GB-R + GB-S	12.5	12.5
GB-R + GB-H	12.5	12.5			

（1）　RCまたはCB下地の場合はGL工法とし、継目処理及びボードの種別は下記とする
・【2-03-6】（塗装仕上げ及び壁紙張りの場合）　種別：
・【2-03-9】（仕上げ等を行わない場合）　種別：
●【2-03-15】（塗装仕上げ及び壁紙張りの場合）　種別：GB-R + GB-R、GB-R + GB-H
●【2-03-18】（仕上げ等を行わない場合）　種別：GB-R + GB-R
（2）　LGS下地壁の継目処理は下記とする。ただし、建具枠上部天井まで及び壁面@3,000程度はひび割れ防止のうえ、目透かし工法【2-03-14】とする。（防火上主要な間仕切りにおいては認定書仕様による）
●【2-03-10】（塗装仕上げ及び壁紙張りの場合）
●【2-03-13】（仕上げ等を行わない場合）
（3）　LGS下地壁とGL工法の壁が取り合う場合は　●【2-24-4】　・【△OO】とする
（4）　吸音材（GW-B）張り（RC又はCB下地）は【2-02-13】とする
（5）　モルタルは【2-02-12】とする
（6）　コンクリート打放しの出隅面取りは10㎜とする（梁型、機械基礎とも）
（7）　ボード壁とRC又はCB壁との取合いは【2-24-7：継目処理の場合、塩ビ製見切縁】とする
（8）　LGS下地壁と取り合うフラットデッキプレートはカットする
（9）　FK-C、FK-Gは壁リストに指定されたボンドの上に貼るものとし、目地は ●目地シール W=5 ●アルミジョイナー【2-04-1】・突き付け　とする
（10）　FK-Cは、原則天井まで継ぎ目のないものを使用する。出隅部分及び端部はアルミコーナービードを使用する
（11）　下地補強：図面中の壁付のものは原則別途工事であっても壁下地補強を行う。設置場所は壁面等とし、詳細は現場にて監理者からの指示とする。補強材はスチールプレート t=1.2を基本とする

天井

種別	厚さ(㎜)				詳細番号
GB-R	・ 9.5（準不燃）	●12.5（不燃）			
GB-S	・ 9.5（準不燃）	・12.5（準不燃）	・12.5（不燃）		
GB-NC	・ 9.5（不燃）				
GB-NC(T)	● 9.5（不燃）				【3-01-2】
GB-D(T)	・ 9.5（準不燃）				【3-01-2】
GB-D(W)	・ 9.5（準不燃）				下地は製造所の仕様とする
0.8FK	・ 6　（不燃）	・ 8（不燃）	・10（不燃）	・12（不燃）	【3-01-1】
FK-C	・ 5　（不燃）	・ 6　（不燃）			
FK-G	・ 4　（不燃）	・ 6　（不燃）	・10　（不燃）		
DR	● 9　（不燃）	・12　（不燃）			【3-01-4】
DR(凹凸)	・12　（不燃）	・15　（不燃）	・19　（不燃）		【3-01-4】
DR(軒天)	・ 9　（不燃）	・12　（不燃）			【3-01-4】
DR(軒天凹凸)	・12　（不燃）	・15　（不燃）			【3-01-4】
GW-B	・25　（不燃）	●50　（不燃）			【3-01-12】

ボード2枚張の場合（LGS下地一般壁）

種別	下張(㎜)	上張(㎜)	種別	下張(㎜)	上張(㎜)
GB-R + DR	12.5	9			

（1）　ボード張りの下地は軽量鉄骨天井下地とし、【3-21-1】【3-21-2】【3-21-3】【3-41】【3-42】とする
（2）　壁～天井の取合いは天井付き目地【3-11-3、4、7、8、　※塩ビ製見切縁　・アルミ製見切縁】とする
（3）　DRの下張りは、・GB-R厚9.5　●GB-R厚12.5　※GB-NC厚9.5　とする
BXとの取合いにおいても同上とする
（4）　GB-NC(T)の大きさは、※910×455　・910×910とする
（5）　塗装仕上げ及び壁紙張りの場合のGBは継目処理とする
（6）　FK-C、FK-Gの目地は、・目地シール W=6　・アルミジョイナー　・突き付け　とする

壁紙

表示略号	材料区分	防火性能（直張り） 不燃下地	不燃石膏ボード下地	準不燃下地	金属下地	防火種別
VC	プラスチック製壁紙	不燃NM-3991	不燃NM-3991	準不燃QM-0822	不燃NM-4082	1-4
VC（1）	プラスチック製壁紙	不燃NM-3991	不燃NM-3991	準不燃QM-0822	不燃NM-4082	1-4
VC（2）	プラスチック製壁紙	不燃NM-3992	不燃NM-3992	準不燃QM-0823	不燃NM-4083	1-4
VC（3）	プラスチック製壁紙	不燃NM-3991	不燃NM-3991	準不燃QM-0822	不燃NM-4082	1-4
VC（4）	プラスチック製壁紙	不燃NM-3992	不燃NM-3992	準不燃QM-0823	不燃NM-4083	1-4

（1）　壁紙材料については、上記の認定材料または同等の性能を有するものを使用する

仕上塗材

種類	呼び名	防火性能

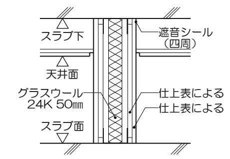
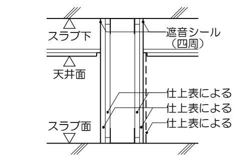
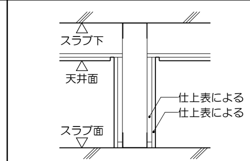
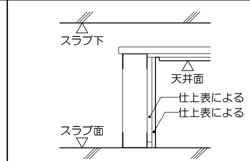
塗装

表示略号	防火性能
EP・EP-G	・NM-8585塗料塗装／不燃材料　・QM-9816塗料塗装／準不燃材料　・RM-9364塗料塗装／難燃材料

断熱材

種類	適合する規格	厚さ	施工部位
グラスウール断熱材（ガラスクロス包）	GW64-36(JIS A 9504)	50㎜	内壁（機械室）
グラスウール断熱材（ガラスクロス包）	GW32-36(JIS A 9504)	50㎜	内壁（空調機械室）
ポリスチレンフォーム3種bA	JIS A 9521	70㎜	屋上（アスファルト防水面）
押出法ポリスチレンフォーム保温板　3種bA	XPS3bA(JIS A 9521)	50㎜	地下ピット（天井・壁面型枠打込み）
押出法ポリスチレンフォーム保温板　1種bC	XPS1bC(JIS A 9521)	100㎜	渡り廊下床（スラブ下型枠打込み）
吹付硬質ウレタンフォーム　A種1H	NF1H(JIS A 9526)	65㎜	外壁（RC・ECP面）

壁リスト（LGS下地壁）　耐火壁はすべて非耐力壁とする

乾式耐火遮音壁（1時間耐火）防火上主要な間仕切【2-23-1】	乾式耐火壁（1時間耐火）防火上主要な間仕切【2-23-1】	一般壁	一般壁（片面張り）
耐火構造：FP060 NP-0290	耐火構造：FP060 NP-0289	【2-22-1】	【2-22-1】
遮音構造：SOI-0151			
			

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図名	表示略号・記号、仕上共通事項
縮尺	-
日付	2025/12（令和7年）
	意匠
	A119

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1000	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
サイバーナイフ棟 1階	廊下1		RC（直）	VS(1)		VB	GB-R+GB-H GB-R+GB-H(GL)	EP 腰壁：メラミン不燃化粧板	V	GB-R	DR	2,600 一部2,500	BX
	廊下2	-100	RC（直） RC（直）+AS防+NRC t=100	VS(2)		VB	GB-R+GB-S GB-R+GB-R GB-R+GB-S(GL)	EP	V	-	GB-NC（T）	2,600	ピクチャーレール BX
	職員更衣室-1		RC（直）	VS(2)		VB	GB-R+GB-S GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	VC(2) 一部FK-C	V	-	GB-NC（T）	2,500	手洗いカウンター 化粧鏡 BX
	職員更衣室-2		RC（直）	VS(2)		VB	GB-R+GB-S GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	VC(2) 一部FK-C	V	-	GB-NC（T）	2,500	手洗いカウンター 化粧鏡 BX
	SWC		RC（直）	VS(3)		VS巻上	GB-R+GB-S	EP-G 一部FK-C	V	-	GB-NC（T）	2,300	ライニング 化粧鏡
	待合ホール		RC（直）	VS(1)		VB	GB-R+GB-H GB-R+GB-R(GL)	VC(1) 腰壁：メラミン不燃化粧板 一部EP	V	GB-R	DR	2,750 一部2,850	BX
	サイバーナイフ治療室	-360	NRC t=360	VS(1)		VS巻上	GB-R+GB-S GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	VC(1) 一部FK-C	V	GB-R	VC(4) 一部DR	3,000 一部2,700	ライニング 既成流し台 配線ピット
	機械室	-360	NRC t=360	VS-E		VS-E巻上	GB-R+GB-R	GW-B	-	-	GB-NC（T）	3,200	配線ピット
	操作室	-360	NRC t=360	VS-E		VB	GB-R+GB-S GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	VC(2) 一部FK-C	V	GB-R	DR	2,500	ライニング、BX 既成流し台 配線ピット
	更衣室		RC（直）	VS(1)		VB	GB-R+GB-R	EP	V	-	GB-NC（T）	2,500	全身鏡
	倉庫(1)		RC（直）	VS(2)		VB	GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	EP	V	-	GB-NC（T）	2,500	
	倉庫(2)		RC（直）	VS(2)		VB	GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	素地	-	-	-	直天	
	WC		RC（直）	VS(3)		VS巻上	GB-R+GB-S GB-R+GB-S(GL)	FK-C	V	-	GB-NC（T）	2,500	ライニング 化粧鏡
2階	廊下3		RC（直）	VS(2)		VB	GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	EP	V	-	GB-NC（T）	2,500	BX
	大会議室		RC（直）	CPT（T）		VB	GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	VC(3) 腰壁：メラミン不燃化粧板 一部VC(4)	V	GB-R	DR	2,500	BX SLW
共通	ピット		RC（直）	素地のまま		-	RC(C)	素地 外周部断熱材打込み t=50	-	-	断熱材打込み t=65 下がり H=500	直天	
	PS		RC（直）	素地のまま		-	-	素地	-	-	-	直天	
	アラーム弁室		RC（直）	防塵		-	GB-R+GB-R	素地	-	-	-	直天	
	空調機械室		RC（直）	防塵		-	GB-R	GW-B	-	-	GW-B	直天	機械基礎
	階段		RC（直）	VS(2)		VB	GB-R+GB-R GB-R+GB-R(GL)	EP	V	-	GB-NC（T）	2,500	図示による

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1000	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
渡り廊下棟 1階	渡り廊下		RC（直）	VS(1)		VB	GB-R+GB-H	VC(1) 腰壁：メラミン不燃化粧板	V	GB-R	DR	2,500	Exp.J. ピクチャーレール BX

改　修　仕　上　表

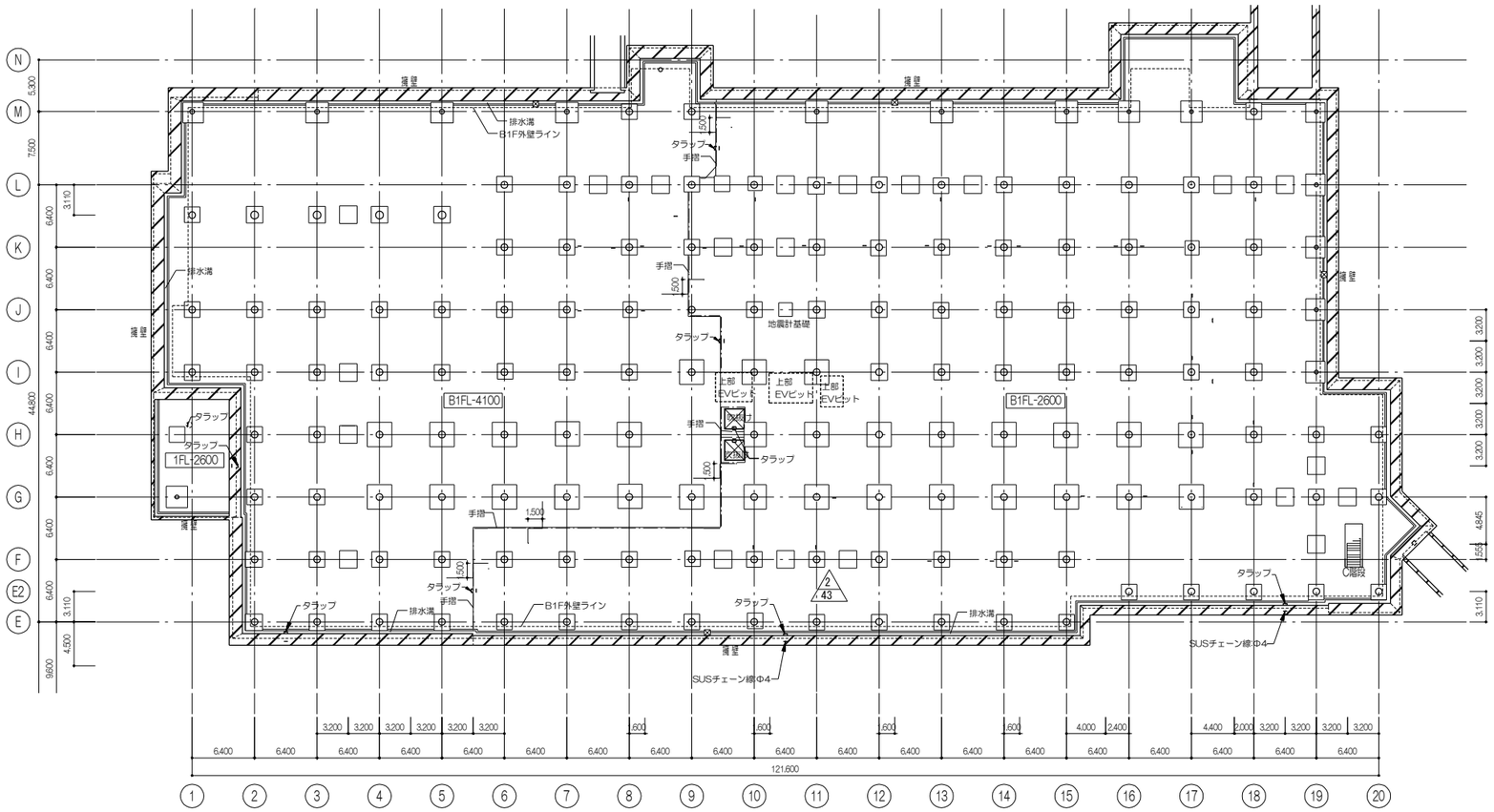
撤　去

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1000	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
既存棟	病院棟 免震ピット		RC（直）	-			RC（直）	-		RC（直）	HW t=30 打込み	直天	
	リニアック棟 1階廊下		RC（直）	VS （一部撤去）		VB	GB-R 12.5 GL工法 （一部撤去）	VC （一部撤去）	V （一部撤去）	GB-R t=9.5 （一部撤去）	DR （一部撤去）	2,600	

新　設

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1000	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
既存棟	病院棟 免震ピット		RC（直） （既存のまま）	-			RC（直） （既存のまま）	-		RC（直） （既存のまま）	HW t=30 打込み （既存のまま）	直天	
	リニアック棟 1階廊下		RC（直） （既存のまま）	VS(4) （一部新設）		VB （一部新設）	GB-R 12.5 （一部新設）	VC(1) （一部新設）	V （一部新設）	GB-R t=9.5 （一部新設）	DR （一部新設）	2,600	

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	意匠
図名	仕上表（増築・改修含む）	A120
縮尺	—	日付 2025/12（令和7年）



地下免震ピット階平面図（参考図）S=1:300

地下ピット階平面図（参考図）S=1:300

25 ：ポンプピット1000X1500XH500　*上部マンホール

□ ：連通口700φ（建築工事）H:下端FL＋2500(芯高さ)
L:下端FL＋　500(芯高さ)

⊠ ：人通口600φ（建築工事）　芯B1FL-6,300

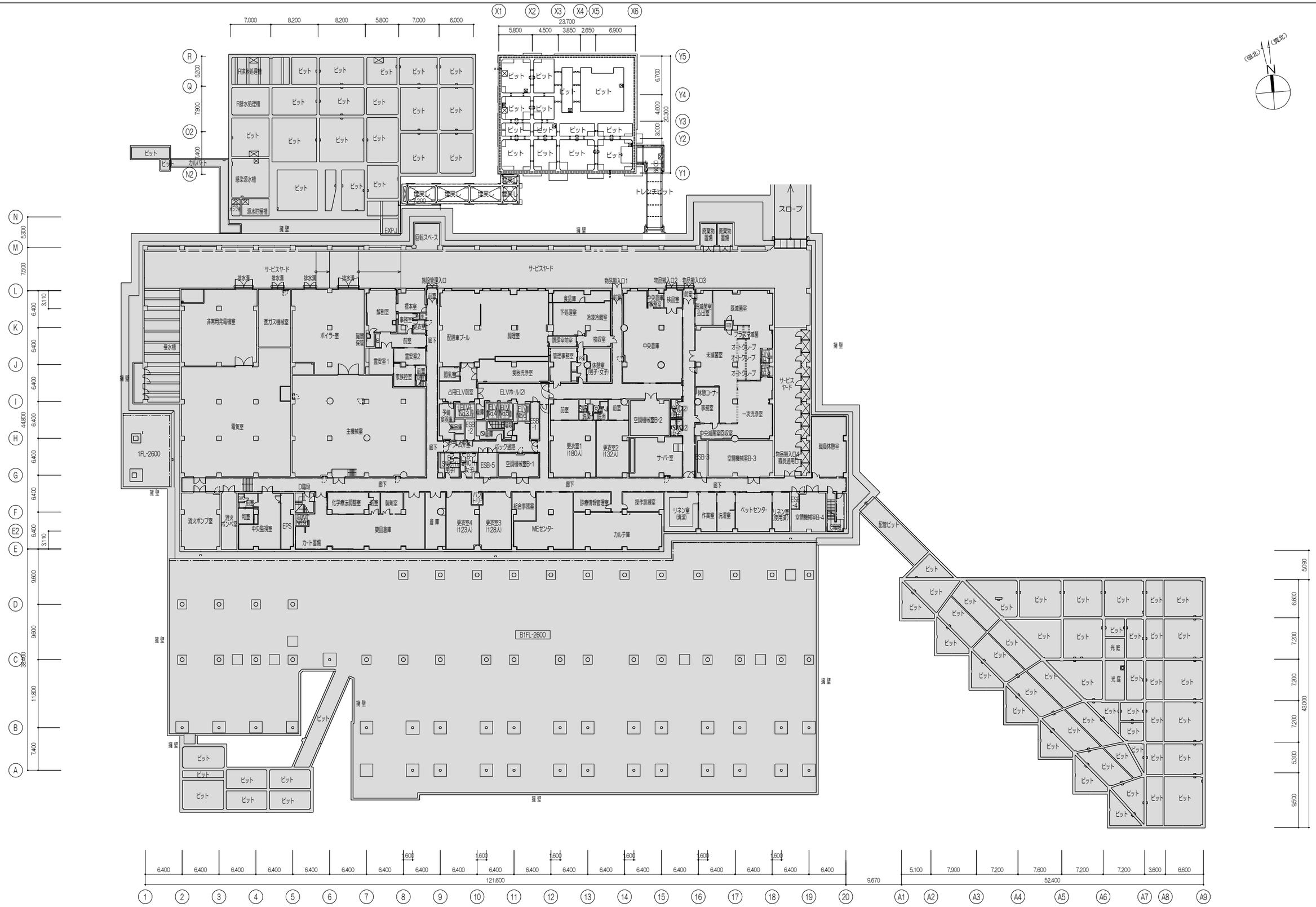
---- ：<特記なき限り>　通気管100φ　＋　連通管150φ(半割)
小梁下端-150(芯高)　(槽面に設置)

⊡ ：切り替えバルブ600φ(バタ弁)（設備工事）

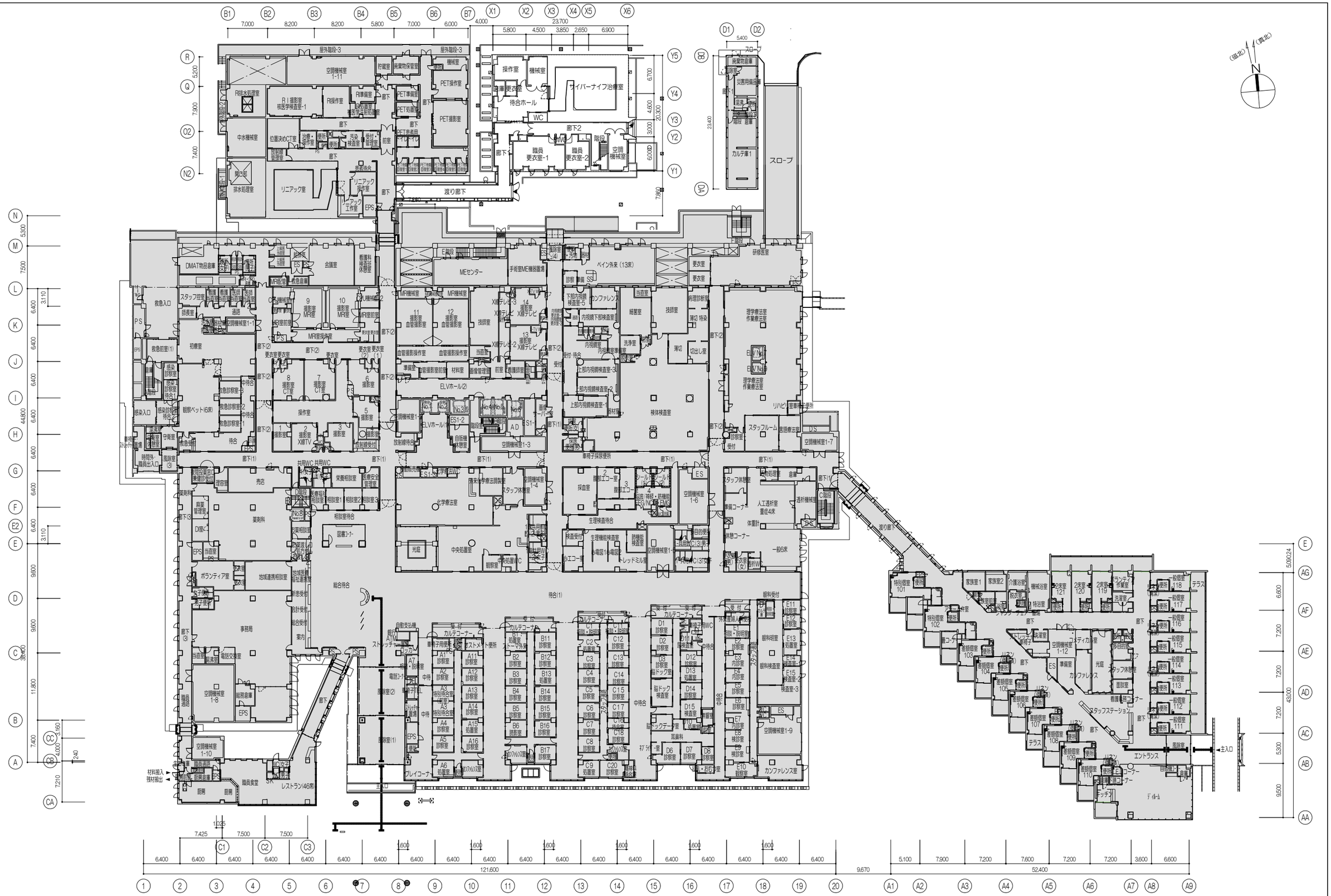
：タラップ(上部マンホール付) △2

：上部マンホール 600φ

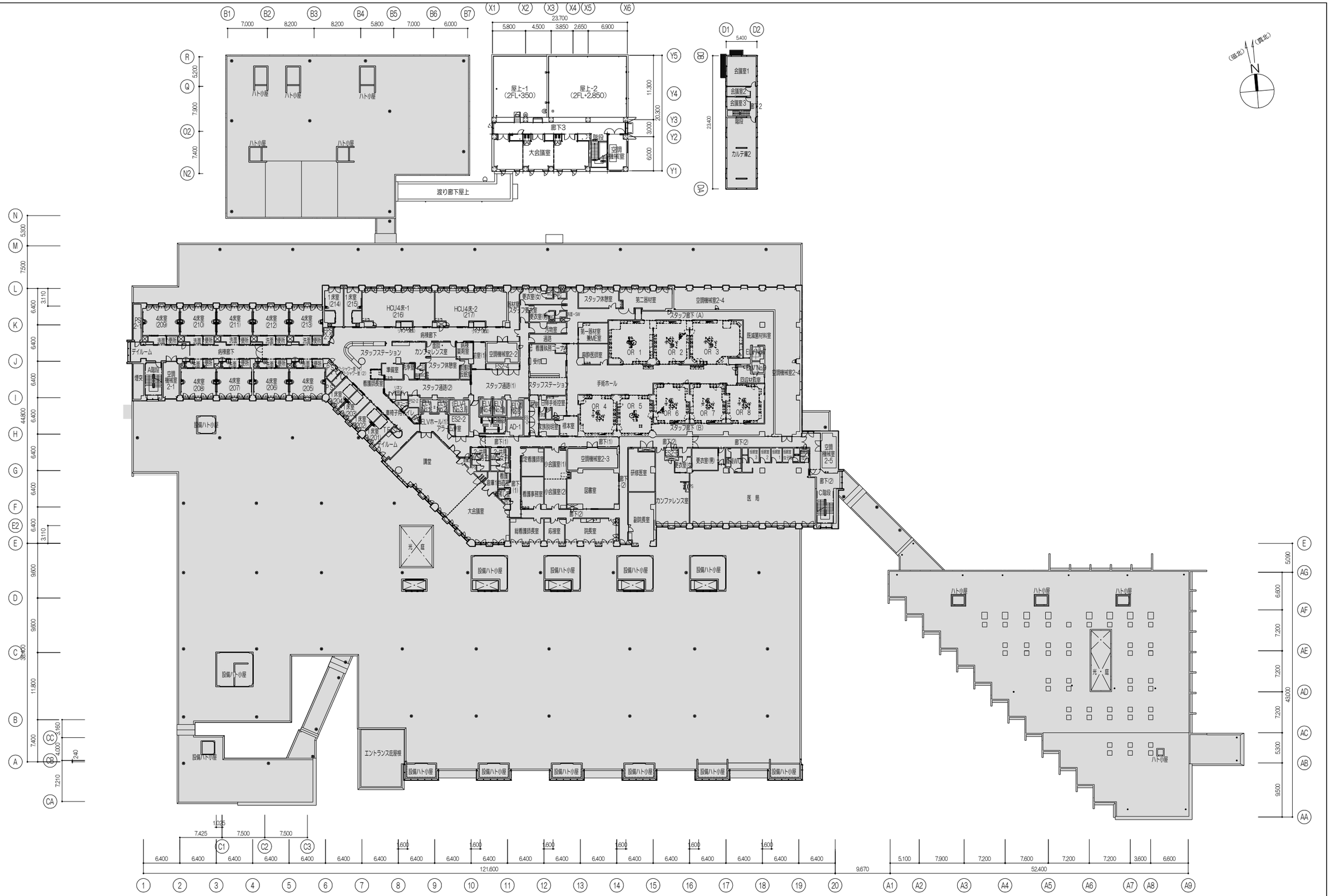
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	【病院棟】地下二重ピット・免震ピット平面図（参考図）	意匠
縮　尺 1/300(A1),1/600(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A121



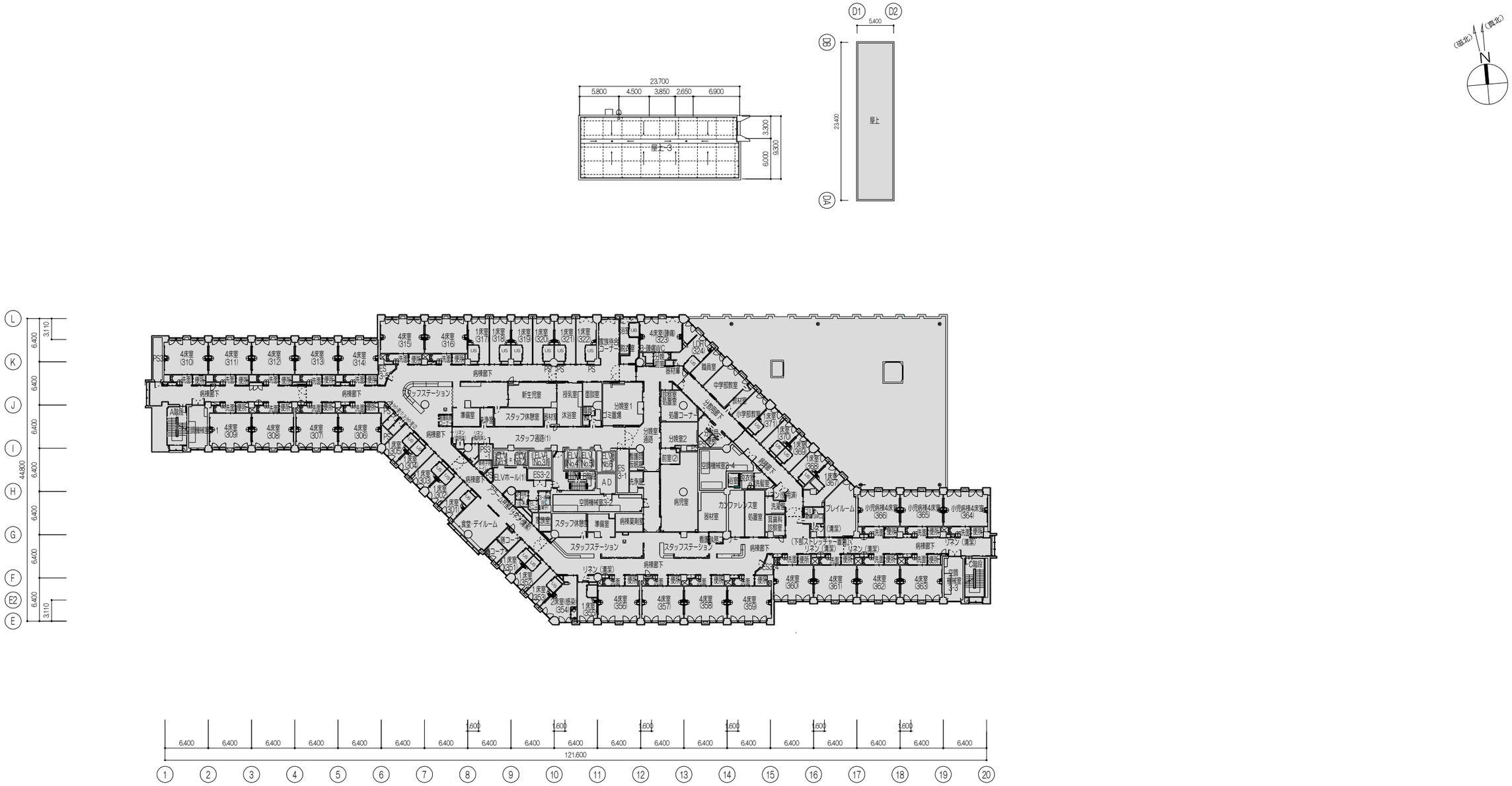
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図 名	ピット・【病院棟】地下1階平面図（全体）
縮 尺	1/300(A1),1/600(A3)
日 付	2025/12（令和7年）
意匠	A122



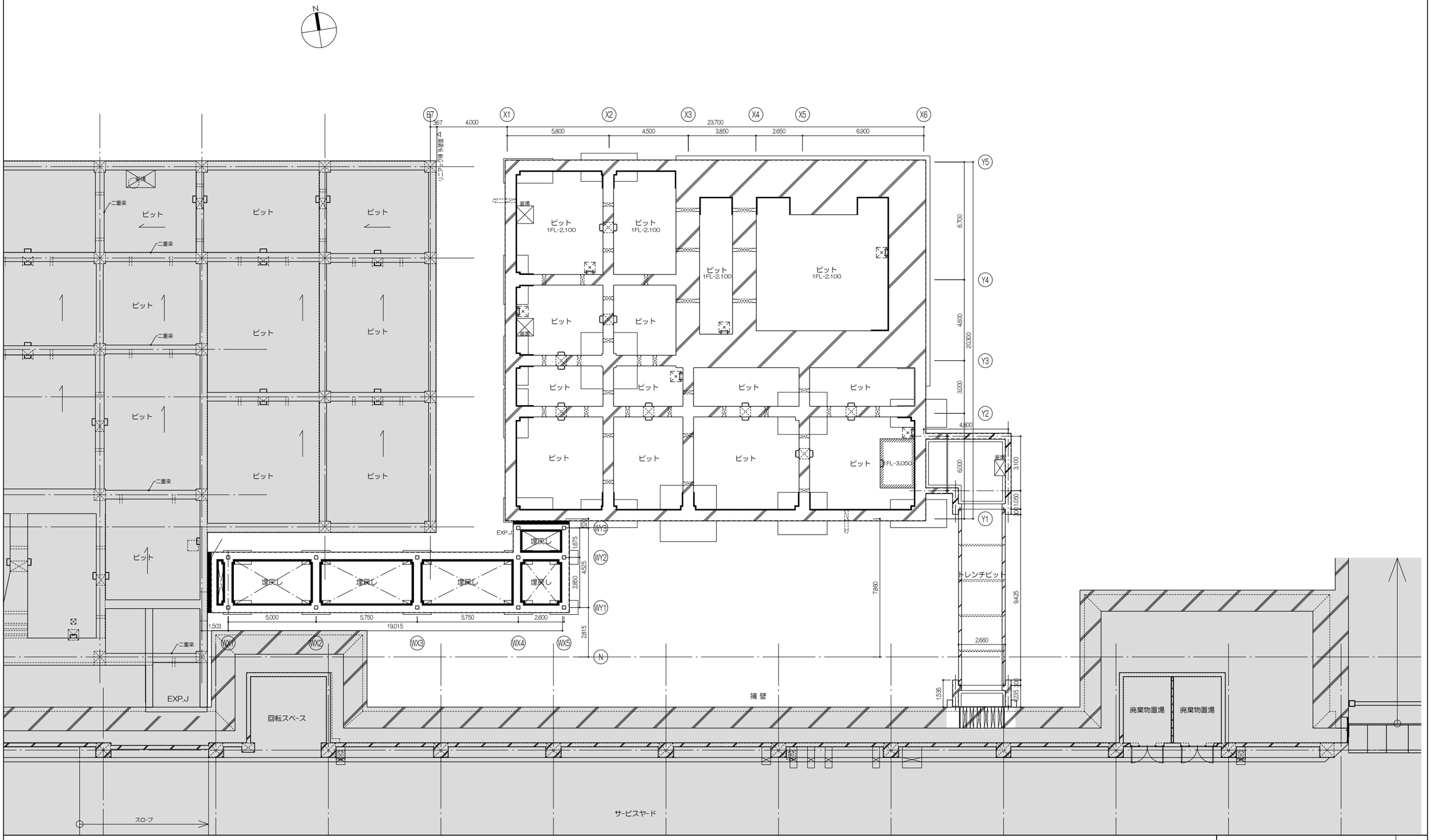
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	1階平面図（全体）	意匠
縮 尺 1/300(A1),1/600(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A123



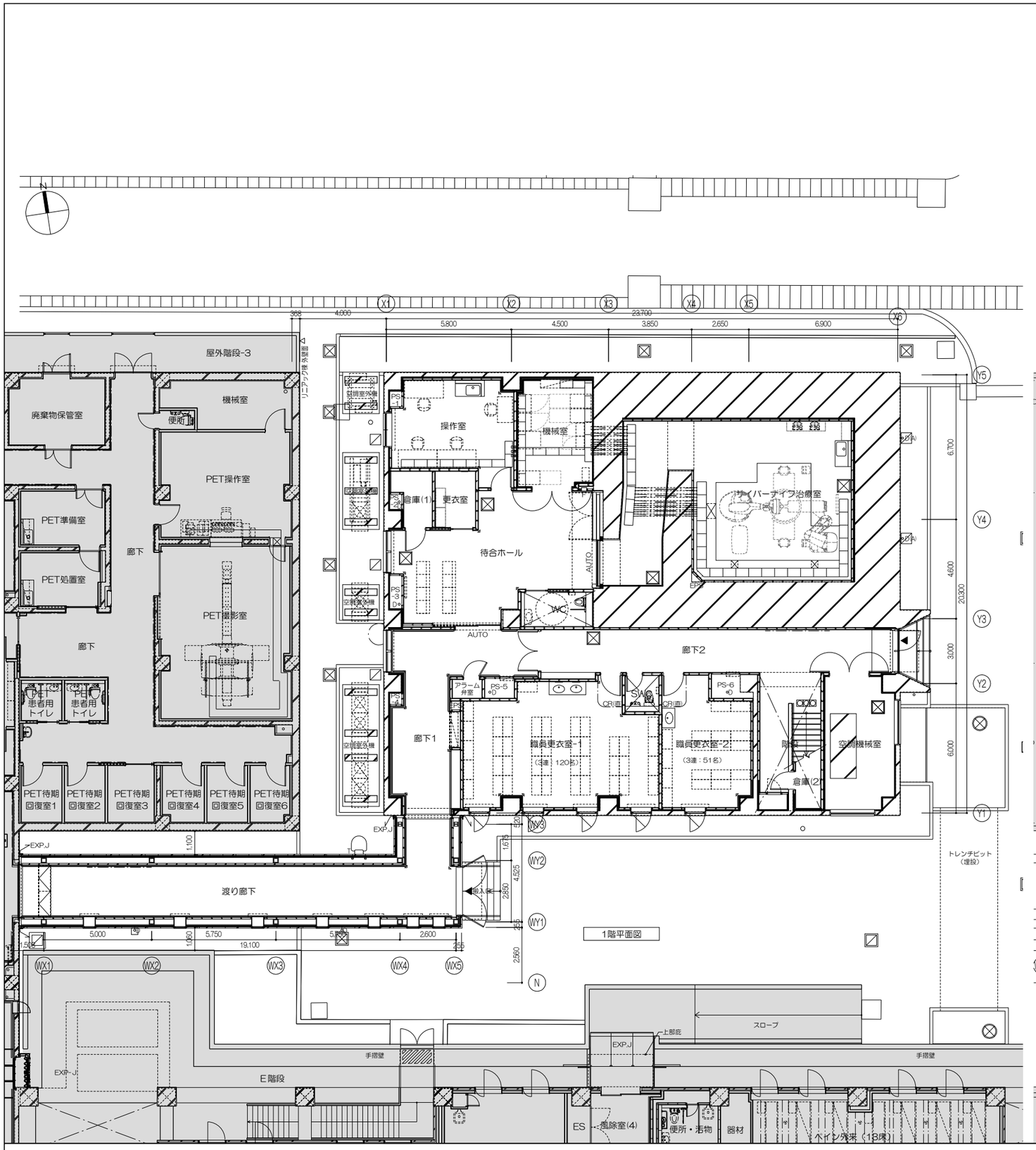
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図 名	2階平面図（全体）
縮 尺	1/300(A1),1/600(A3)
日 付	2025/12（令和7年）
意匠	A124

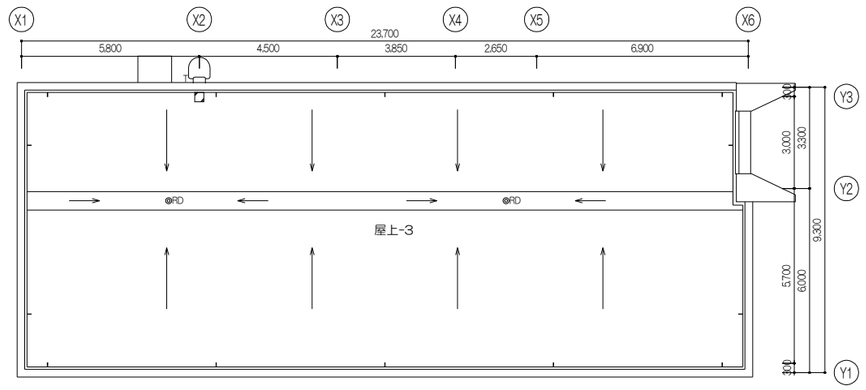


件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図 名	3階平面図（全体）
縮 尺	1/300(A1),1/600(A3)
日 付	2025/12（令和7年）
	意匠
	A125

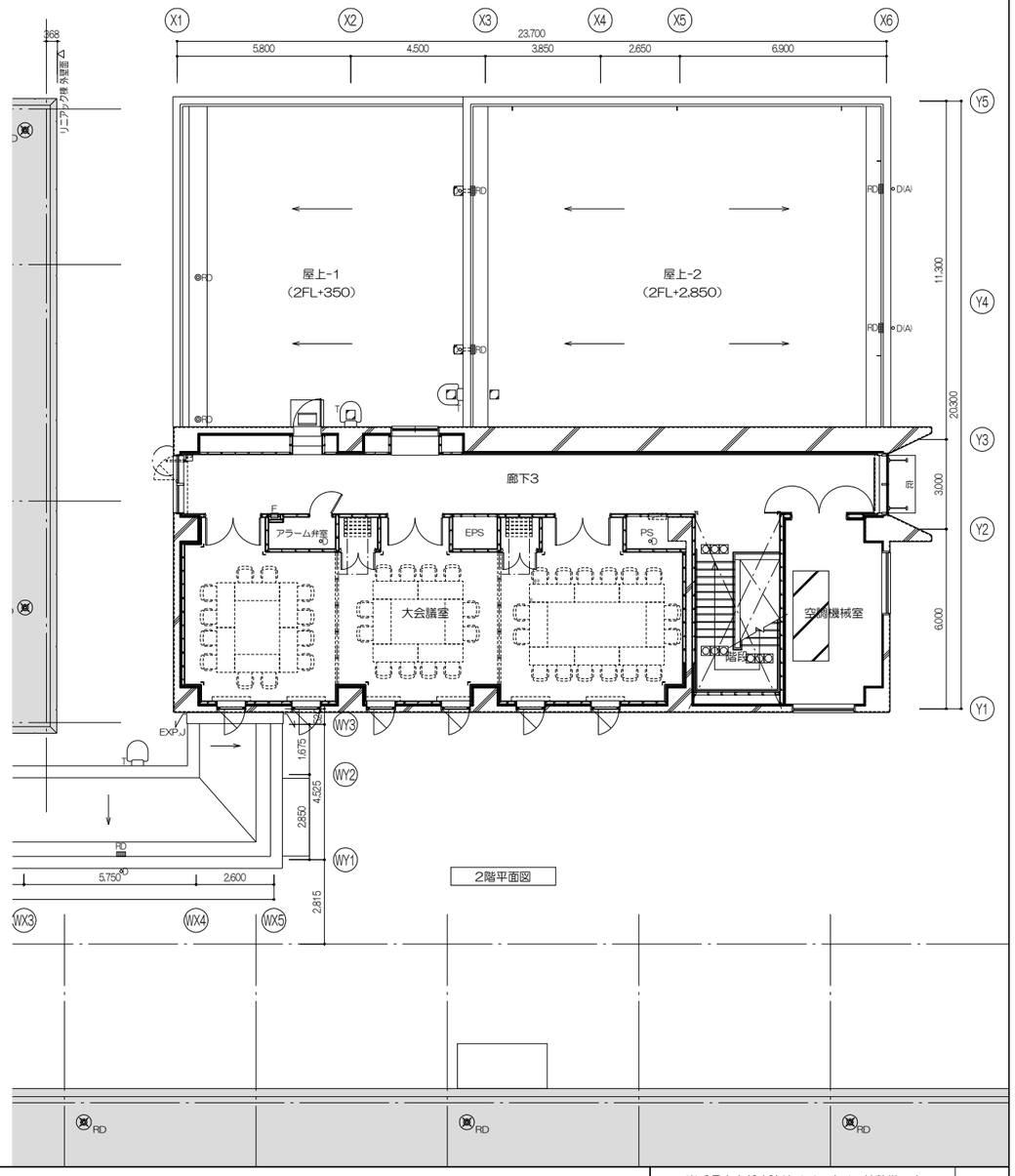


件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 ピット平面図		意匠
縮 尺 1/100(A1),1/200(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A126

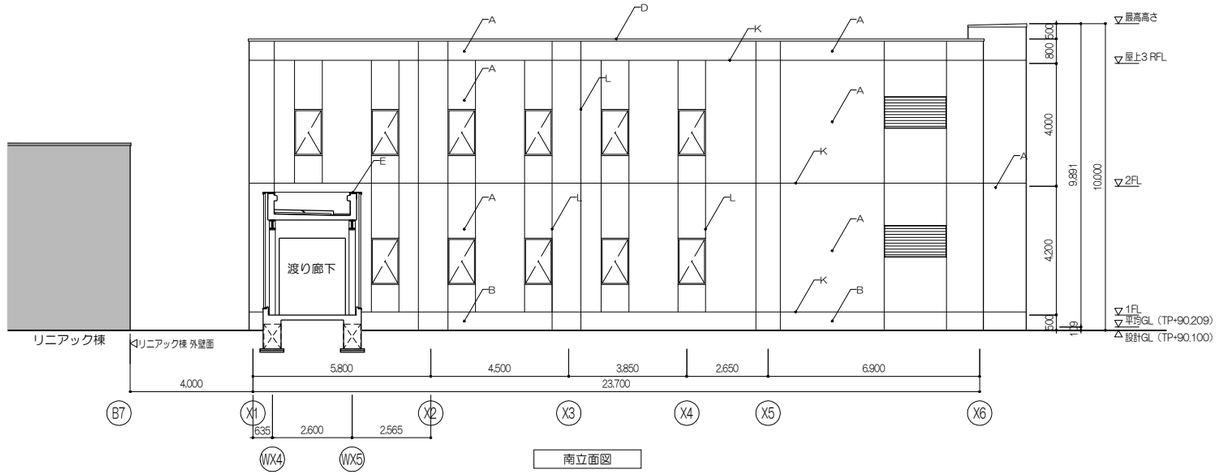




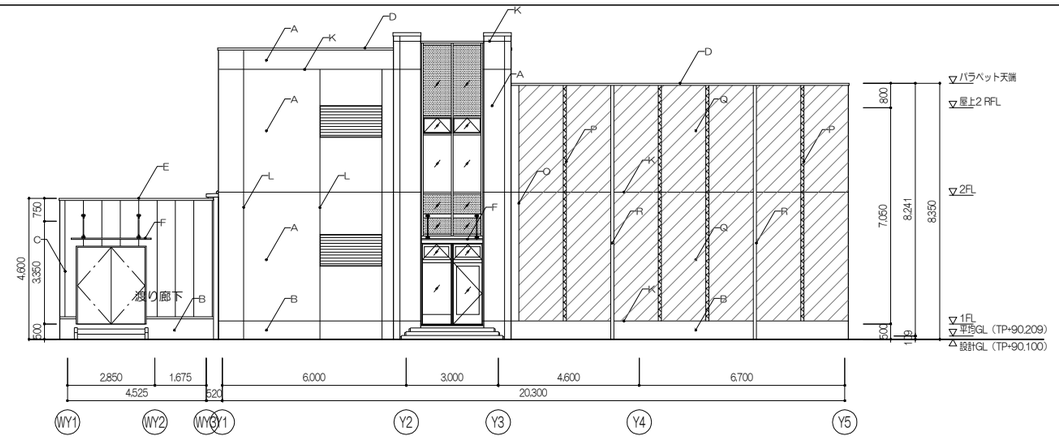
屋根伏図



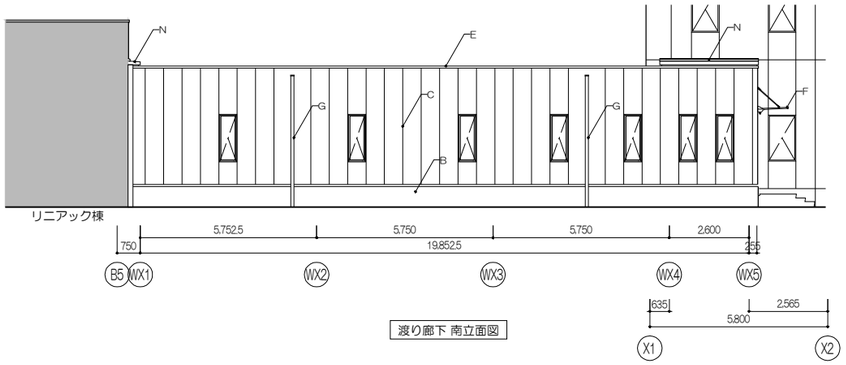
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	1階・2階平面図・屋根伏図	意匠
縮 尺 1/100(A1),1/200(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A127



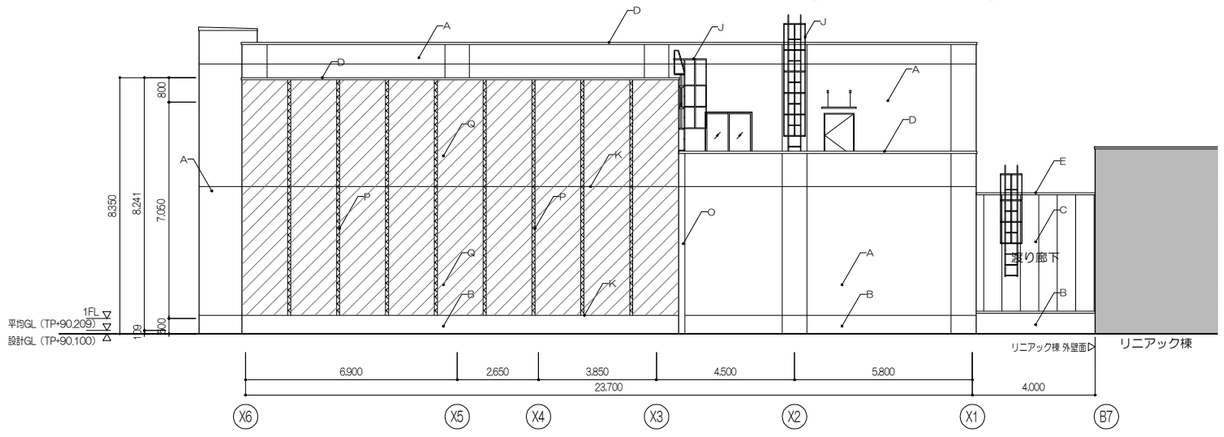
南立面図



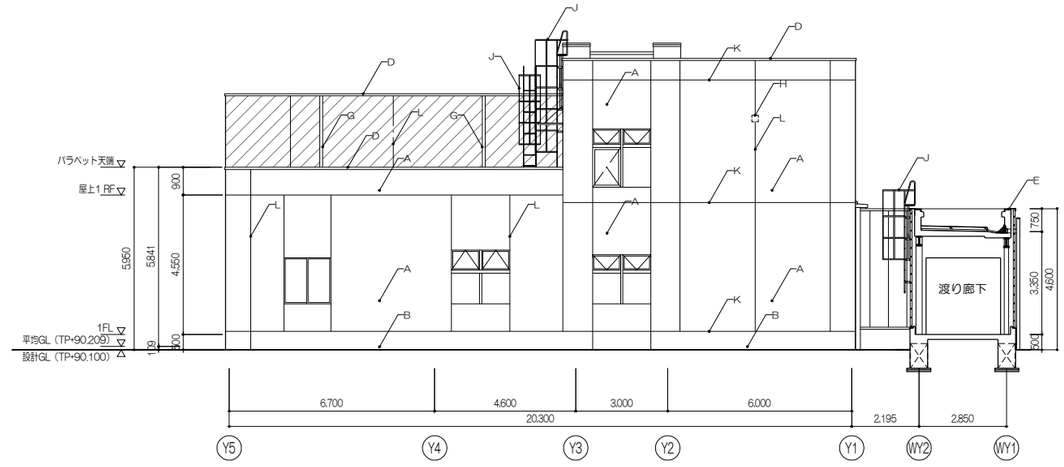
東立面図



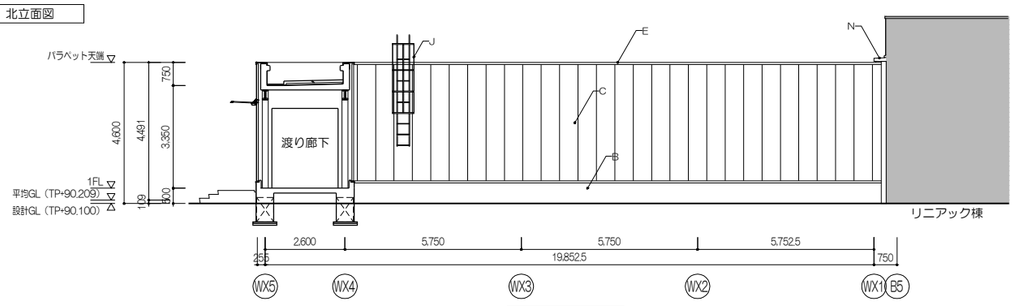
渡り廊下 南立面図



北立面図



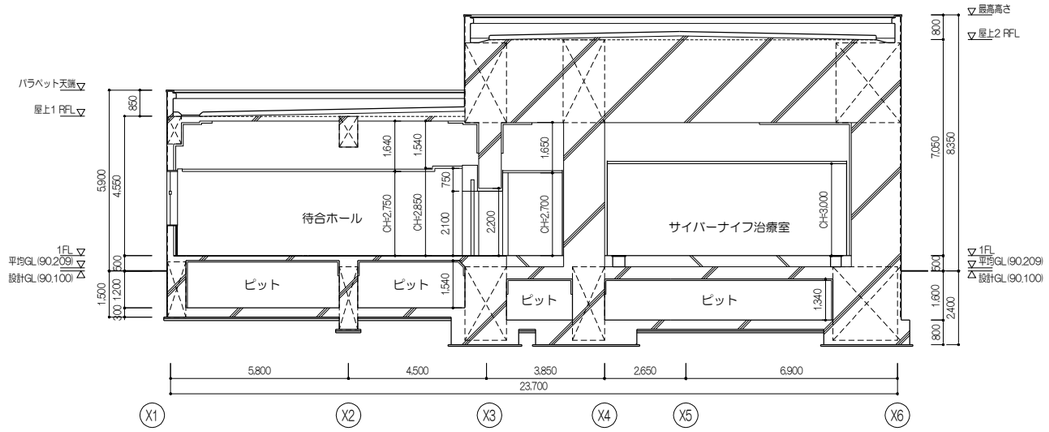
西立面図



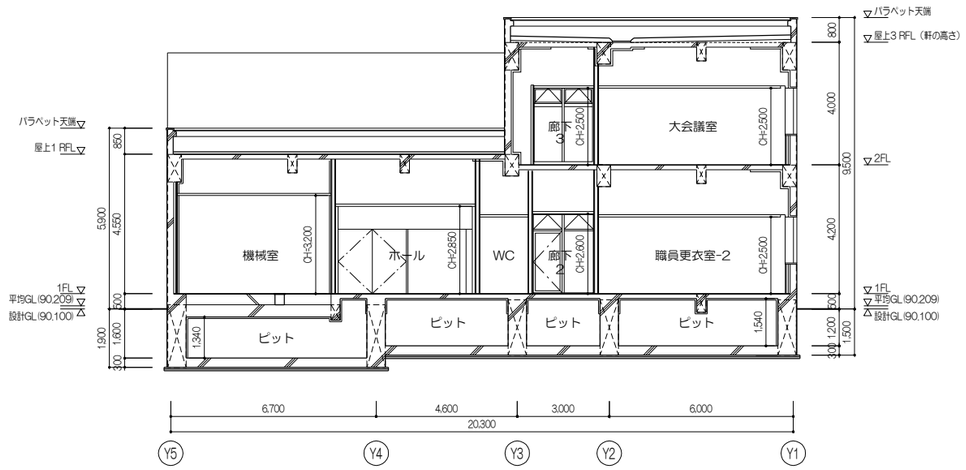
渡り廊下 北立面図

A ：防水型複層塗材E（ゆず肌状）
B ：水性反応硬化形基礎専用シリコン系塗料
C ：ECPt60下地＋DP（フッ素）
D ：アルミ笠木（既製品）D=250
E ：アルミ笠木（既製品）D=400 （ECP部）
F ：アルミ製庇（既製品）
G ：アルミバンドレス樋 100φ（ステンカラー）
H ：ベントキャップ（機械設備工事）
J ：タラップ【8-31-3】
K ：打継ぎ目地【2-02-08】（柱打継部・パラペット打継部）
L ：ひび割れ誘発目地【2-02-09】
M ：化粧目地 20×20 シーリング【2-02-10】
N ：エキスパンションジョイント（クリアランス：100mm）
O ：アルミ 曲げ材加工 電解二次着色
P ：サンドセラミック調装飾仕上塗材（HL仕上）
Q ：サンドセラミック調装飾仕上塗材（テール仕上）
R ：アルミバンドレス樋 100φ（ブラック）

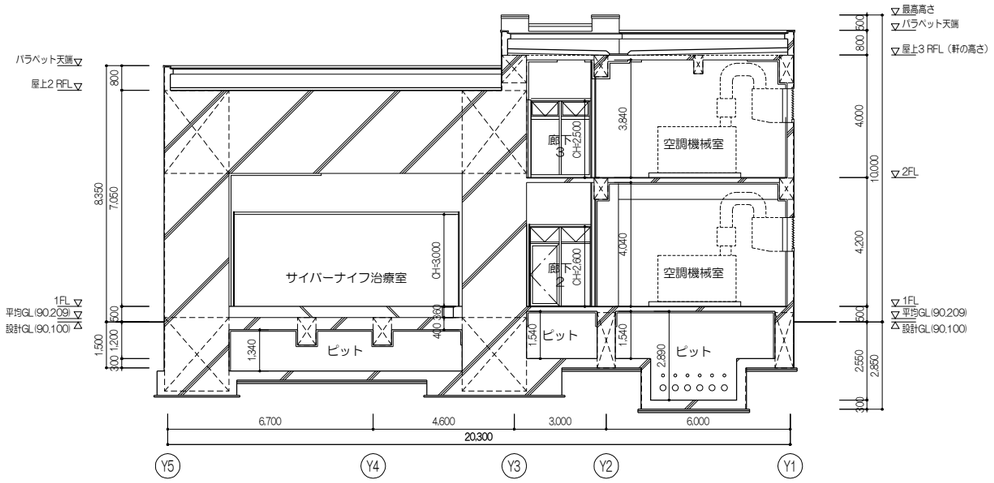
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 立面図		意匠
縮 尺 1/100(A1),1/200(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A128



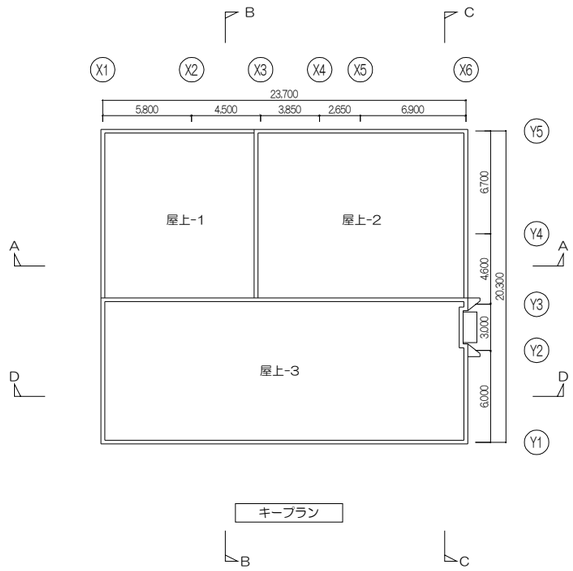
A断面図



B断面図

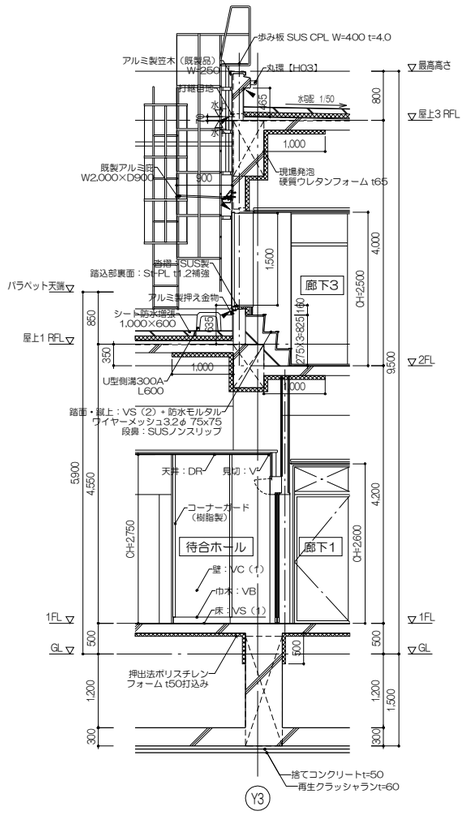


C断面図

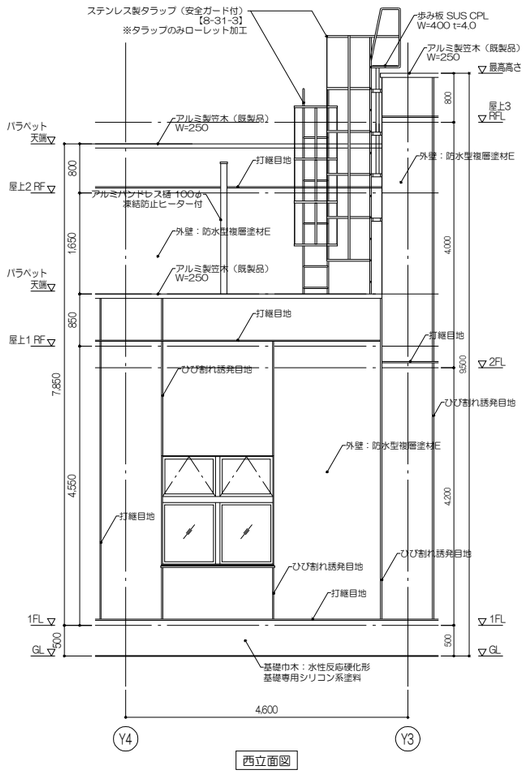


キープラン

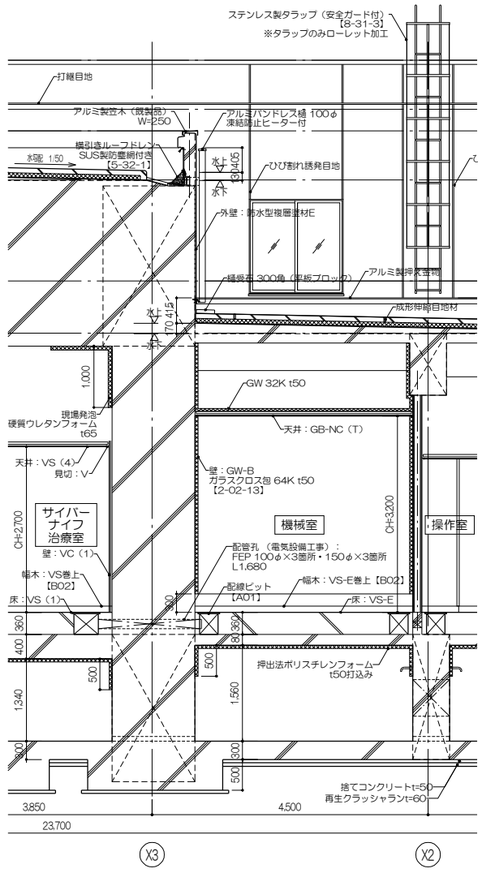
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 断面図		意匠
縮 尺 1/100(A1),1/200(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A129



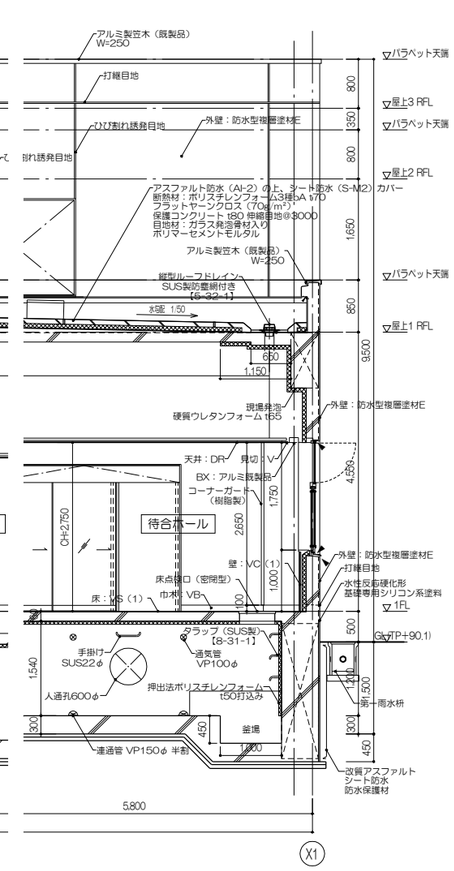
D部 断面図



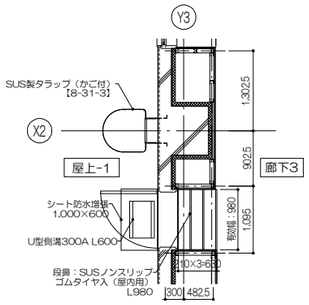
西立面図

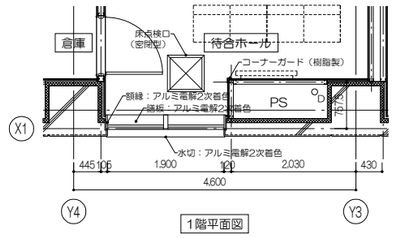


E部 断面図

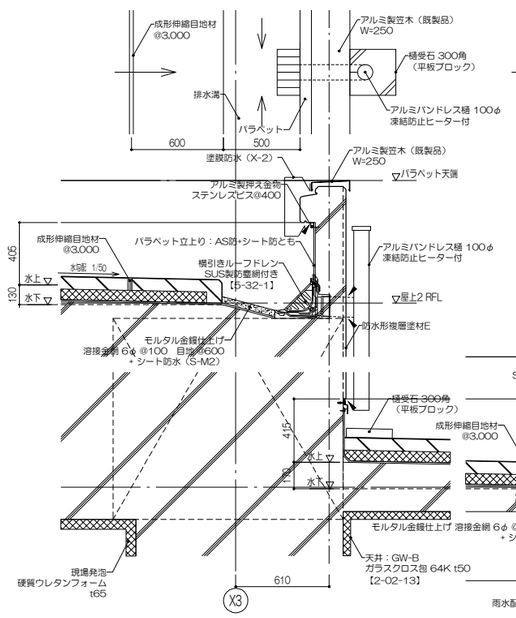


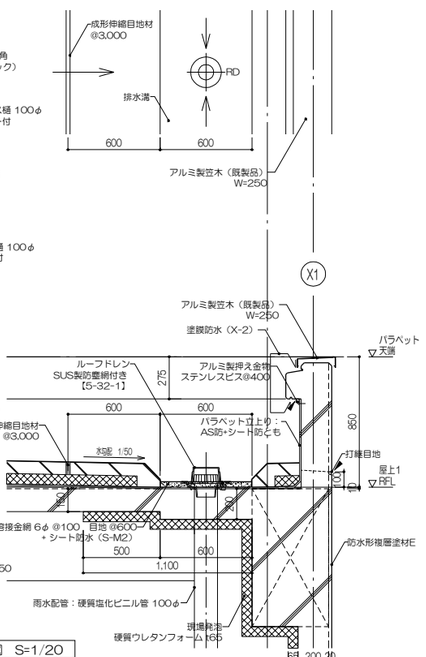
F部 断面図



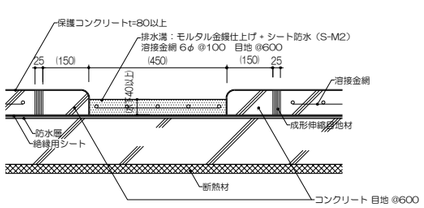


1階平面図

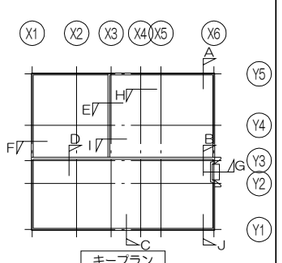




パラペット詳細図 S=1/20



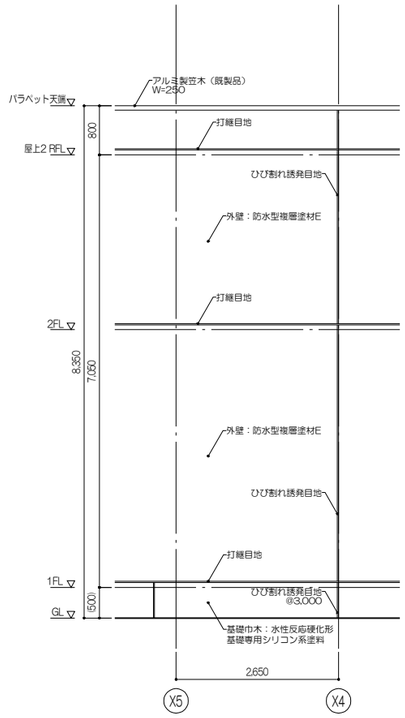
屋上排水溝 詳細図 S=1/10



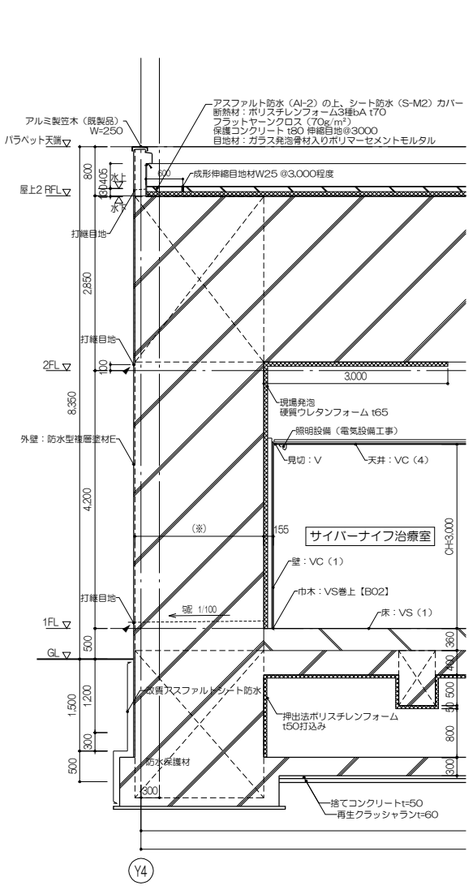
キープラン

打継ぎ目地は【2-02-8】、ひび割れ誘発目地は【2-02-9】、化粧目地は【2-02-10】とする。
コンクリート打ち増しは、床スラブは+10、外壁は+20とする。
◤：シール目地を示す　◤：シール（ダブル）
各屋上パラペット部はアスファルト防水（アスファルトルーフィング）とシート防水（シート材）の二重防水で立上り、笠木内で端部を納める。
各屋上建屋沿いは上記二重防水同等のうえ、入隅部は床面300+立上り分をRD部同等のシート防水増張りとする。

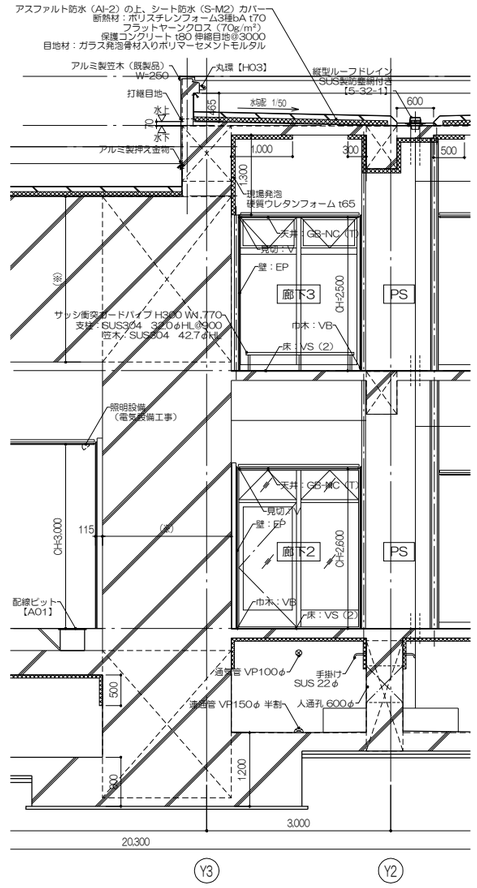
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	矩計図-1	意匠
縮 尺	1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A130



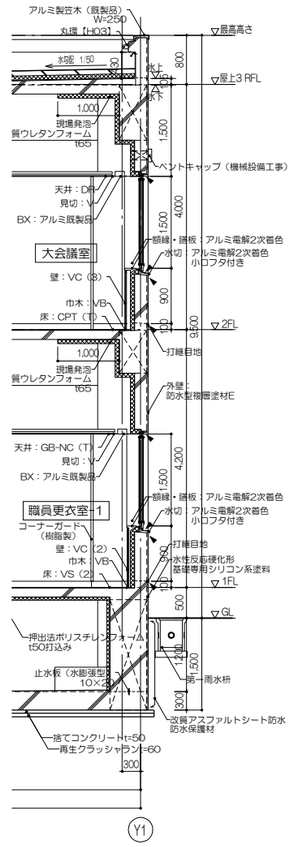
北立面図



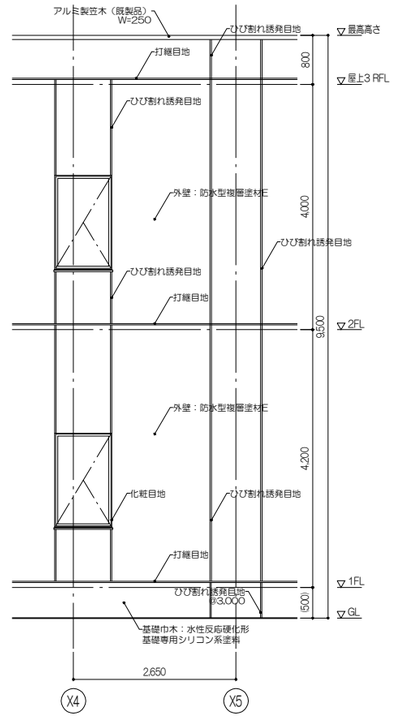
A部 断面図



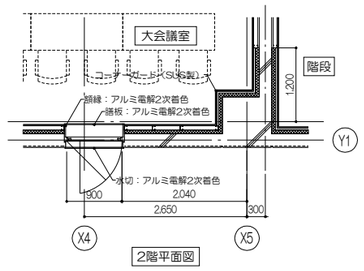
B部 断面図



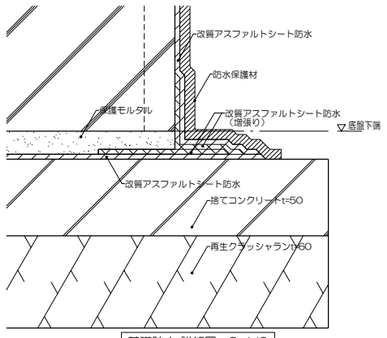
C部 断面図



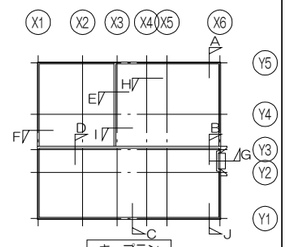
南立面図



2階平面図



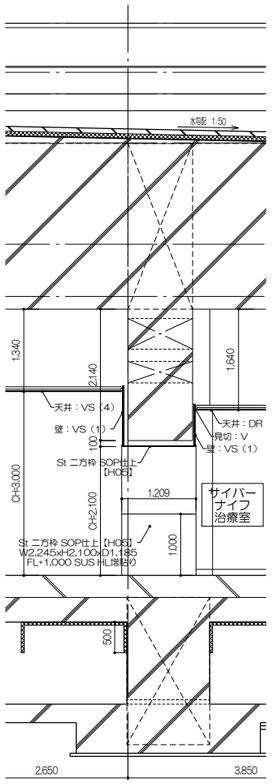
基礎防水 詳細図 S=1/2



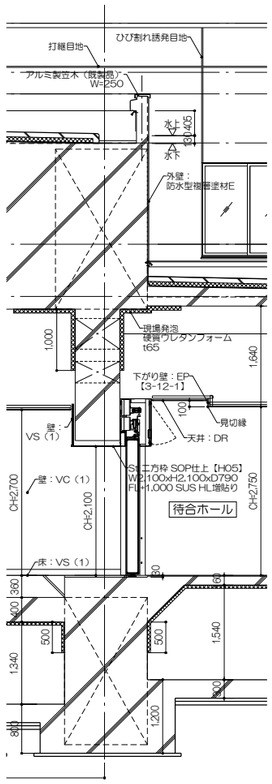
キープラン

打継ぎ目地は【2-02-8】、ひび割れ誘発目地は【2-02-9】、化粧目地は【2-02-10】とする。
コンクリート打ち増しは、床スラブは+10、外壁は+20とする。
◀：シール目地を示す　◀：シール（ダブル）
各屋上パラペット部はアスファルト防水（アスファルトルーフィング）とシート防水（シート材）の二重防水で立上り、笠木内で側部を納める。
各屋上建屋沿いは上記二重防水同等のうえ、入隅部は床面300+立上り分をRD部同等のシート防水増張りとする。

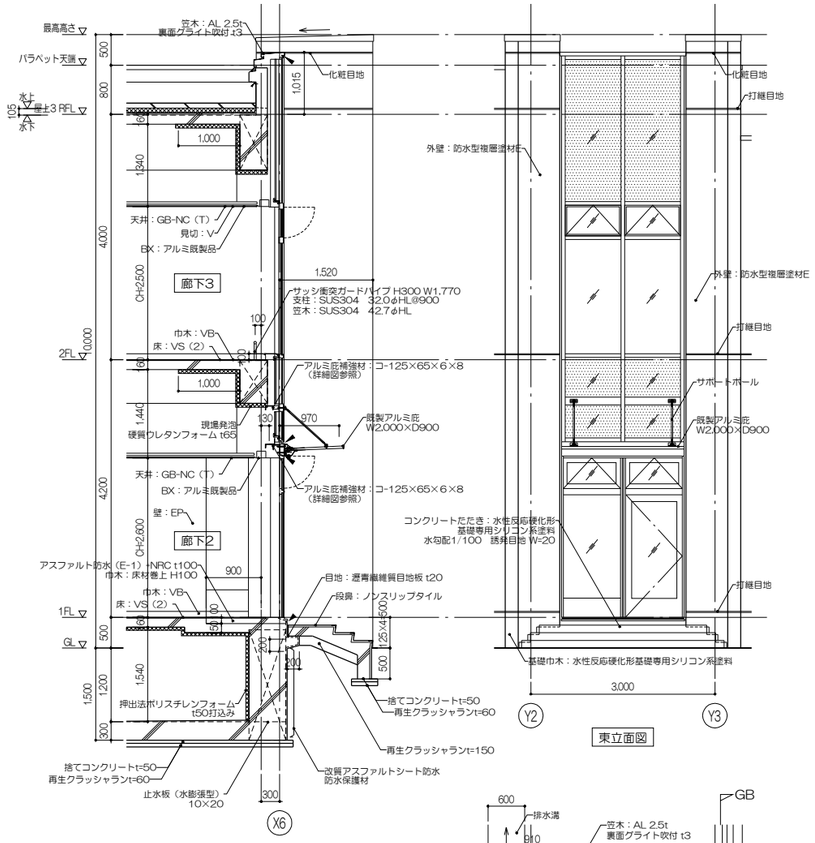
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 矩計図-2		意匠
縮 尺 1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A131



H部 断面図

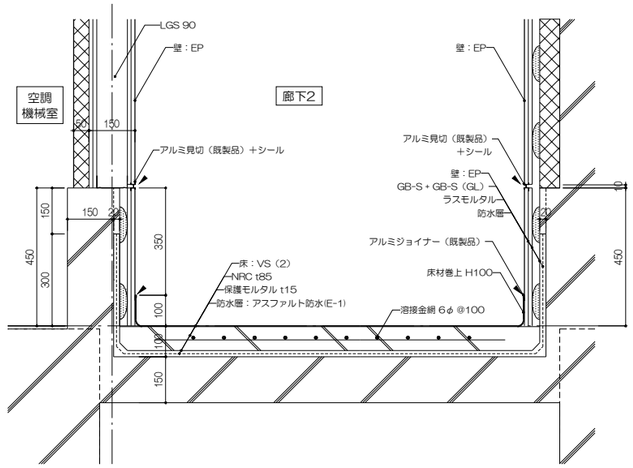


I部 断面図

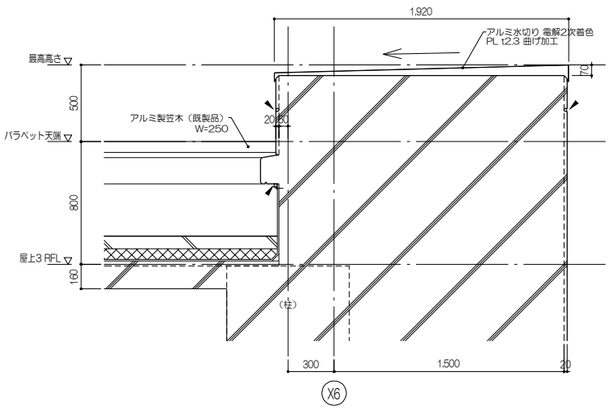


G部 断面図

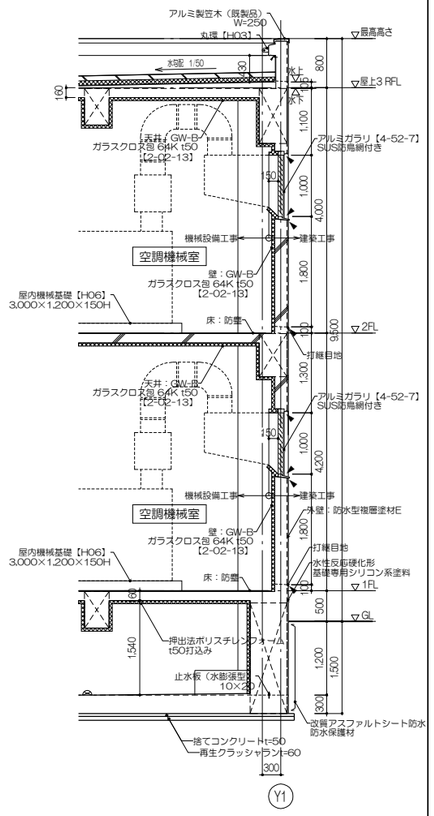
東立面図



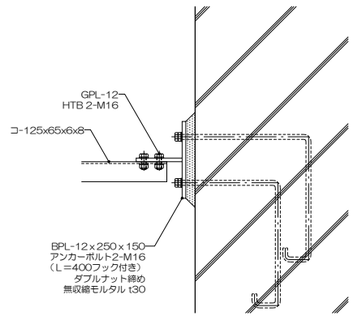
GA断面詳細図 S=1/10



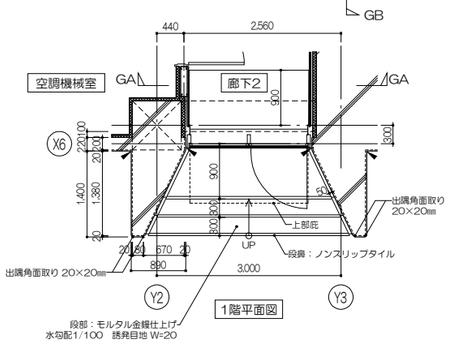
GB断面詳細図 S=1/20



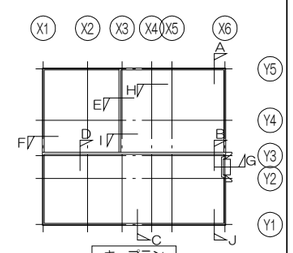
J部 断面図



アルミ庇補強材 支持部詳細図 S=1/10



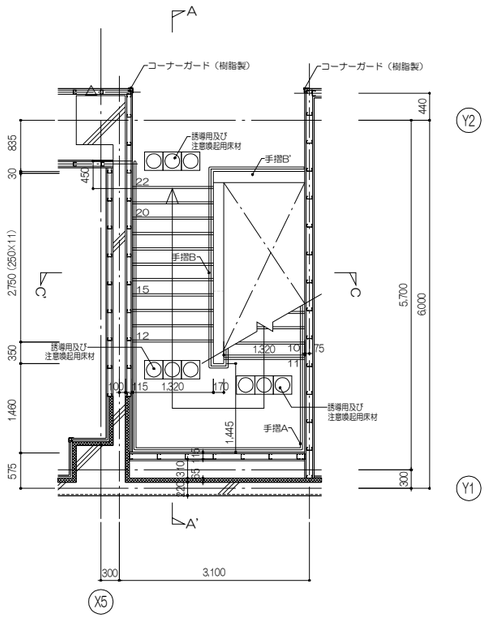
1階平面図



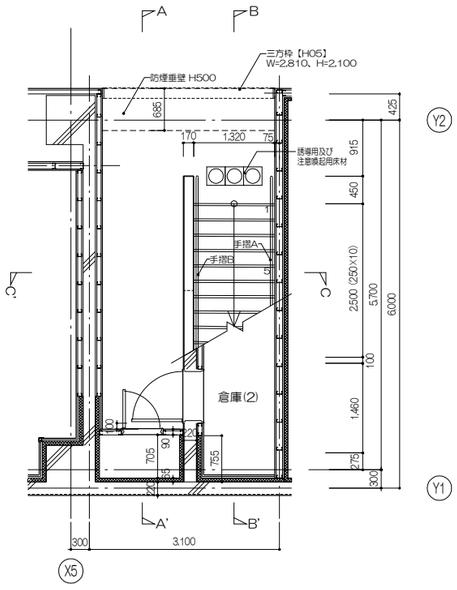
キープラン

打継ぎ目地は【2-02-8】、ひび割れ誘発目地は【2-02-9】、化粧目地は【2-02-10】とする。
コンクリート打ち増しは、床スラブは+10、外壁は+20とする。
：シール目地を示す　：シール（ダブル）
各屋上パラペット部はアスファルト防水（アスファルトルーフィング）とシート防水（シート材）の二重防水で立上り、笠木内で端部を納める。
各屋上建屋沿いは上記二重防水同等のうえ、入隅部は床面300+立上り分をRD部同等のシート防水増張りとする。

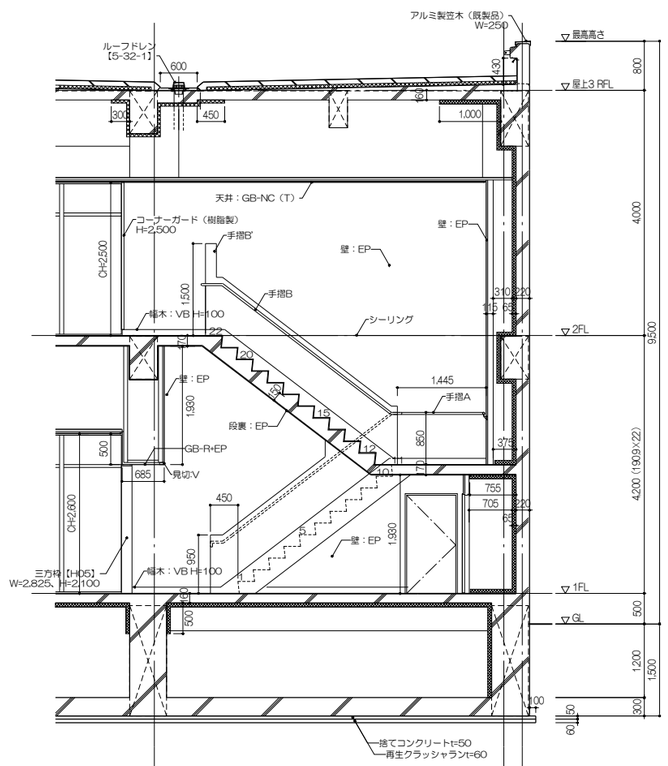
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	矩計図-3	意匠
縮 尺	1/50(A1),1/100(A3)　日 付 2025/12（令和7年）	A132



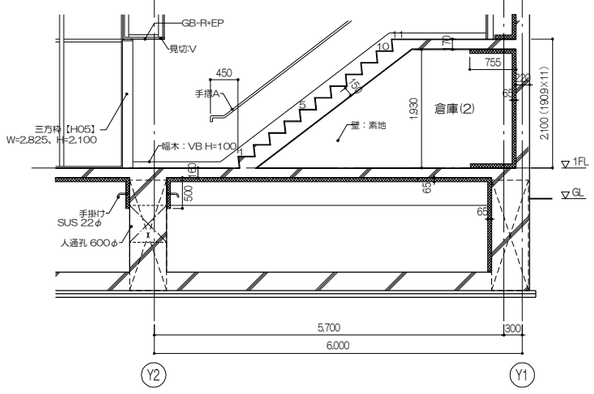
2階平面詳細図



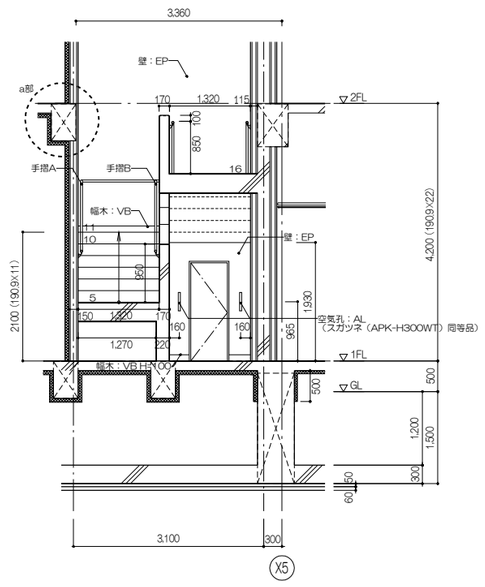
1階平面詳細図



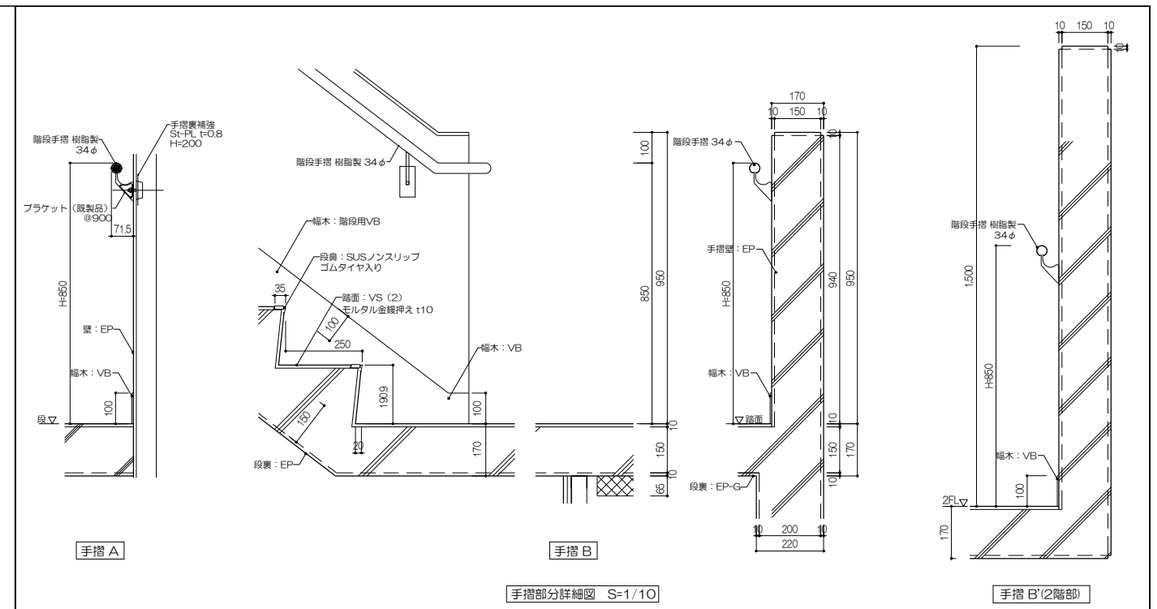
A-A'断面図



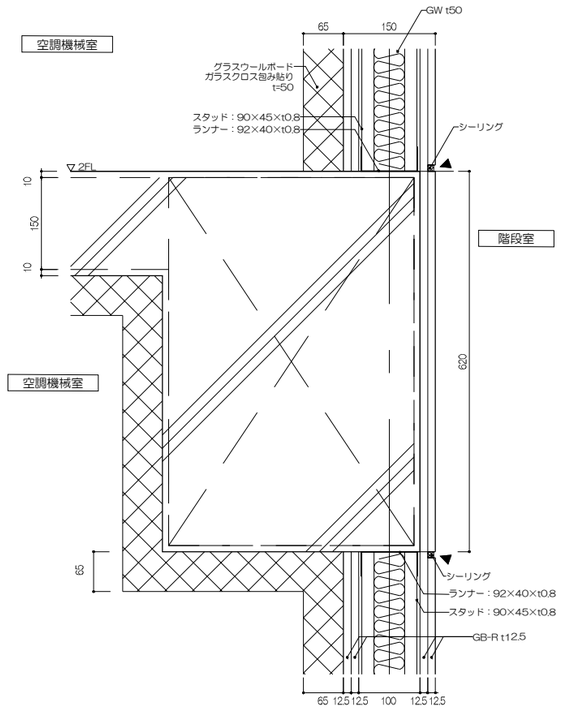
B-B'断面図



C-C'断面図

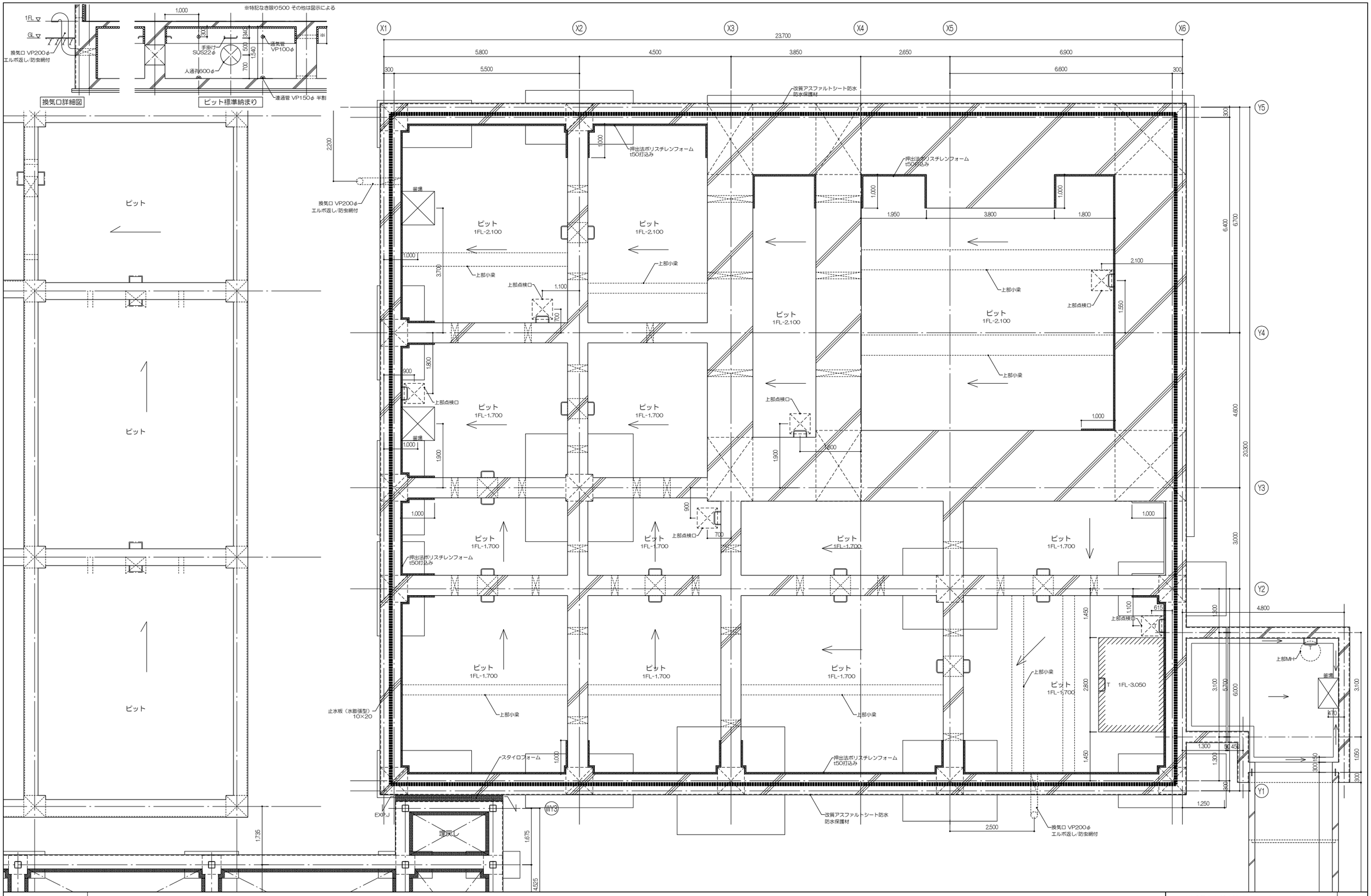


手摺 A　手摺 B　手摺部分詳細図　S=1/10　手摺 B'(2階部)



a部詳細図　S=1/5

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 階段詳細図		意匠
縮 R 1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A133



凡 例

T ：タラップ【8-31-1】（特記なき限り3段）

⊠ ：釜場(1,000x1,000xH450)：防水モルタル金ゴテ仕上

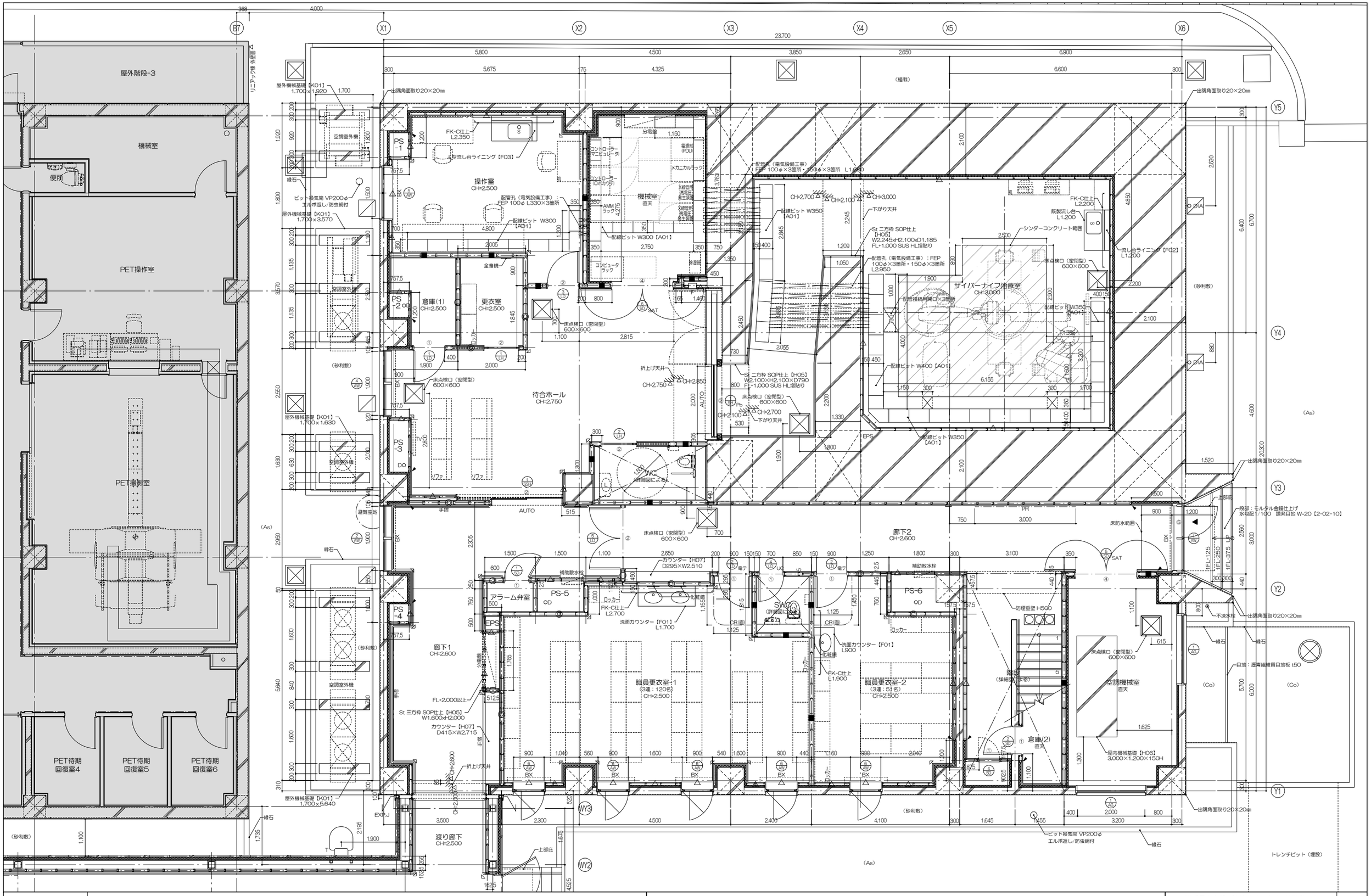
：人通孔600φ（人通孔両側壁面手かけ：SUS304,22φ）

：上部通気管VP100φ,下部連通管150φ半割

←—— ：水勾配を示す

▪▪▪▪▪ ：止水材（水膨張形 10×20）

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 ピット平面図（キープラン）		意匠
縮 尺 1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A134

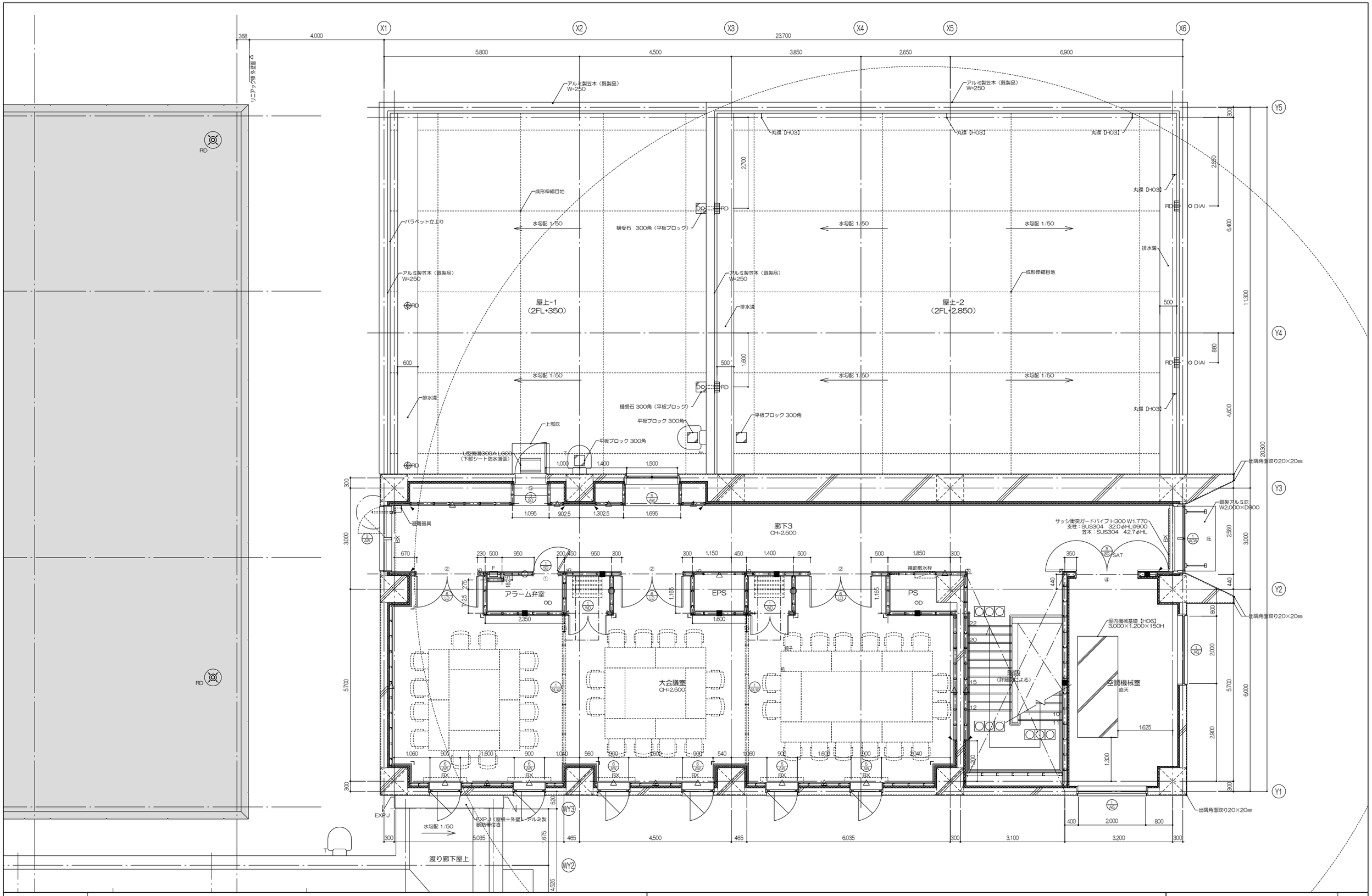


凡例

- 一般壁（遮音）
- 一般壁
- 一般壁（片面張り）
- 竪樋 VP φ100
- アルミバンドレス樋 φ100
- 縦型ルーフドレイン（SUS製防塵網付き）
- 横型ルーフドレイン（SUS製防塵網付き）
- シンダーコンクリート範囲
- 手摺【H01】
- 消火器ボックス（全埋込型）
- 出入口
- 床点検口（密閉型）600角
- クラック防止目地【B01】
- コーナーガード（樹脂製）【H02】
- コーナーガード（SUS製）【H02】
- カーテンレール（直付型）【H04】
- ピクチャーレール（アルミ製）【H04】

(1) 床見切について表示略号・記号及び建具特記事項を参照のこと
(2) サイン仕様と取付箇所は別紙による
(3) サッシ取合いは表示略号・記号、仕上共通事項による
(4) 家具・備品等破線表記については別途工事とする

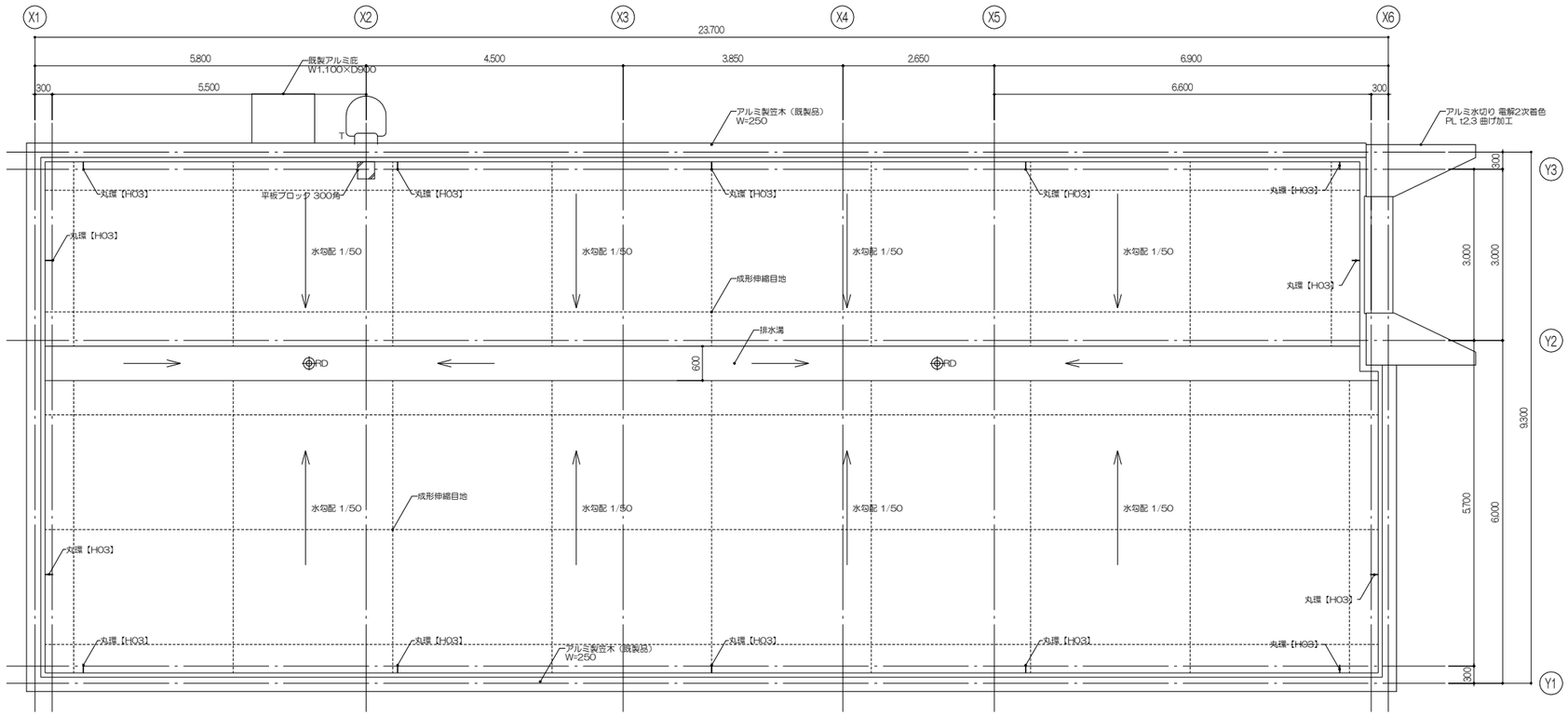
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	1階平面図（キープラン）	意匠
縮 尺	1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A135



凡例			
乾式耐火遮音壁	竪樋 VP φ100	手摺【H01】	コーナーガード（樹脂製）【H02】
乾式耐火壁	アルミバンドレス樋 φ100	消火器ボックス（全埋込型）	コーナーガード（SUS製）【H02】
一般壁	縦型ルーフドレイン（SUS製防塵網付き）	出入口	カーテンレール（直付型）【H04】
一般壁（片面張り）	横型ルーフドレイン（SUS製防塵網付き）	床点検口（密閉型）600角	ピクチャーレール（アルミ製）【H04】
	シンダーコンクリート範囲	クラック防止目地【B01】	

（1）床見切について表示略号・記号及び建具特記事項を参照のこと
（2）サイン仕様と取付箇所は別紙による
（3）サッシ取合いは表示略号・記号、仕上共通事項による
（4）家具・備品等破線表記については別途工事とする

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	2階平面図（キープラン）	意匠
縮尺	1/50(A1),1/100(A3)	日付 2025/12（令和7年）	A136



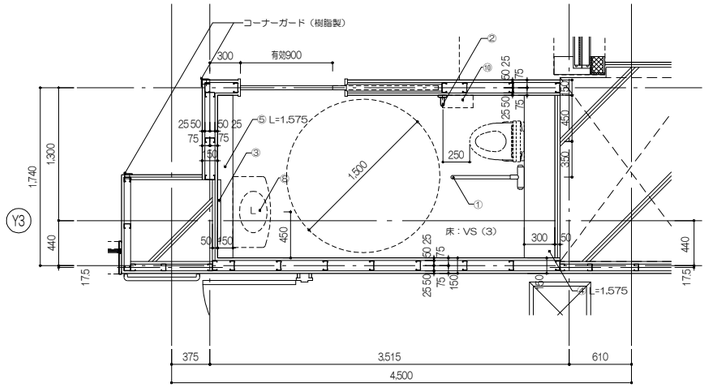
凡 例

- 乾式耐火遮音壁
- 乾式耐火壁
- 一般壁
- 一般壁（片面張り）
- D 竪樋 VP φ100
- D(A) アルミバンドレス樋 φ100
- RD 縦型ルーフドレイン（SUS製防塵網付き）
- RD 横型ルーフドレイン（SUS製防塵網付き）
- シンダーコンクリート範囲
- 手摺【H01】
- F 消火器ボックス（全埋込型）
- 出入口
- 床点検口（密閉型） 600角
- クラック防止目地【B01】
- コーナーガード（樹脂製）【H02】
- コーナーガード（SUS製）【H02】
- CR(直) カーテンレール（直付型）【H04】
- PR ピクチャーレール（アルミ製）【H04】

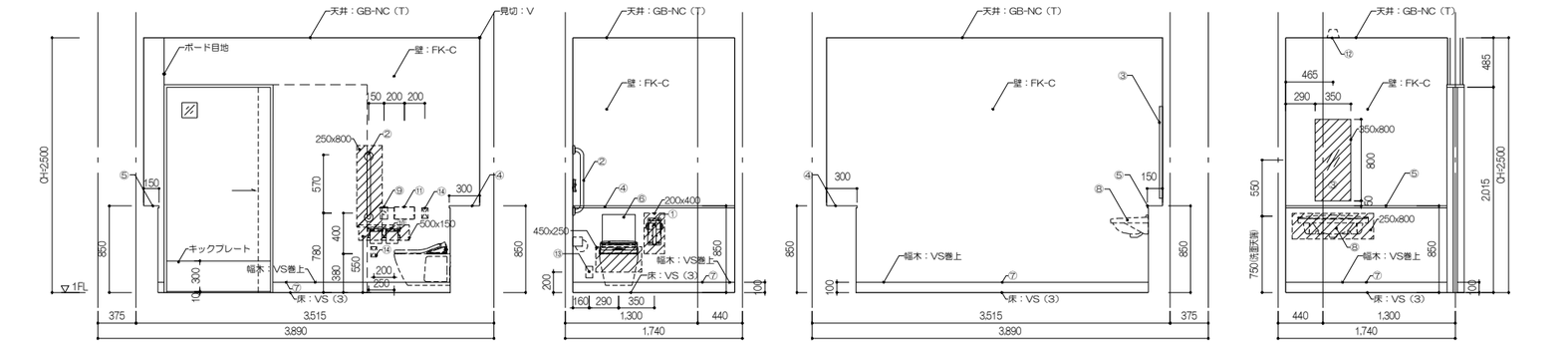
（1）床見切について表示略号・記号及び建具特記事項を参照のこと
（2）サイン仕様と取付箇所は別紙による
（3）サッシ取合いは表示略号・記号、仕上共通事項による
（4）家具・備品等破線表記については別途工事とする

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	屋根伏図（キープラン）	意匠
縮 尺	R 1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）
		A137

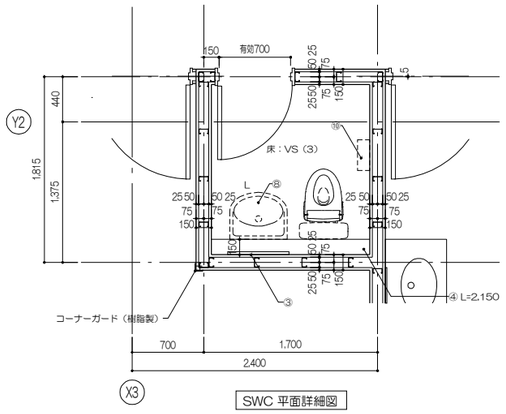
WC詳細図・SWC詳細図



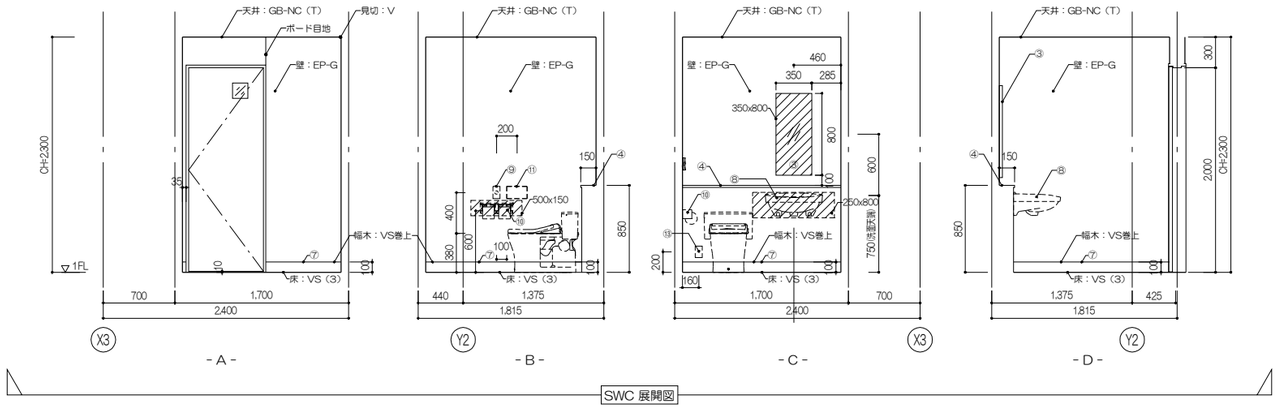
WC 平面詳細図



WC 展開図



SWC 平面詳細図



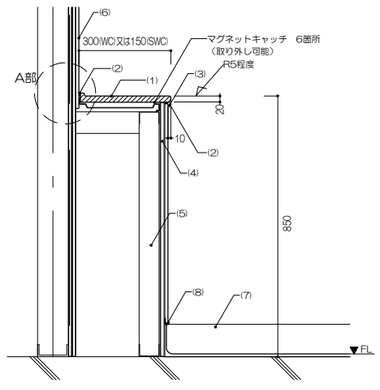
SWC 展開図

① 跳ね上げ手摺 L=715
② 1型手摺 L=600
③ 化粧鏡 350×800
④ ライニング（便器側）（詳細図参照）
⑤ ライニング（洗面台側）（詳細図参照）
⑥ ライニング点検口 325×325
⑦ 見切：アルミ製見切(既製品) コ型ジョイナー【DT-B02】
⑧ 洗面台(機械設備工事)
⑨ 洗浄ボタン(機械設備工事)
⑩ 紙巻器：2連(機械設備工事)
⑪ ウォシュレット用リモコン(機械設備工事)
⑫ 照明器具（電気設備工事）
⑬ コンセント（電気設備工事）
⑭ ナースコール(電気設備工事)

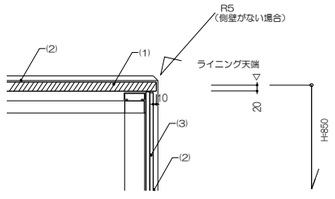
注）手摺のLGS壁下地補強プレートStは、t=1.2、500×250
注）各所取合及びコンセント類は設備工事と調整が必要

▨：壁補強 St-PL t=1.2

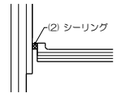
ライニング（便器側）詳細図



ライニング標準断面図 S=1/10



側面断面図 S=1/10

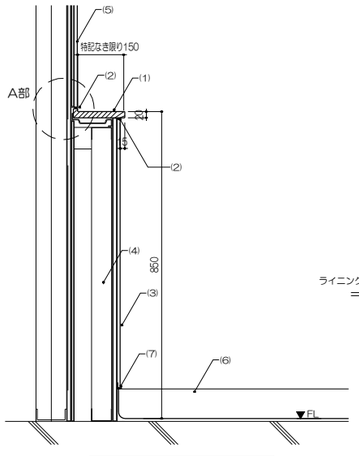


A部詳細図 S=1/5

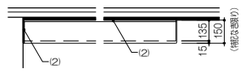
特記事項
※取付補強位置および詳細については、監理者、設備施工者と協議すること。
※図示特記なき限り甲板はメラミン化粧合板とする。

(1) 甲板：メラミン化粧合板ポストフォーム加工
見え掛かりの小口はメラミンコア材 t=20
(2) シーリング W=5 D=5
(3) 腰壁：0.8FK t=8+FK-C t=6
(4) 壁補強材：スチール t=1.2
(5) LGS下地材（65型）
(6) 壁：仕上表による
(7) 幅木：仕上表による
(8) 見切：アルミ製見切(既製品) コ型ジョイナー

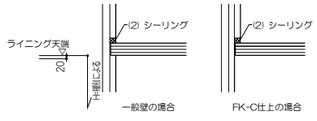
ライニング（洗面台側）詳細図



ライニング標準断面図 S=1/10



平面図 S=1/10



A部詳細図 S=1/5

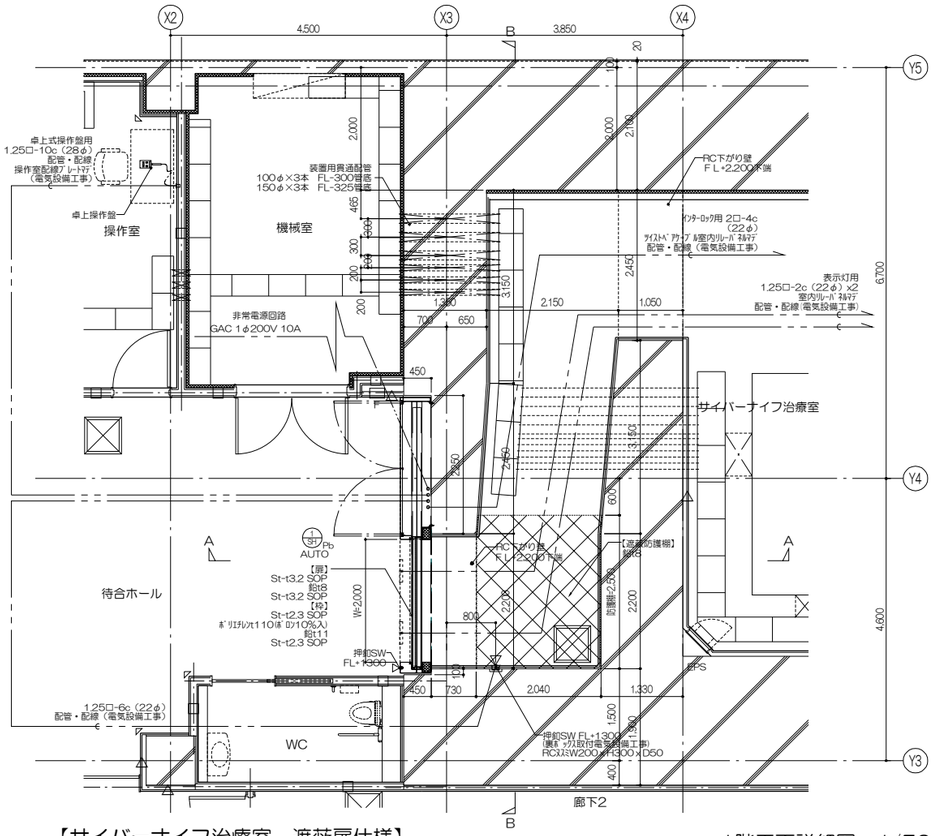
特記事項
※取付補強位置および詳細については、監督員、設備施工者と協議すること。
※図示特記なき限り甲板はメラミン化粧合板とする。
※破線は別途工事を示す

(1) 甲板：メラミン化粧合板ポストフォーム加工
見え掛かりの小口はメラミンコア材
（ライニングが天井まである場合は不要）
(2) シーリング W=5
(3) 腰壁： 0.8FK t=8+FK-C t=6
（出隅及び入隅部）アルミ製見切(既製品)
(4) LGS下地材（65型）
(5) 壁：特記なき限りFK-C t=6 @900目地とも、端部見切：アルミ製
(6) 幅木：仕上表による
(7) 見切：アルミ製見切(既製品) コ型ジョイナー

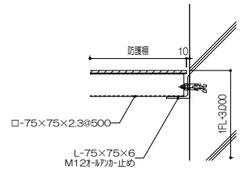
※採用メーカーの標準仕様を確認のこと

【特記事項】

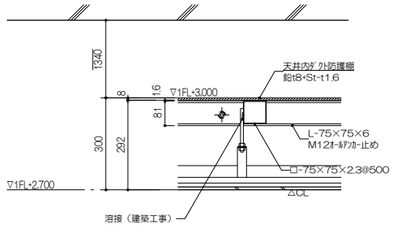
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 便所詳細図		意匠
縮 尺 1/30(A1),1/60(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A138



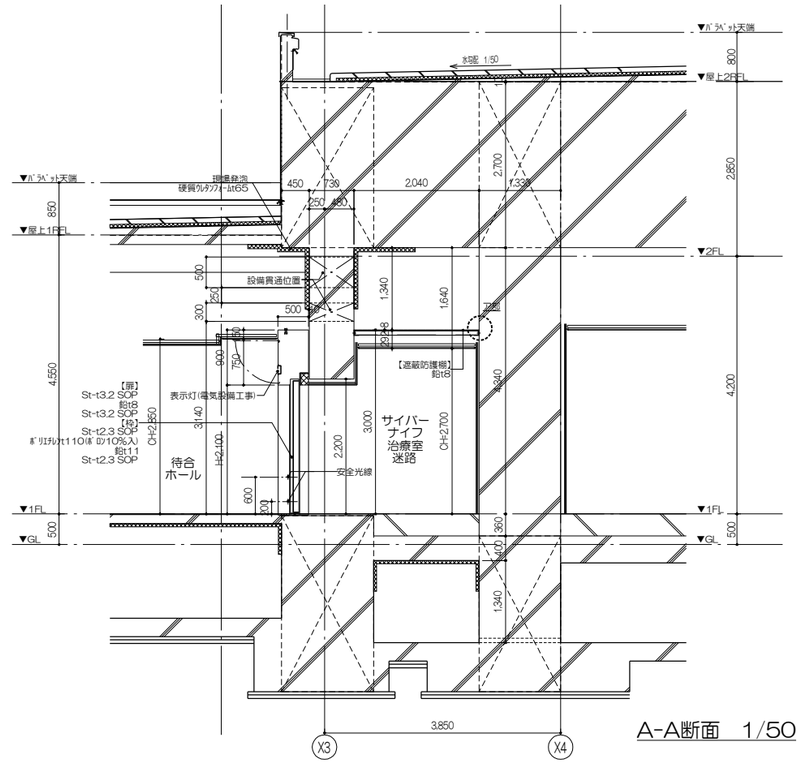
1階平面詳細図　1/50



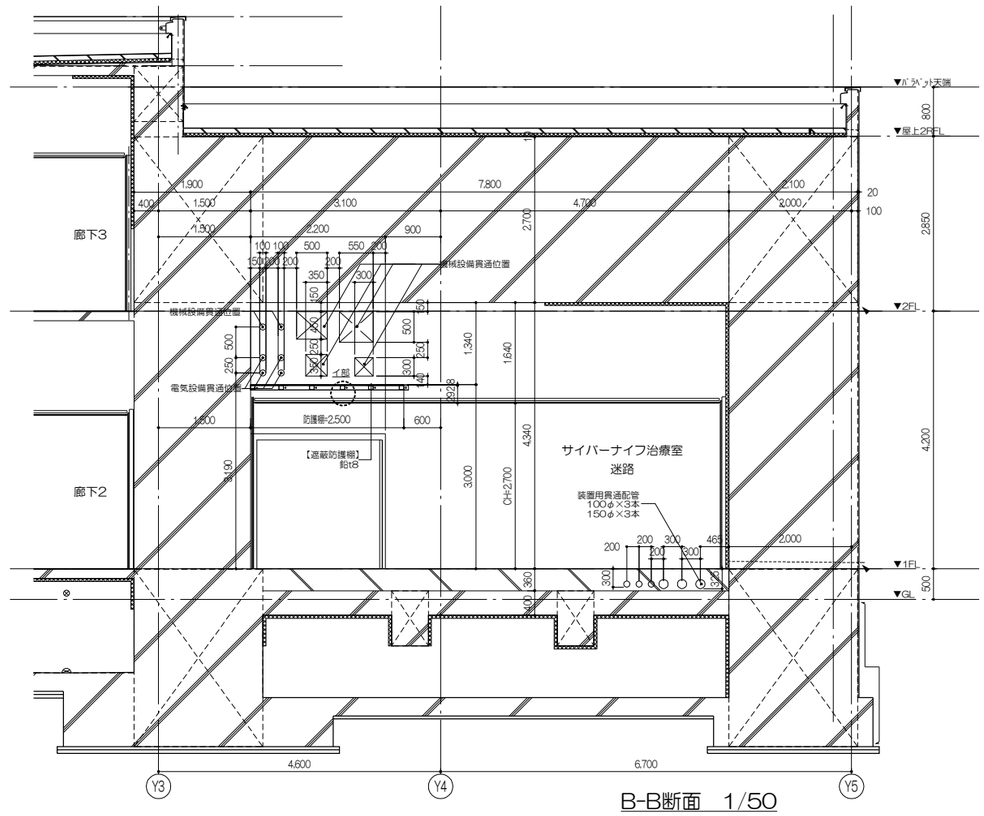
ア部詳細　1/10



イ部詳細　1/10



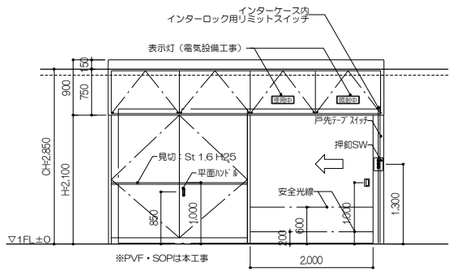
A-A断面　1/50



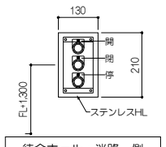
B-B断面　1/50

【サイバーナイフ治療室　遮蔽扉仕様】

1.駆動装置	電動式
2.開閉装置	押釦SWによる半自動制御方式
3.ｲﾝﾀｰﾛｯｸ	ｴﾝｼﾞﾝｹｰｽ内にﾘﾐｯﾄSWを設け扉の閉信号を装置へ送る。
	※ﾘﾚｰ回路による検出は不可。（配管配線は電気設備工事）
	・照射中に扉が開くと照射が止まる。　（別途工事）
	・扉が開いていると照射できない。　（別途工事）
4.電気工事	・供給電源
（電気工事区分）	GAC 1φ200V 10A（非常電源回路）
	・押釦SW用埋込BOXから制御盤、ｴﾝｼﾞﾝｹｰｽ迄の配管・配線
	・ｲﾝﾀｰﾛｯｸ用配管・配線
	・表示灯本体、及び配管・配線
5.操作仕様	・開釦ＳＷを1度押す → 全開（半開）してそのまま保持
	・閉釦ＳＷを1度押す → 全閉してそのまま保持
	・停釦ＳＷを1度押す → 開閉動作中に停止、
	その後、開釦又は閉釦にて再動作。
	通電時は全開（半開）、又は全閉の状態で静止となる。
	（発電ﾓｰﾀｰによるブロック状態）
	押釦SWは迷路側･待合ホール側の2ヶ所に設ける。
	操作室には卓上式操作盤を設ける。
	卓上操作盤には全開、半開切替SWを設ける。
6.施錠方法	待合ホールの押釦ＳＷを操作室側の操作盤で
	ｷｰﾛｯｸした場合は開閉不可とする。
	但し、迷路側の押釦スイッチは常時キーフリーとする。
7.停電時	停電時は非常電源にて開閉可能とする。
	無電源時は手動にて開閉可能とする。
8.安全装置	ﾃｰﾌﾟｽｲｯﾁ（戸先）及び安全光線（FL+200,600）を設置する。
	これらが検知すると、扉はその場で停止する。
	その後、開釦又は閉釦にて再動作。
	安全装置は扉閉動作中のみ有効とする。
	非常時扉開放のためｻﾌｸｼｮﾝﾘﾌﾀｰ2個を保管する。

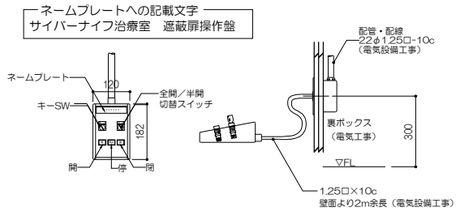


遮蔽扉　待合ホール側からの姿図　1/50



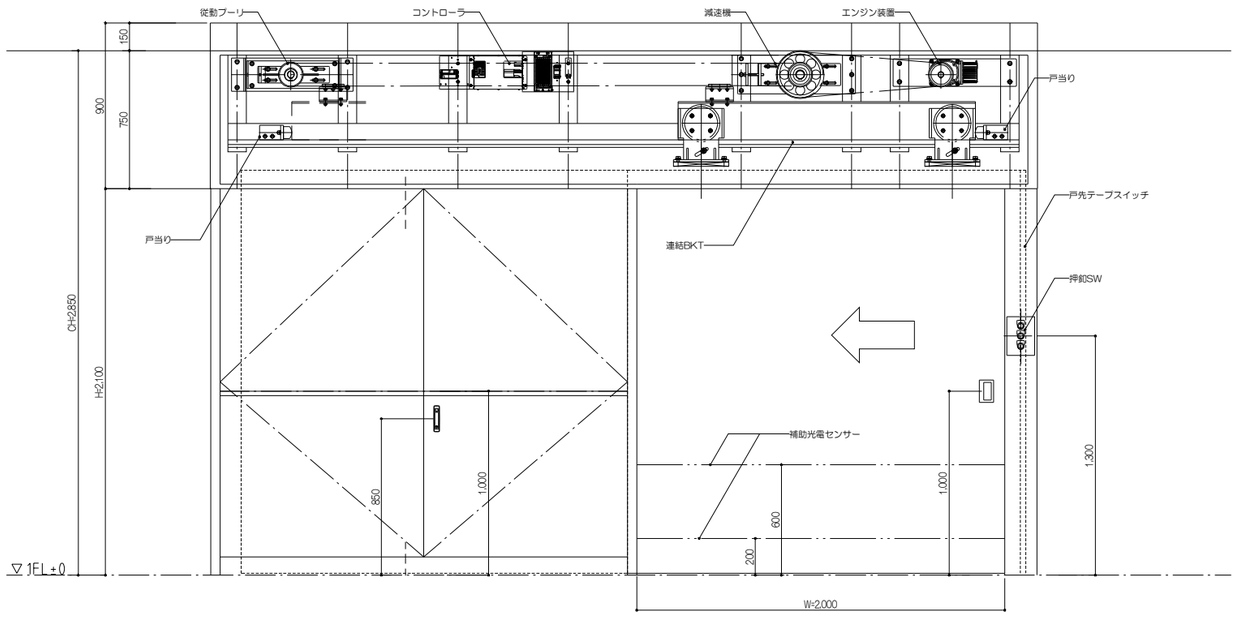
待合ホール・迷路　側
押釦SW 姿図 S=1/10

（2ヶ（内外）設置）

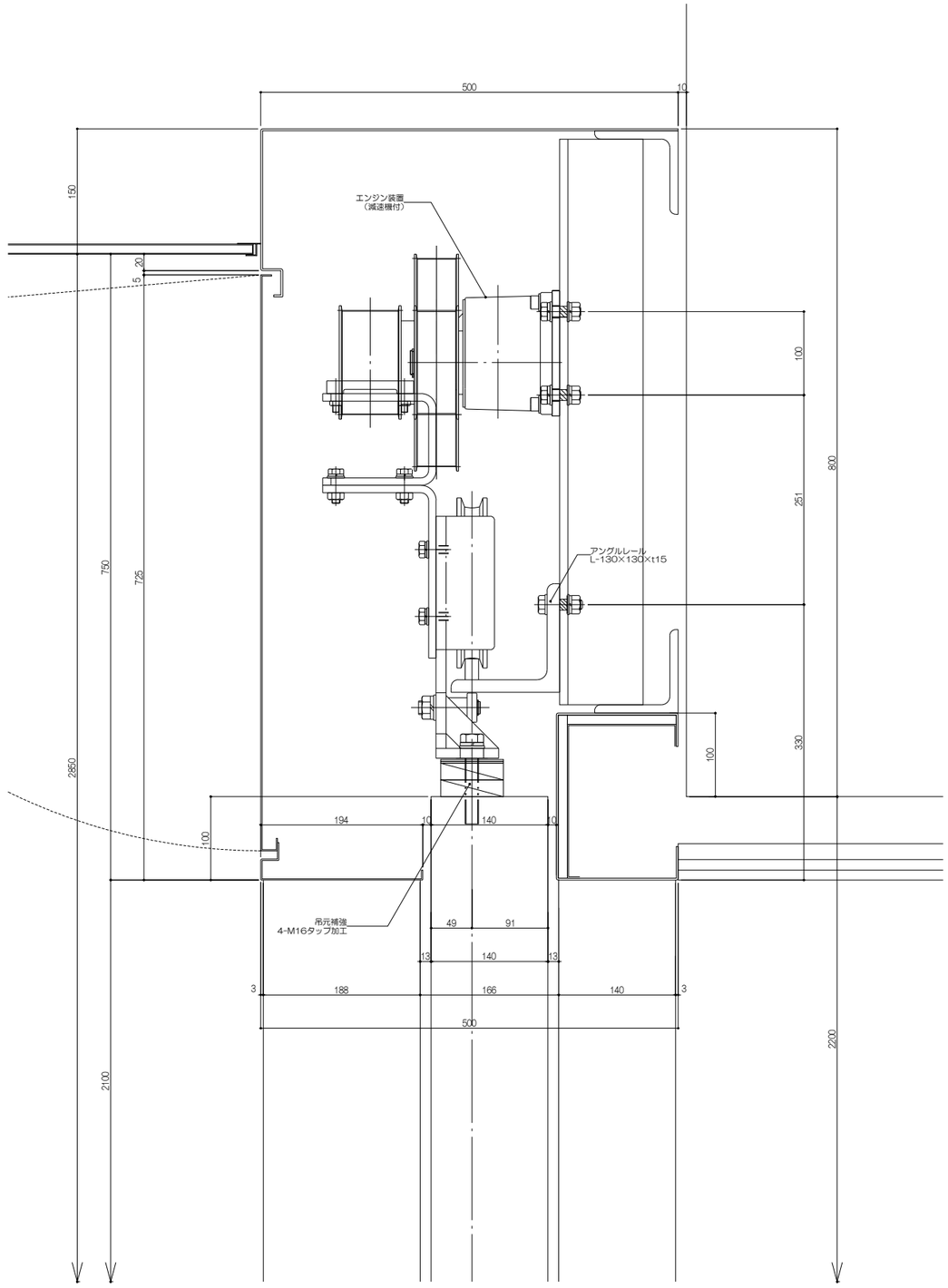


操作室　側
卓上式操作盤 姿図 S=1/10

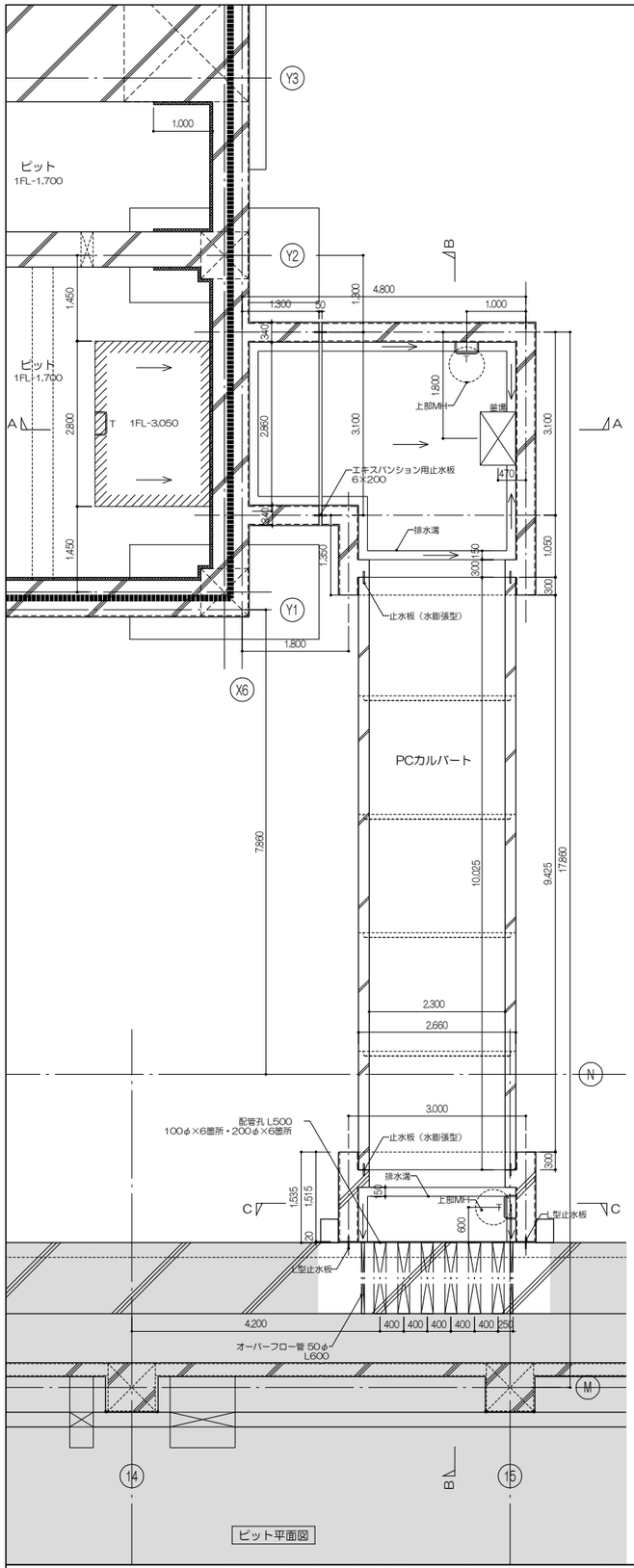
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	放射線シールド詳細図-1	意匠
縮　尺	図示	日　付 2025/12（令和7年）	A139



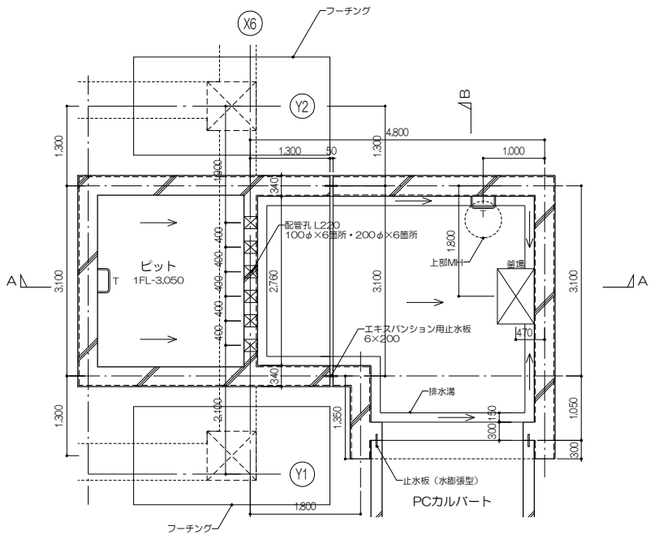
エンジン装置：V-500SL　減速機仕様



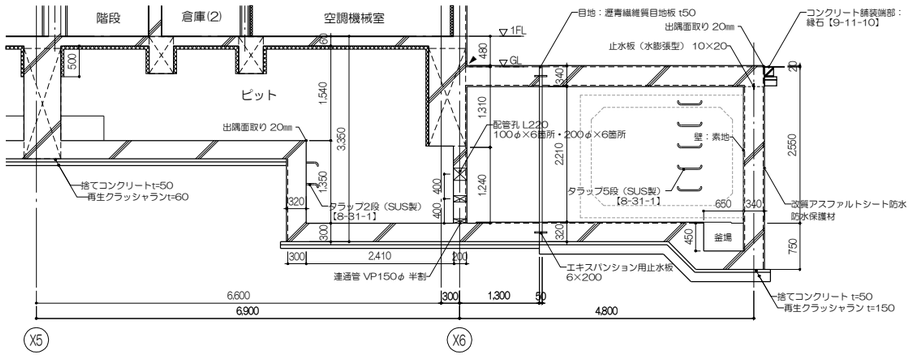
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	放射線シールド詳細図-2	意匠
縮　尺	図示　　日　付 2025/12（令和7年）	A140



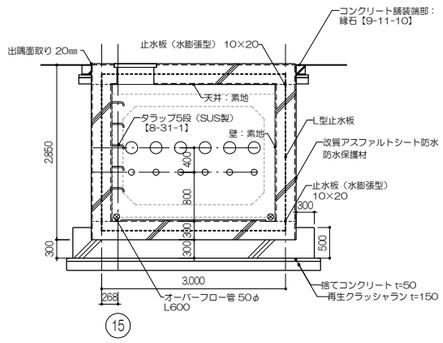
ピット平面図



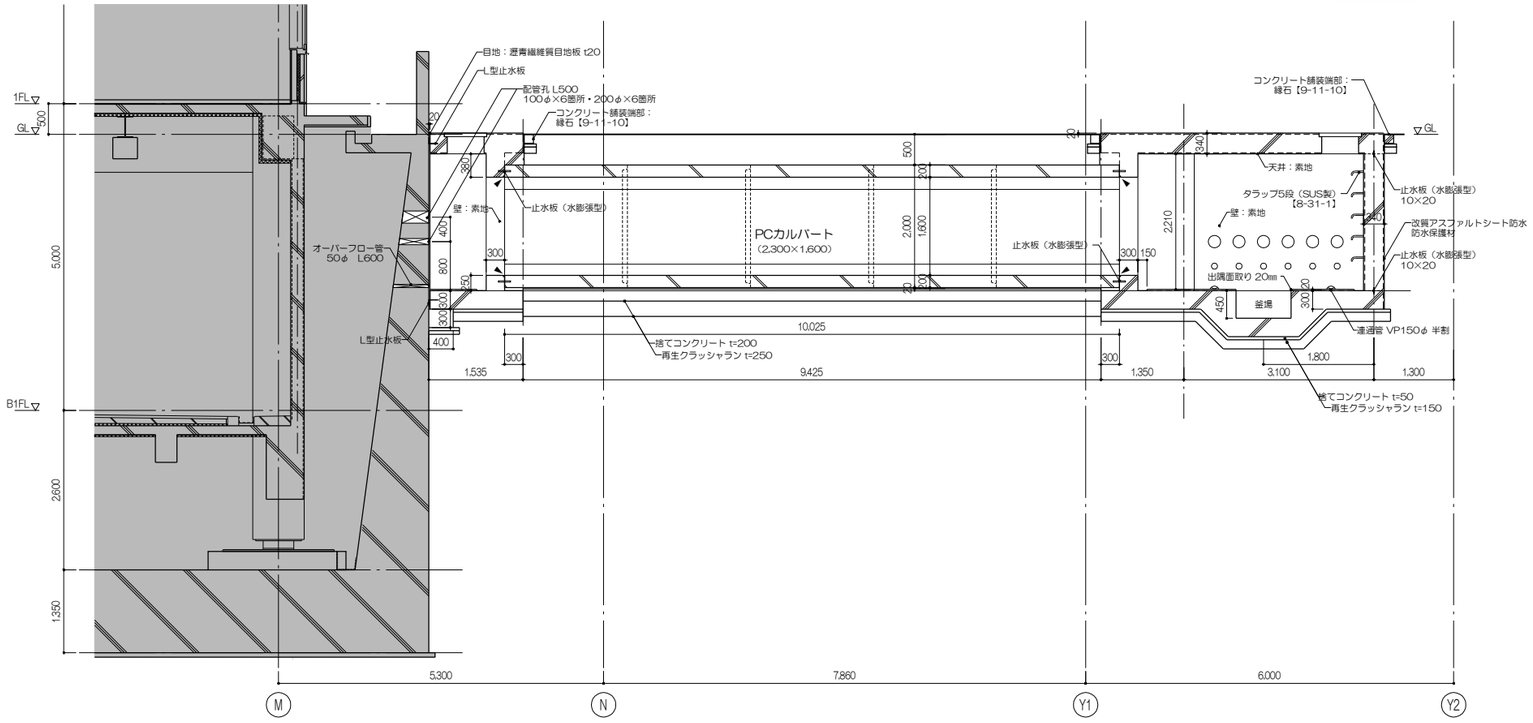
ピット平面図（1FL-2,500）



A部 断面図



C部 断面図

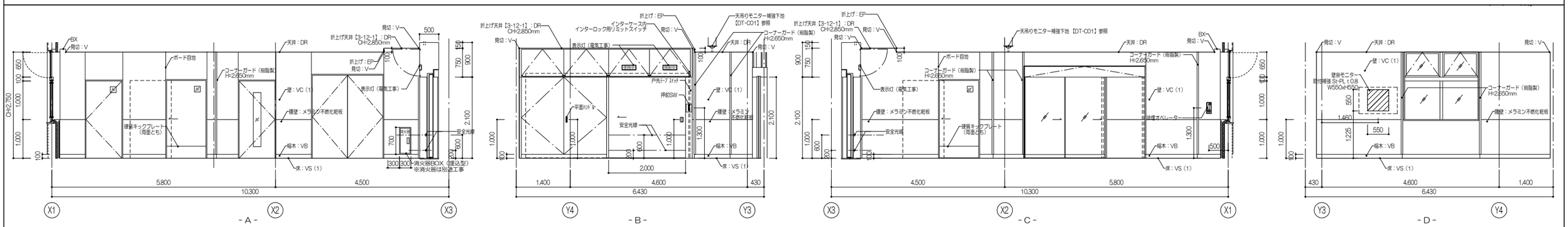


B部 断面図

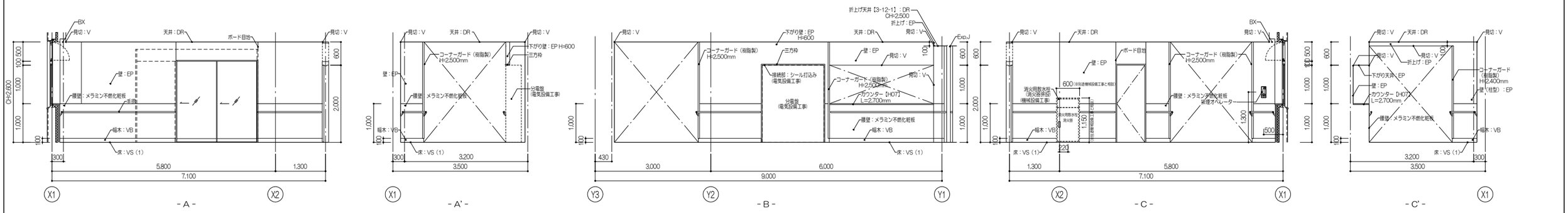
既存棟に接続する部分の周囲600mmは既存と同材（水性反応硬化形弾性アクリルシリコン樹脂塗料）によりあと補修を行うこと

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	配管ピット詳細図	意匠
縮 尺	1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A141

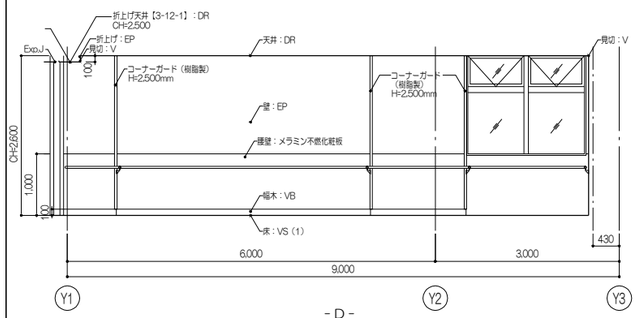
待合ホール展開図



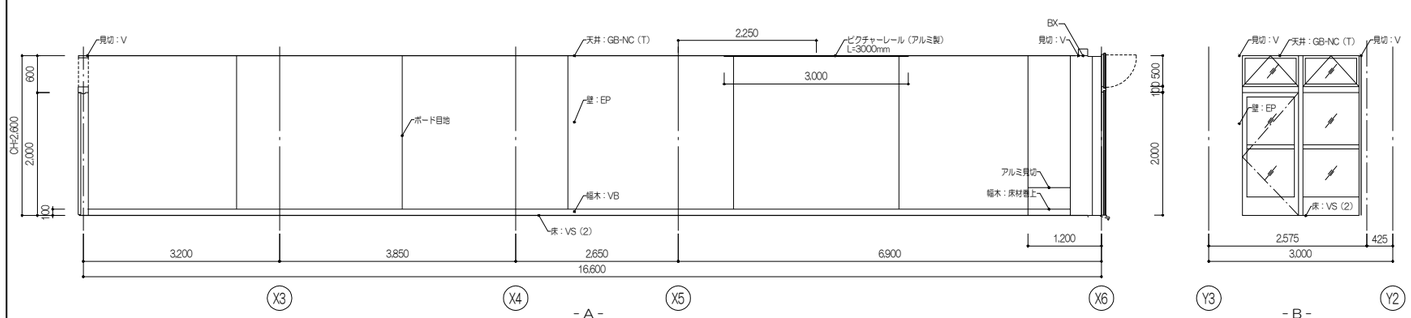
廊下1展開図



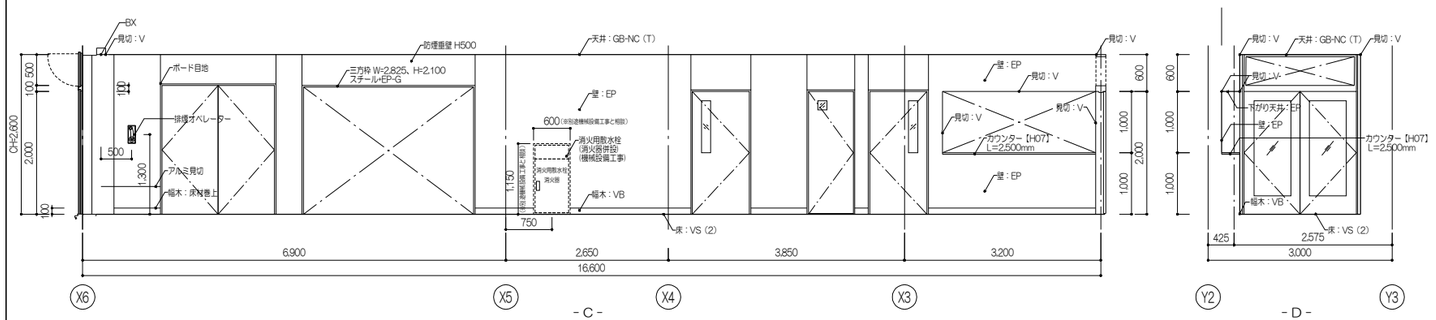
廊下1展開図



廊下2展開図



廊下2展開図



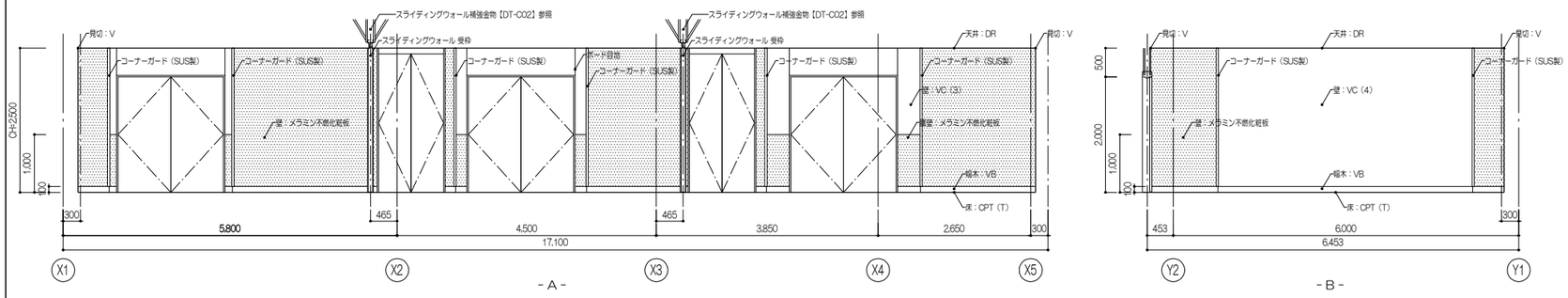
【特記事項】
- 折上げ天井・下がり天井は【3-12-1】参照のこと
- 手摺・腰壁は【H01】参照のこと
- コーナーガードは【H02】参照のこと
- カーテンレール・ピクチャレールは【H04】参照のこと
- 一方枠・三方枠は【H05】参照のこと

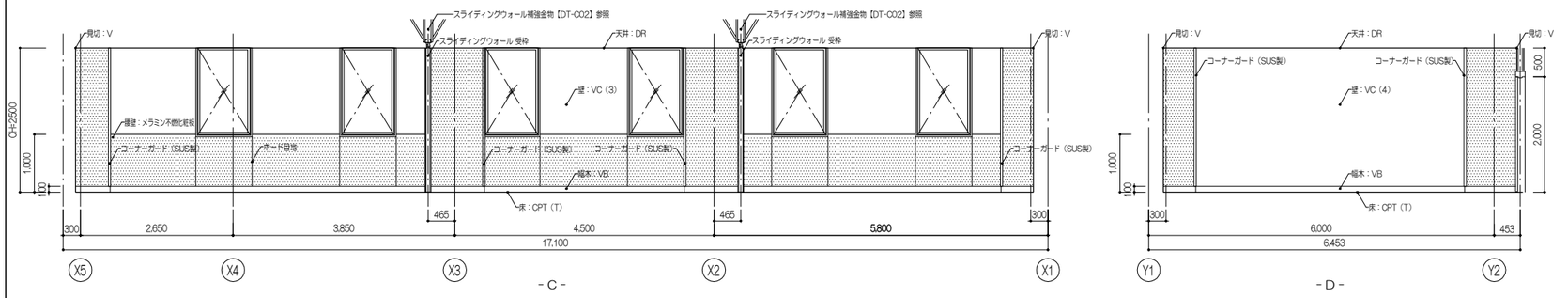
- 各建具縦部上下にはひび割れ防止目地をつくること
- 【　】：アルファベットから始まる場合は部分詳細図参照
- 【　】：数字から始まる場合は建築工事標準詳細図参照

A B C D 展開方向

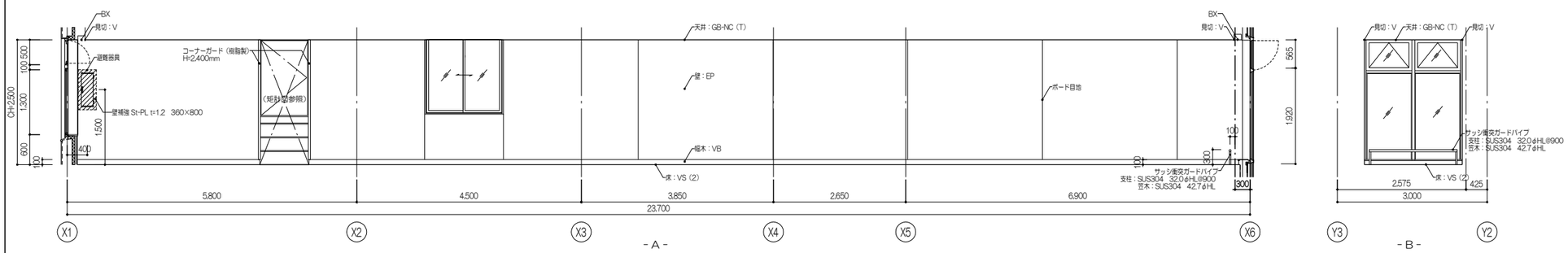
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	展開図-1（待合ホール・廊下-1・2）	意匠
縮 尺 1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A142

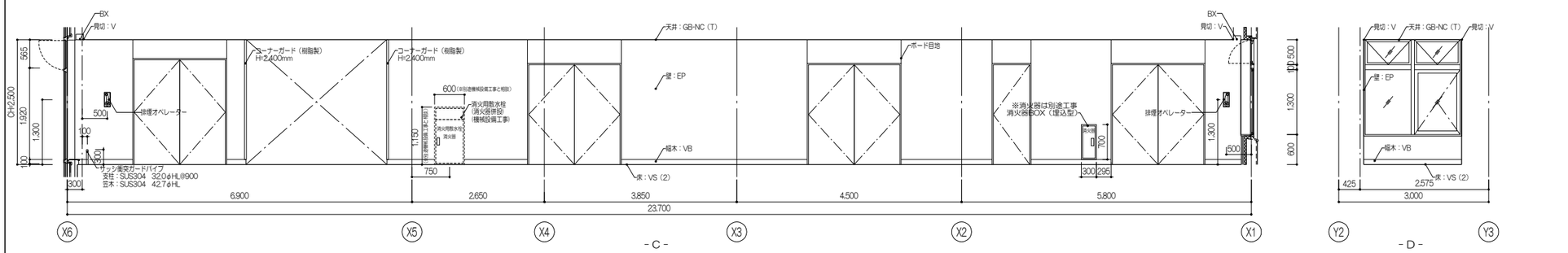
会議室展開図





廊下3展開図





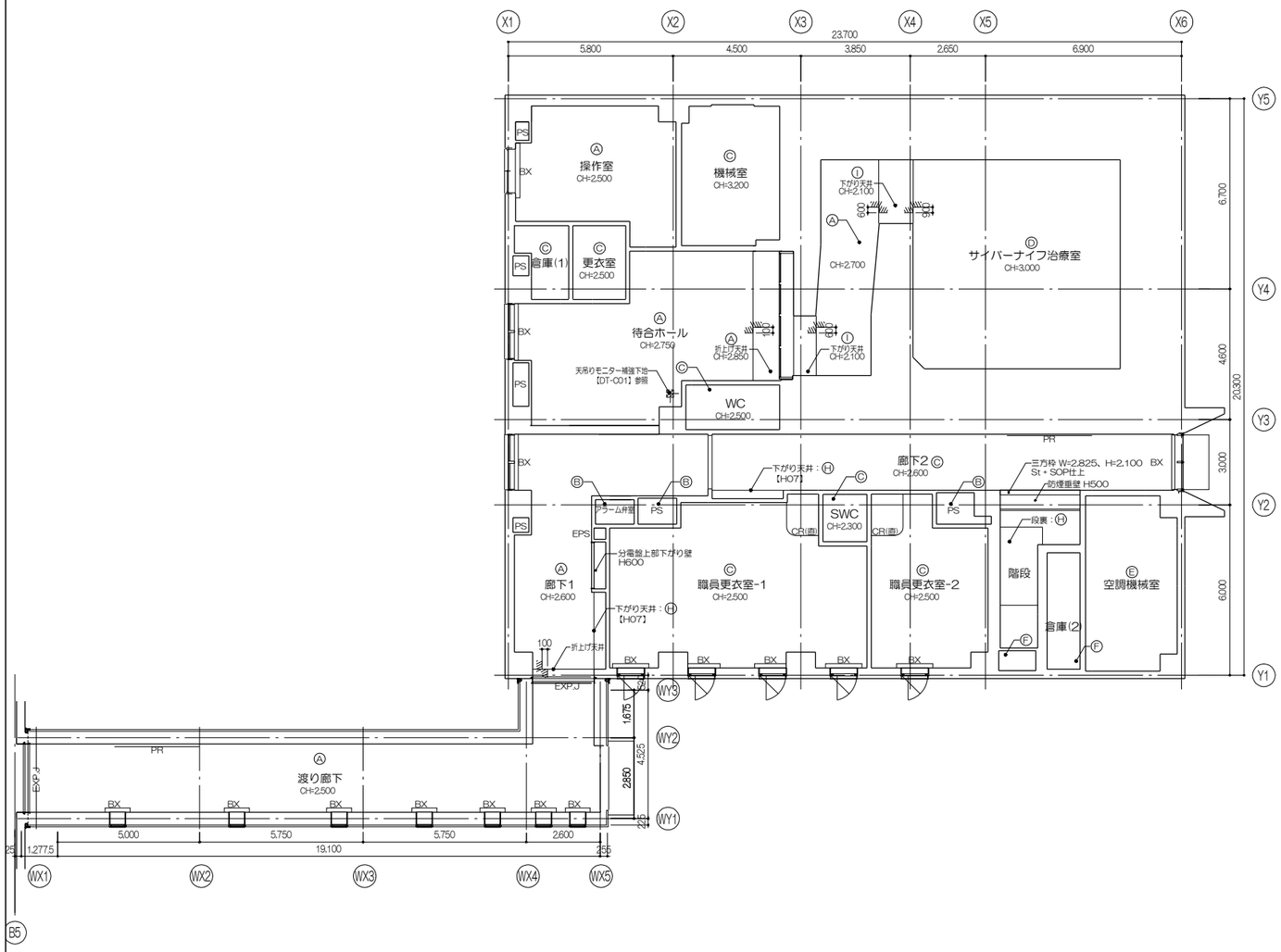
A
D 展開方向 B
C

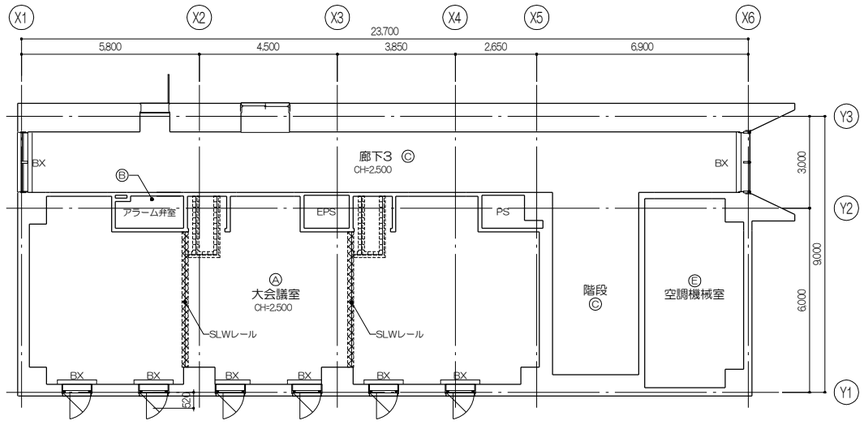
【特記事項】
- 折上げ天井・下がり天井は【3-12-1】参照のこと
- 手摺・腰壁は【H01】参照のこと
- コーナーガードは【H02】参照のこと
- カーテンレール・ピクチャレールは【H04】参照のこと
- 一方枠・三方枠は【H05】参照のこと

- 各建具開部上下にはひび割れ防止目地をつくること
- 【　】：アルファベットから始まる場合は部分詳細図参照
- 【　】：数字から始まる場合は建築工事標準詳細図参照

【凡例】
：メラミン不燃化粧板

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	展開図-2（大会議室・廊下-3）	意匠
縮　尺 1/50(A1),1/100(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A143





凡 例

Ⓐ	DR	Ⓗ	EP		
Ⓑ	直天	Ⓘ	二方枠　St製 SOP仕上【H05】		
Ⓒ	GB-NC(T)	BX	カーテンボックス		
Ⓓ	VC(4)	PT	パーティション		
Ⓔ	GW-B	SLW	スライディングウォール		
Ⓕ	直天　断熱材 t65	CR	カーテンレール 【H04】		
Ⓖ	HW t30 打込み	PR	ピクチャーレール 【H04】		

：スライディングウォール補強金物（A）【C02】

：スライディングウォール補強金物（B）【C02】

(1) 特記なき限りPS、EPSはⒻとする
(2) BX長さは建具有効から両端に+150ずつ加えた長さとする
(3) 天井設備/点検口の配置は総合図において調整を行なうこと

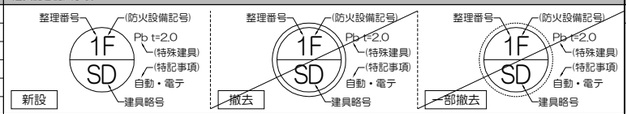
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名	1階・2階天井伏図		意匠
縮 尺	1/100(A1),1/200(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A144

建具表示略号及び記号

表示略号

略号	建　具
AD	アルミニウム製戸
AW	アルミニウム製窓
AG	アルミニウム製がらり
ACW	アルミニウム製カーテンウォール
ATL	アルミニウム製トップライト
PVD	樹脂製戸
PVW	樹脂製窓
PVF	樹脂製枠
SD	鋼製戸
SH	鋼製吊り引き戸
SW	鋼製窓
SG	鋼製がらり
SCW	鋼製カーテンウォール
SF	鋼製枠
LD	鋼製軽量戸
LH	鋼製軽量吊り引き戸
SSD	ステンレス製戸
SSH	ステンレス製吊り引き戸
SSW	ステンレス製窓
SSF	ステンレス製枠
SS	重量シャッター
LS	軽量シャッター
GD	ガラス製戸
GW	ガラス製窓
GWS	大型ガラススクリーン
WD	木製戸
WF	木製枠
H	ふすま
P	障子
PT	可動間仕切
SLW	移動間仕切
SM	防煙たれ壁（固定式）
SMF	防煙たれ壁（回転降下式）
SMR	防煙たれ壁（ロール式）
BD	防水ドア
BS	防水シャッター
BB	防水板
UC	アンダーカット
記号	**防火設備**
F	特定防火設備
f	法二条第九号の二ロに規定する防火設備
記号	**特殊建具**
Pb t=○.○	放射線防護用鉛入り建具 t=鉛厚さ(mm)
Sh	電波・磁気防護用建具
記号	**特記事項**
自動	自動ドア
電動	電動シャッター
電気	電気錠
電テ	電気錠（テンキー式）
電カ	電気錠（カード式）
電指	電気錠（指紋照合式）
BL	明色ブラインド有

建具記号記入事項



略号	ガラス						
P	フロート板ガラス						
F	型板ガラス						
WP	線入板ガラス						
WF	線入型板ガラス						
NP	網入板ガラス						
NF	網入型板ガラス						
T	強化ガラス						
HAP	熱線吸収フロート板ガラス						
HANP	熱線吸収網入磨き板ガラス						
HAWP	熱線吸収線入り磨き板ガラス						
HANF	熱線吸収網入り型板ガラス						
HR	熱線反射ガラス						
DS	倍強度ガラス						
DSHA	倍強度熱線吸収ガラス						
L	合わせガラス						
LE	Low-Eガラス						
断熱複層ガラス（日射取得型）							
	室外側	中空層	中間	中空層	室内側	ガラス建築確認記号	
IG(断)	P6	A12	-	-	Low-E6	2LsA12	
IG(断)-1							
IG(断)-2							
IG(断)-3							
日射熱遮へい複層ガラス（日射遮蔽型）							
	室外側	中空層	中間	中空層	室内側	ガラス建築確認記号	
IG(遮)							
IG(遮)-1							
IG(遮)-2							
IG(遮)-3							
A：空気層　Ar：アルゴンガス層							

略号	ガラス用フィルム
GF	ガラス用フィルム（種別は特記仕様書による）

略号	額縁・舗板・その他
A	アルミ製　仕上：電解二次着色
	（仕上色　B：ブラック　　S：ステンカラー）
PV	樹脂製　仕上：
SS	ステンレス製　仕上：HL
S	鋼製　仕上：SOP／DP（ふっ素）
W	木製　仕上：

略号	ヒンジ	略号	ヒンジ
TH	丁番	LH	ラバトリーヒンジ
PH	ピボットヒンジ	GH	グラビティヒンジ
FH	フロアヒンジ	LOH	ロングヒンジ
HC	ヒンジクローザー		

略号	取　手	略号	取　手
ノブ	握り玉	押板	押板
レバ	レバーハンドル	ケース	ケースハンドル
引手	引手	掘込	掘り込み引手
押棒	押棒		

略号	錠
モノ	モノロック
本モノ	本締り付モノロック
箱錠	シリンダー箱錠（片面サムターン）
引戸	引戸錠
引違	引違い戸錠
本締	シリンダー本締り錠
点検	点検口錠
表示	表示付錠
空錠	空錠
グレ	グレモン錠
電気	電気錠
電テ	電気錠（テンキー式）
電カ	電気錠（カード式）
電指	電気錠（指紋照合式）

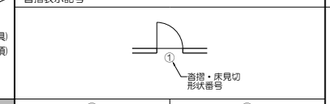
略号	ドアクローザー
DC	標準タイプ
CN	コンシールドタイプ
SL	引戸クローザー

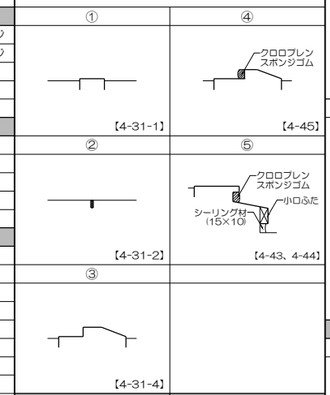
略号	吊り引戸形式
S(P)型	両側戸袋パネル型（ポケットタイプ）
S(S)型	片側戸袋パネル、片側袖壁型（片戸袋タイプ）
S(O)型	片側戸袋パネル、片側戸露出型（オープンタイプ）
S(N)型	片側袖壁、片側戸露出型（戸袋なしタイプ）
E型	外付け、戸露出型
BK型	LGS壁内納まり型
BR型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式）
BNR型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式、メンテナンスパネル無）
BWA型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式、二連式ポケット型後戸タイプ）
BW(O)型	片側戸袋パネル、片側露出型(二連式、オープンタイプ)
BW(N)型	片側袖壁、片側露出型(二連式、戸袋なしタイプ)

平面図（キープラン）表示記号

畳搭・床見切形状

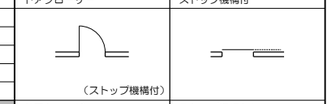
畳搭表示記号

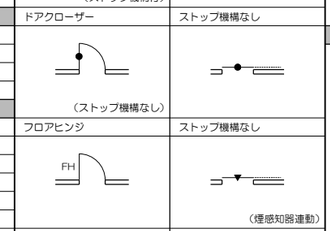




開き戸の閉鎖機構

ドアクローザー





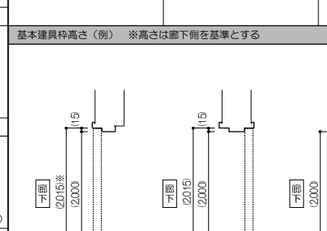
フロアヒンジ

ヒンジクローザー

吊り引き戸の閉鎖機構

ストップ機構付

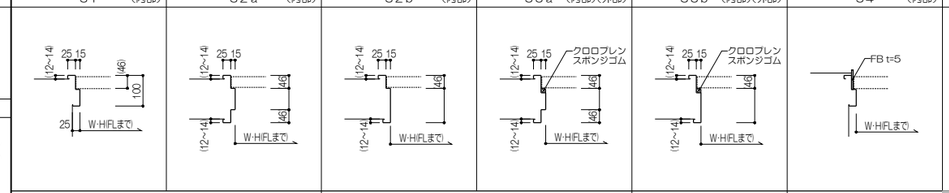
ストップ機構なし



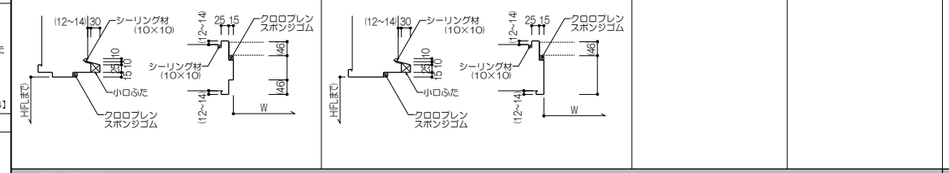
建具枠

S：鋼製建具枠、ステンレス製建具枠

S1（内部）　S2a（内部）　S2b（内部）　S3a（内部）(外部)　S3b（内部）(外部)　S4（内部）　S5

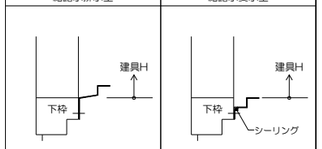


S8a（外部）　S8b（外部）



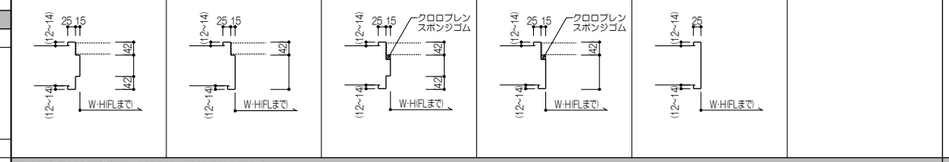
結露受け形状

結露水排水型　結露水受水型

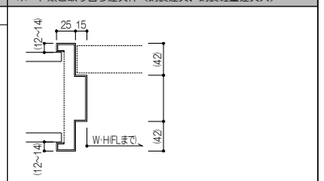


L：鋼製軽量建具枠

L1a（内部）　L1b（内部）　L2a（内部）　L2b（内部）　L3（内部）

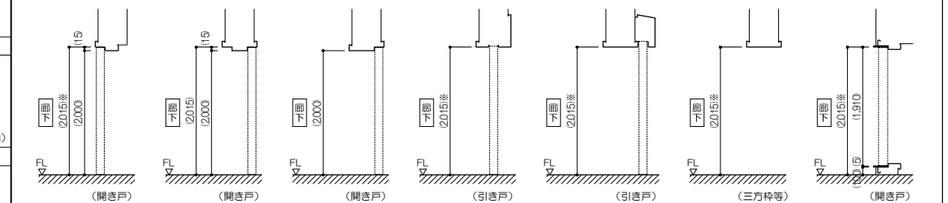


ボード類と取り合う建具枠（鋼製建具、鋼製軽量建具共）



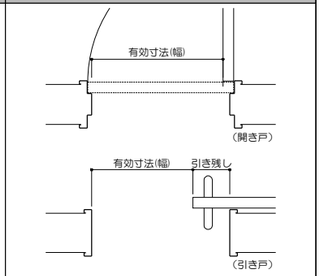
※ボードと取り合う場合の枠は折り返し、ボード飲み込みとする
ただし、LH等については監理者との協議による

基本建具枠高さ（例）　※高さは廊下側を基準とする



・開き戸《bタイプ》と併用する場合は、建具高さ※は2,000とする

建具有効幅の考え方



※建具表中に有効寸法の表記がある場合は、原則上記とする

建具共通事項　　特記なき限り下記による

1．共通事項

1）建具本体・枠
（1）建具表表示の寸法は、原則有効開口寸法とする
（2）がらりは開口率30%以上、外部のがらりは全てステンレス防鳥網付き、外部から取り外し可能な仕様とする
（3）ダクト接続のがらりには四方枠（L-30×30×3 錆止め塗料塗り、アルミPL-2.0、D-150、断熱材吹付t=65）取付けとし【4-52-7】、アルミ製水返し付きとする。D300防露材吹付。
（4）サッシ方立等で、手摺が取付く部分には、下地補強プレート t=1.0を裏打ちすること
2）ガラス
（1）網入りガラスは、網の切り口を防錆処理すること
（2）複層ガラスには樹脂スペーサー【日本板硝子S&S（株）TPS（樹脂）スペーサー 同等品】を設けること
3）建具金物
（1）扉取手の高さは、FL+1,000mmとする
（2）マスターキーグループについては、監理者の指示による
（3）建具金物は見本品提出の上、監督職員の承諾を受けること
（4）屋外側設置鋼製扉には、上下に戸当たりを設けること
（5）丁番は3ヶ所設けること
4）取り合い
（1）床仕上の異なる部分に取り付く建具下枠部には、扉の下部になるように畳搭又は床見切を設置すること
（2）内部建具において、特記無き限りは、畳搭・床見切り形状は熱溶着とする
（3）外部建具廻りシーリングは二重シーリング：MS-2 15×10+15×10とすること
（4）外部水切の両端部はフタ付とし、水切面より5mm立上りを設ける
5）入退室管理システムを（・行う　●行わない）（詳細は図示による）
・非接触カードリーダー　・テンキーパッド　・磁器カードリーダー　・指紋照合機

2．アルミニウム製建具

1）建具本体・枠
（1）外部建具は結露受け（排水穴とも）取付けとし建具枠との取合いは二重シーリングのこと
（2）外倒排煙窓は45度以上開放とする
（3）枠見込みは、（　●70mm　・100mm　）とする
（4）使用する建具により開閉方向は現場指示とする。
2）建具金物
（1）排煙オペレーター及び電気錠等の配線、配管及び操作ボックス等は埋込型とする
（2）排煙オペレーターは隠蔽タイプとし、開放押ボタン・閉鎖手動ハンドル回転式とし、取付高さは原則としてFL+1,300mmとする
（3）開き窓、回転窓等のストッパー、アーム等はステンレス製とする（3段階調整機能付）
（4）クレセントは大型レバータイプ、非常口を除き錠付とし、取付け高さは、FL+800以上FL+1,500以下とする
（5）引き違い窓、片引き窓、縦軸回転窓には、採風開口（小解放）時のストッパー機構として、解放制限金物（鍵により解除できるもの）を設置とする。開口幅は現場指示する。
3）取り合い
（1）舗板、額縁は見付25mm、見込は各部壁仕上面よりチリ10mmとする
（2）ブラインドボックス・カーテンボックス及び上部鏡、アルミカーテンボックス取合部の取付け下地金物は建築工事とする
（3）特記なき限りブラインドボックス・カーテンボックスは建具幅+面より150mmとする。設置場所は天井伏図による
（4）外部に面する建具と舗板・額縁の取合に絶縁ゴムシートを設けること

3．鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、木製建具

1）建具本体・枠
（1）開き戸、引き戸は原則として両面フラッシュとし、片面フラッシュ使用箇所は建具表による
（2）鋼製軽量建具の召し合わせ、縦小口包み等の材質は鋼板とする（16.5.3）
（3）ガラス止めはシーリング仕様とする。但し防火設備以上に関しては不燃シーリング仕様とする
（4）腰ステンレス製の扉についてはスチール面とステンレス張面が同一面になるようにすること
（5）気密性鋼製建具（PAT）は本体および枠共、ロックウール150kg/　　㎥充填とし、ステンレス剥先付とする
（6）準気密性鋼製建具（SAT）は枠内ロックウール150kg/㎥充填とする
（7）外部建具のSDは結露対策としてロックウール80kg/㎥充填とする。
（8）鋼製建具、鋼製軽量建具について隙間気密部のドアセット性能値は（16.4.2）（表16.4.1）（16.5.2）を適用する
（9）特定防火設備の戸は（表16.4.2）を適用する
（10）ステンレス製建具はSUS304 HL仕上げ普通曲げ加工とする
2）建具金物
（1）壁当りとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当り（ステンレス製・ゴムクッション付）を設ける
（2）親子開き、両開きの防火戸には、順位調整器取付のこと
（3）防火戸に用いるドアクローザー、フロアヒンジ、ヒンジクローザーはストップ機構なしとする
（4）防火戸には子扉側にもドアクローザーを設置する
（5）外部開き戸に取付くドアクローザーは、バックチェック機能付きとする
（6）外部開き戸に取付く戸当たりは、あおり止め（フック）付きとする
（7）ドアクローザー（標準タイプ）は焼付塗装品（・ホワイト　●シルバー　・　　●特注色　）とし、原則として室内側取り付けとする
また、室内、室外の区別が難しい場合は、監理者と協議すること
（8）両開き戸及び親子開き戸はフランス落し（上げ落し）付きとする
（9）煙感知器連動防火戸の電磁レリーズ取付は本工事とする
（10）扉見込寸法は下表による

SD及びSSD	LD	WD
40（H=2,400未満、W=1,050以下）	36 ～ 40	30（H=1,000未満、W=900以下）
50（H=2,400以上、W=1,600以下）	H	36（H=1,800未満、W=900以下）
50（H=2,700以上、W=1,500以下）	21（戸ふすまは30）	40（H=2,400未満、W=900以下）
60（H=3,200以上、W=2,000以下）	P	
	24	

（10）建具金物は下表による

建具形式	ヒンジ	取　手	錠	ドアクローザー	備　考
一般開き戸	●TH　・PH	レバ	箱錠	DC	
[redacted]					
点検扉	●隠し丁番	ケース	点検	DC	PS・EPS
機械室等の開き戸	●LOH　・	グレ	本締	DC	

3）仕上
（1）仕上は、がらり、額縁を含め下記とする。
鋼製建具　※EP-G（特注色）　●DP（ふっ素（特注色））　●SOP（特注色）
鋼製軽量建具　※焼付塗装（特注色）　・焼付塗装（標準色）
・EP-G（特注色）　・
焼付塗装は、メラミン樹脂又はアクリル樹脂とする

4．鋼製軽量吊り引戸

1）建具本体・枠
（1）鋼製軽量吊り引き戸（E型）取付箇所の三方枠は、鋼製軽量吊り引き戸に含むものとする
（2）戸袋の有無、片面、両面の仕様については建具表による
（3）扉は自閉式上吊り引き戸装置付とし、品質は（16.10.3）による　製造所：くろがね工作所 同等品
（4）戸当りゴム：特注色（グレー）
2）建具金物
（1）手動開放、自動閉鎖装置付とする
（2）建具金物は下表による

建具形式	ヒンジ	取　手	錠	ドアクローザー	備　考
吊り引戸		押棒	本締	SL	

（3）その他の機能の適用は下記による
・フリーストッパー　・オートストッパー　●全開時ストッパー
・非常解除型全開時ストッパー　・戸袋引き込み部プロテクトラバー
●戸当りゴム　・ガード付戸当りゴム　●戸尻ゴム
・戸袋パネルコーナーガード
●キックプレート（●半硬質樹脂 t 2mm　・ SUS304 t=0.8HL）H=330、両面
●錠前開閉ガイドシール
3）仕上
（1）仕上は、がらり、額縁を含め（　※焼付塗装（特注色）　・焼付塗装（標準色）　）とする
焼付塗装は、メラミン樹脂又はアクリル樹脂とする

5．自動ドア

（1）自動ドアは、電源を切った場合又は停電時手動開放方式とする
（2）自動ドアは、全て電源スイッチ付きとする（ステンレススイッチボックス、鍵付）
（3）扉枠見付は、図示とし、ドア上フレームは、（　・無し　●有り　）とする
（4）キックプレート SUS304 t=1.5 HL（H=300）を、（　・設置する　●設置しない　）
ただし外部SUSは鏡面仕上とする
（5）非常電源装置（　●非常時開放用　・非常時開鎖用　）を、（　●設置する　・設置しない　）
（6）電気錠（　・停電時施錠型／手動解錠装置付　・停電時解錠型／手動解錠装置付　）を、（　・設置する　●設置しない　）
（7）センサーの種類は建具表による
（8）JIS A4722に準拠する
（9）外部に面する建具のみガイドレール部に凍結防止用ヒーター組込のこと
（10）ドア内外安全線付（上下2箇所）
（11）自動ドア起動スイッチ取付及び電源との結線工事も本工事とする
（12）サイバーナイフ治療室入口の防護扉については「7. その他」を参照のこと

6．移動間仕切

（1）扉付の場合の取手は、（　●ケースハンドル　・フラットレバーハンドル　）とする

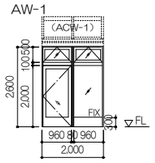
7．その他

（1）WC、更衣室に取り付く扉の表示錠は、非常時外部開放ラッチ金物付（コイン解錠）とする。
（2）取手仕様はレバーハンドル：ユニオン（ 1F：UL1007-001　2F：UL1045 ）同等品
L H引手：ユニオン（ G1121-01-023 ）同等品
押棒：ユニオン（ G1179 ）同等品とする。
掘り込み引手：ユニオン（ ULS401 ）同等品とする。
（3）扉には「押す」「引く」「引き込む」等の表示（シール式）を行う。
また自動扉には「自動扉」表示を行う。（建具工事）
（4）衝突防止マーク仕様はサイン図による。設置高さは監督職員の指示による。
（5）LH下部は車いすフットレストからの防護として硬質キックプレートを設置（両面とも）
カイダーベースボード（SB型巾木H-330）同等品
（6）サイバーナイフ治療室に取り付ける建具仕様は特記仕様書参照のこと

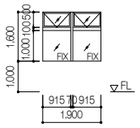
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名	建具表-1（共通事項編）		意匠
縮　尺	―	日　付 2025/12（令和7年）	A145

姿図

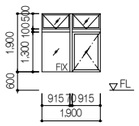
AW-1



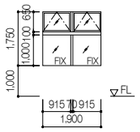
AW-2



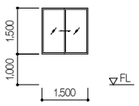
AW-3



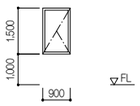
AW-4



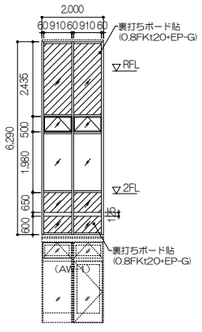
AW-5



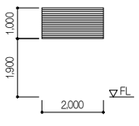
AW-6



ACW-1



AG-1

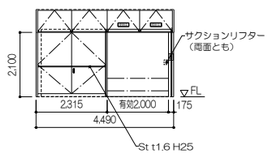


建具表

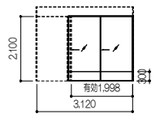
記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×見込(D)	形式	ガラス 種別	ガラス 厚さ	取り合い 鏡板	取り合い 額縁	取り合い 水切	付属金物一式	建具金物	備考
1/AW	1	2,000	欄間突出し排煙窓付							TH、レバ	網戸付、電池式テンキー錠
		2,600	はめ殺し窓付片開き戸	IG(断)		A	A	A	○	電テ	GF（3）
		70	電解二次着色（B）							DC	排煙オペレーター（手動・隠蔽）
2/AW	1	1,900	欄間内倒し排煙窓付								網戸付
		1,600	はめ殺し連窓	IG(断)		A	A	A	○		GF（3）
		70	電解二次着色（B）								排煙オペレーター（手動・隠蔽）
3/AW	1	1,900	欄間内倒し排煙窓付								網戸付
		1,900	はめ殺し窓付縦すべり出し窓	IG(断)		A	A	A	○		GF（4）
		70	電解二次着色（B）								排煙オペレーター（手動・隠蔽）
4/AW	1	1,900	欄間突出し排煙窓付								網戸付
		1,750	はめ殺し連窓	IG(断)		A	A	A	○		GF（3）
		70	電解二次着色（B）								排煙オペレーター（手動・隠蔽）
5/AW	2	1,500	引違窓								網戸付
		1,500	電解二次着色	IG(断)		A	A	A	○		GF（3）
		70	（1F:(B)、2F:(S)）								
6/AW	11	900									プリーツ網戸付
		1,500	縦すべり出し窓	IG(断)		A	A	A	○		1F（数量：5）：GF（3）
		70	電解二次着色（S）								2F（数量：6）：GF（4）
1/ACW	1	2,000	欄間突出し排煙窓付								※姿図は外観図、網戸付
		6,290	カーテンウォール	IG(断)		A	A	A	○		排煙オペレーター(手動)付
		65	電解二次着色（B）								BX付、詳細図参照
1/AG	4	2,000	アルミ製								開口率30%
		1,000	横型ガラリ	—		—	—	A	○		【4-52-7】
		70	電解二次着色（S）								

姿図

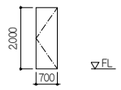
SH-1



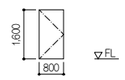
SSH-1



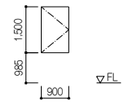
SD-1



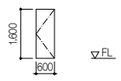
SD-2



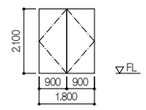
SD-3



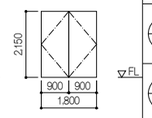
SD-4



SD-5



SD-6



建具表

記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×見込(D)	形式 仕上	枠 形状 材質 仕上	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
Pb 1/SH 自動	1	4,490	鋼製	—				サクション			自動扉金物一式、センサー
		2,100	自動吊片引き戸（S(S)型）	S	—	—	—	リフター	本締	—	ドアエンジン、四周SUS見切枠
			PVF貼り	PVF貼り				×2			Pb=8mm当量、詳細図参照
1/SSH 自動	1	3,055	ステンレス製	—							自動扉金物一式
		2,100	2連自動吊引き戸（BNR型）	SS	T	8	—	—	本締	—	ドアエンジン、センサー
			HL	HL							GF（2）、衝突防止サイン
1/SD	2	700	鋼製	S2a							
		2,000	片開き戸	S	—	—	TH	ケース	本締	DC	120度開き
			SOP	SOP							
2/SD	1	800	鋼製	S2a							
		1,600	片開き戸	S	—	—	TH	ケース	本締	DC	
			SOP	SOP							
3/SD	1	900	鋼製	S8a							枠・扉ともロックウール充填
		1,500	片開き戸	S	—	—	TH	レバ	本締	DC	鏡板 SUS HL(D=280)沓搭込
			DP（ふっ素）	DP（ふっ素）							下枠：SUS HL
4/SD	1	600	鋼製	S2a							
		1,600	片面フラッシュ片開き戸	S	—	—	TH	ケース	点検	DC	
			SOP	SOP							
5/SD SAT	2	1,800	鋼製	S3a							枠・扉ともロックウール充填
		2,100	両開き戸	S	—	—	TH	—	グレ	DC	セミエアタイト
			SOP	SOP							180度開き
6/SD SAT	1	1,800	鋼製	S3a							枠・扉ともロックウール充填
		2,150	両開き戸	S	—	—	TH	—	グレ	DC	セミエアタイト
			SOP	SOP							180度開き

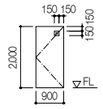
（1）各項目の※及び ・ の適用は特記仕様書と同様とする
（2）【○-○○-○】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【△○○】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）

枠仕上凡例
（B）ブラック
（S）ステンカラー

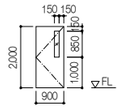
件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図名	建具表-2（AW、ACW、AG、SH、SSH、SD）
縮尺	1/100(A1),1/200(A3)
日付	2025/12（令和7年）
意匠	A146

姿図

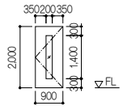
LD-1



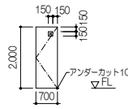
LD-2



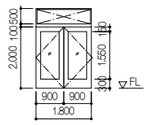
LD-3



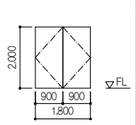
LD-4



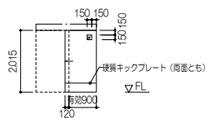
LD-5



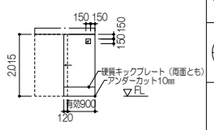
LD-6



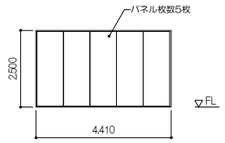
LH-1



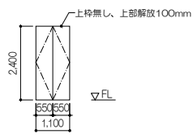
LH-2



SLW-1



WD-1

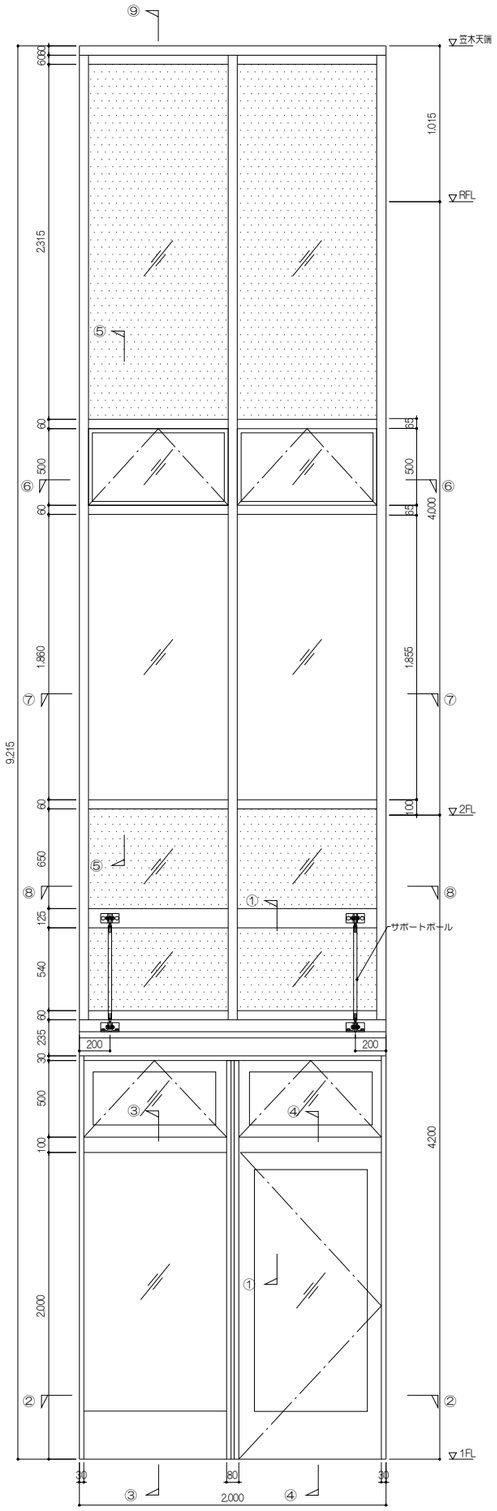


記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×見込(D)	建具本体 形式 / 仕上	枠 形状 / 材質 / 仕上	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
1 LD	1	900	鋼製軽量	L1a							
		2,000	額付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	本締	DC	
			SOP	SOP							
2 LD 電テ	2	900	鋼製軽量	L1a							電池式テンキー錠
		2,000	額付片開き戸	S	P	5	TH	レバ	電テ	DC	GF（3）
			SOP	SOP							
3 LD	1	900	鋼製軽量	L1a							
		2,000	額付片開き戸	S	P	5	TH	レバ	本締	DC	GF（3）
			SOP	SOP							
4 LD UC	1	700	鋼製軽量	L1a							アンダーカット10㎜
		2,000	額付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	表示	DC	非常時解錠機構付
			SOP	SOP							
5 LD	1	1,800	鋼製軽量	L1a							電池式テンキー錠
		2,600	欄間付両開き框戸	S	T	6	TH	レバ	電テ	DC	GF（1）
			SOP	SOP							
6 LD	3	1,800	鋼製軽量	L1a							
		2,000	両開き戸	S	—	—	LOH	押棒	本締	DC	扉・枠ともRW充填
			PVF貼り	PVF貼り							四周SUS見切枠
1 LH	1	900	鋼製軽量	L1a							
		2,015	額付吊引戸（BNR型）	S	F	4	—	引手	表示	SL	大型レバー錠錠
			焼付塗装	焼付塗装							硬質キックプレート(両面)
2 LH	1	900	鋼製軽量	L1a							アンダーカット10㎜
		2,015	額付吊引戸（BNR型）	S	F	4	—	引手	表示	SL	大型レバー錠錠,非常時解錠機構付
			焼付塗装	焼付塗装							硬質キックプレート(両面)
1 SLW	2	4,410	鋼製								
		2,500	移動間仕切	S	—	—	—	—	—	—	遮音タイプ（36dB以上）
		69	PVF貼り	PVF貼り							詳細図参照
1 WD	2	1,100	木製	S4			三次元				SLW収納扉、180度開き
		2,400	両開き戸	S	—	—	隠し丁番	掘込	空錠	DC	召合わせ部マグネットキャッチ
		40	PVF貼り	PVF貼り							床埋込式回転ドアストッパー

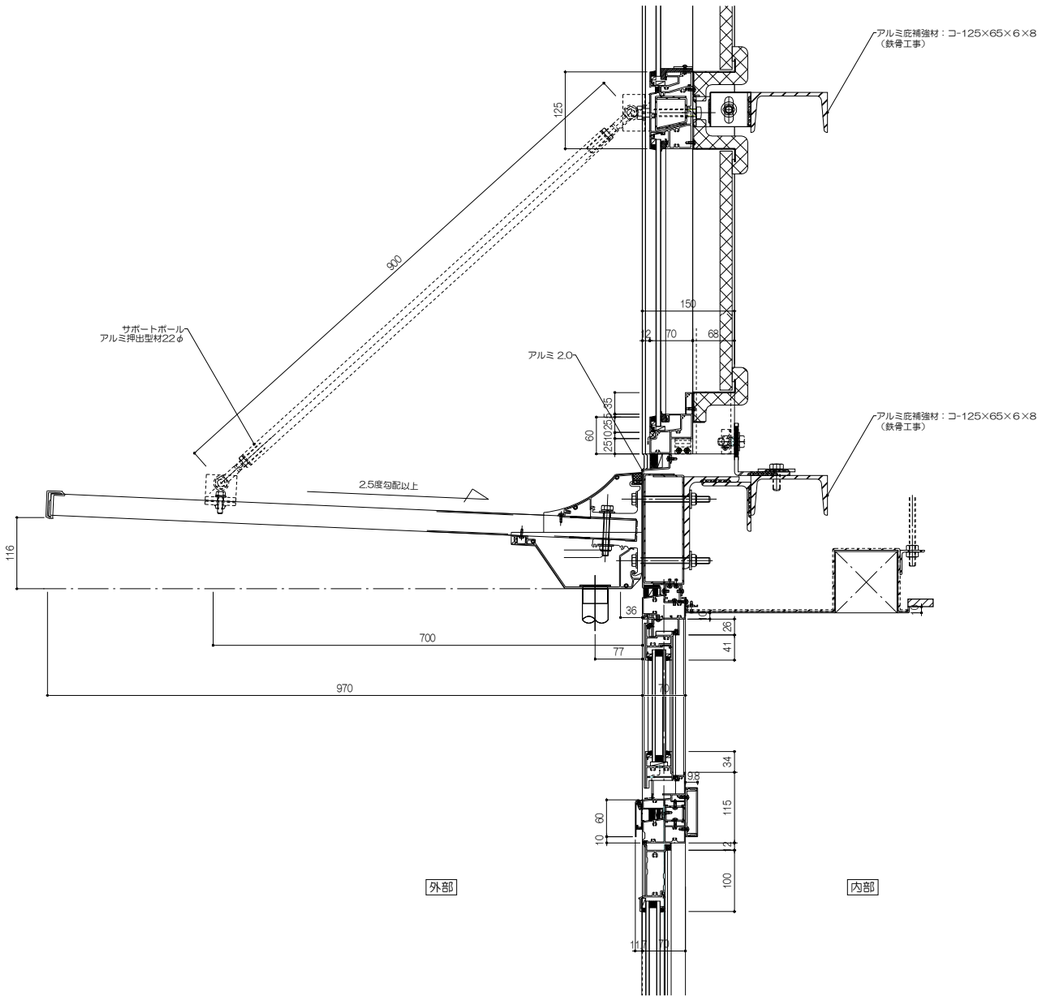
（1）各項目の※及び ・ の適用は特記仕様書と同様とする
（2）【○-○○-○】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【△○○】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）

枠仕上凡例
（B）ブラック
（S）ステンカラー

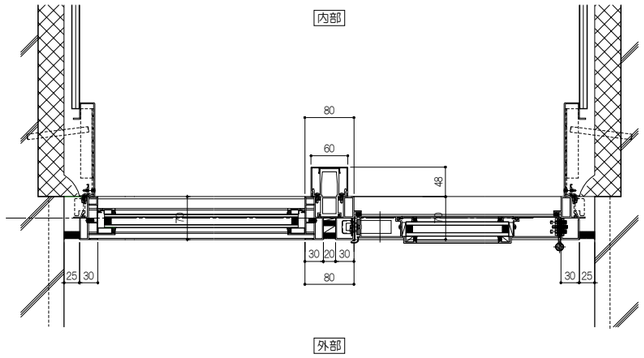
件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図名	建具表-3（LD、LH、SLW、WD）
縮尺	1/100(A1),1/200(A3)
日付	2025/12（令和7年）
意匠	A147



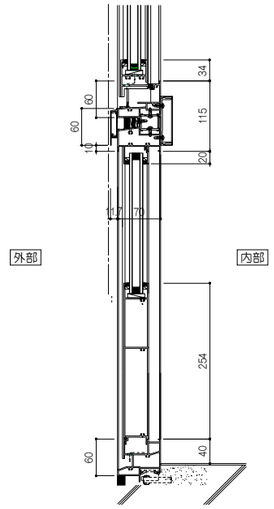
割付図　S=1/20



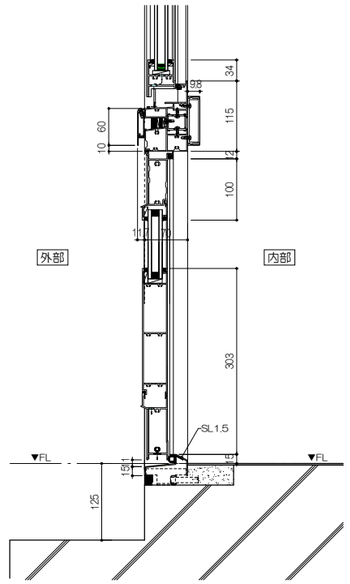
① 断面図



② 断面図

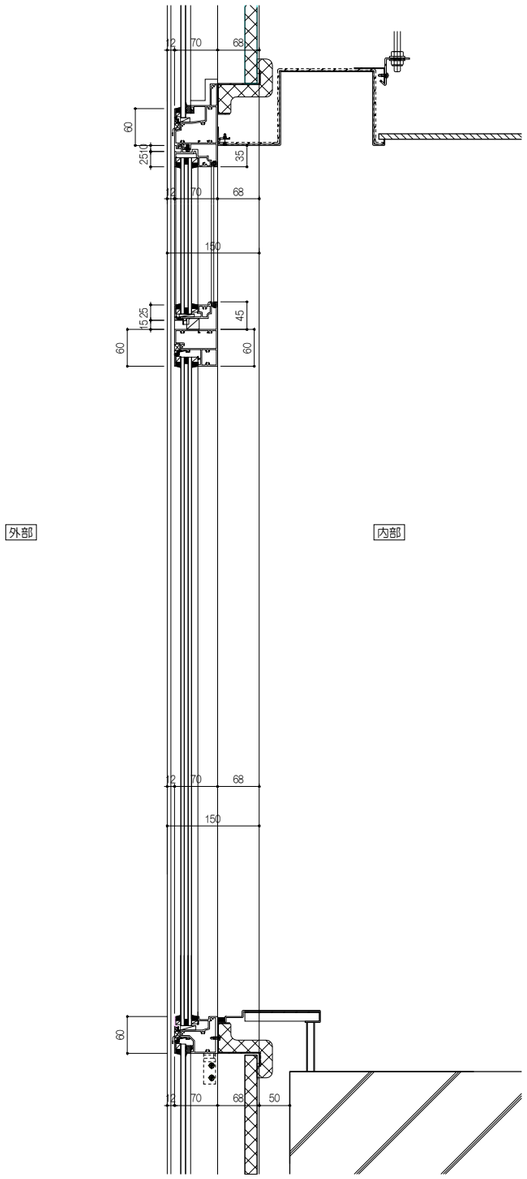


③ 断面図

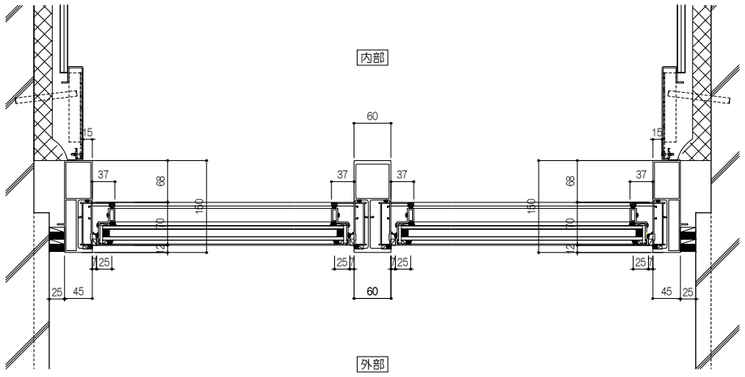


④ 断面図

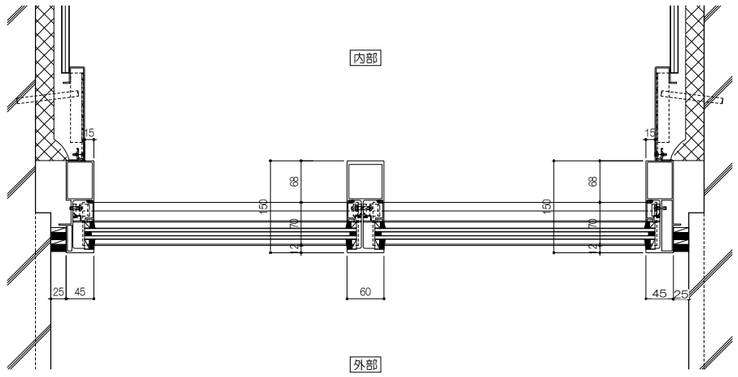
件　名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名 建具詳細図（ACW-1）		意匠
縮　R 1/5(A1),1/10(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A148



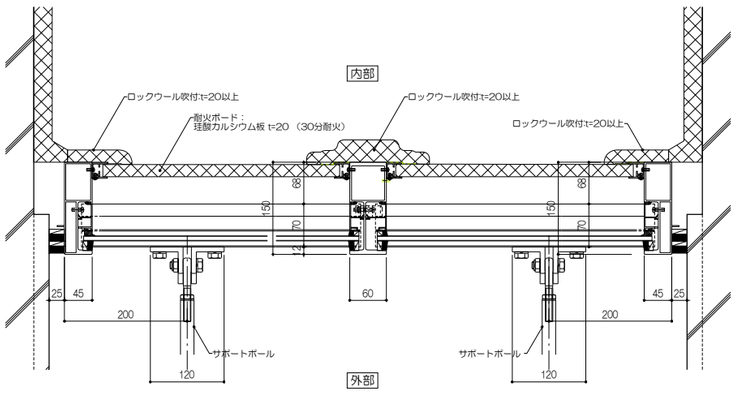
⑤ 断面図



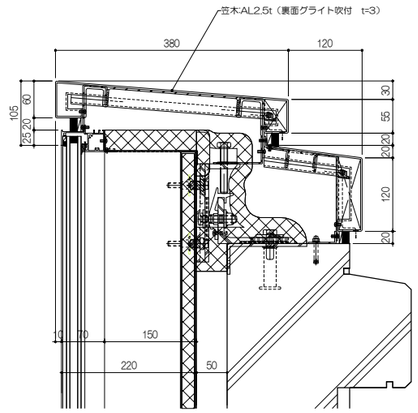
⑥ 断面図



⑦ 断面図

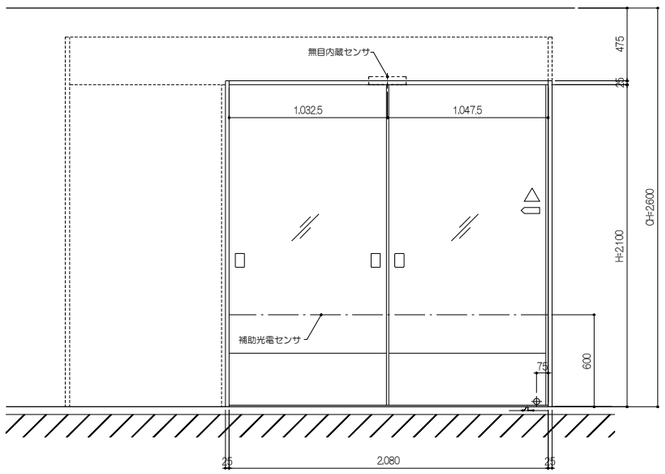


⑧ 断面図

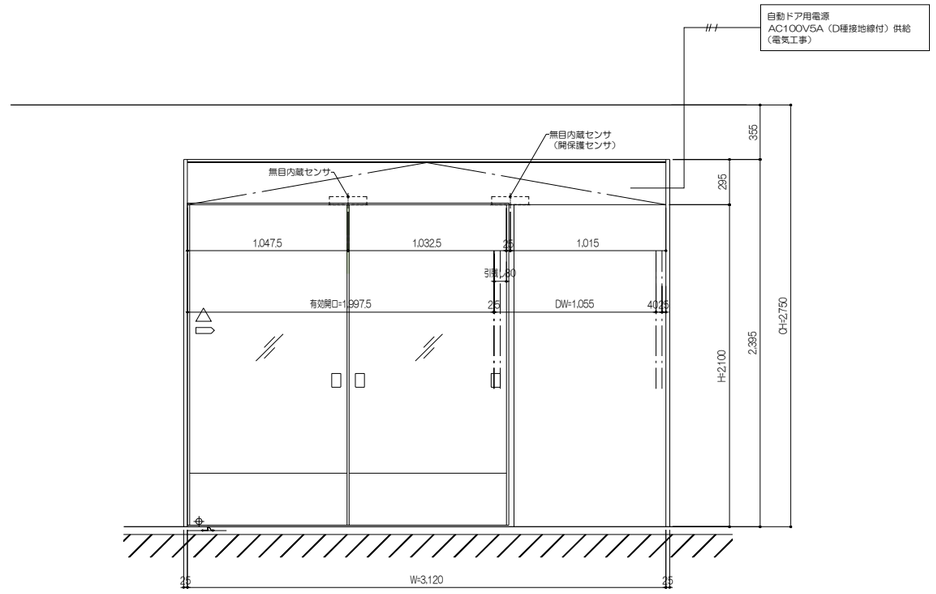


⑨ 断面図

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	建具詳細図（ACW-2）	意匠
縮　尺 1/5(A1),1/10(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A149



廊下２側 姿図　S=1/20



待合ホール側 姿図　S=1/20

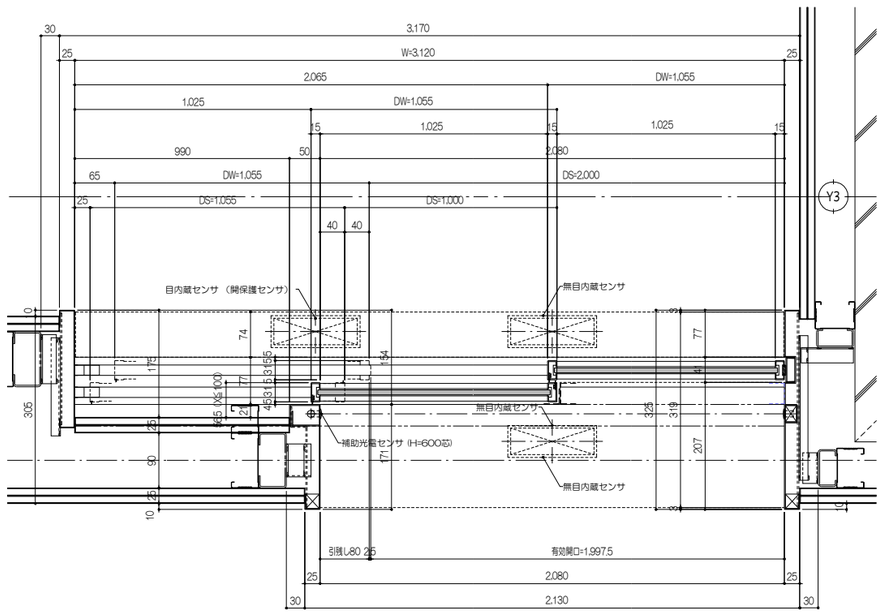
※下記同等品
[防火区分：無]
[防　　振：無]
[気密性能：無]

符号	数量	材質・仕上		取付階
1 SSH	1	枠	SUS304 1.5t 角出し（0.8mm残し） HL仕上	1F
		扉	ロスカドア_3型（強化ガラス 8t） HL仕上	
		下地材	特記なき限り St 1.6t 通し材とする	

品 名	メーカー	品 番	数量	備 考	
エンジン装置	ナブコ	V-TL	1		ドア単体面積 = 2.2㎡
					ドア縦横比 =1.9
起動/開保護センサ	ナブコ	NS-A02	3	無目内蔵型	
補助光電センサ	ナブコ	NP-01	1		
点検口丁番	タキゲン	B-551-1	1式	隠し丁番	
規格ドアガラスシール			1式		ライトグレー色
錠 前	MIWA	TRU-1	1		HL仕上

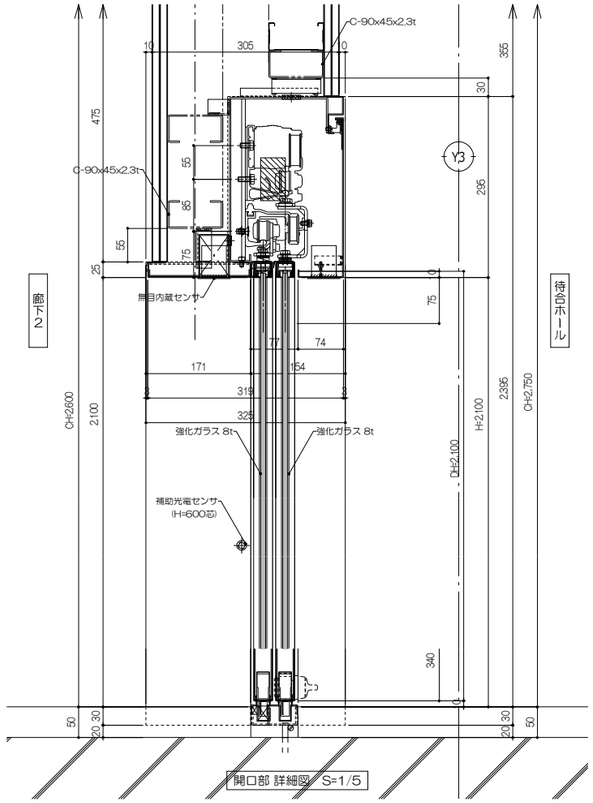
[JIS A 4722 対応表]

建具符号	SSH-1	開閉方式	二重片引き
ドア質量	53kg	開閉速度（mm/sec）	開=400 閉=200
設置場所	一 般		
閉の安全防護	保護装置による保護		
開の安全防護	安全距離の確保ができない部分を開保護センサにて低速開作動		
低速作動	速度=200mm/sec	開始位置=全域	

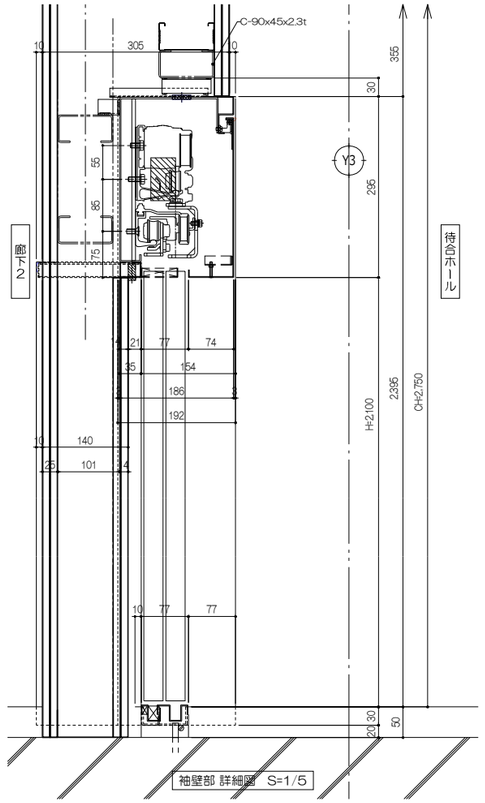


廊下2

平面詳細図　S=1/5



開口部 詳細図　S=1/5

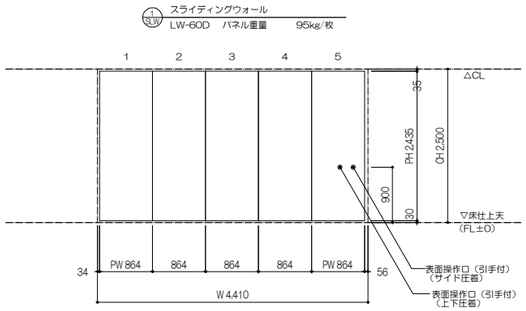


袖壁部 詳細図　S=1/5

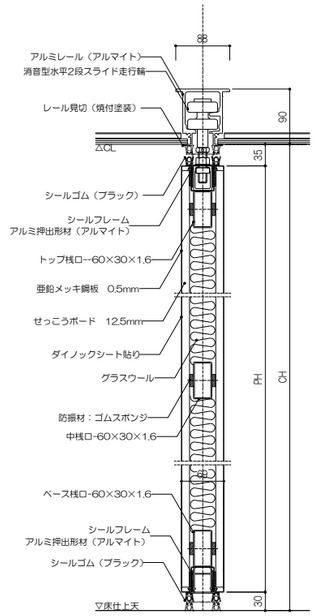
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	建具詳細図（SSH）	意匠
縮 尺	図示　　日 付 2025/12（令和7年）	A150

スライディングウォール 厚み69mm(LW-60D同等品)

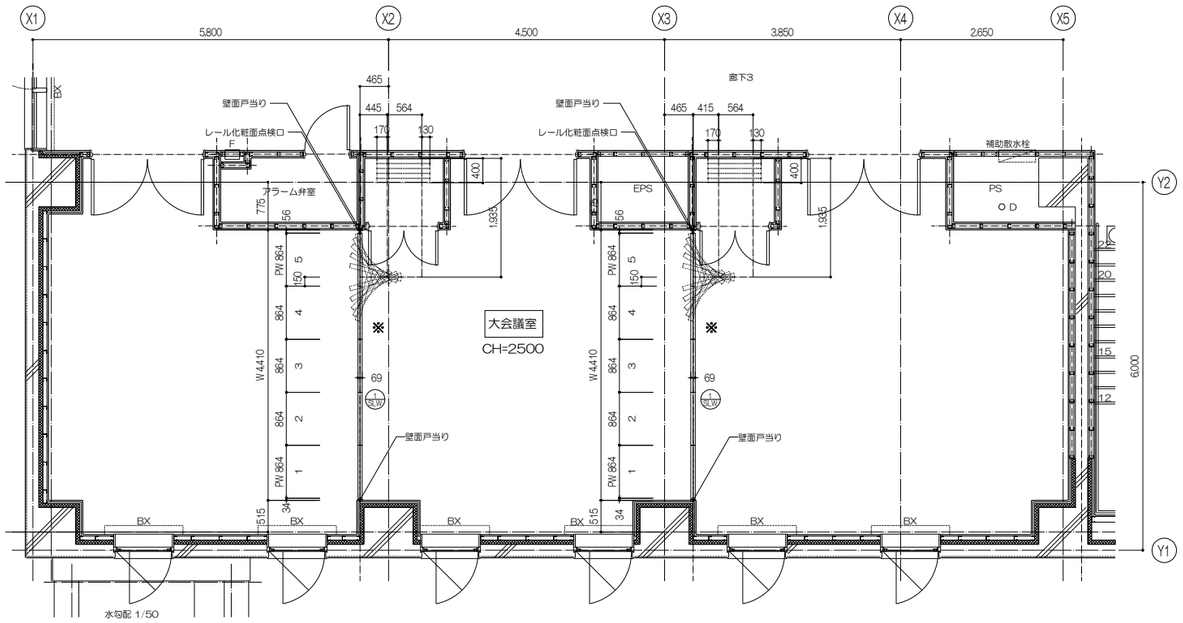
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理) ※パネル断面詳細図の特記部分は焼付塗装
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	ダイノックシート貼り
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理) ※パネル断面詳細図の特記部分は焼付塗装
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
	パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型	



展開図 S=1/50

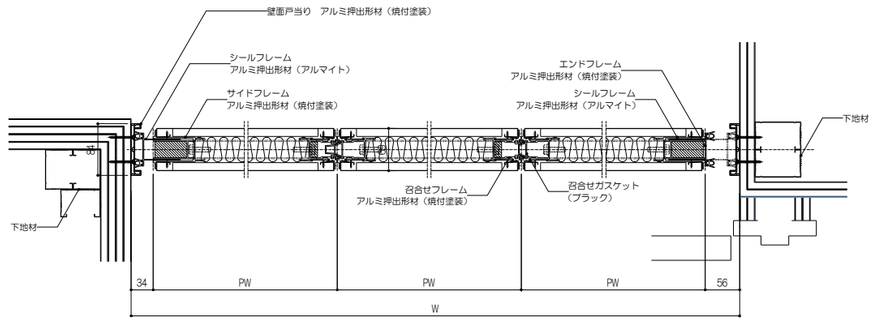


縦断面詳細図 S=1/5



2階平面図 S=1/50

※操作口取付側

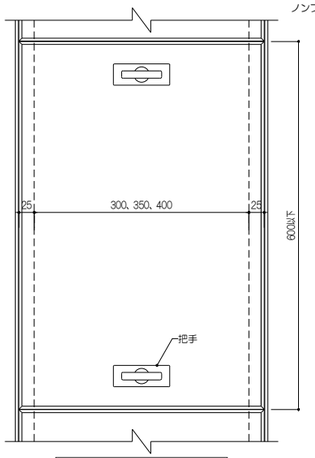


横断面詳細図 S=1/5

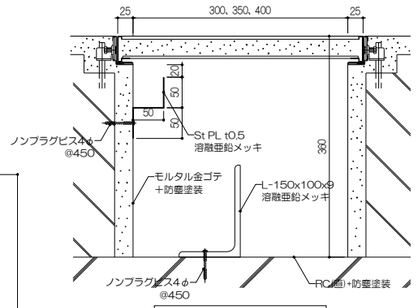
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 建具詳細図 (SLW)		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12 (令和7年)	A151

分類	番号	名称	部分詳細図
床	【A01】	配線ピット	1
壁	【B01】	乾式壁のクラック防止目地処理	1
	【B02】	床材巻上げ幅木納まり	1
天井	【C01】	天吊りモニター補強下地	1
	【C02】	スライディングウォール補強金物	1
室別詳細	【F01】	洗面カウンター	1
	【F02】	流し台ライニング	2
	【F03】	L型流し台ライニング	2
雑詳細	【H01】	手摺・壁面保護材	2
	【H02】	コーナーガード	2
	【H03】	丸環	2
	【H04】	カーテンレール・ピクチャレール	3
	【H05】	一方枠・三方枠	3
	【H06】	屋内機械基礎	3
	【H07】	天井開口補強リスト	3

【A01】配線ピット　S=1/2、1/5

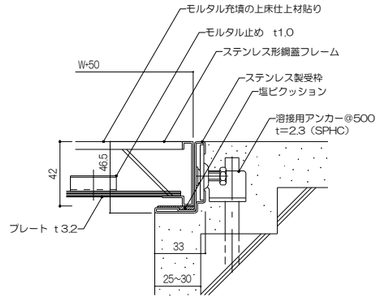


配線ピット平面図　S=1/5



配線ピット断面図　S=1/5

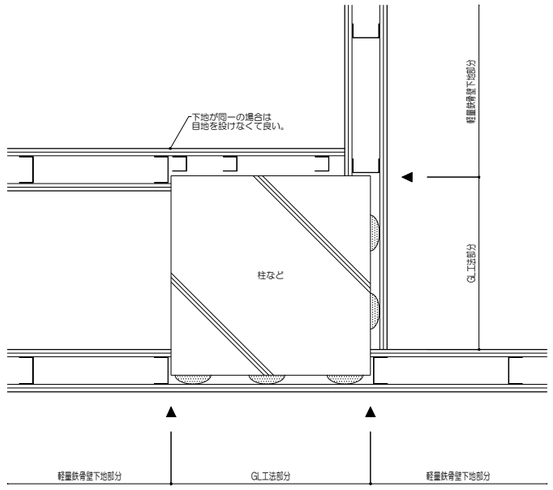
蓋、枠、アンカーの仕様は枠廻り詳細による
WおよびDはキープランによる



枠廻り詳細図　S=1/2

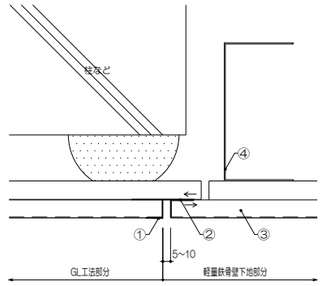
※ピット枠アンカーは差筋、又はホールインアンカーに電焼の上すえ付け、モルタル止めとする
※把手はピット蓋５枚につき１枚、および交差部・端部に投けること

【B01】　壁：乾式壁のクラック防止目地処理　S=1/10、2



平面図　S=1/10

▲：下地が異なる位置に目地を設ける。尚@3,000内外に１箇所は設ける。
※　目地を設ける場合はボードの異なる動きを吸収できるようにする。

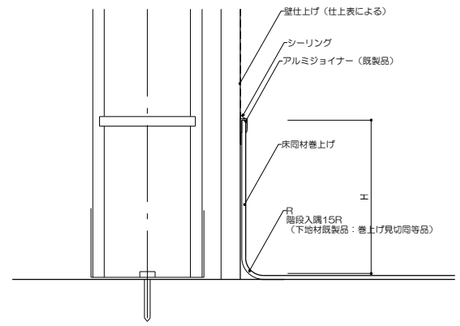


目地部平面詳細図　S=1/2

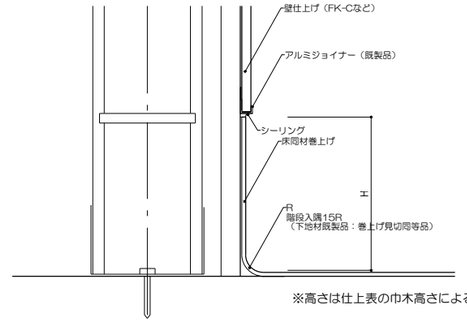
① ユ型塩ビ製(ボード部との境は縦目処理をする)
② ボードスライド部分
　(GL工法側に見切りが材を固定した場合は軽量鉄骨下地壁側は、
　スライドさせるため、GL工法側のボードとは縦を切る。反転も可能)
③ 石こうボードの端色は小口にボード原紙が処理されている側を使用する。
④ 軽量鉄骨下地

【B02】　床材巻上げ幅木納まり　S=1/2

出幅木部位

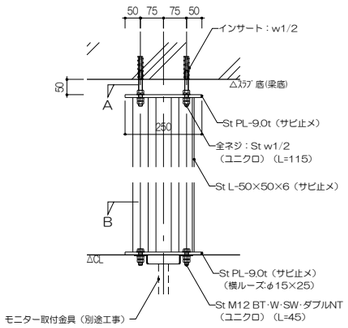


入幅木部位

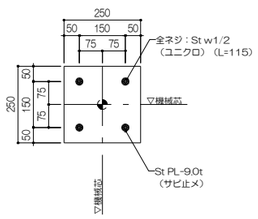


※高さは仕上表の巾木高さによる

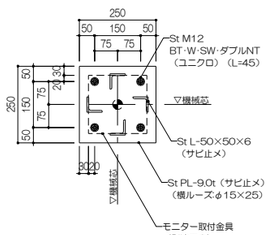
【C01】　天吊りモニター補強下地　S=1/10



補強下地詳細図



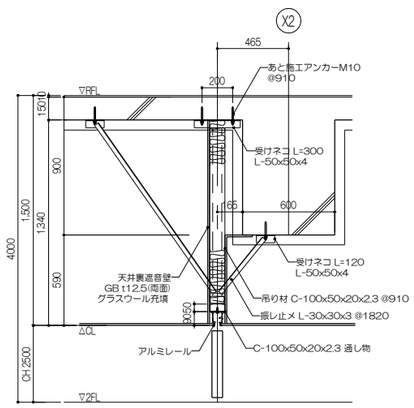
A断面詳細図



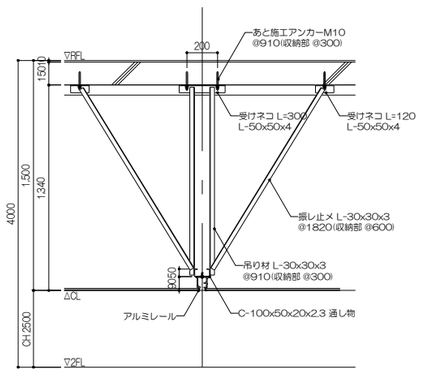
B断面詳細図

※スチール部は防錆処理のこと

【C02】　スライディングウォール補強金物　S=1/20



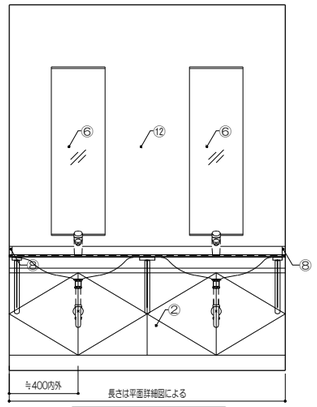
レール取付断面図：A（間仕切部）



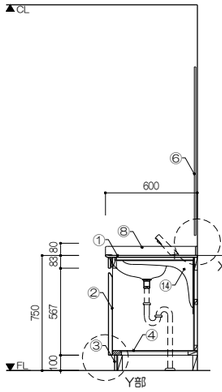
レール取付断面図：B（誘導・収納部）

※スチール部材は防錆処理のこと
※断熱材吹付前にレール取付施工のこと

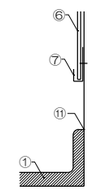
【F01】　洗面カウンター　S=1/5,1/20



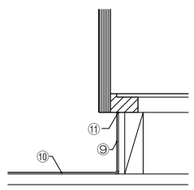
立面図　S=1/20



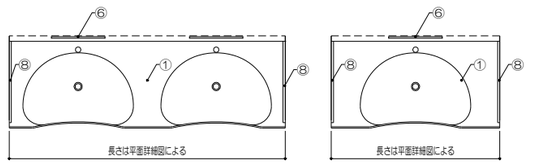
断面図　S=1/20



X部詳細図　S=1/5



Y部詳細図　S=1/5
(床仕上(VS)立上げの場合)

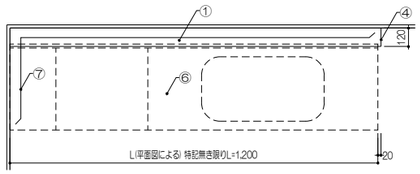


一体成型洗面カウンター 平面図　S=1/20

① 甲板：一体成型洗面カウンター　バックガード付　仕様は特記仕様書による
② 扉：メラミン化粧板パーティクルボード(両面)
　開き扉(スライド丁番、手掛け取手付、マグネットキャッチ付、W=600内外)
　側面が見えがかりの場合、同材仕上げ
③ 幅木：t=19合板下地の上、VB
④ 内部：ポリ化粧合板
⑤ 【欠番】
⑥ 化粧鏡：特記仕様書
⑦ 金物：鏡受金物 SUS304
⑧ メラミン化粧板パーティクルボード立上り
⑨ 幅木：仕上表による(合板下地 t=18)
⑩ 床：仕上表による
⑪ シーリング W=5
⑫ 壁：FK-C（幅寸法は平面詳細図による）　目地シーリングW=5
⑬ 【欠番】
⑭ ブラケット：甲板専用品

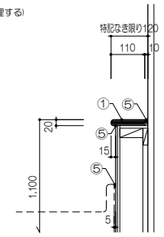
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	部分詳細図-1	意匠
縮　尺	図示　　日　付 2025/12（令和7年）	A152

【F02】 流し台ライニング　S=1/10、1/20

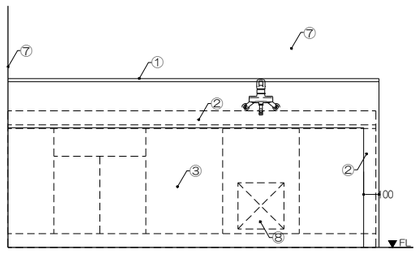


平面図　S=1/20

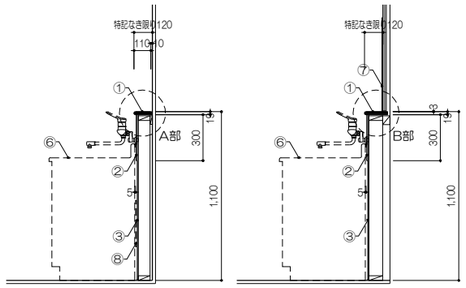
① 甲板：特記無き限り、メラミン化粧板ポストフォーム加工(見え掛りの小口は同材のメラミンコアで処理する)
② ライニングバック(見え掛り)：LGS65 + GB-R12.5 + GB-S12.5+ FK-C t=6
(出隅及び入隅部 アルミ製見切 指定色(既製品)
③ ライニングバック(見え隠れ)：LGS65 + GB-R12.5 + GB-S12.5
④ ライニングサイド(見え掛り)：LGS65 + GB-R12.5 + GB-S12.5+ FK-C t=6
⑤ シーリング W=5
⑥ 流し台：特記仕様書による
⑦ 壁：FK-C t=6（L+500および天井までの範囲）
(端部見切はアルミ製とする)
⑧ 点検口：ビス止め 300×300 ポリ合板
注）見え掛りのボードジョイント部はアルミ着色品見切りを設ける



A部詳細図　S=1/10

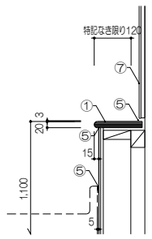


正面図　S=1/20



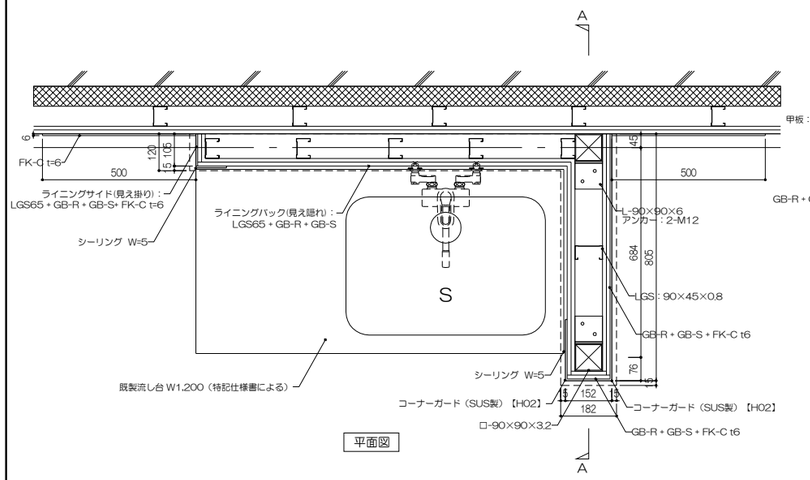
(壁が湿式工法又は後付け工法の場合)　(壁がGL工法又は先付け工法の場合)

断面図　S=1/20

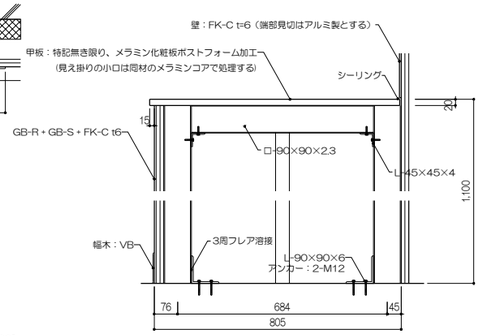


B部詳細図　S=1/10

【F03】 L型流し台ライニング　S=1/10



平面図

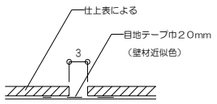


A 断面図

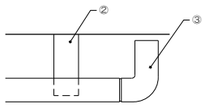
※一般部は【F02】によるものとする

【H01】 手摺・壁面保護材　S=1/5

腰壁のみ

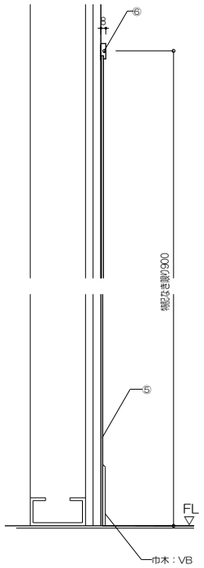


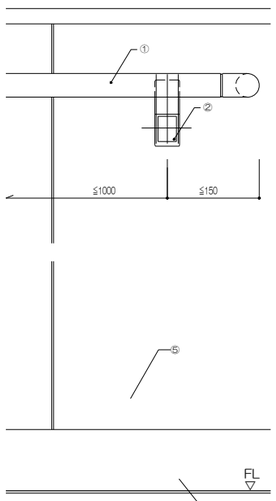
手摺



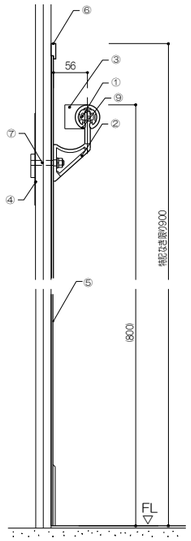
エンド部分平面詳細図

① 手摺：樹脂製（抗菌剤入り）φ34　目隠しチューブ付き（既製品）
② ブラケット：アルミ製（既製品）
③ エンドキャップ：（R付、既製品）
④ 裏面補強材：St　PL　t＝1.5　w＝150
⑤ 腰壁：メラミン不燃化粧板張り
⑥ 見切り材：ABS樹脂芯材PVCフィルム貼り
⑦ ITハンガー（LGS壁例）
⑧ 目地：透かし目地＋目地底テープ
⑨ ブラケットハンドルふさぎ材
注）特記以外（　）内寸法





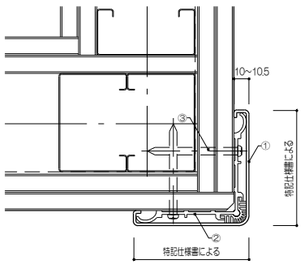
立面詳細図



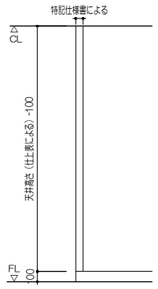
ＬＧＳ下地壁取付詳細図

【H02】 コーナーガード　S=1/2、1/30

平面図凡例



① コーナーガート：樹脂製(抗菌入り、既製品、付属品一式)
② 取付金物(既製品)
③ タッピングビス
④ 端部：樹脂製キャップ(既製品)

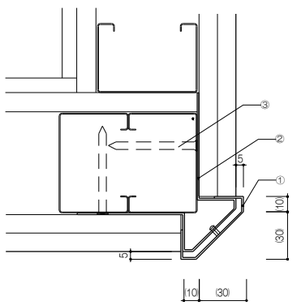


立面図　S=1/30

平面図凡例

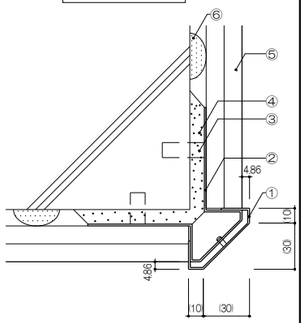
注）特記以外は（ ）内寸法
注）スチール部材は防錆処理のこと

LGS+ボード貼の場合

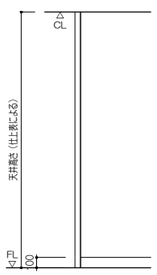


① ＳＵＳ304　t＝1.2加工　HL仕上
② St 鋼　t＝1.6　w=40　加工 @450
③ タッピングビス

RC+ボード貼の場合

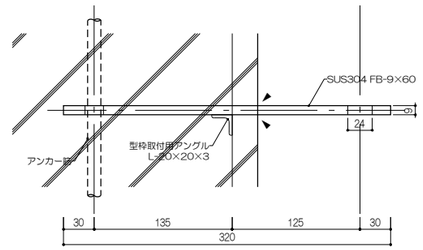


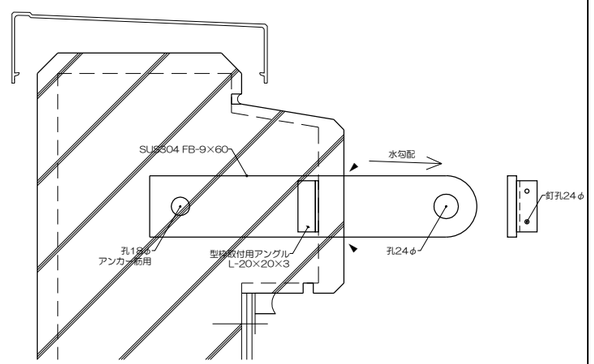
① SUS304 t=1.2加工 HL仕上、上下小口蓋付
② St 鋼 t=1.6、W=40加工 @450
③ あと施工アンカー
④ モルタル押さえ
⑤ 壁：仕上表による
⑥ GLボンド



立面図　S=1/30

【H03】 丸環　（リング無し）　S=1/3



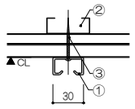


◀ シーリング（ポリウレタン系）
※取付間隔：@6,000内外

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	部分詳細図-2	意匠
縮 尺	図示	日 付 2025/12（令和7年）	A153

【H04】 カーテンレール・ピクチャーレール　S=1/3、1/20

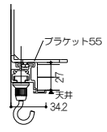
カーテンレール(直付型)



① 直付型レール(既製品、ランナー共)
② 軽量鉄骨天井下地
③ ビス止め(LGS止め)

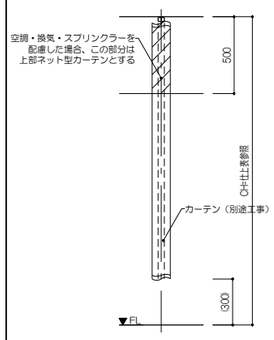
レール断面図　S=1/3

ピクチャーレール



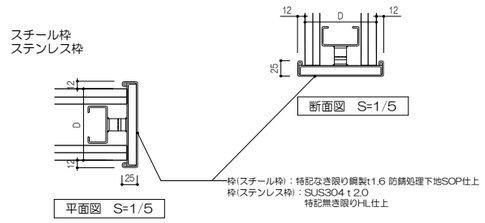
素材：アルミニウム
許容荷重：30ｋｇ
※先付け　廻り縁兼用使用

レール断面図　S=1/3



展開図　S=1/20

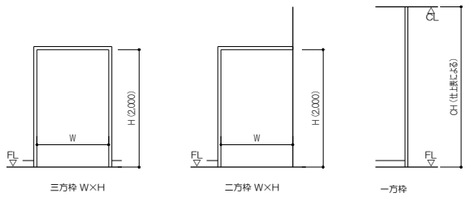
【H05】一方枠・三方枠　S=1/5、1/50



断面図　S=1/5

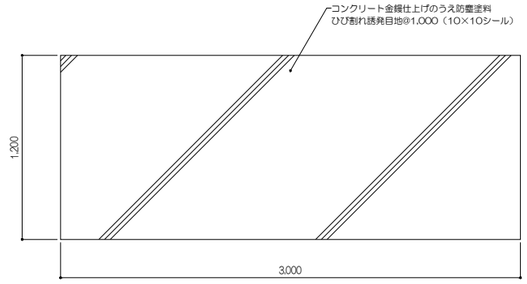
平面図　S=1/5

・D寸法は特記なき限り壁厚とする
・図示特記なき限りスチール枠とする。
・特記なき限り（　　）内寸法

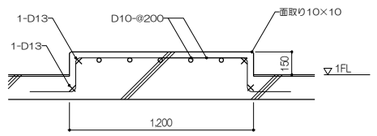


立面図　S=1/50

【H06】 屋内機械基礎　S=1/20



平面図

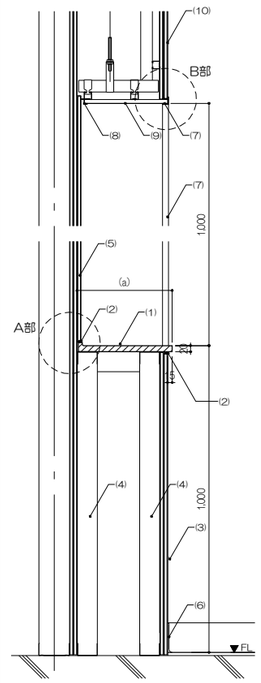


断面図

共通事項：
使用材料（JIS規格品）
普通コンクリート　FC24　S=18
鉄筋　D10～D16　SD295

※床スラブ配筋は構造図による

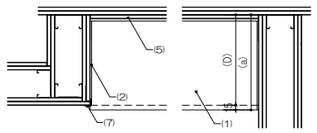
【H07】カウンター　S=1/5、1/10



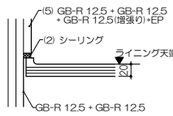
(1) 甲板：メラミン化粧合板ポストフォーム加工
見え掛かりの小口はメラミンコア材
(2) シーリング W=5
(3) 腰壁：GB-R 12.5 + GB-H 12.5 + EP
(4) LGS下地材（65型）
(5) 壁：GB-R 12.5 + GB-R 12.5 + GB-R 12.5 + EP
(6) 幅木：仕上表による
(7) 見切：塩ビ製見切(既製品)　出隅
(8) 見切：塩ビ製見切(既製品)　入隅（十手）
(9) 下がり天井：GB-R 12.5 + EP
(10) 壁：GB-R 12.5 + GB-R 12.5 + EP

	(D)	(a)
廊下-1	415	430
廊下-2	295	310

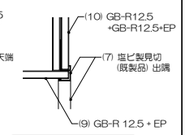
カウンター標準断面図　S=1/10



平面図　S=1/10

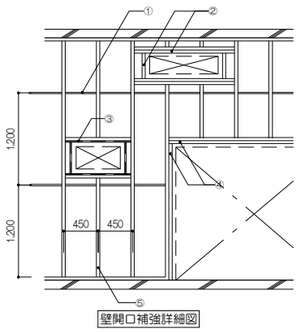


A部詳細図　S=1/5

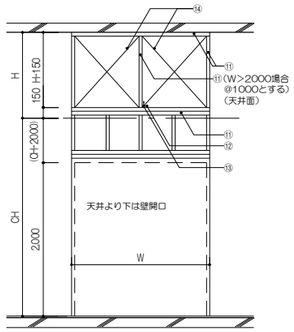


B部詳細図　S=1/5

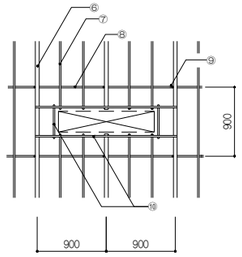
【H07】 開口補強リスト　S=1/40



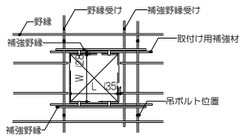
壁開口補強詳細図



上部開口補強詳細図



天井開口補強詳細図



天井点検口

天井開口リスト（サイバーナイフ棟）

開口寸法	電気設備	機械設備	計
400×400	0	15	15
600×600	0	27	27
700×700	0	4	4
900×700	0	2	2
1,100×800	0	6	6
1,000×1,000	0	9	9
100φ	53	0	53

天井点検口リスト（サイバーナイフ棟）

開口寸法	建築	電気設備	機械設備	計
450□（目地）	7	2	10	19
450□（額縁）	8	2	10	20
600□（目地）	2	-	-	2

壁点検口リスト（サイバーナイフ棟）

開口寸法	建築	電気設備	機械設備	計
325□（額縁）	1	-	-	1

天井開口リスト（渡り廊下棟）

開口寸法	電気設備	機械設備	計
1,100×800	0	3	3
100φ	9	0	9

天井点検口リスト（渡り廊下棟）

開口寸法	建築	電気設備	機械設備	計
450□（目地）	-	3	3	6
600□（目地）	1	-	-	1

壁点検口リスト（渡り廊下棟）

開口寸法	建築	電気設備	機械設備	計

天井開口リスト（リニアック棟）

開口寸法	電気設備	機械設備	計

天井点検口リスト（リニアック棟）

開口寸法	建築	電気設備	機械設備	計
450□（目地）	-	-	6	6

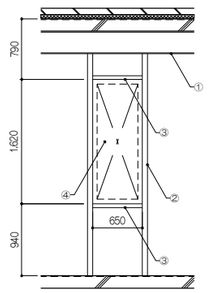
壁点検口リスト（リニアック棟）

開口寸法	建築	電気設備	機械設備	計

※建築工事分の壁、天井開口については設計図より読み取る事。

①振し止メ：@150C [-25×10×1.2（H>4m）
[-19×12×1.2（H>4m）
②開口補強（ダクト等小規模開口）間柱　ライナーと同材
③取付補強：L-60×30×2.3
④開口補強（建具等大規模開口）[-60×30×10×2.3（H>4m）
[-90×45×20×2.3（H>4m）
⑤間柱：[-65×45×10×0.8　[-120×45×10×0.8
⑥野縁：[-50×19×0.45
⑦野縁：[-25×19×0.45
⑧野縁受：[-38×12×1.1
⑨吊ボルト：9φ　@900
⑩天井開口補強（照明器具等）[-19×25×0.45
（ただし、点検口は [-38×12×1.1）
⑪[-100×50×20×2.3
⑫アンカーボルト9φ
⑬L-50×50×4
⑭設備用開口

【H08】 渡り廊下窓開口補強　S=1/40

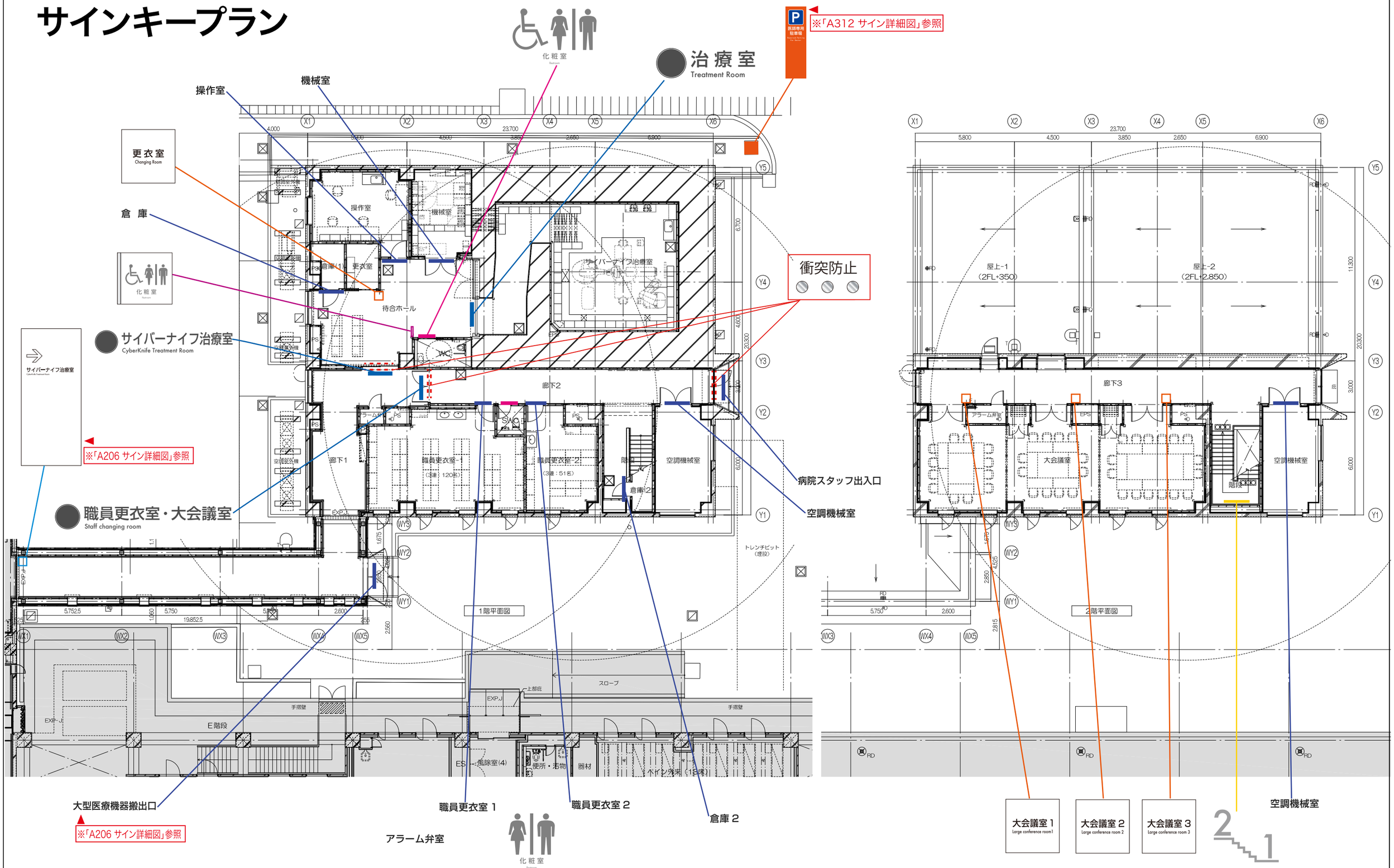


壁開口補強詳細図
（計7ヶ所）

①梁：H - 294×200×8×12（SN400B）
②開口補強タテ：L-65×65×6　GPL-6,中ボルト　2-M12
③開口補強ヨコ：L-50×50×6　GPL-6,中ボルト　2-M12
④建具開口（AW-7）

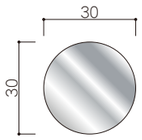
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	部分詳細図-3	意匠
縮　尺	図示	日　付 2025/12（令和7年）	A154

サインキープラン



件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	サインキープラン（1階、2階）	意匠
縮 尺 1/200(A1),1/400(A3)	日 付 2025/10（令和7年）	A155

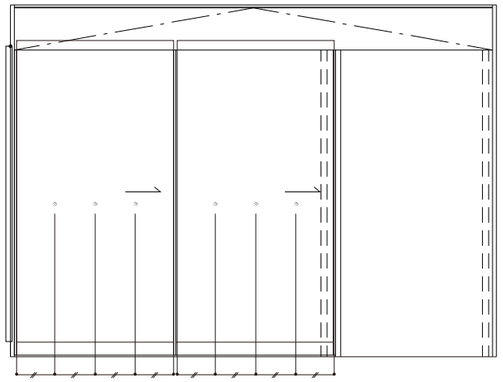
衝突防止サイン



表示：塩ビシート

3M　JS-8802シルバーHL

取付場所：ガラス６枚分（両面）



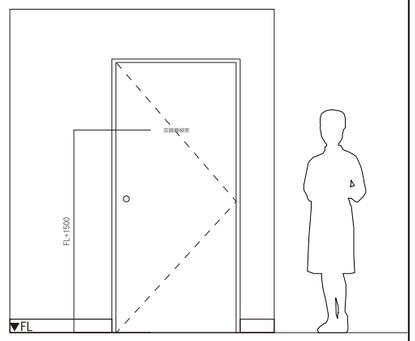
切文字サイン

表示：塩ビシート切文字貼り
フォント　和文字）新ゴ(M)

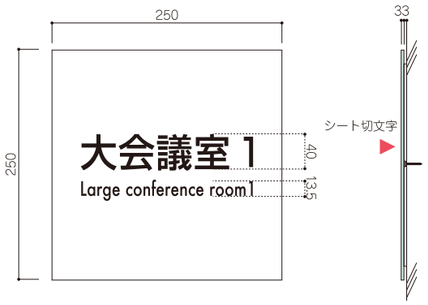
既存サイン合わせ・建具の色により検討

数量：10 カ所

病院スタッフ出入口
空調機械室
倉庫２
職員更衣室２
職員更衣室１
アラーム弁室
倉　庫
操作室
機械室
空調機械室



平付型室名札



表示基盤/ガラス色アクリル3.0m/mt裏白ベタ
表示/塩ビシート切文字DIC-N-952鈍色
ステ板/アルミ複合板3.0m/mt

フォント　和文字）新ゴ(M)
フォント　英数字）Futura(M)

枚数：４枚

和文字：新ゴ(M)

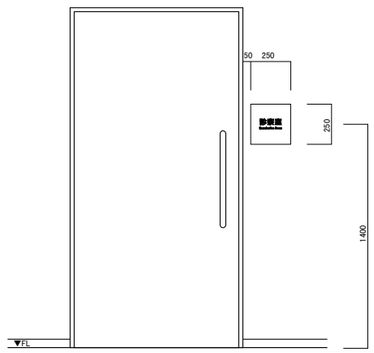
総合案内　受付　会計　時間外

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと・・・
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト・・・

英文字・数字：Futura (Medium)

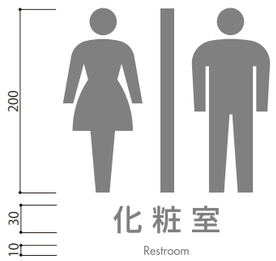
General Information
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

取付位置参考



ピクトサイン

ピクトサイン



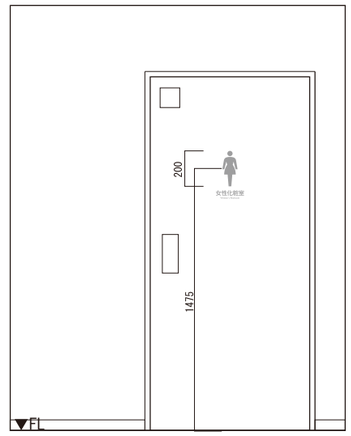
表示：塩ビシート切文字貼り

既存サイン合わせ・建具の色により検討

数量：２カ所

x1

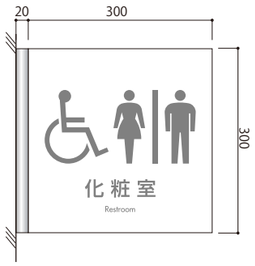
x1

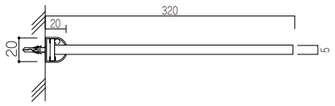


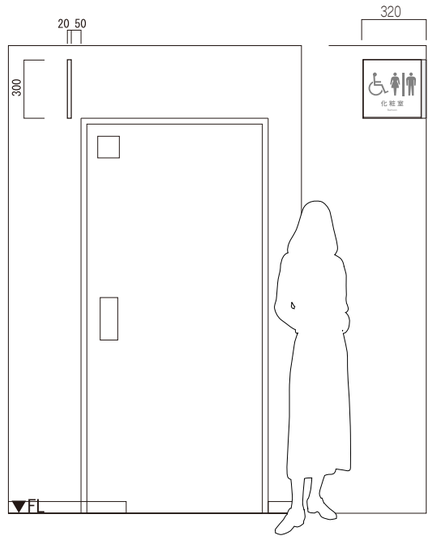
件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	サイン詳細図-1	意匠
縮　尺	図示	日　付 2025/10（令和7年）	A156

突き出しサイン

両面表示







表示板：アクリル板白　5㎜
　　アルミ型材ブラケット

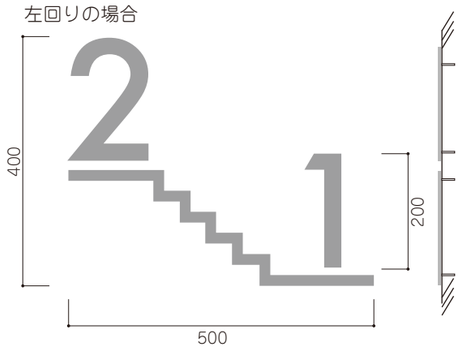
表　示：塩ビシート切文字貼り

既存サイン色合わせ

数量 =1 カ所

アクリル切文字サイン

左回りの場合



右回りの場合

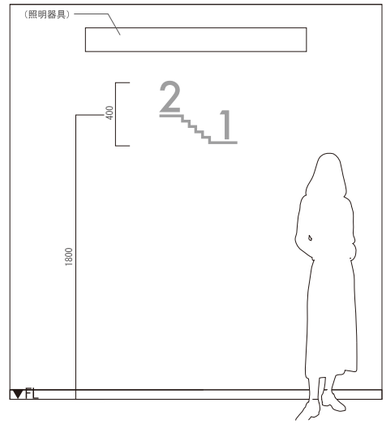
表示文字：カラーアクリル切文字
　　厚み 5 ㎜　ボルト出し

既存サイン近似色合わせ

フォント　英数字）Futura(M)

数量：1 カ所

表示/色アクリル5.0m/mt切文字
階段室内・踊り場に設置



エリアサイン（シート切文字）

表示：塩ビシート切文字貼り
　　フォント　和文字）新ゴ (M)

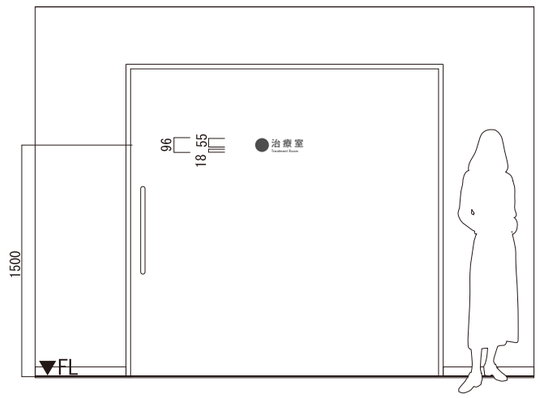
既存サイン合わせ・建具の色により検討

数量：1 カ所

サイバーナイフ治療室
CyberKnife Treatment Room　x 1

職員更衣室・大会議室
Staff changing room / Large conference room　x 1

治 療 室
Treatment Room　x 1



件　名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名 サイン詳細図-2		意匠
縮　尺 図示	日　付 2025/10（令和7年）	A157

Ⅱ 建 築 改 修 工 事 仕 様

1.共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」による。ただし、建築改修工事標準仕様書に規定されている
項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」による
以下、それぞれを「改修標準仕様書」「標準仕様書」という
(2) 図中の【O-OO-O】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
(3) 図中の【△OO】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）
(4) 「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」で規定している「監督職員」は「監理者」と読み替える

2.特記仕様

(1) 項目は、番号の前に●印の付いたものを適用する
(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する
●印と◎印の付いた場合は、共に適用する
(3) 特記事項に記載の[. .]内表示番号は、「改修標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す
(4) 特記事項に記載の(. .)内表示番号は、「標準仕様書」の当該項目、当該表又は当該図を示す
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す
(6) 記載無き項目は、新築特記仕様書に準ずるほか、監理者の指示によるものとする。

項　目	特　記　事　項

● 1.一般共通事項

● 1. 適用基準等

● 建築工事標準詳細図（令和4年版）　　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
● 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編（平成30年版）
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・

● 7. 石綿含有建材の有無調査等

・ 行う（下表による）　● 行わない　[1.5.1]

材料名	調査方法	１材料あたりの試料数
	※ X線回析分析	※ ３
	・ 定性分析方法	・

石綿含有建材の有無の調査　※ 行う　[1.5.1]

● 11. 技能士

[1.7.2][1.7.3]

適用工事種類	技能検定職種（選択作業）
防水改修工事	防水施工 ・ アスファルト防水工事作業　・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業　● シーリング防水工事作業 ・ 左官　・ 建築板金
石工事	・ 石材施工（石張り施工）
外壁改修工事	● 左官　● タイル張り　・ 塗装（建築塗装作業）　・ 樹脂接着剤注入施工
建具改修工事	● サッシ施工　・ ガラス施工　・ 自動ドア施工
塗装改修工事	・ 塗装（建築塗装作業）
内装改修工事	内装仕上げ施工 ● プラスチック系床仕上げ工事作業　・ カーペット系床仕上げ工事作業 ● ボード仕上げ工事作業　● 鋼製下地工事作業 ・ 建築大工（大工工事作業）　・ タイル張り　・ 左官 ● 表装（壁装作業）

● 14. 提出書類

・ 監理者の指示するもの
● 解体工事施工計画書　● 軽量鉄骨下地工事施工計画書　● 防水（シール）工事施工計画書
● タイル工事施工計画書
● 内装工事施工計画書（ビニル床シート、石膏ボード、壁紙張り、断熱等）

● 15. 立会検査、試験等

● 監理者の指示するもの
・
なお、場外立会検査に要する諸費用は、全て受注者の負担とする

● 17. 施工図等の取扱い

当該建築物に限る施工図等の著作権に係わる使用権は、発注者に移譲するものとする

● 18. 設備工事との取合い

施工図（製作図を含む）
各設備機器の位置、各設備工事との取合いなどの検討ができる資料及び図面を提出して、監理者の承諾を受けること
総合図［複合図］　※ 作成する　・ 作成しない
監理者の指示により、備品、機器等の配置と必要な設備記号（電気・空調・衛生設備等）を
プロットした施工図（平面詳細図、天井伏図、展開図等）（縮尺1/50）
（総合図作成に必要な資料収集、製造者等との打合せ含む）

● 19. 技術検査

・ 中間検査
（ ・ 1回　・ 2回　・　）
※ 完成検査

● 2.仮 設 工 事

● 2. 足場その他

内部足場　種別　※ 脚立、足場板等　・　[2.2.1]
外部足場　※ 図示（　図）による　・（　[2.2.1]
防護シートによる養生　※ 行わない　・ 行う
材料、撤去材等の運搬　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　・ E種　[2.2.1][表2.2.1]

● 3. 養生

既存部分の養生　※ ビニルシート、合板等の適切な方法　・ 行う（図示）　[2.3.1]
既存家具等の養生　※ ビニルシート等　・　[2.3.1]
既存ブラインド、カーテン等　※ 監理者の指定した保管場所で一時保管する　・　[2.3.1]
固定家具等の移動　※ 行わない　・ 行う（図示）　[2.3.1]

● 4. 仮設間仕切

仮設間仕切り等の種別　[2.3.2(1)][表2.3.1]

種別	下地	仕上材(厚さmm)	充てん材	塗装
● A種	※ 軽量鉄骨	・ 合板　（ ※ 9.0　・　）	厚さ100 mm	※ 無し
・ B種	・ 木下地	※ せっこうボード　（ ※ 9.5　・　）		・ 片面
※ C種	単管下地	防炎シート		

仮設扉　[2.3.2(2)]

種別	仕上の程度	塗装	設置個所
※ 木製扉	※ 合板張り程度　・	※ 無し	
● 鋼製扉	※ 片面フラッシュ程度　・	・ 有り	リニアック棟廊下

● 3.防水改修工事

● 10. シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.7.4～3.7.7][表3.7.1]
● シーリング充填工法　・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法　・ ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.1.4][3.7.2][4.2.2][表3.7.1]
※ 下表以外は、改修共仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法　・（　）　[3.7.3]

● 11. 防水の保証期間

防水種別	保証期間		備考
・ アスファルト防水	※ 10年	・	
・ 改質アスファルトシート防水	※ 10年	・	
・ 合成高分子ルーフィングシート防水	※ 10年	・	
・ 塗膜防水	※ 10年	・ 7年	
・ ステンレス防水	※ 15年	・	
・ セメント系防水	※ 5年	・	
● シーリング材	※ 5年	・ 7年	
・			

● 4-3.外壁改修工事 タイル張り 仕上げ外壁

● 2. 既存タイル張りの撤去

・ 外壁タイル張り全面　● 図示の範囲
撤去範囲　※ 下地モルタルまで　・ 張付けモルタルまで　・ タイルのみ

● 7. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　[4.4.5][4.4.7][4.4.8]

施工箇所	形状・寸法(mm)	用途による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわ薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	製造所（製品名）
リニアック棟 外壁部	145×45×7.4	・	・	・	・	・	・	●	・	・	●	・	カネキ製陶所（NW/453/HC-867A）同等品
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　● 行う

壁タイル張りの工法　[4.4.7][4.4.8][表4.4.4]
外装タイル　・ 密着張り　・ 改良圧着張り　● 外装壁タイル弾性接着剤張り
ユニットタイル　・ マスク張り　・ モザイクタイル張り　・ 外装壁タイル接着剤張り
タイルの試験張り　※ 行わない　● 行う　[4.4.8]
既製調合モルタル（張付け用）
製造所

外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験　[4.4.8]
● 行う　・ 行わない

● 6.内装改修工事

● 1. 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲　[6.1.3]
※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修　[6.1.3]
※ 既存のまま　・ 図示の範囲

● 2. 既存床の撤去、下地補修

ビニル床シート等の除去　※ 仕上げ材のみ（接着剤とも）　[6.2.2]
・ 下地モルタルとも　（ ※ 図示の範囲　・ 除去範囲全て ）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法　[6.2.2]
改修後の床の清掃範囲　※ 改修箇所の室内　・　[1.13.14]

● 3. 既存壁の撤去、下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2]
・ 図示
※ モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強　※ 行う　・ 行わない ）　[4.3.10]

● 6. 接着剤

※ 木工事に使用する接着剤　[6.5.2]
接着剤は、接着する材料に適したものとする。ただし、接着剤のホルムアルデヒド放散量は、
下記とする。
※ F☆☆☆☆　・

※ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤　[6.8.2][6.14.2]
接着剤は、接着する材料に適したものとする。ただし、接着剤のホルムアルデヒド放散量は、
下記とする。
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

● 10. 軽量鉄骨天井下地

天井下地材　[6.6.2]
※ JIS A 6517適合下地材
・ 一般普及材
・ 高耐食天井下地材　施工箇所
・ ステンレス製天井下地材　施工箇所
野縁の仕様及び種類　[6.6.2][表6.6.1]
※ [表6.6.1]による（ 屋外　・ 19形　※ 25形　屋内　※ 19形　・ 25形 ）
野縁の間隔(屋外の場合)　mm　[6.6.3][表6.6.2]
吊りボルトの間隔が(ダクト等により)900mmを超える場合の補強方法　[6.6.4]
● 監理者との協議による　・ 図示
大規模空間等の天井下地材における耐震性能を考慮した補強[6.6.4]　[6.6.4]
・ 特定天井（6m超高さにある面積200㎡超、質量2Kg/㎡超の吊り天井）
天井特記仕様書による
・ その他の天井（特定天井以外）
適用範囲　※ 図示　・
天井材の質量　・ 2kg/㎡以下　※ 2kg/㎡超～20kg/㎡以下　・ 20kg/㎡超
工法　※ 耐震天井システム
天井面と周囲部位、設備のクリアランス　※ 60mm以上　・ 計算により　mm以上
ブレース（斜め部材）数量　※ 計算により負担面積　㎡/対
ブレース（斜め部材）角度　※ 30～60度　・ 40～55度
ふさぎ天井見切り　・ アルミ製　W=　（ ・ 焼付塗装　・　）
製造所（製品名）
屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強　[6.6.4]
※ 行う　（ ※ 補強方法は下記による　・ 補強方法は図示による　・【3-21- 】 ）
吊りボルト@600以下、ブレース補強（L30×30×3）XY方向共@3,000以下及び野縁受@300以下
を原則とするが、耐風圧計算により補強方法を決定すること
天井ふところの振止め補強（屋内 1.5m未満、屋外 1.0m未満の場合）　[6.6.4]
※ 行わない　・ 行う　（ ● [6.6.4(8)]による　・ 図示　）
天井ふところの水平補強・斜め補強（1.5m未満）　[6.6.4]
※ 行わない　・ 行う　（ ● [6.6.4(8)]による　・ 図示　）
天井ふところの水平補強・斜め補強（3.0mを超える場合）　[6.6.4]
※ 図示（　）
既存の埋込インサート　● 使用する　・ 使用しない　[6.6.3][6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験　・ 行う　・ 行わない　[6.6.4]
ステンレス製または亜鉛めっきの上タールエポキシ塗装天井下地材
・ ステンレス製天井下地材　・ 亜鉛めっきの上タールエポキシ塗装天井下地材
※ 19形
施工箇所：

● 11. 軽量鉄骨壁下地

壁下地材　[6.7.1]
※ JIS A 6517適合下地材
・ 一般普及材
・ 高耐食壁下地材　施工箇所
・ ステンレス製壁下地材　施工箇所
スタッド、ランナ等の仕様及び種類　[6.7.3][表6.7.1]
※ [表6.7.1]及びJIS A 6517による　・ 一般仕様（普及品）
開口部補強の板厚
※ [表6.7.1]による　・ 1.6mm
高さ5mを超える場合（一般壁）
・ 角型間仕切下地材　・ 軽量鉄骨　製造所（製品名）
鉛入りボード等を使用する場合のスタッド
・ 100形　・

● 12. ビニル床シート張り

[6.8.2][6.8.3]

種類及び名称	表示略号	厚さ(mm)	工法	模様張り	製造所（製品名）
● 発泡層なし	VS	2.0	※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	東リ（フロアリュームソイルド）同等品
・	VS(1)		※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	
・	VS(2)		※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	
・	VS-E		※ 熱溶接 ・ 突付け	※ 行わない ・ 行う	

VS-E：　体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10⁹Ω以下、
または、漏えい抵抗値（JIS A 1454による）1.0×10¹⁰Ω未満

● 16. ビニル幅木

[6.8.2]

種類及び名称	表示略号	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
● 軟質	VB	※ 2.0 ・	● 60　・ 75　※ 100 ・ 300　・ 350　・	
・ 半硬質	VB-F	※ 2.0		
・ 硬質	VB-H			

● 26. せっこうボード及びその他のボード張り

ボード張りに使用する製品の図面等での表現は下記の表示略号、または、[表6.13.1] に示される
JIS A 6901 等の規格に示されている GB-R-H-Hc 等の記号を用いる。
せっこうボード製品　[6.13.2][表6.13.1]

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)
● せっこうボード(壁)	GB-R	－	・ 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
● せっこうボード(天井)			● 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ シージングせっこうボード	GB-S	－	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(準不燃)　・ 12.5(不燃)
・ 強化せっこうボード	GB-F	－	・ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)　・ 21(不燃)
・ 普通硬質せっこうボード	GB-H	－	・ 9.5(不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ せっこうラスボード	GB-L	－	※ 9.5
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	模様なし	※ 9.5(不燃)
	GB-NC(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	※ 9.5(不燃)
・ 化粧せっこうボード	GB-D(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	● 9.5(準不燃)
	GB-D(W)	木目模様	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(不燃)
・ 吸音用あなあきせっこうボード	GB-P	－	※ 9.5(準不燃)
・ 繊維混入せっこうボード	FGB	－	・ 5　・ 6　・ 8　・ 10 製造所（製品名）
・			

吸音材料

種類	表示略号	規格	厚さ(mm)及び仕様
● ロックウール化粧吸音版	DR	普通	※ 9　・ 12
	DR(凹凸)	立体模様	※ 12　・ 15　・ 19
・ ロックウール化粧吸音版（軒天用）	DR(軒天)	普通	※ 9(不燃(個))
	DR(軒天凹凸)	立体模様	※ 12(不燃(個))　・ 15(不燃(個))
・ ロックウール吸音ボード	RW-B	1号	※ 25　・ 50
・ ロックウール吸音フェルト	RW-F		
・ グラスウール吸音ボード	GW-B	2号32K	※ 25（ガラスクロス包み） ・ 50（ガラスクロス包み）
・ グラスウール吸音フェルト	GW-F		

● 27. 壁紙張り

[6.14.2]

壁紙の種類	防火性能	表示略号	製造所（製品名）
● プラスチック製壁紙	不燃	VC	サンゲツ（FAITH（表面強化））同等品
・		VC(1)	
・		VC(2)	
・		VC(3)	
・			

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.5][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　）
コンクリート面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　）
せっこうボード面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　）
ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

壁紙の種類	製造所（製品名）
・ 塗装用壁紙	
・ ガラスクロス化粧壁紙	
・	

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

● 33. 断熱材

[9.3.2][9.3.3]

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等	備考
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	※ 2種bA ・ 2種bB ・ 2種bC	※ 一般部	※ 25 ・	フロン類を用いないもの	JIS A 9521 規格適合品
	※ 3種bA（ｽｷﾝ層付） ・ 3種bB（ｽｷﾝ層付） ・ 3種bC（ｽｷﾝ層付） ・ 3種bD（ｽｷﾝ層付）	・ 土層接地スラブ下面 ・	※ 25 ・		
● 現場発泡断熱材（吹付硬質ウレタンフォーム）		※ 断熱材補修部分	ー	フロン類を用いないもの	JIS A 9526
		● 一般部 ・ ・	※ 30 ・ ・	難燃性を有するもの ※ A種1 ・ A種1H	規格適合品
		製造所　性能の確認できる資料を監理者に提出する			

断熱材等のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
ウレタンフォーム類は室内または排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用する場合は防火コート
を施すサッシ周りは、(16.2.5)の(2)(ア)によるモルタル充填を完全に行ったうえで断熱を枠
または額縁まで施し、断熱材の欠損をなくすこと
断熱材現し部分は不燃仕様とする。断熱材：製造所（製品名）

● 42. 廊下手すり

材　種　※ 樹脂製　（溝隠し　※ 有り　）　・
径　・ 28φ　※ 34φ　・ 40φ　・ 図示
ブラケット　※ アルミ製　・
抗菌仕様　・ 有り
製造所（製品名）ナカ工業（ビニレーン O-34type）同等品

● 43. コーナーガード

材種	仕上	寸法(W×D×Hmm)	製造所（製品名）
・ ステンレス	SUS304HL		
● 樹脂製	既製品	50×50×2540	ナカ工業（セーフティーコーナーNS）同等品
・ 木製			
・ 合成ゴム製	既製品		
・ 軟質塩化ビニル	既製品		
・			

● 70. 点検口

天井点検口

材種	寸法	形式		仕上	数量
● アルミニウム製 ・	● 450×450 ・ 600×600	一般型	・ 額縁タイプ	・ アルミ　・ 電着　※ 焼付	
			● 目地タイプ	・ アルミ　・ 電着　※ 焼付	
		・ 密閉型		・ アルミ　※ 焼付	
・ アルミニウム製 ・	・ 450×450 ・ 600×600	一般型	・ 額縁タイプ	・ アルミ　・ 電着　※ 焼付	
			・ 目地タイプ	・ アルミ　・ 電着　※ 焼付	
		・ 密閉型		・ アルミ　※ 焼付	

個所数　※ 図面表示による　・ 上表による

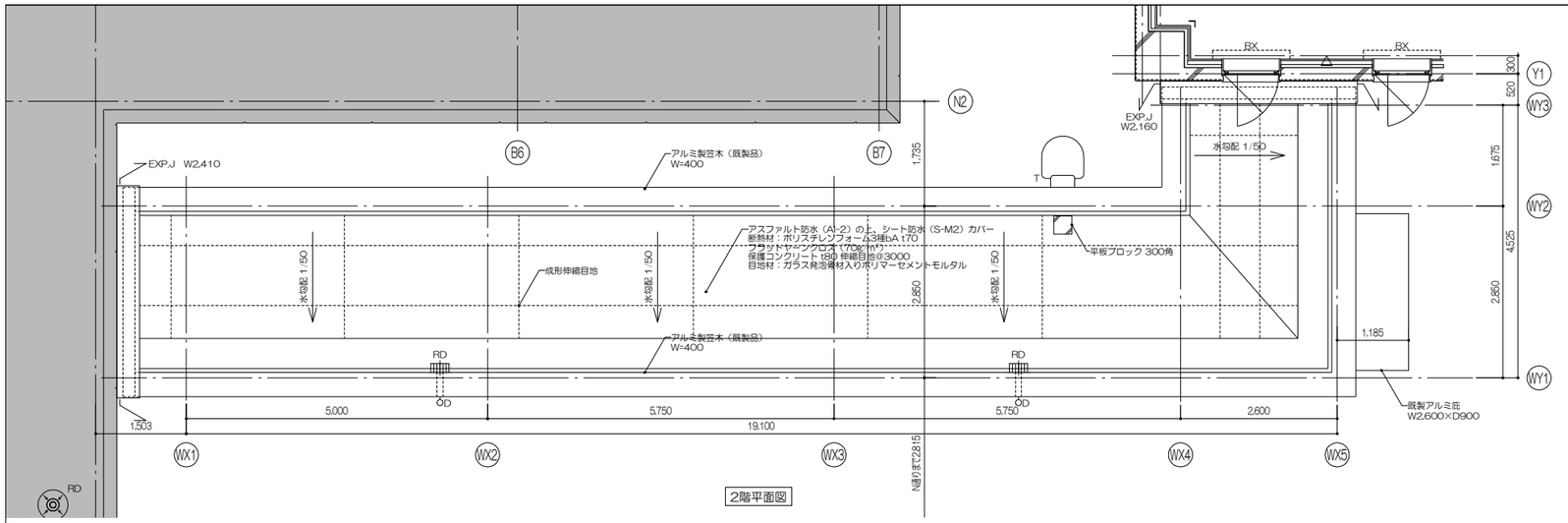
● 10.医療施設工事

● 8. ストレッチャーガード

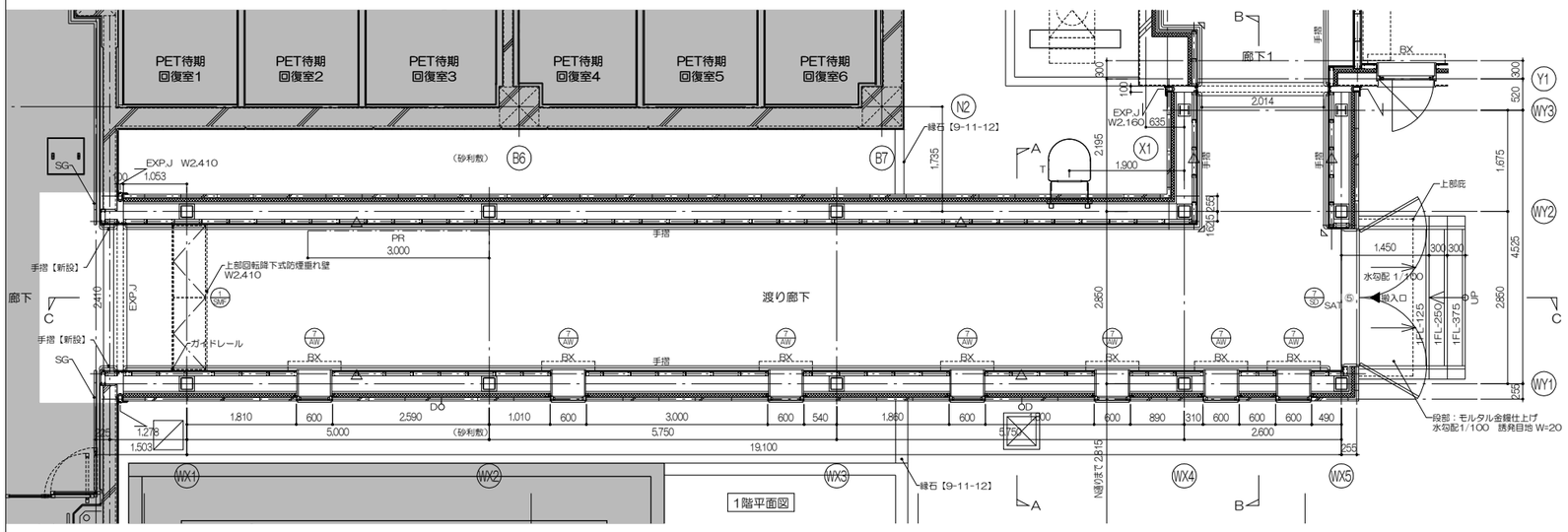
※ 既製品　型式
・ 特注品
抗菌仕様　● 有り　・ 無し
製造所（製品名）ナカ工業（セフティーラインNS-200V）同等品

※共通する内容についてはA100番台の図面を参照のこと

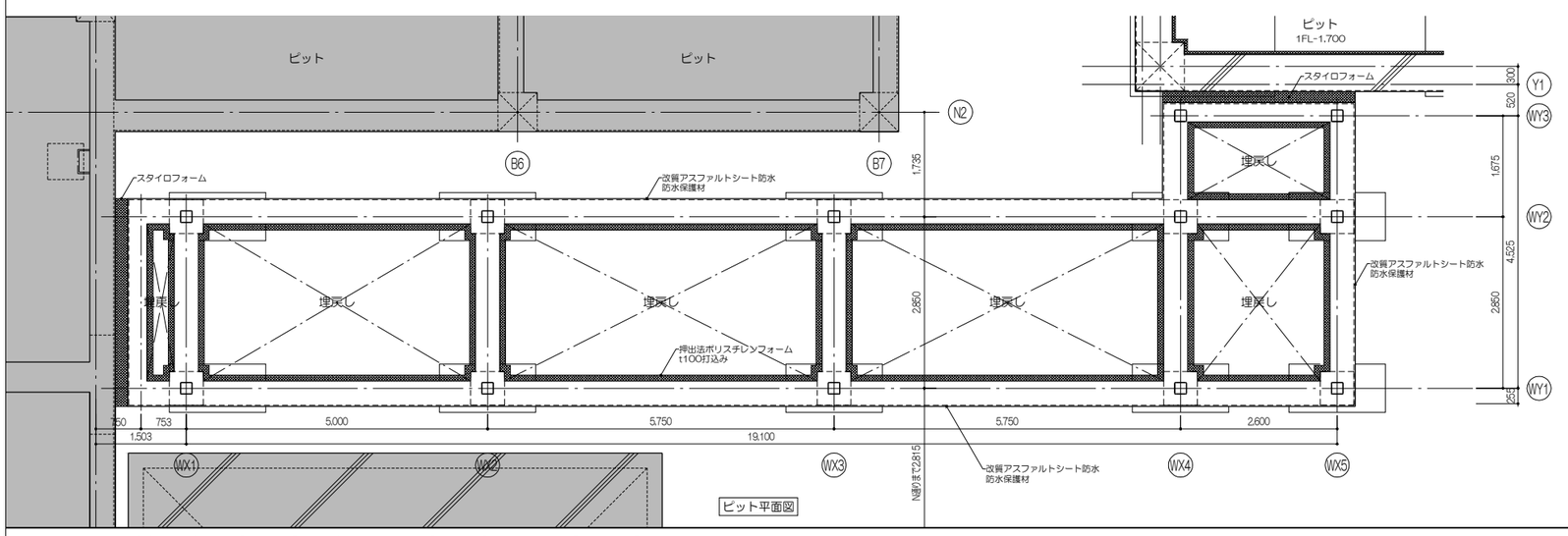
件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	特記仕様書-1（改修）	意匠
縮尺　ー	日付　2025/12（令和7年）	A201



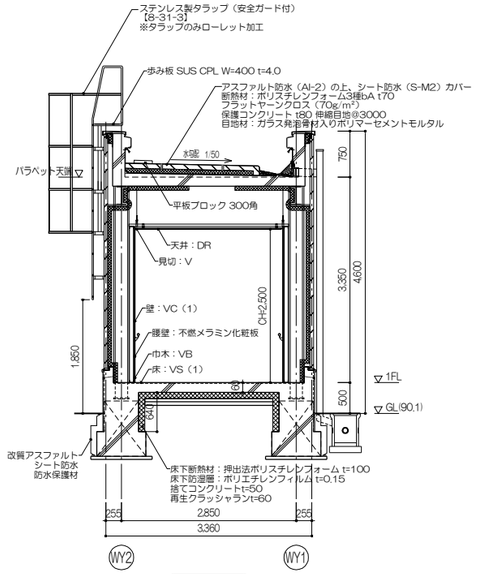
2階平面図



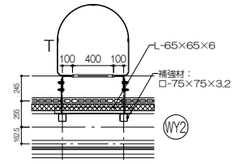
1階平面図

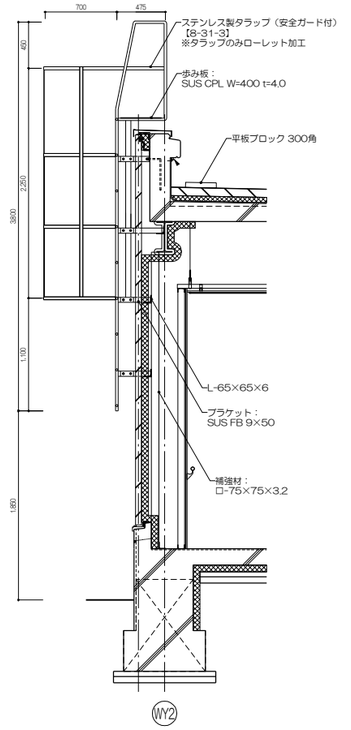


ピット平面図

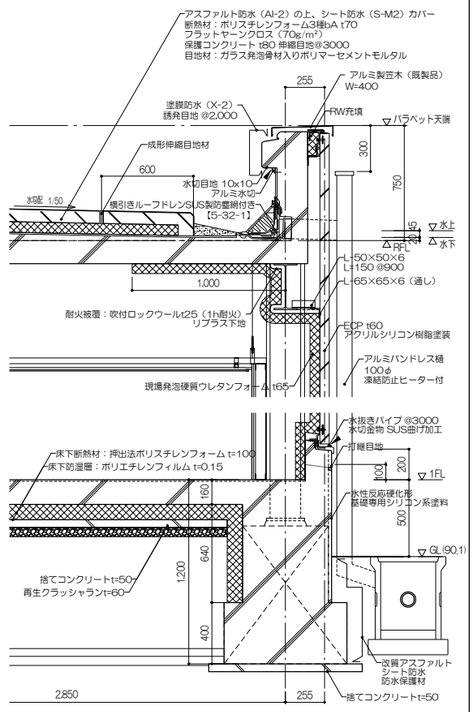


A部 断面図





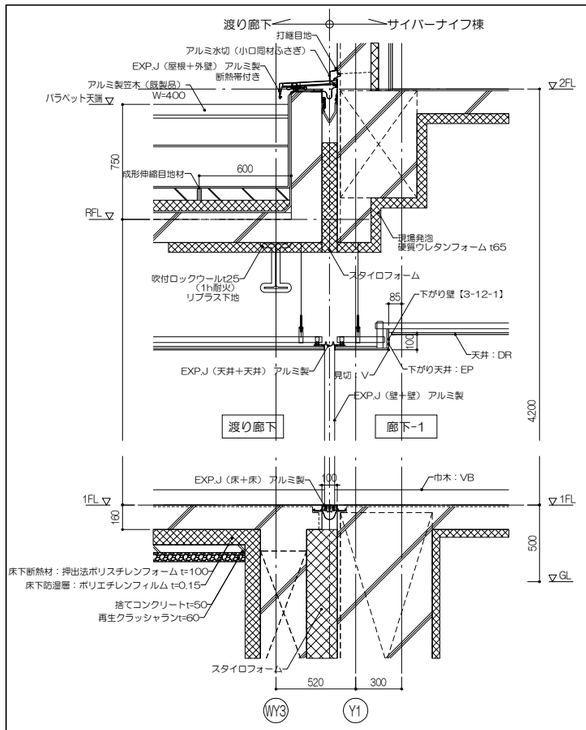
タラップ取付部 詳細図 S=1/30



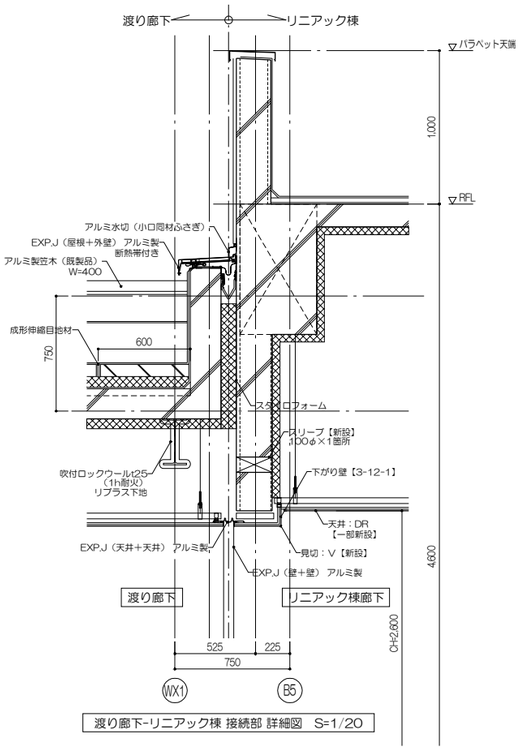
外壁部 詳細図 S=1/20

（1）打継ぎ目地は【2-02-8】、ひび割れ誘発目地は【2-02-9】、化粧目地は【2-02-10】とする。

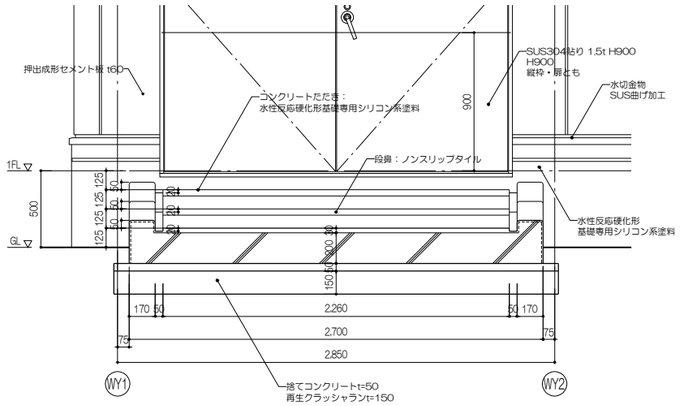
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 渡り廊下詳細図-1		意匠
縮 尺 1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A202



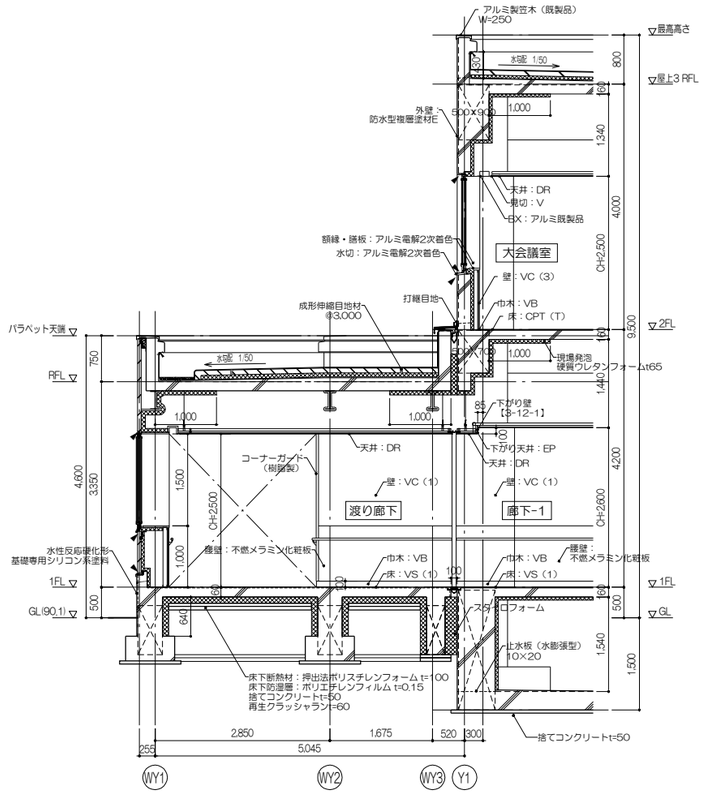
渡り廊下-サイバーナイフ棟 接続部 詳細図 S=1/20



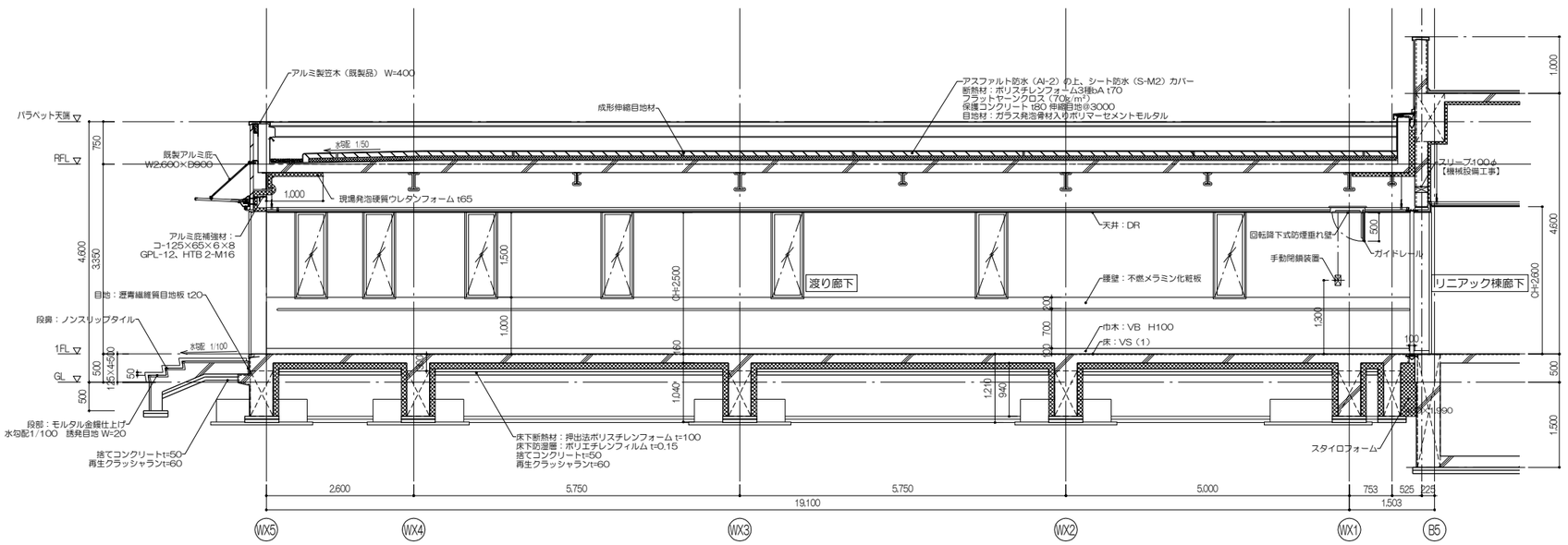
渡り廊下-リニアック棟 接続部 詳細図 S=1/20



搬入口 段部詳細図 S=1/20



B部 断面図

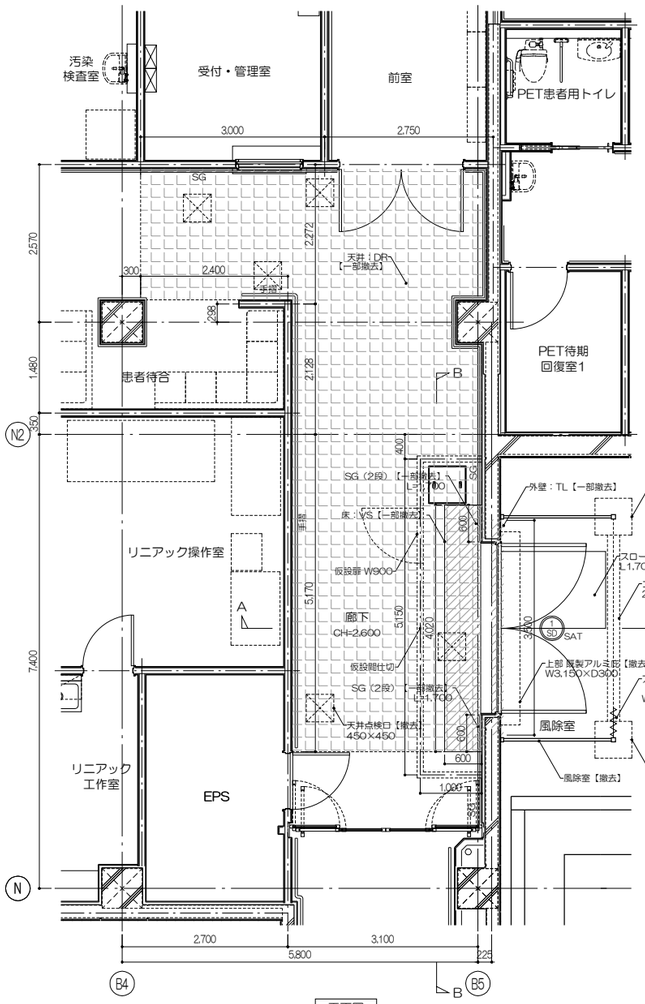


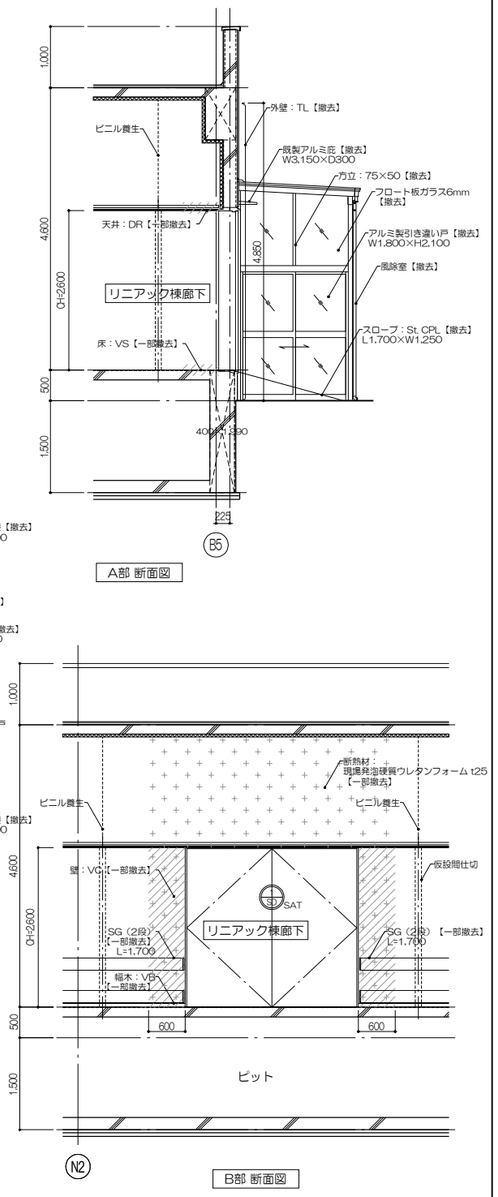
C部 断面図

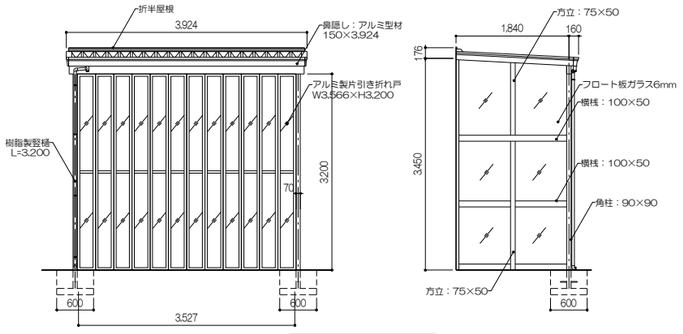
（1）打継ぎ目地は【2-02-8】、ひび割れ誘発目地は【2-02-9】、化粧目地は【2-02-10】とする。

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 渡り廊下詳細図-2		意匠
縮 尺 1/50(A1),1/100(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A203

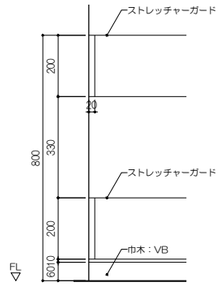
【撤去図】







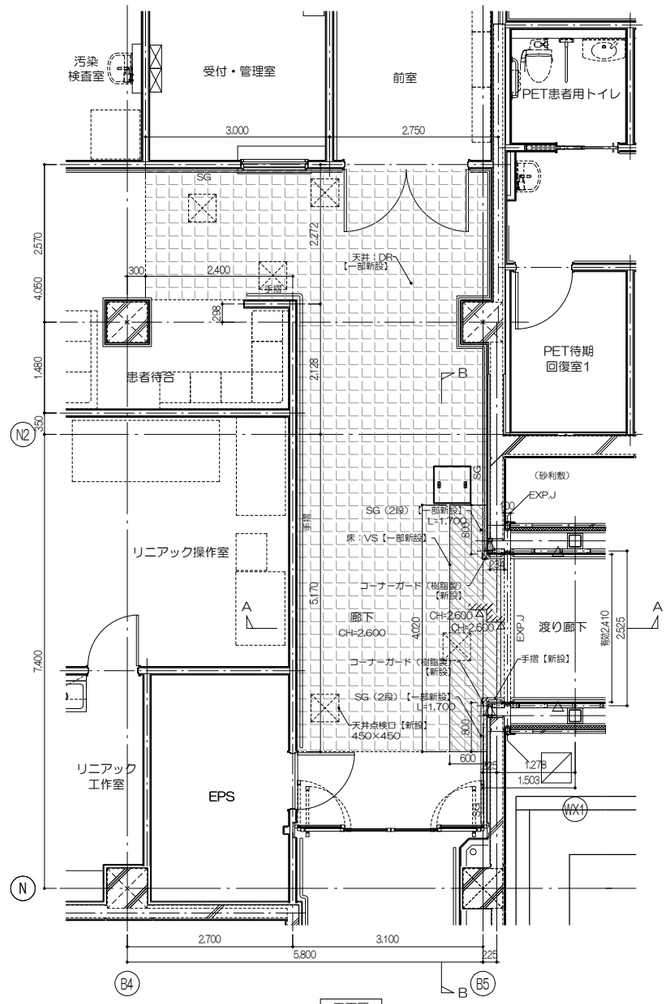
風除室【撤去】立面図

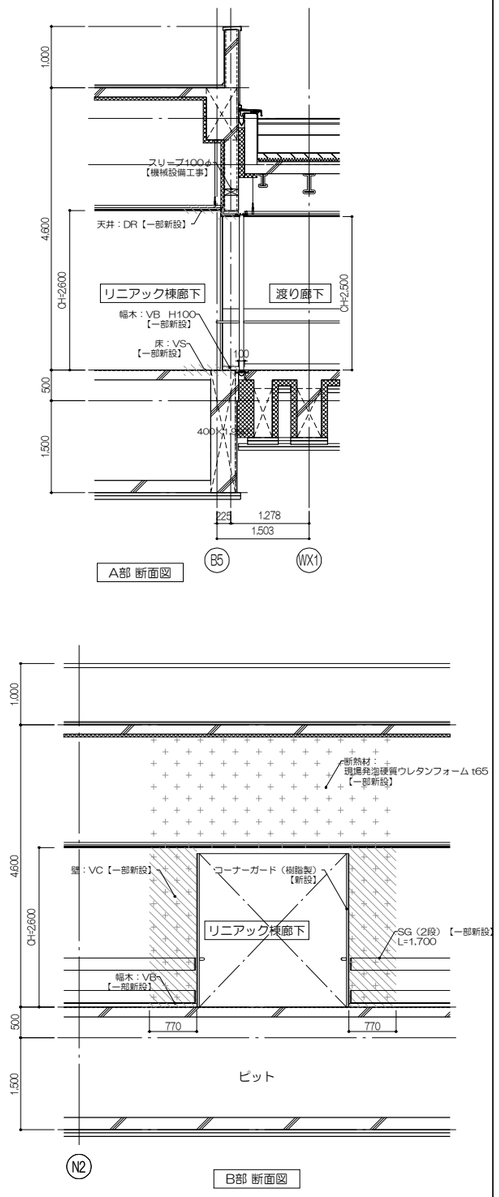


ストレッチャーガード 撤去詳細図 S=1/10

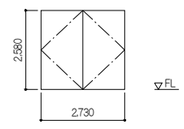
※ 天井撤去期間中、リニアック棟の仮設間仕切外の天井はプラベニヤ板にて仮設養生を行うこと
※ 工事は病院と協議のうえ平日夕方など診察に大きな影響を与えない時間帯に行うこと

【新設図】





姿 図《撤 去》	記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×見込(D)	建具本体 形式 / 仕上	枠 形状 / 材質 / 仕上	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
SD-1	1 SD SAT	1	2,730	鋼製	S3a							附属金物一式、セミエアタイト
			2,580	両開き戸	S	—	—	TH	—	グレ	DC	電池式テンキー錠
			50	SOP	SOP							枠・扉ともロックウール充填



凡例	撤去図	新設図	建具符号	共通
	：下地・ボード・仕上撤去壁・床（SG撤去）	：一般壁（片面張り）	○○/XX：新設建具	：コーナーガード（樹脂製）【H02】
	：下地・ボード・仕上撤去天井	：下地・ボード・仕上 新設壁・床（SG新設）	○○/XX：撤去建具	SG：ストレッチャーガード
		：下地・ボード・仕上 新設天井		：天井点検口 450×450
		：断熱材（現場発泡硬質ウレタンフォーム）		

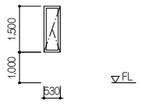
特記

（1）特記無き限り外壁、柱型まわり及びRC壁部はGL工法とする
（2）廊下に設ける仮設間仕切りは廊下の通路幅員を有効1.2m以上確保すること
（3）設備用の壁スリーブ（コア抜き）前に 壁配筋および埋設管探査を行い、監理者の確認を受けること
（4）ストレッチャーガード【新設】には下地補強（St t0.8）H200を見込むこと

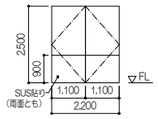
件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図名	【リニアック棟】渡り廊下接続部改修図
縮尺	1/50(A1),1/100(A3)
日付	2025/12（令和7年）
意匠	A204

姿図

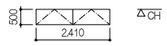
AW-7



SD-7



SMF-1



記号	数量	建具本体 幅(W)/高さ(H)/枠見込(D)	建具本体 形式	ガラス 種別	ガラス 厚さ	取り合い 召板	取り合い 額縁	取り合い 水切	付属金物一式	建具金物	備考
7 AW	7	530									
		1,500	縦すべり出し窓	IG(断)		A	A	A	○		GF (3)
		70	電解二次着色 (S)								プリーツ網戸付

記号	数量	建具本体 幅(W)/高さ(H)/見込(D)	建具本体 形式/仕上	枠 形状/材質/仕上	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
7 SD SAT	1	2,200	鋼製	S3a							枠・扉ともRW充填、120度開き
		2,500	両開き戸	S	—	—	TH	—	グレ	DC	セミエアタイト、脱着式、戸当り付
		60	DP (ぶっ素)	DP (ぶっ素)					電テ		電池式テンキー錠、詳細図参照
1 SMF	1	2,410	鋼製								
		500	回転降下式防煙垂れ壁	S	—	—	—	—	—	—	煙感知器連動

(1) 各項目の※及び ・ の適用は特記仕様書と同様とする
(2) 【○-○○-○】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
(3) 【△○○】内の数字は部分詳細図の詳細番号を示す (△はアルファベットとする)

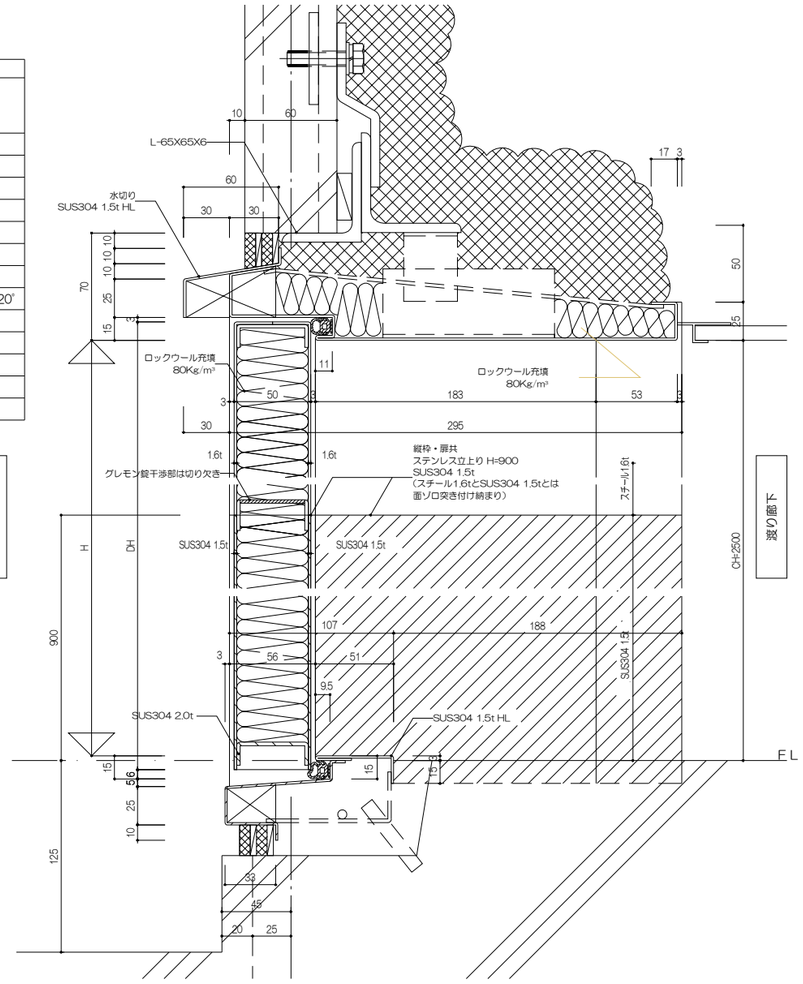
枠仕上凡例
(B) ブラック
(S) ステンカラー

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事
図名	建具表 (AW、SD、SMR)
縮尺	1/100(A1),1/200(A3)
日付	2025/12 (令和7年)
	意匠
	A205

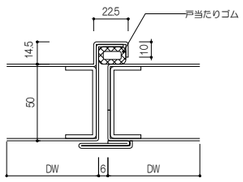
SD
枠：1.6t ＋ SUS304 1.5t DP（ふっ素）
扉：1.6t ＋ SUS304 1.5t DP（ふっ素）

符号	勝手	数量	枠性能	充填材	防火区分
SD 7	R 1 L 0	1	SAT	ロックウール 80kg/m³	指定なし
ガラリ	ー		ガラリタイプ		
ガラス	ー		窓タイプ		

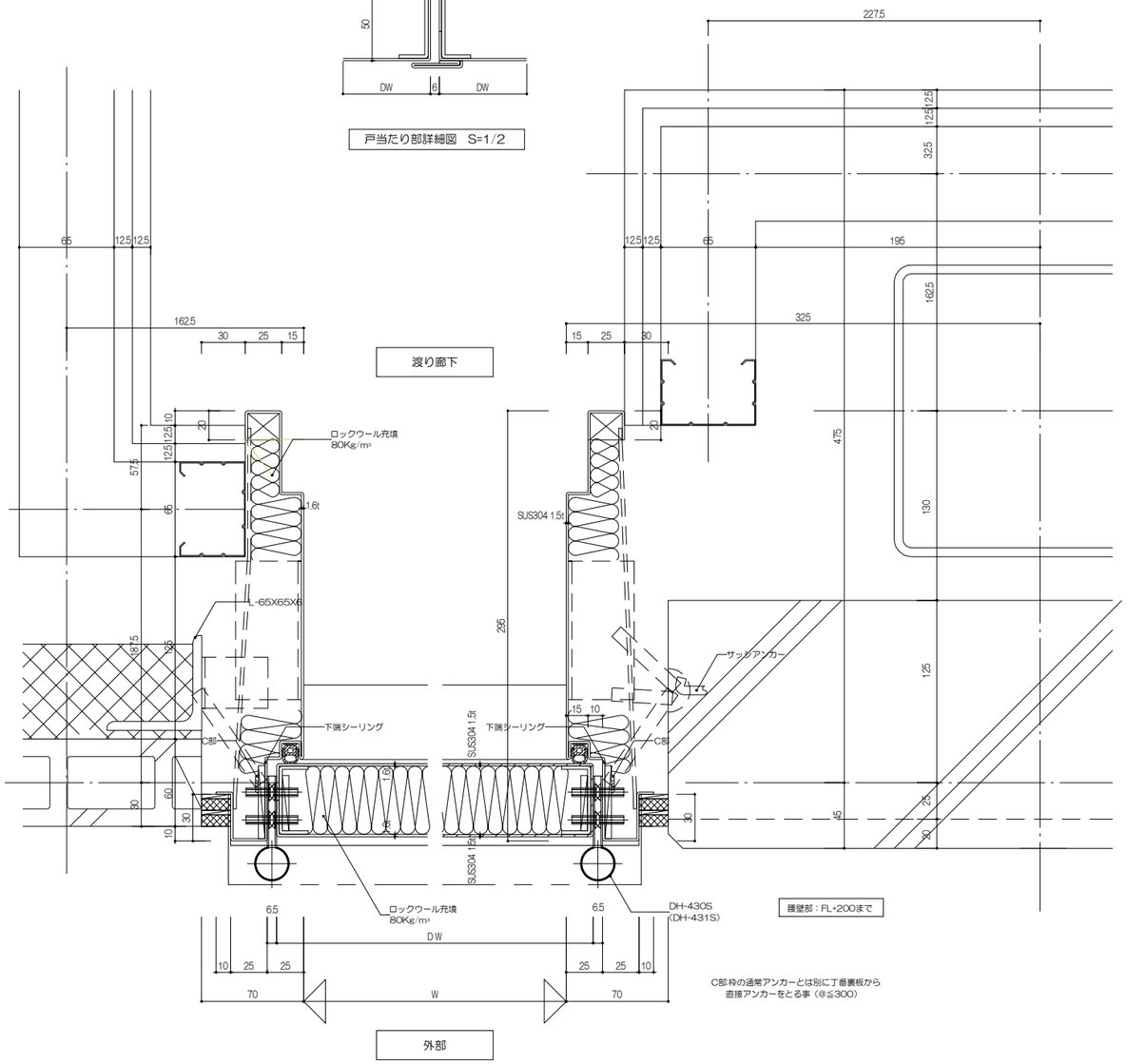
金具品名	メーカー・品番（下記同等品）	1ケ所数量	備考
丁番	ｼﾌﾞﾀﾆ DH-430S	2	（中）
丁番	ｼﾌﾞﾀﾆ DH-431S	4	（上・下）
ｸﾞﾚﾓﾝ締り錠	シブタニ V-55GF	1	
ｸﾞﾚﾓﾝ錠用ｼﾘﾝﾀﾞ	美和 ｸﾞﾚﾓﾝDA-1(50)	1	
ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞ	日本DC PS-7006	2	ストップ角度120°
ｴｱﾀｲﾄｺﾞﾑ	三和型 ATG-205 L= m	1	
ｴｱﾀｲﾄｺﾞﾑ	ﾎｸｼｮｰ PS-11 L=m	1	召合せ部
ｱｲﾎﾞﾙﾄ	ﾀｷｹﾞﾝB-130-12	4	
ｱｲﾎﾞﾙﾄ	三和型 六角穴付き止めねじM12	4	
戸当り	リョービRC-009A	2	



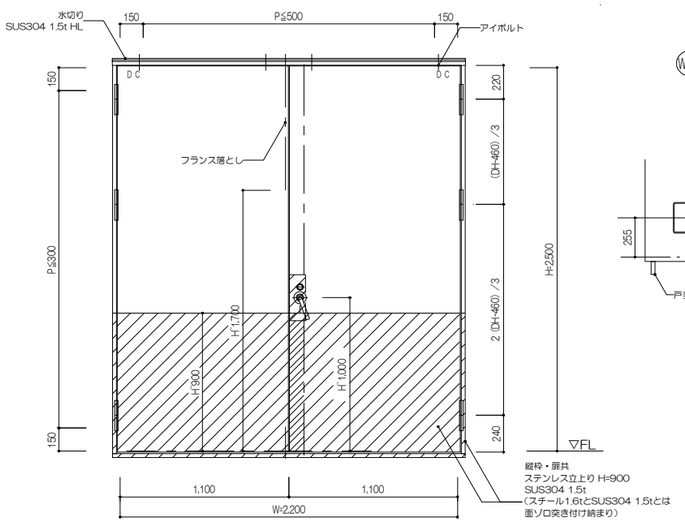
断面詳細図 S=1/2



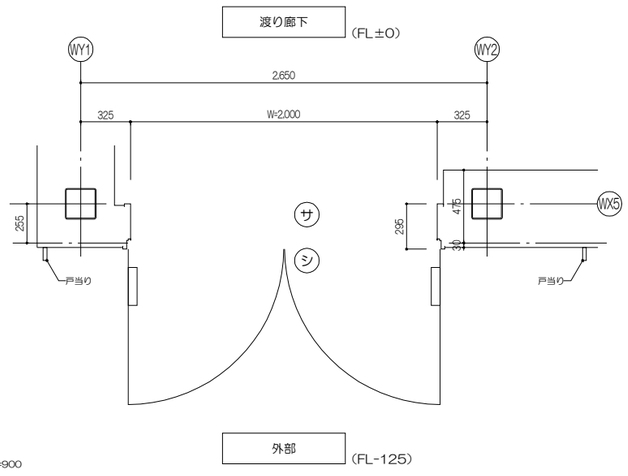
戸当たり部詳細図 S=1/2



平面詳細図 S=1/2

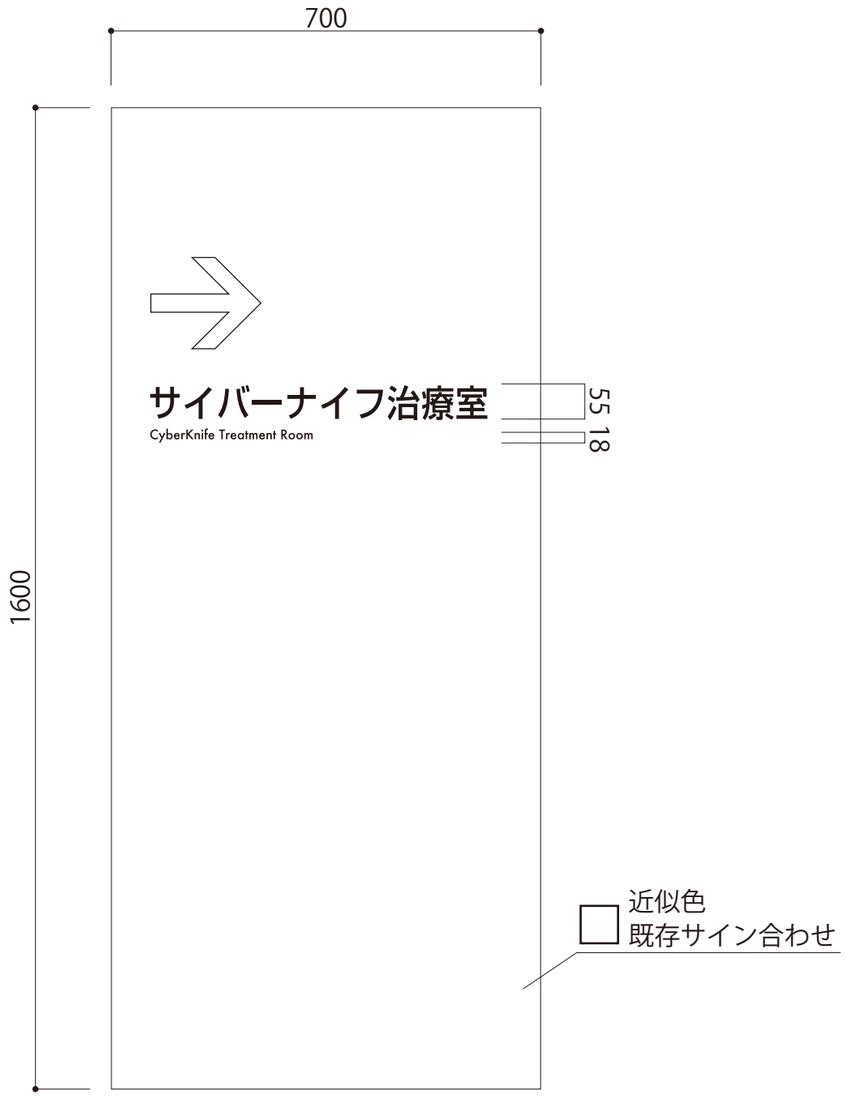


建具姿図 S=1/20



件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	建具詳細図（SD）	意匠
縮尺	図示　日付 2025/12（令和7年）	A206

方向サイン



表示：アルミ複合板 3 ㎜
捨て板貼り
塩ビシート出力貼り
巻き込み貼り・マットラミネート

フォント　和文字）新ゴ(M)
フォント　英数字）Futura(M)

数量：1 カ所

切文字サイン

35

大型医療機器搬出口

表示：塩ビシート切文字貼り
フォント　和文字）新ゴ (M)

既存サイン合わせ・建具の色により検討

数量：1 カ所

フォント

和文字：新ゴ(M)

総合案内　受付　会計　時間外

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと・・・
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト・・・

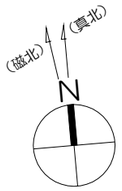
英文字・数字：Futura (Medium)

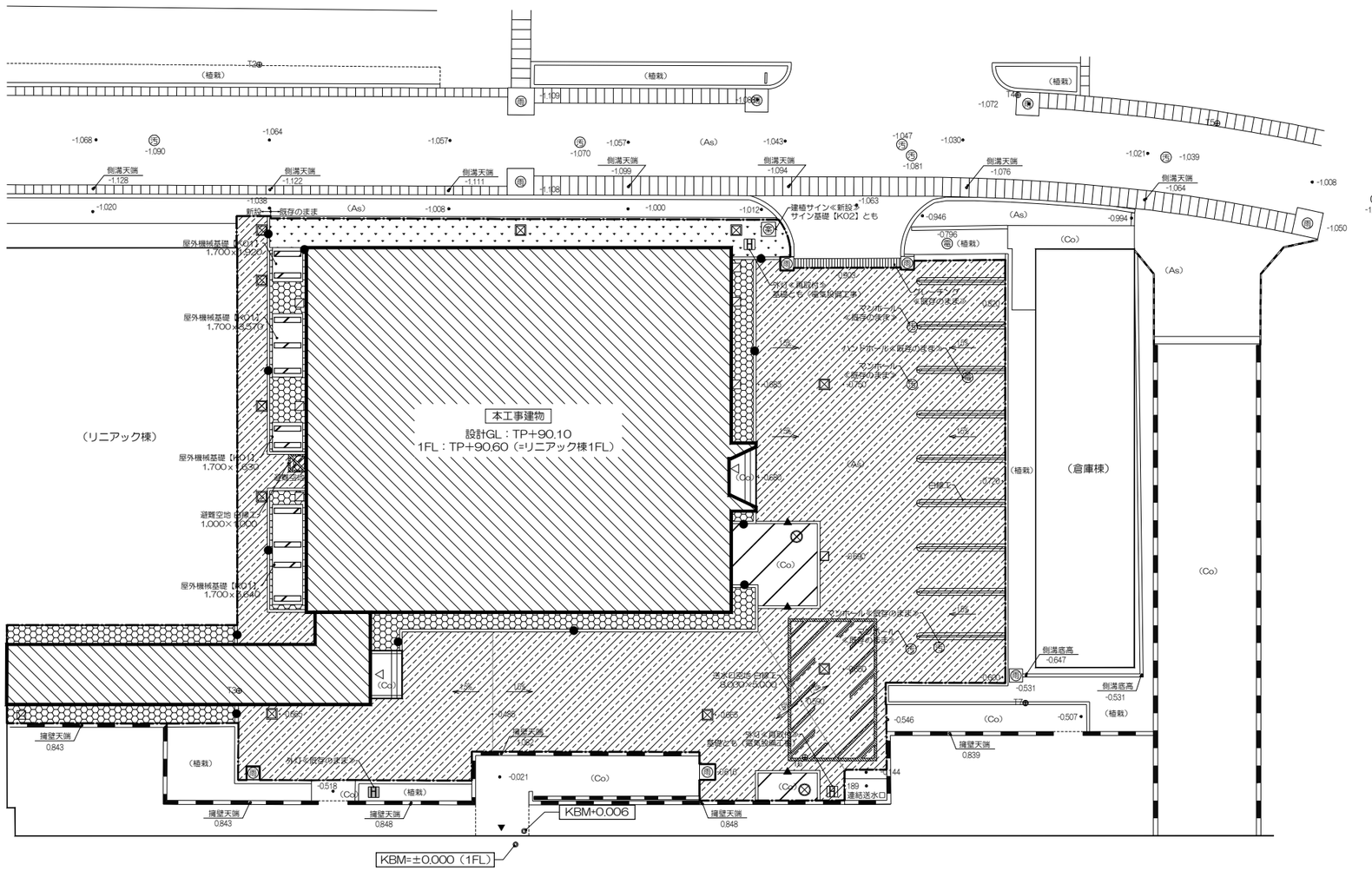
General Information
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

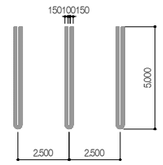
件　名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名 サイン詳細図		意匠
縮　尺 図示	日　付 2025/10（令和7年）	A207

外 構 凡 例 ≪新設≫

凡 例	種 別	備 考
	新築建物を示す	
	建物入口を示す	
①	アスファルト舗装(車道部, 20t耐圧) 特記なき限り 再生アスファルト t50, 再生クラッシャラン t250 (588m²)	【9-21-1】
②	玉砂利敷き（那智黒） t80 (79m²)	
③	植栽（ツツジ） (49m²)	「A303 植栽図（新設図）」参照
④	コンクリート舗装 突合せ目地、収縮目地 [22,5,4] (26m²)	【9-21-3】
	縁石 W150 ≪新設≫	【9-11-6】
	縁石 W150 ≪新設≫	【9-11-10】
	雨水桝 360 ≪新設≫ グレーチング蓋付 10箇所	【9-14-1】参照
	第一雨水桝 360 側塊 ≪新設≫ PC蓋付 7箇所	【9-14-7】
	建植サイン≪新設≫ サイン基礎【K02】とも	【K02】
	外灯≪再取付≫ 基礎とも（電気設備工事）	
	外灯≪既存のまま≫	





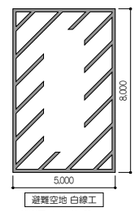


白線工 共通詳細

白線工 W150, 溶融式

避難空地 白線工

白線工 W100, 溶融式



避難空地 白線工

白線工 W150, 溶融式

特記事項

・既存設置物の距離等により施工可能寸法を現場にて協議のうえ決定とする

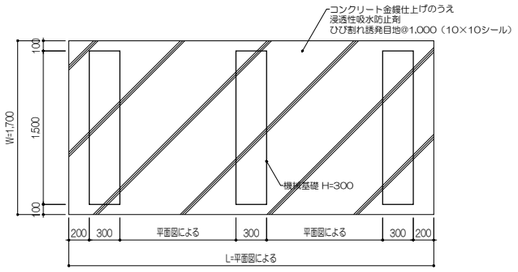
凡例

[ ]：撤去・新設範囲

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	外構図（新設図）	意匠
縮 尺	R 1/150(A1),1/300(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A301

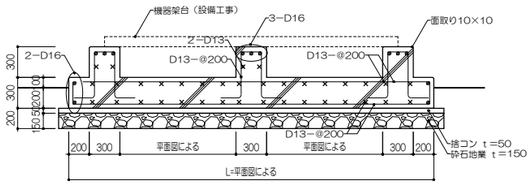
分類	番号	名称	部分詳細図
外構	【K01】	屋外機械基礎	1
	【K02】	サイン基礎	1

【K01】 屋外機械基礎 S=1/30



平面図

底盤平面形状 W×L	基礎本数	数量
1,700×1,630	2	1
1,700×1,920	2	1
1,700×3,570	3	1
1,700×5,640	4	1

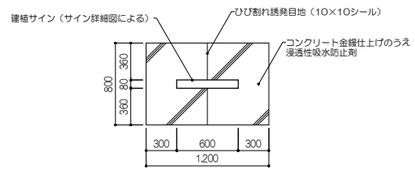


断面図

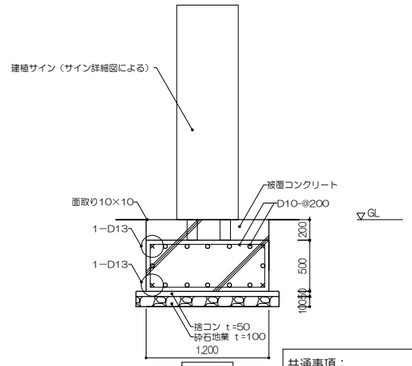
共通事項：

使用材料（JIS規格品）
普通コンクリート FC24 S=18
鉄筋 D10～D16 SD295

【K02】 サイン基礎 S=1/30



平面図



断面図

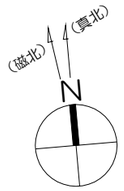
共通事項：

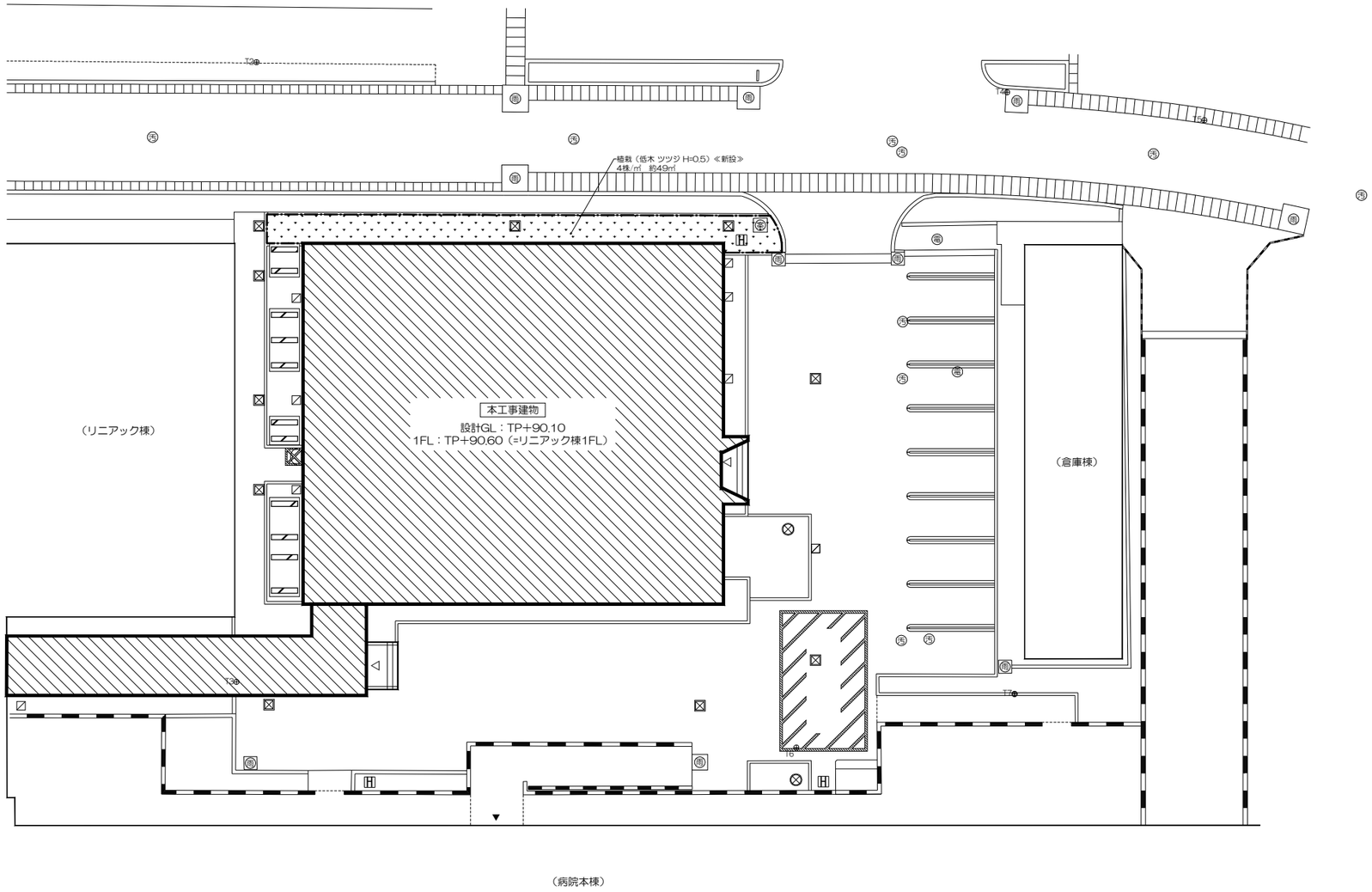
使用材料（JIS規格品）
普通コンクリート FC24 S=18
鉄筋 D10～D16 SD295

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名	外構詳細図（新設図）		意匠
縮 尺	図示	日 付 2025/12（令和7年）	A302

植 栽 凡 例 ≪撤去≫

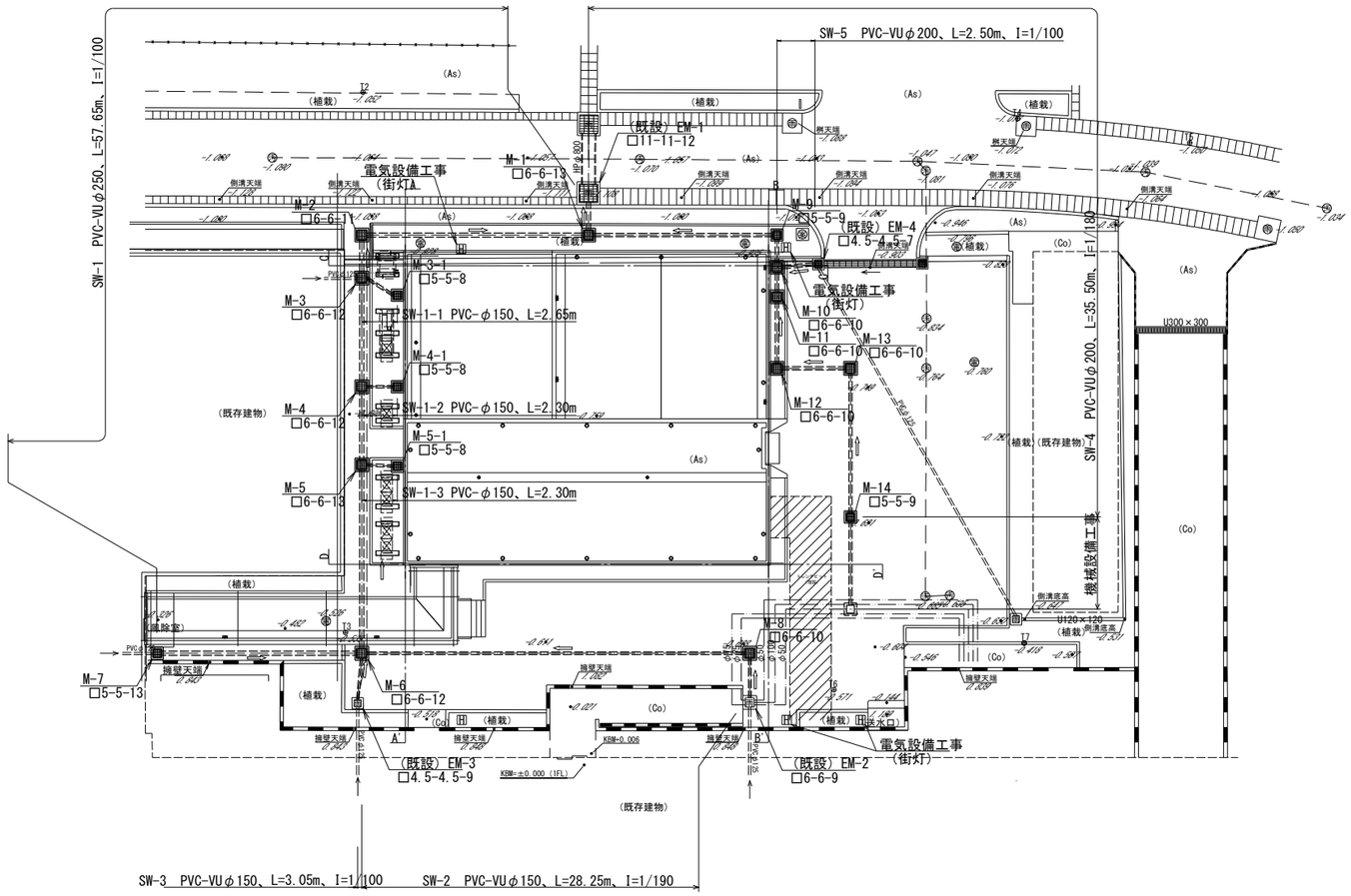
凡 例	種 別	備 考
	植栽≪新設≫	H=0.5、4株/㎡





件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	植栽図（新設図）	意匠
縮 尺	1/150(A1),1/300(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A303

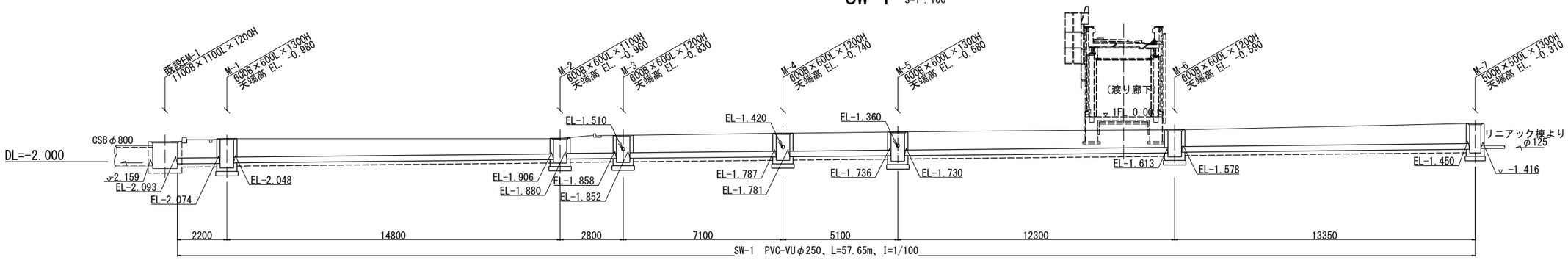
S=1/200



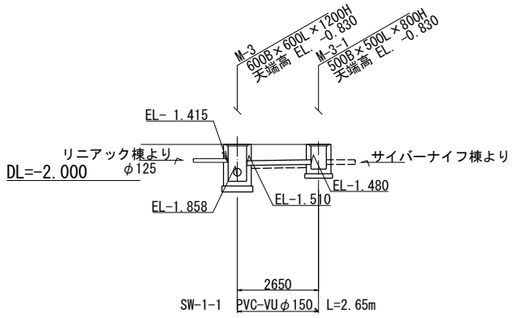
凡例	
	照明灯
案	案内看板
汚	汚水桝
雨	雨水桝
	フェンス
	擁壁・ブロック塀
(As)	アスファルト舗装
(Co)	コンクリート舗装
	現況線

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	排水施設工計画平面図	意匠
縮尺	1/200(A1),1/400(A3) 日付 2025/12（令和7年）	A304

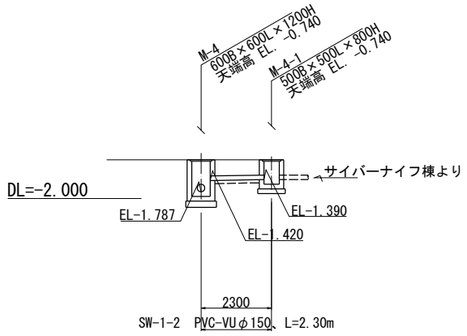
SW-1 S=1：100



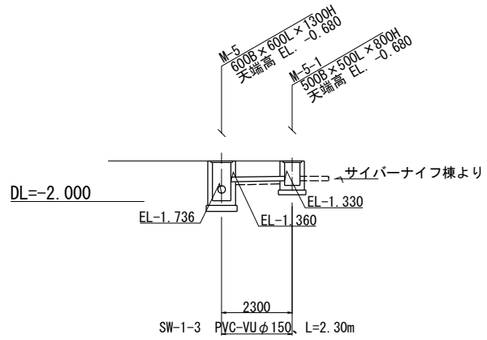
SW-1-1 S=1：100



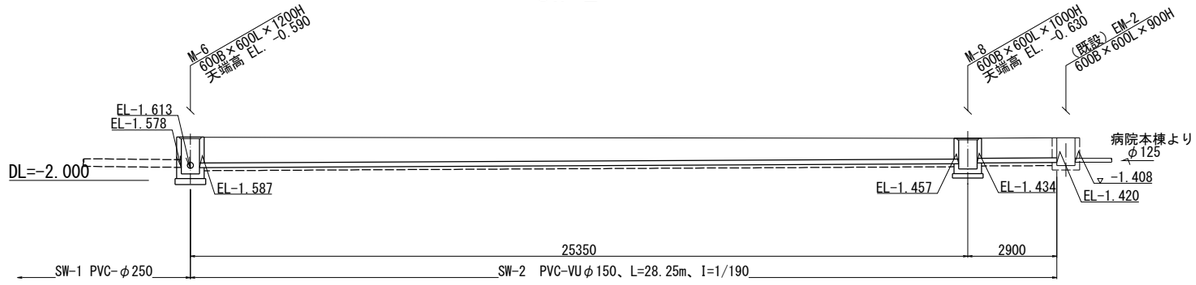
SW-1-2 S=1：100



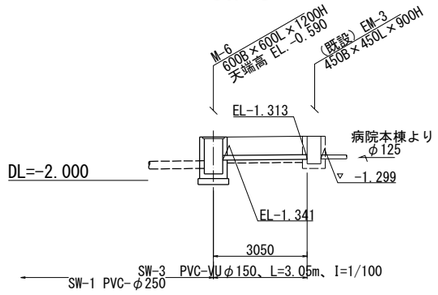
SW-1-3 S=1：100



SW-2 S=1：100

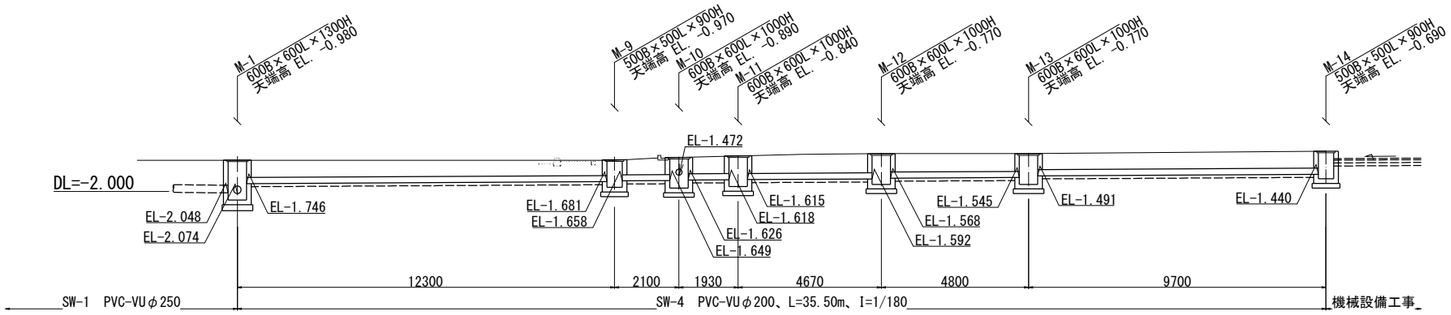


SW-3 S=1：100

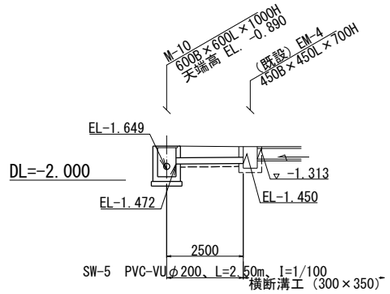


件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 排水施設工縦断図-1		意匠
縮 尺 1/100(A1),1/200(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A305

SW-4 S=1：100

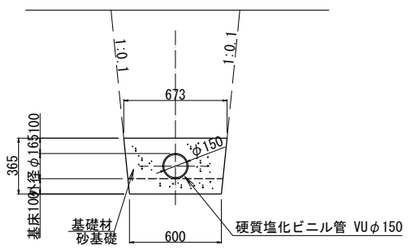


SW-5 S=1：100

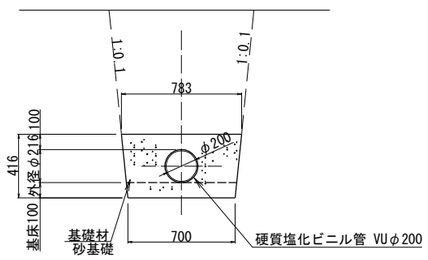


排水管標準断面図 S=1：20

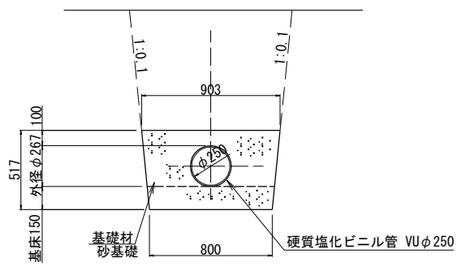
〔PVC-VUφ150〕



〔PVC-VUφ200〕



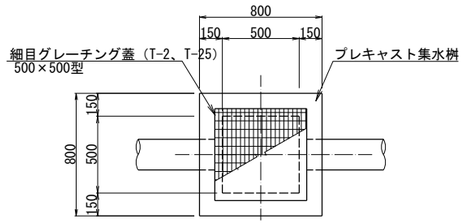
〔PVC-VUφ250〕



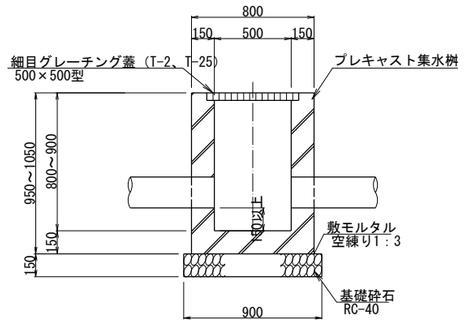
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 排水施設工縦断図-2		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12（令和7年）	A306

[500×500×800～900型]

平 面 図

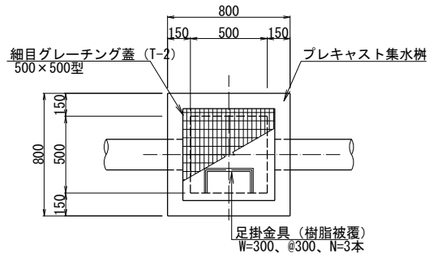


側 面 図

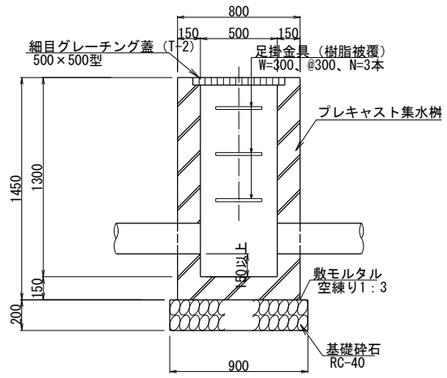


[500×500×1300型]

平 面 図

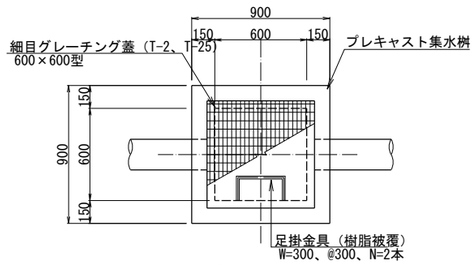


側 面 図

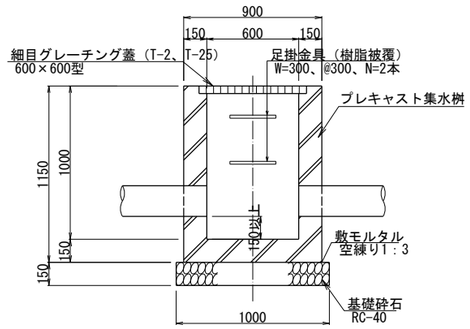


[600×600×1000型]

平 面 図

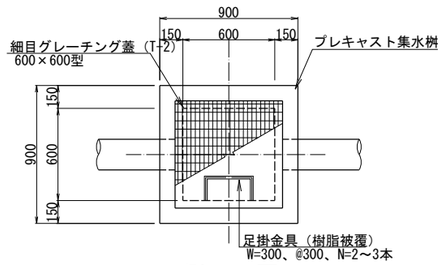


側 面 図

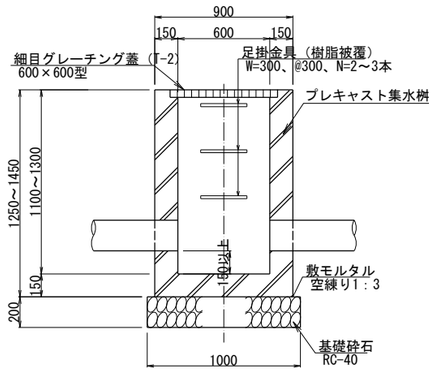


[600×600×1100～1300型]

平 面 図

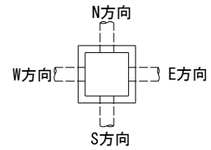


側 面 図



番号	寸 法 B L H	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋板荷重	流出入水路区分(上段：管路番号、下段：管路規格) N方向	E方向	S方向	W方向	備 考 (流水方向)
M-1	600×600×1300	T-2	SW-1 VUφ250	SW-4 VUφ200	－	SW-1 VUφ250	↑→□←
M-2	600×600×1100	T-2	－	SW-1 VUφ250	SW-1 VUφ250	－	□→↑
M-3	600×600×1200	T-2	SW-1 VUφ250	SW-1-1 VUφ150	SW-1 VUφ250	ﾘﾆｱｯｸ棟 φ125	↑→□←↑
M-3-1	500×500×800	T-2	－	ﾋﾟｯﾄ取付管	－	SW-1-1 VUφ150	←□←
M-4	600×600×1200	T-2	SW-1 VUφ250	SW-1-2 VUφ150	SW-1 VUφ250	－	↑□←↑
M-4-1	500×500×800	T-2	－	ﾋﾟｯﾄ取付管	－	SW-1-2 VUφ150	←□←
M-5	600×600×1300	T-2	SW-1 VUφ250	SW-1-3 VUφ150	SW-1 VUφ250	－	↑□←↑
M-5-1	500×500×800	T-2	－	ﾋﾟｯﾄ取付管	－	SW-1-3 VUφ150	←□←
M-6	600×600×1200	T-2	SW-1 VUφ250	SW-2 VUφ150	SW-3 VUφ150	SW-1 VUφ250	↑→□←↑
M-7	500×500×1300	T-2	－	SW-1 VUφ250	－	ﾘﾆｱｯｸ棟 φ125	→□→
M-8	600×600×1000	T-25	－	－	SW-2 VUφ150	SW-2 VUφ150	←□↑
M-9	500×500×900	T-2	－	－	SW-4 VUφ200	SW-4 VUφ200	←□↑
M-10	600×600×1000	T-2	SW-4 VUφ200	SW-5 VUφ200	SW-4 VUφ200	－	↑□←↑
M-11	600×600×1000	T-2	SW-4 VUφ200	－	SW-4 VUφ200	(樋受け)	↑□↑
M-12	600×600×1000	T-2	SW-4 VUφ200	SW-4 VUφ200	－	－	↑□←
M-13	600×600×1000	T-25	－	－	SW-4 VUφ200	SW-4 VUφ200	←□↑
M-14	500×500×900	T-25	SW-4 VUφ200	－	機械設備 排水管	－	↑□↑
(既設) EM-1	1100×1100×1200	－	構内道路横断 HPφ800	構内道路 VS600×900	SW-1 VUφ250	構内道路 VS300×300	↑→□←↑
(既設) EM-2	600×600×900	－	SW-2 VUφ150	－	本棟 φ125	－	↑□↑
(既設) EM-3	450×450×900	－	SW-3 VUφ150	－	本棟 φ125	－	↑□↑
(既設) EM-4	450×450×700	－	－	横断構 300×350	構内排水管 φ125	SW-5 φ200	←□↑

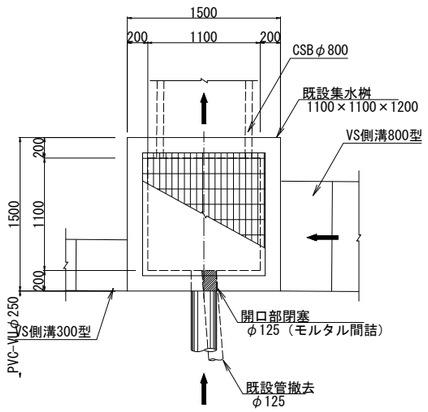
流出入方向説明図



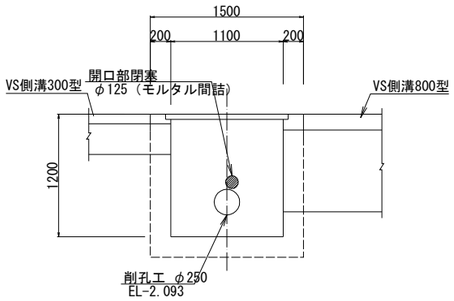
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 排水施設工標準構造図		意匠
縮 尺 1/20(A1),1/40(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A307

（既設）EM-1

平 面 図

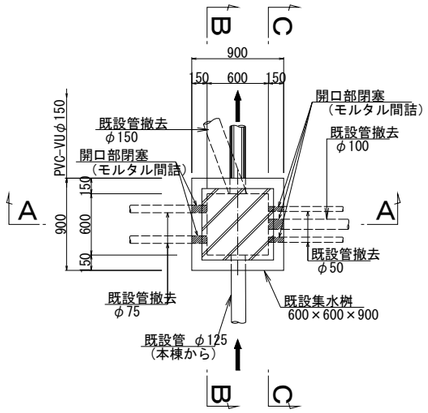


側面図

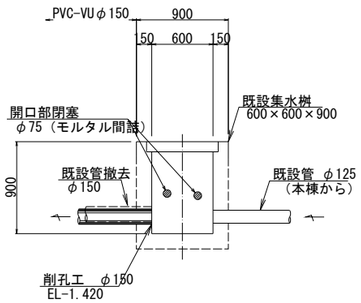


（既設）EM-2

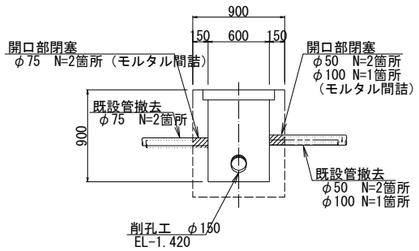
平 面 図



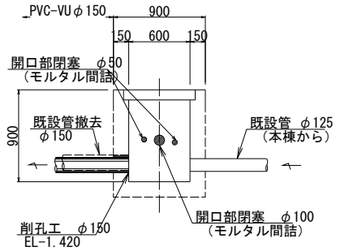
B－B断面



A－A断面

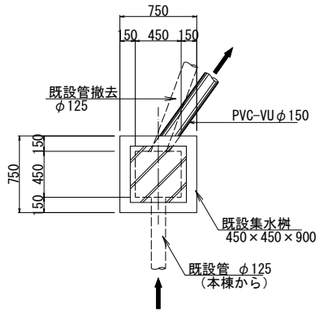


C－C断面

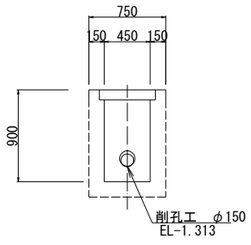


（既設）EM-3

平面図

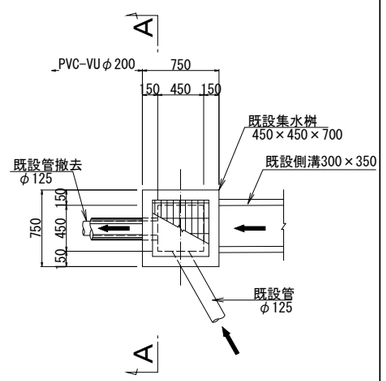


側 面 図

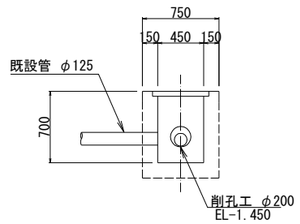


（既設）EM-4

平 面 図

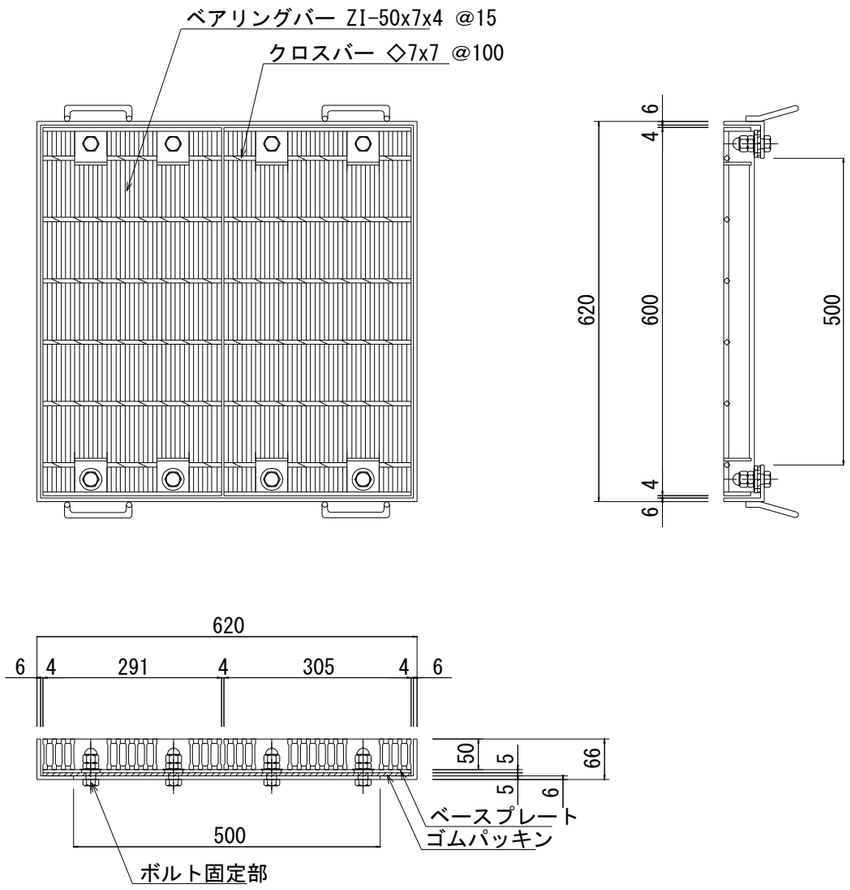


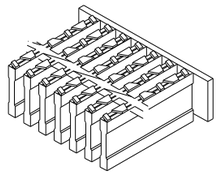
A－A断面



件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 既設利用集水桝詳細図		意匠
縮 尺 1/30(A1),1/60(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A308

[500×500　T-25型]

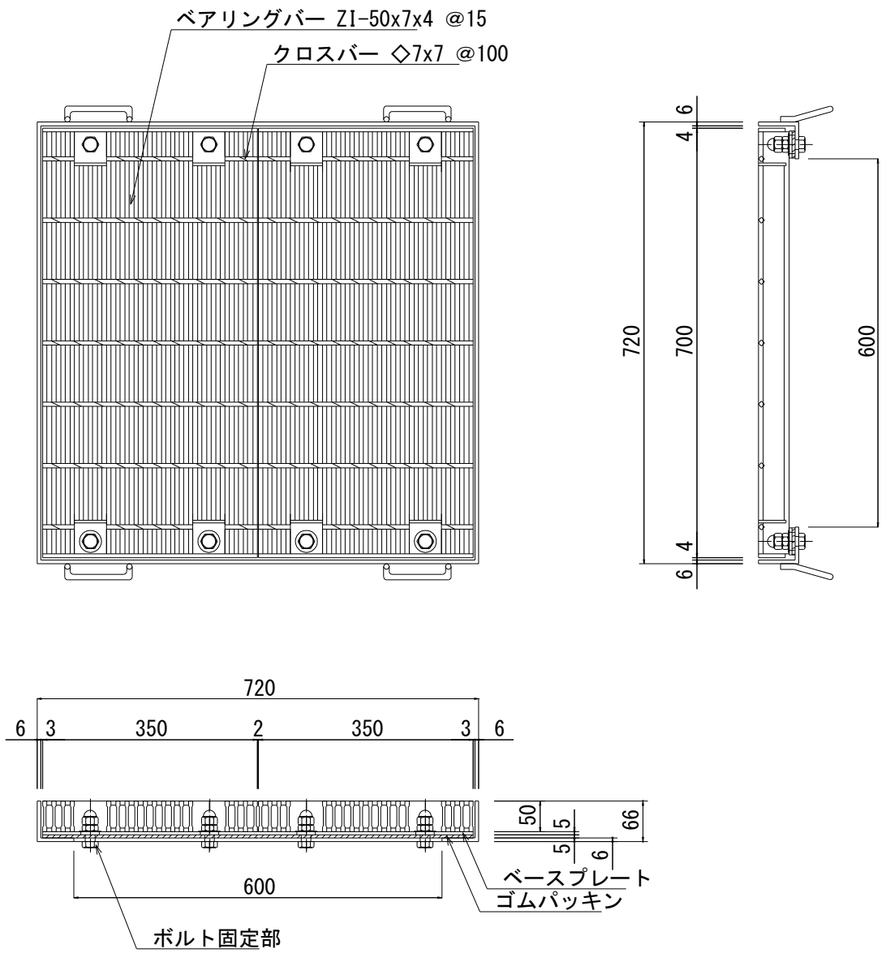


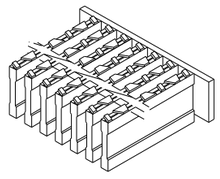


スベリ止め詳細図

材　　質　ＳＳ４００
表面処理　グレ-チング　溶融亜鉛メッキ
　　四面枠　　黒塗装

[600×600　T-25型]



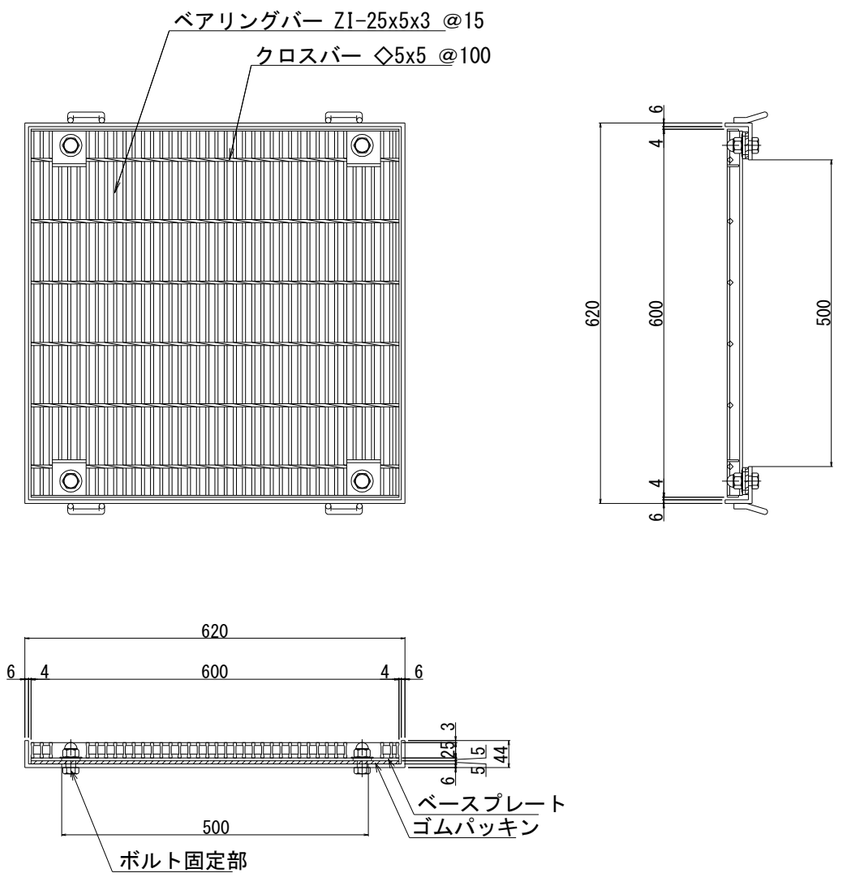


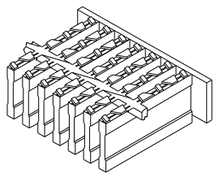
スベリ止め詳細図

材　　質　ＳＳ４００
表面処理　グレ-チング　溶融亜鉛メッキ
　　四面枠　　黒塗装

件　名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名 グレーチング詳細図-1		意匠
縮　尺 1/5(A1),1/10(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A309

[500×500　T-2型]

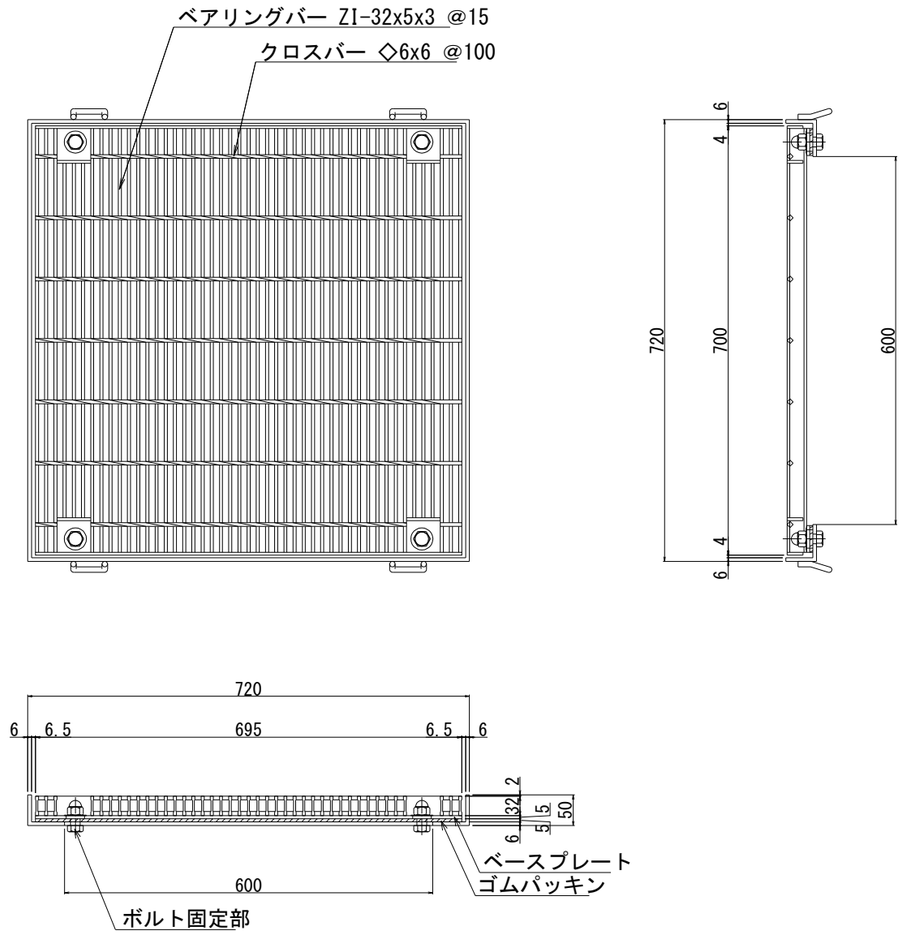


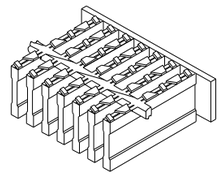


スベリ止め詳細図

材　　質　ＳＳ４００
表面処理　グレ-チング　溶融亜鉛メッキ
　　四面枠　　黒塗装

[600×600　T-2型]

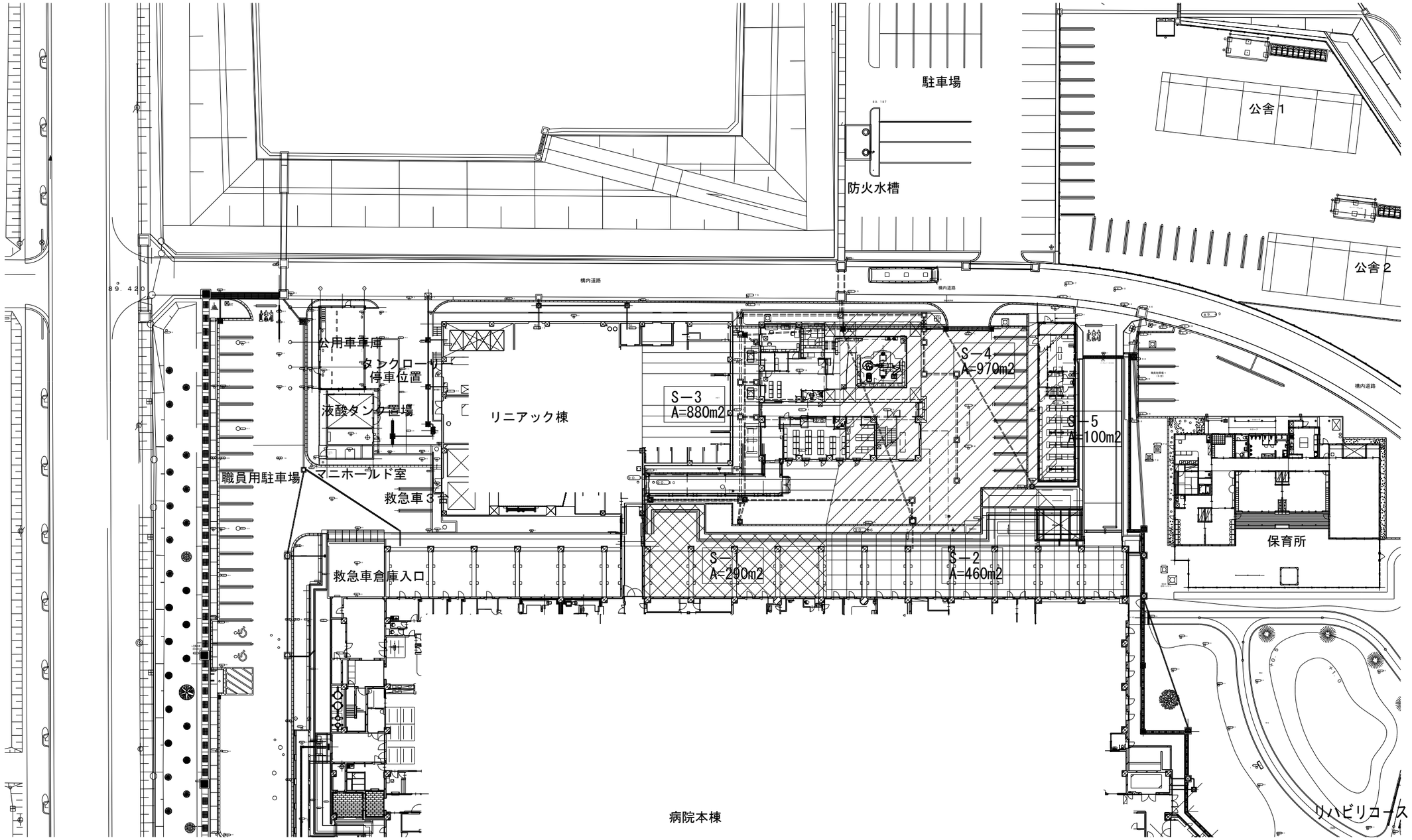




スベリ止め詳細図

材　　質　ＳＳ４００
表面処理　グレ-チング　溶融亜鉛メッキ
　　四面枠　　黒塗装

件　名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名 グレーチング詳細図-2		意匠
縮　尺 1/5(A1),1/10(A3)	日　付 2025/12（令和7年）	A310



件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 排水流域区分図		意匠
縮 尺 1/300(A1),1/600(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A311

建植サイン

※
表示内容・フォントは、
既存サイン合わせ

Stand Signs

埋め込み部分は
地下200㎜、6㎜又は9㎜の
ベースプレート付き

研創　ST114H 別注タイプ
スタンドサイン　ステンレスシリーズ

表示基板：ステンレス塗装仕上げ
ベースプレート固定

塗装色　既存設置サイン近似色

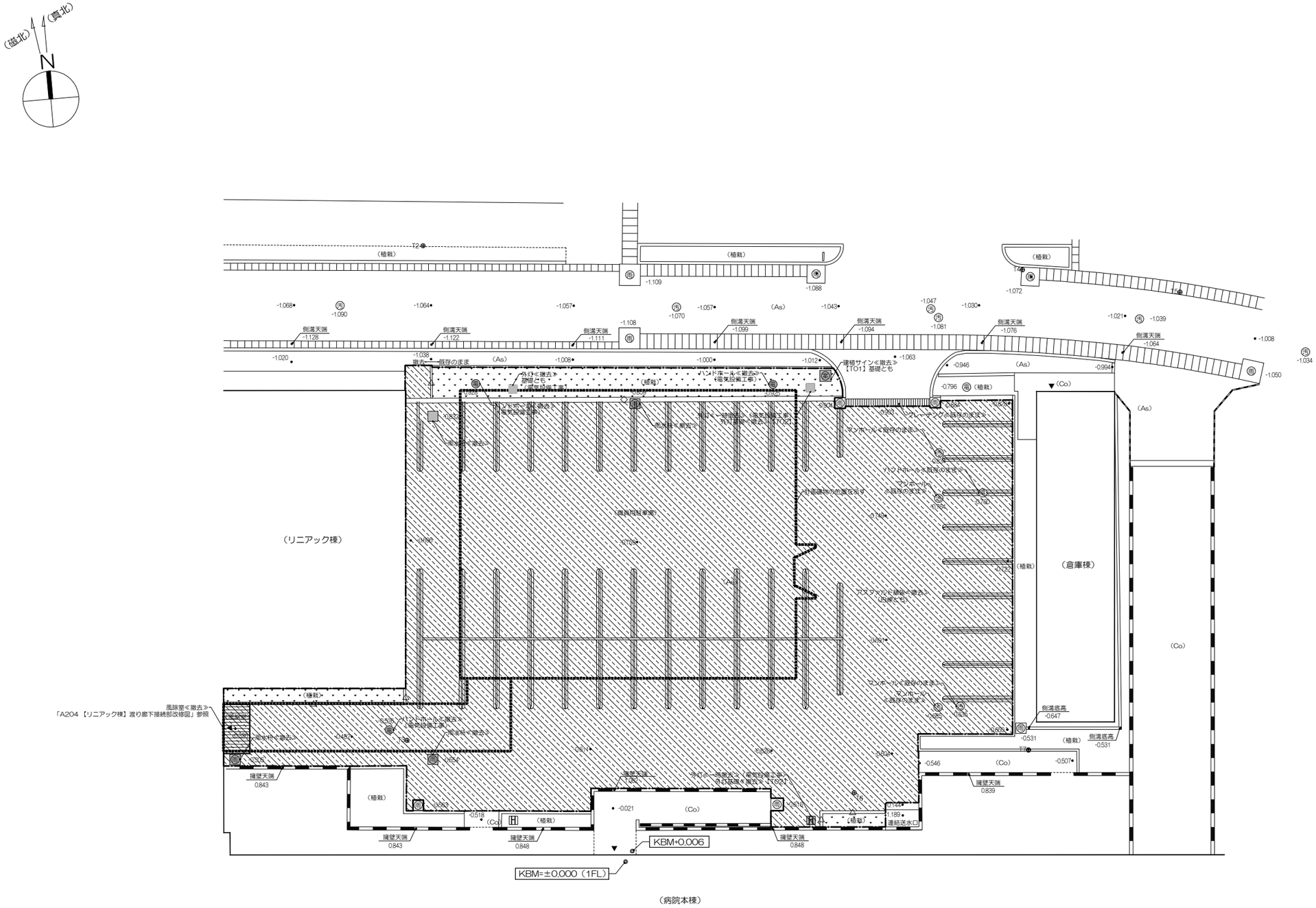
表　　示：塩ビシート切文字貼り
塩ビシート出力貼り
フォント　既存サイン近似フォントにて

数量：1 台

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 サイン詳細図		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/10（令和7年）	A312

外 構 凡 例 ≪撤去≫

凡 例	種 別	備 考
	雨水桝≪撤去≫	
	雨水桝≪既存のまま≫	
	案内サイン≪撤去≫ 基礎とも	
電	ハンドホール≪撤去≫	（電気設備工事）
電	ハンドホール ≪既存のまま≫	
H	外灯≪一時撤去≫ 基礎とも	（電気設備工事）
H	外灯≪既存のまま≫	
汚	マンホール ≪既存のまま≫	
	縁石A（W200）	【9-11-6】
	縁石B（W350）	【9-11-6】
	アスファルト舗装 （1264m²）	【9-21-1】 表層：50 路盤：200
	植栽 （78m²）	「A403 植栽図 （既存・撤去図）」参照
	コンクリート舗装 （7m²）	【9-21-3】
	グレーチング ≪既存のまま≫	



※埋設配管の撤去範囲は「A404 排水施設撤去図」参照

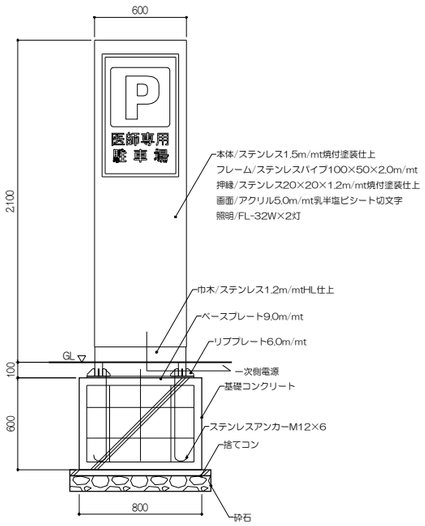
特記事項
・既存設置物の距離等により施工可能寸法を現場にて協議のうえ決定とする

凡例
：撤去・新設範囲

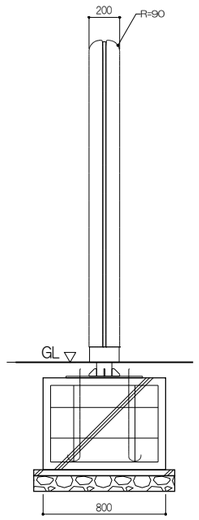
件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	外構図（既存・撤去図）	意匠
縮 尺 1/150(A1),1/300(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A401

分類	番号	名称	部分詳細図
外構	【TO1】	建植サイン	1
	【TO2】	外灯基礎	1

【TO1】 建植サイン S=1/20

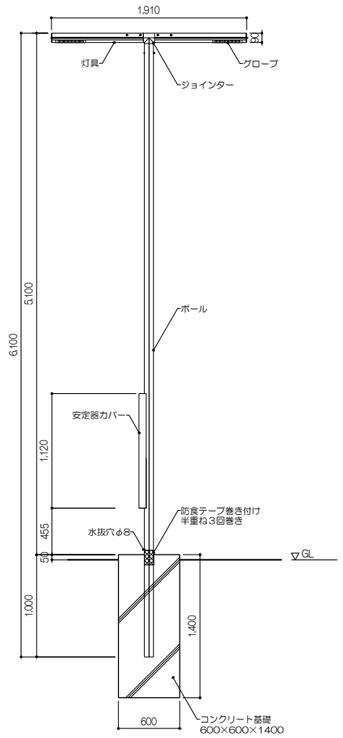


正面図



側面図

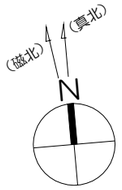
【TO2】 外灯基礎 S=1/30

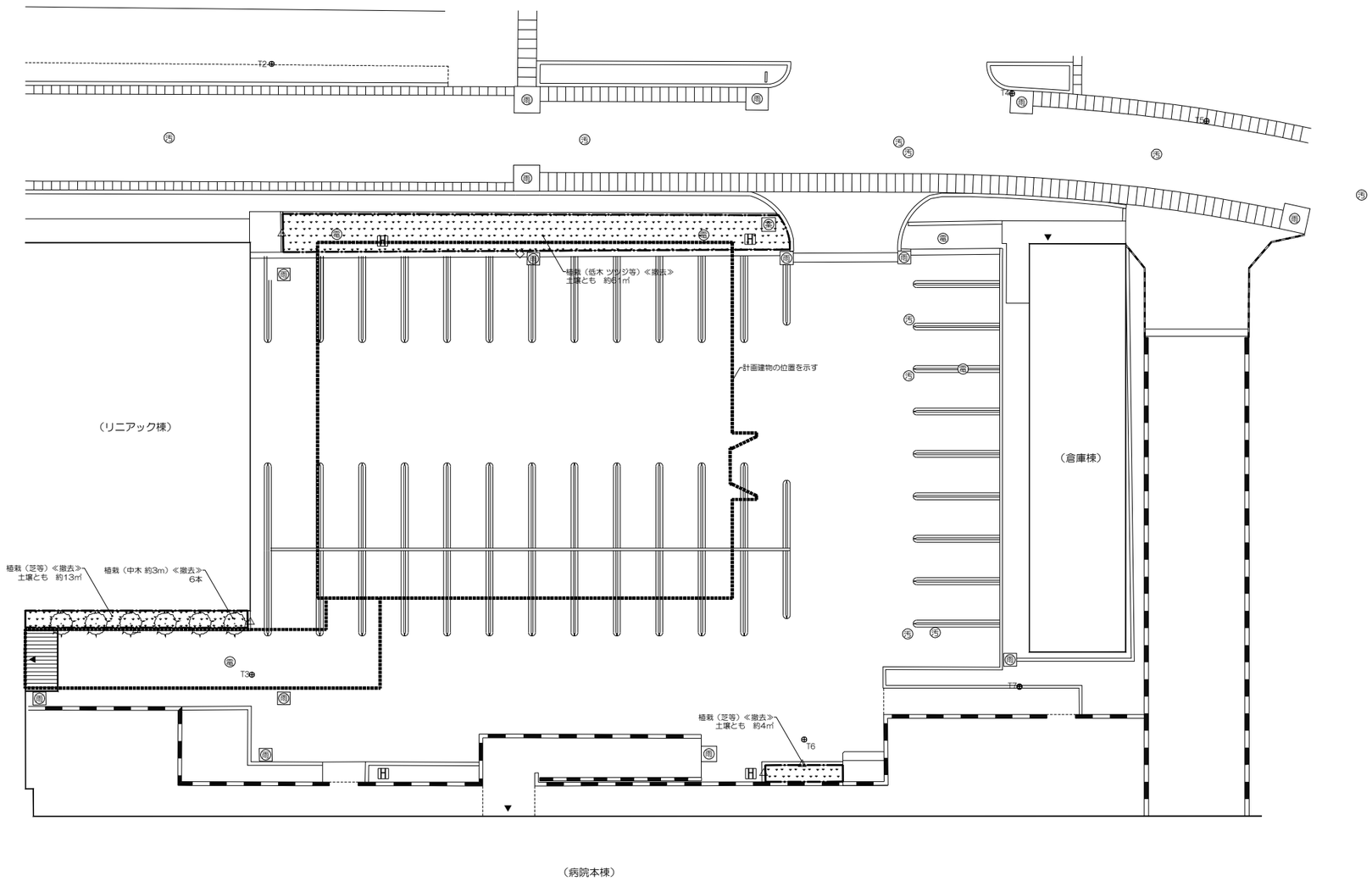


件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名	外構詳細図（既存・撤去図）		意匠
縮 尺	図示	日 付 2025/12（令和7年）	A402

植 栽 凡 例 ≪撤去≫

凡 例	種 別	備 考
	植栽≪撤去≫	土壌とも
	植栽（中木 約3m）≪撤去≫	



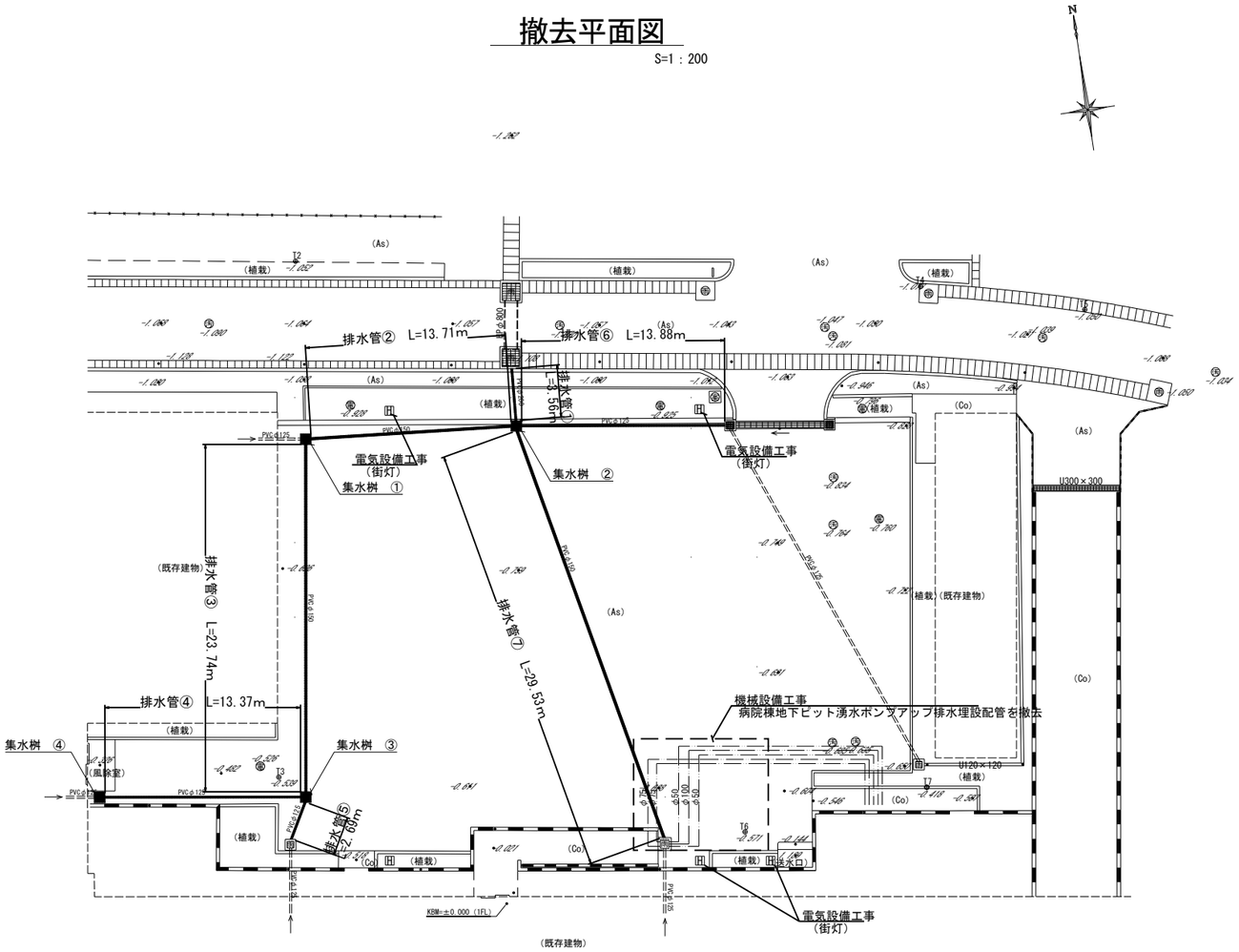


凡例
：撤去・新設範囲

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 植栽図（既存・撤去図）		意匠
縮 尺 1/150(A1),1/300(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A403

撤去平面図

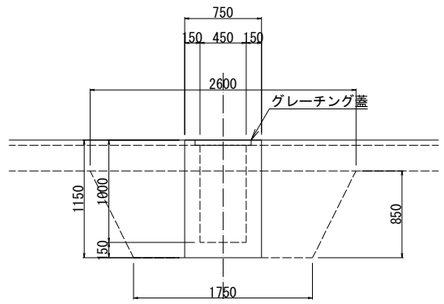
S=1：200



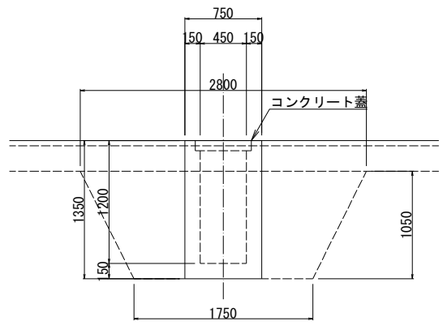
集水桝工

S=1：30

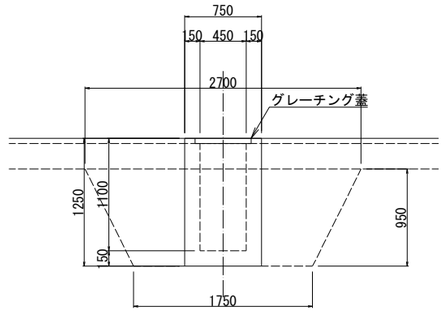
集水桝 ①



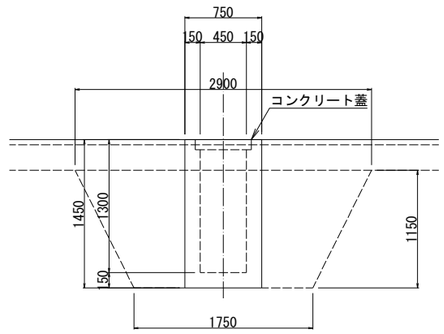
集水桝 ③



集水桝 ②



集水桝 ④

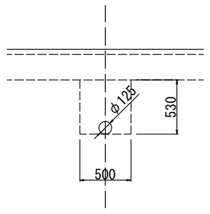


凡	例
	照 明 灯
案	案 内 看 板
汚	汚 水 桝
雨	雨 水 桝
	フ ェ ン ス
	擁壁・ブロック塀
（Ａｓ）	アスファルト舗装
（Ｃｏ）	コンクリート舗装
	現 況 線

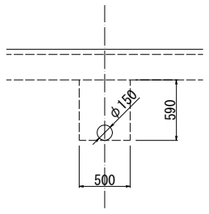
排水管工

S=1：30

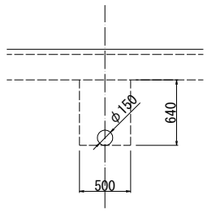
排水管 ①



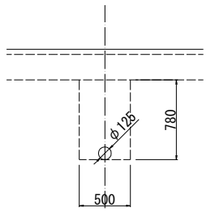
排水管 ②



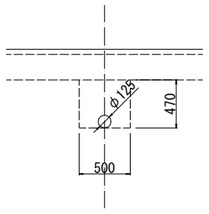
排水管 ③



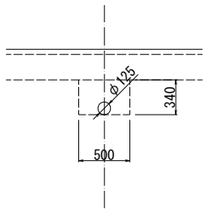
排水管 ④



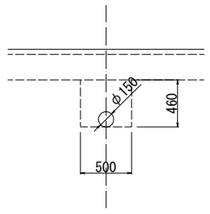
排水管 ⑤



排水管 ⑥



排水管 ⑦

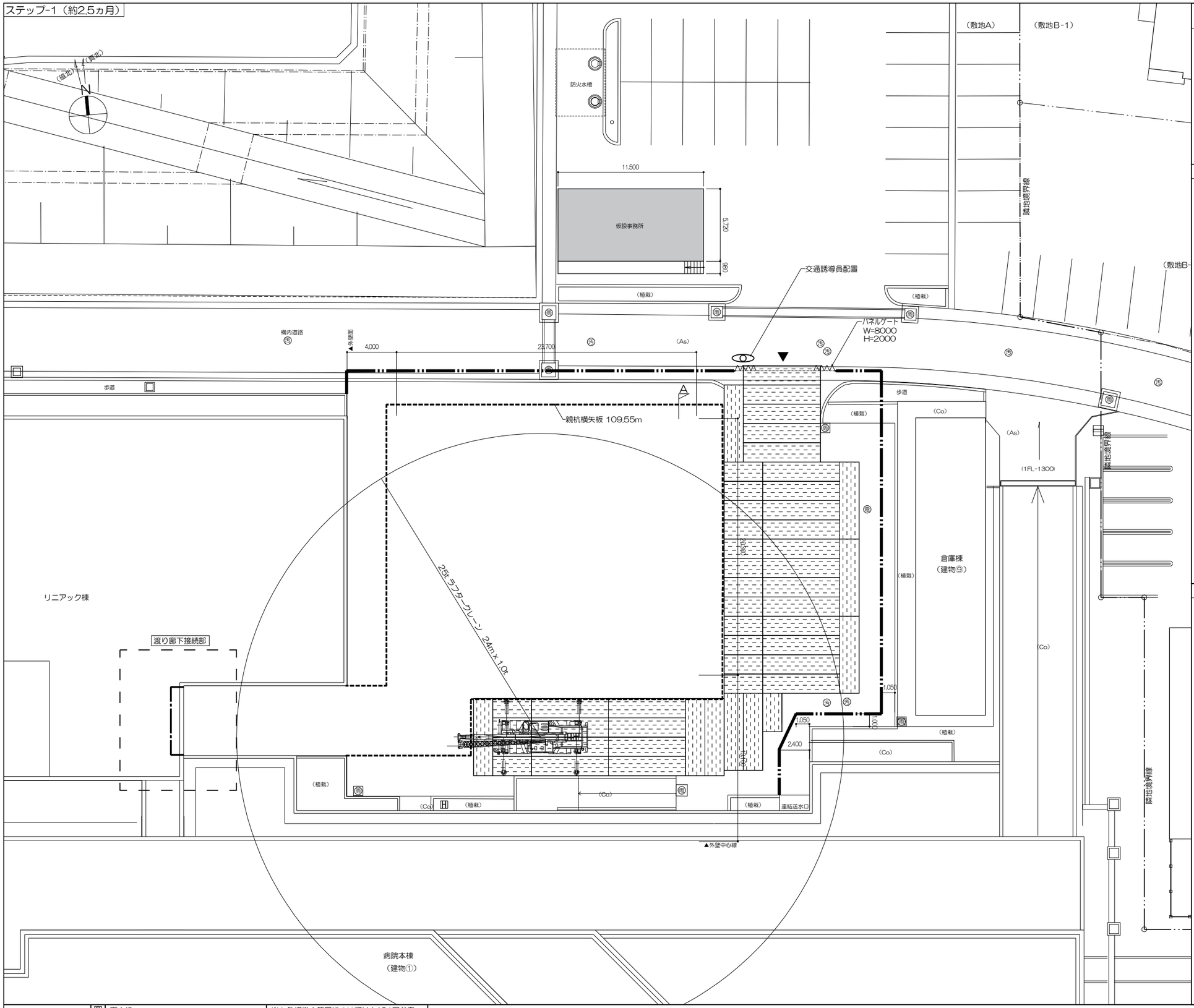


特記事項

・既存集水桝および排水管撤去後の工事期間中は仮設材にて代替対応を行うものとする
　ルートは施工作業に支障が出ないよう検討し、必要に応じて監理者・監督員と協議を行うこととする

件 名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	排水施設撤去図	意匠
縮 尺	図示　　日 付 2025/12（令和7年）	A404

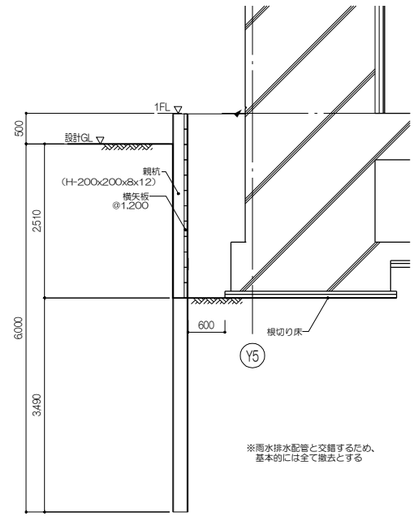
ステップ-1（約2.5ヵ月）



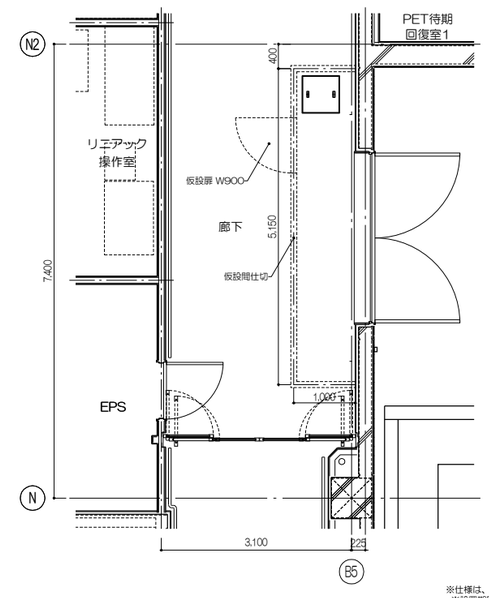
凡例

- 交通誘導員配置
- 工事用車両出入口
- 仮囲い：万能鋼板　H=2.0m
- 仮設間仕切壁
- 敷鉄板
- ゲート設置位置
- 足場（ ：W=600, ：W=1,200 ）
- 親杭横矢板（109.55m）

親杭横矢板A部断面図（一般部）　S=1/50



渡り廊下接続部仮設間仕切壁配置図　S=1/50



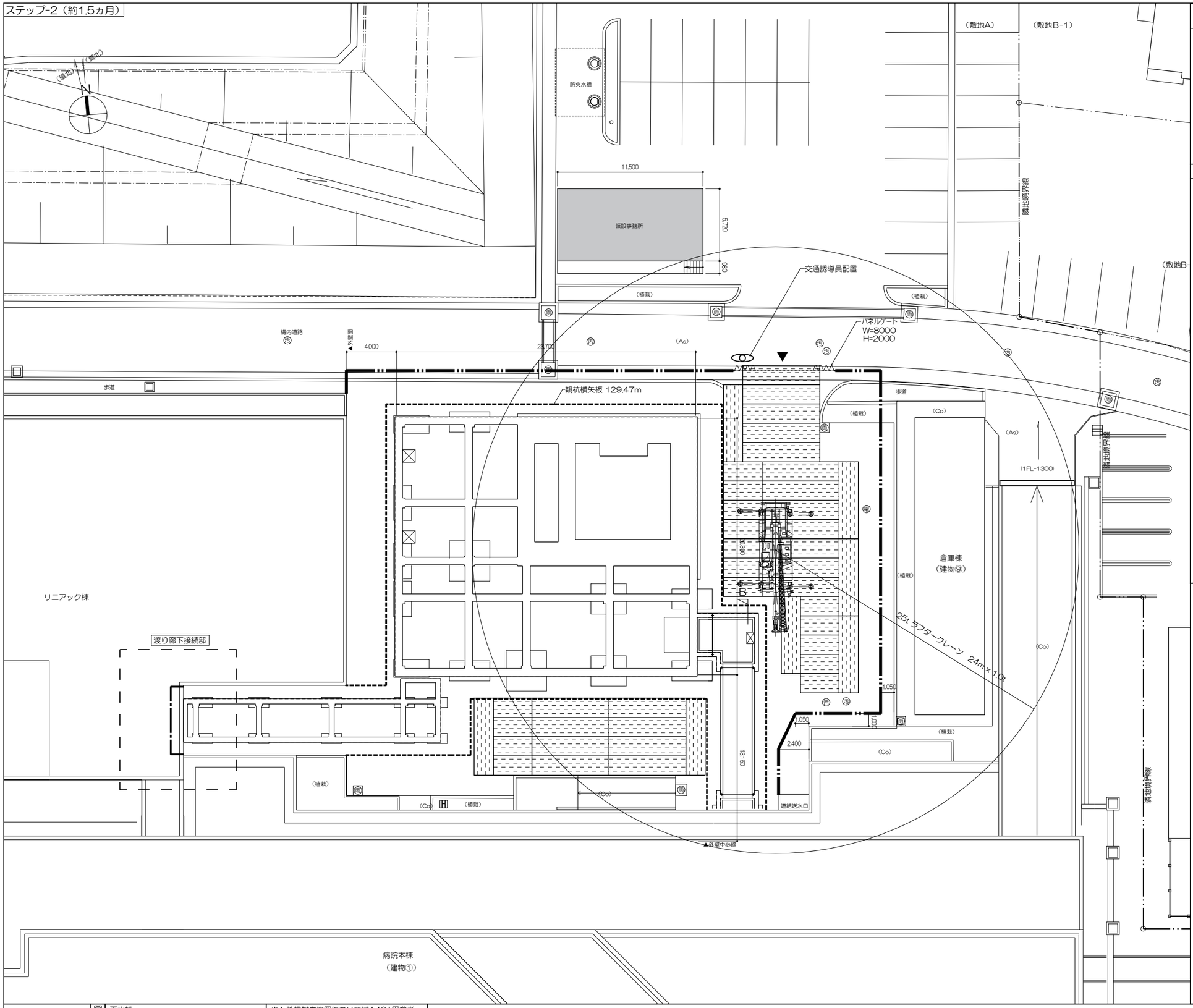
※仕様は、A201図参照
※設置期間：約16ヵ月

凡例

⊗	雨水枡	※1 外構撤去範囲についてはA401図参考	
◎	ハンドホール(電気設備工事)	※2 外部仮囲い設置期間：約14.5ヵ月	
H	外灯（電気設備工事）	※3 交通誘導員：約12ヵ月	
⊙	汚水桝	※4 クレーン設置期間：約60日間	
◎	案内サイン	※5 仮設鉄板敷き：約10ヵ月	
(As)	アスファルト舗装	※6 連結送水口までの経路を確保のこと	
(Co)	コンクリート舗装		

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	仮設計画図（案）-1	意匠
縮尺	1/200(A1),1/400(A3)	日付 2025/12（令和7年）	A501

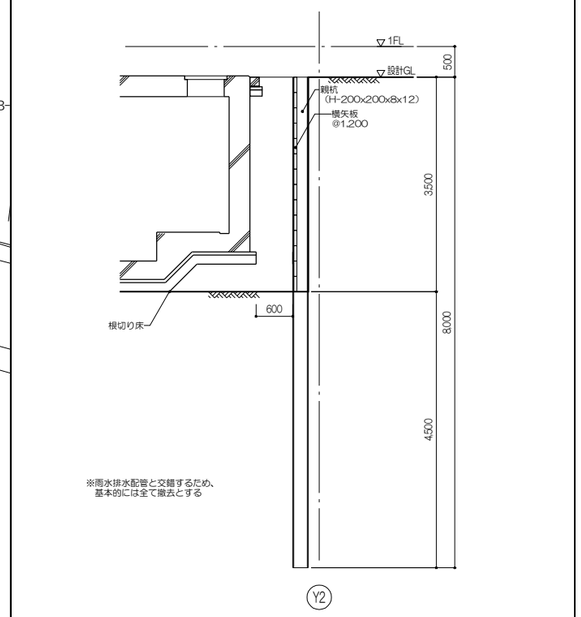
ステップ-2（約1.5ヵ月）



凡例

- 交通誘導員配置
- 工事用車両出入口
- 仮囲い：万能鋼板 H=2.0m
- 仮設間仕切壁
- 敷鉄板
- ゲート設置位置
- 足場（ ：W=600, ：W=1,200 ）
- 親杭横矢板（129.47m）

親杭横矢板B部断面図（配管トレンチ部） S=1/50

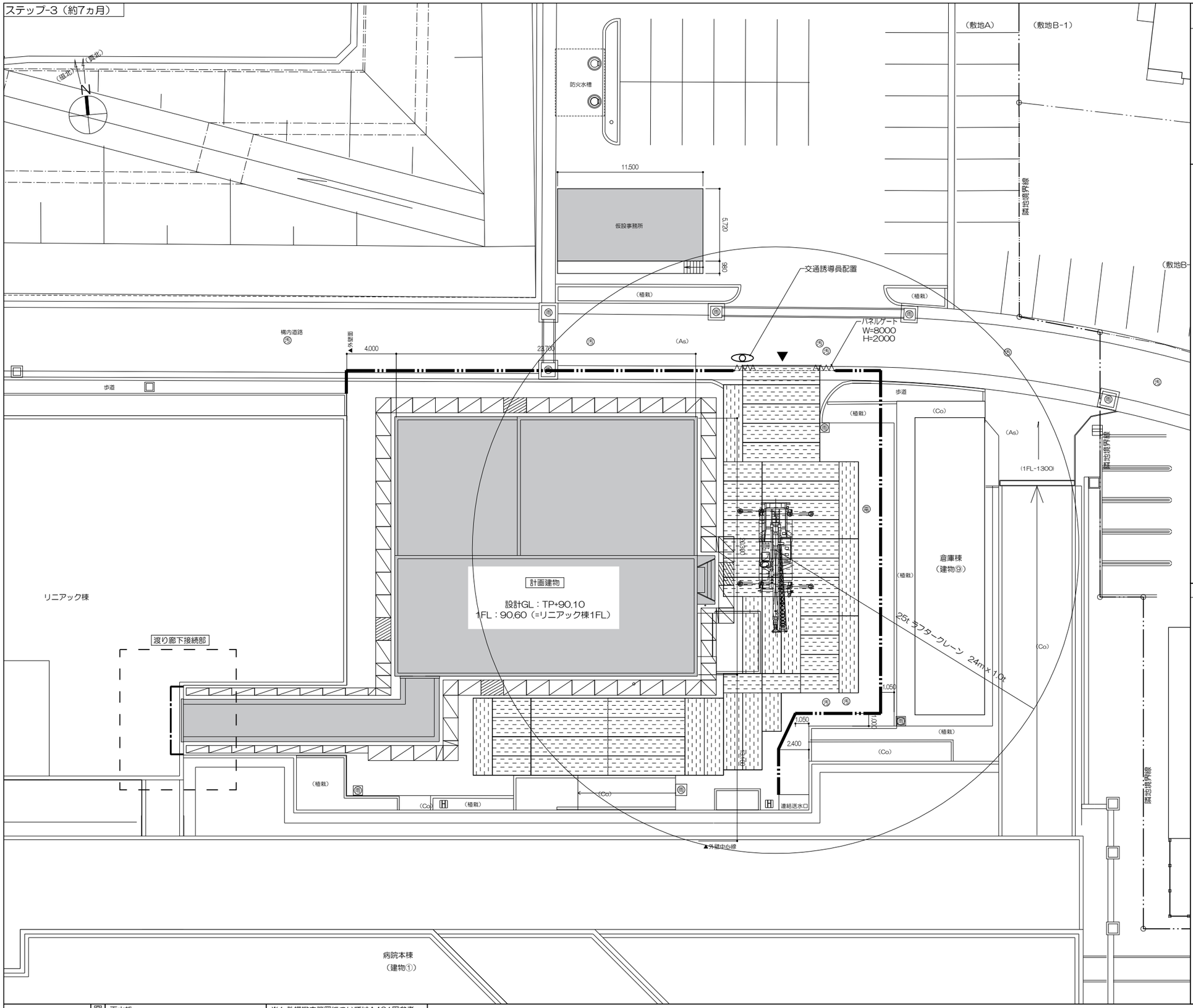


凡例

雨水桝	※1 外構撤去範囲についてはA401図参考	
ハンドホール(電気設備工事)	※2 外部仮囲い設置期間：約14.5ヵ月	
外灯（電気設備工事）	※3 交通誘導員：約12ヵ月	
汚水桝	※4 クレーン設置期間：約60日間	
案内サイン	※5 仮設鉄板敷き：約10ヵ月	
(As) アスファルト舗装	※6 連結送水口までの経路を確保のこと	
(Co) コンクリート舗装		

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 仮設計画図（案）-2		意匠
縮 尺 1/200(A1),1/400(A3)	日 付 2025/12（令和7年）	A502

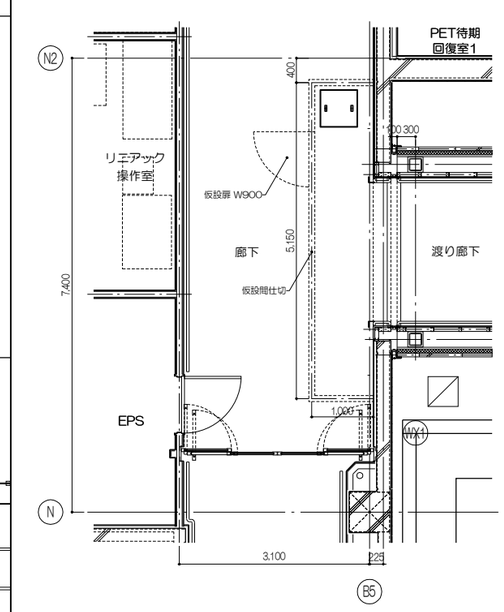
ステップ-3（約7ヵ月）



凡例

- 交通誘導員配置
- 工事用車両出入口
- 仮囲い：万能鋼板　H=2.0m
- 仮設間仕切壁
- 敷鉄板
- ゲート設置位置
- 足場（ ：W=600, ：W=1,200 ）
- 親杭横矢板

渡り廊下接続部仮設間仕切壁配置図　S=1/50



凡例

⊗	雨水枡	※1 外構撤去範囲についてはA401図参考
⊗	ハンドホール(電気設備工事)	※2 外部仮囲い設置期間：約14.5ヵ月
H	外灯（電気設備工事）	※3 交通誘導員：約12ヵ月
⊗	汚水桝	※4 クレーン設置期間：約60日間
⊗	案内サイン	※5 仮設鉄板敷き：約10ヵ月
(As)	アスファルト舗装	※6 連結送水口までの経路を確保のこと
(Co)	コンクリート舗装	

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	仮設計画図（案）-3	意匠
縮尺	1/200(A1),1/400(A3)	日付 2025/12（令和7年）	A503

< サイバーナイフ関連工事区分表 >

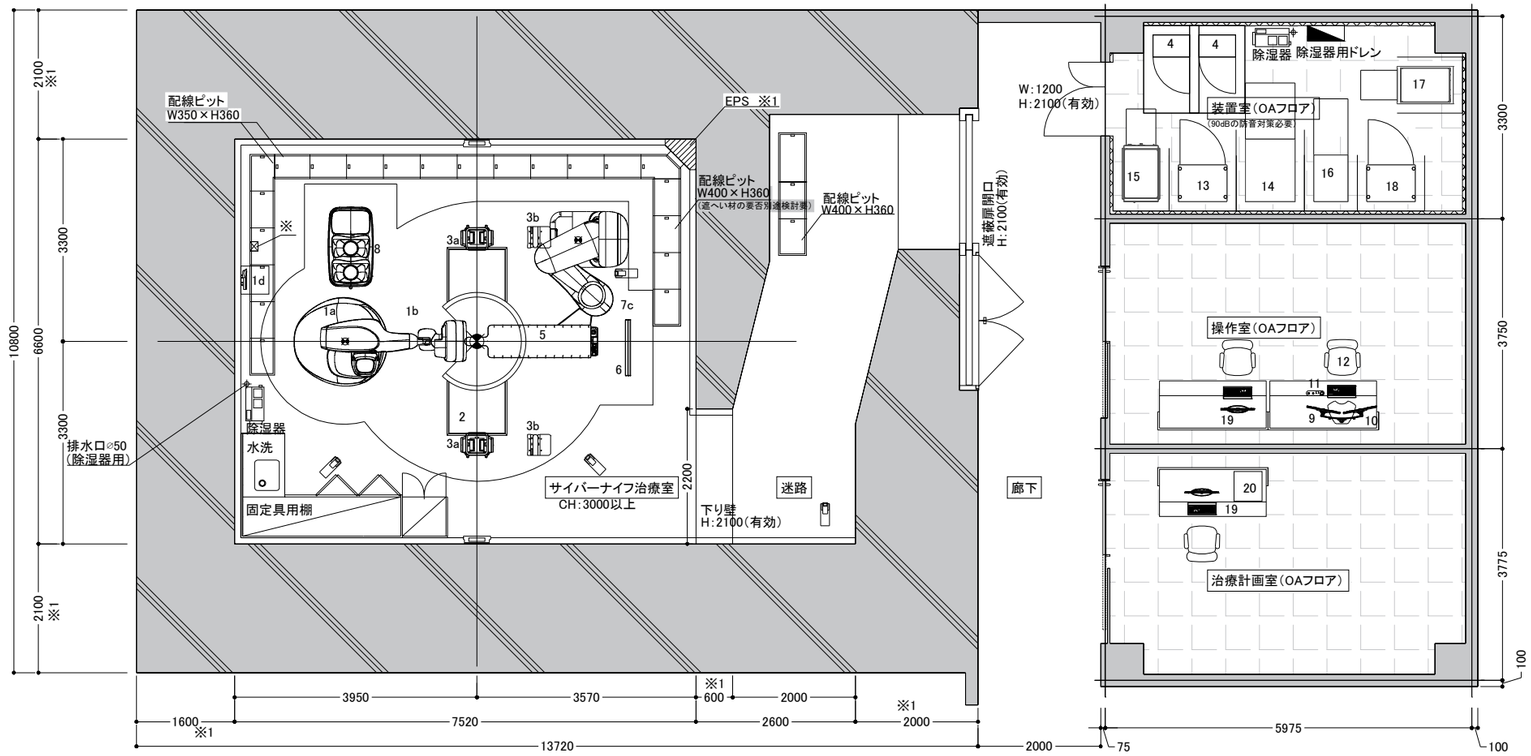
	工事項目	変更無し	施工区分 カスタマー	建築	電気	空調衛生	医療機器代理店	Accuray	備考
各室共通	躯体工事、内装工事全般			●					
	機器搬入据付、調整						●	●	
	室内表示			●					
	放射線障害防止法関係標識・標示						●		法定標識
	一般コンセント				●				
	照明設備				●				治療室は調光付 #8エクスチェンジコリメータスタンドの周囲には 照明を設置しない事
	空調換気設備					●			各室単独制御　空調条件をご参照下さい
	情報系コンセント（LAN）		●		●				ネットワーク条件図をご参照ください
	QA備品		●				●		
	IPアドレスの用意 (装置搬入時迄に必要)5個以上		●						
	非常用照明・自動火災報知設備				●				
治療室	治療室出入口扉（遮蔽扉）			●					
	ドアインターロック用配管、配線				●				配線は電気、制御盤への接続は医療機器
	空調ダクト貫通部鉛防護			●					
	配線用ピット及びピット蓋			●					
	配線用プルボックス			●					□200×H400
	配線用埋設配管				●		●		
	ベース設置後のコンクリート埋め戻し			●					
	ベースフレーム設置、調整						●	●	シンダーコンクリート打設前に設置する事
	天井点検口（4箇所）			●					別紙天伏図ご参照下さい
	X線管球用天井点検口（2箇所）			●					分割型(別紙参考図ご参照下さい)
	X線管球取付、調整						●	●	天井裏と床配線ピットをつなぐ配線経路確保の為
	EPS作成			●					
	使用中/照射中の器具取付、配線				●				装置室内分電盤付近まで配線
	緊急停止スイッチ 3箇所				●		●		ボックス、空配管、呼び線は電気工事 器具、配線は医療機器
	レーザーポインター (壁面2箇所、天井1箇所)				●		●		ボックス、空配管、呼び線は電気工事 機器取付は医療機器
	レーザーポインター用スイッチ				●				ボックス、空配管、呼び線は電気工事 機器取付は医療機器
	ティーチペンダント				●			●	ボックス、空配管、呼び線は電気工事 機器取付はACCURAY
	患者監視カメラ（4箇所）				●		●		空配管、呼び線は電気工事 機器取付は医療機器
	マイク、スピーカー （操作室～治療室間通話）				●		●		空配管、呼び線は電気工事 機器取付は医療機器
	流し台					●			
	収納棚		●						治療用備品収納用
	除湿機設置					●	●		ドレンは衛生設備、機器設置は医療機器 ※空調条件を満たす為の除湿器ではなく予備用 とお考えください
	治療室～装置室　埋設配管				●				100φ×3本　150φ×3本
	治療室～操作室　埋設配管				●				100φ×3本
	配線ピット内　仕切り板			●	●				亜鉛メッキ鋼板t=0.5
	配線ピット内(側面)　配線用フック						●	●	@1500㎜　ピッチ、電力線分離のため
	医療用ガス		●						
	各種ポストが干渉した際のダクト、 照明等の移設				●	●			

	工事項目	変更無し	施工区分 カスタマー	建築	電気	空調衛生	医療機器代理店	Accuray	備考
装置室	OAフロア			●					OAフロア深さ200mm以上
	防音対策及び遮音扉			●					ノイズレベル約90dB
	装置用専用分電盤/ブレーカー 装置用3φ3W AC400V若しくは200V55kVA 周辺機器用 1φ3W AC100V50A5kVA				●				電源条件図ご参照ください
	ケーブルダクト （専用分電盤～床ピット）				●				
	情報系コンセント（LAN）		●		●				ネットワーク条件図をご参照ください
	リモートアクセス用回線工事		●		●				ネットワーク条件図をご参照ください
	リモートアクセス用回線契約		●		●				
	除湿機設置					●	●		ドレンは衛生設備、 機器設置は医療機器 ※空調条件を満たす為の除湿器 ではなく予備用とお考えください
	装置用配線用ラック取付け						●		
操作室	OAフロア			●					
	操作卓/椅子		●				●		
	プリンター/スキャナー		●				●		
	情報系コンセント（LAN）		●		●				ネットワーク条件図をご参照ください
	操作室～装置室空配管			●					
治療計画室	OAフロア			●					
	机/椅子		●						
	情報系コンセント（LAN）		●		●				ネットワーク条件図をご参照ください
使用許可関連	使用許可に関わる申請書作成 （原子力規制委員会提出用）		●				●		放射線障害防止法
	施設検査に関わる自主検査 （漏えい線量測定）		●				●		
	各種申請業務		●				●		
	工事写真帳の作成(治療室に関する物)			●					
	鋼材、コンクリート等の品質シート入手 ミルシート及びコンクリート配合表、 試験成績表、法令に基づく必要資料			●					

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	メーカー参考図（放射線機器-1）	意匠
縮　尺	―	日　付 2025/12（令和7年）	A601

1 / A1 機器配置図

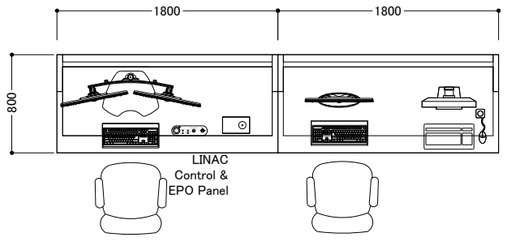
SCALE: 1:50



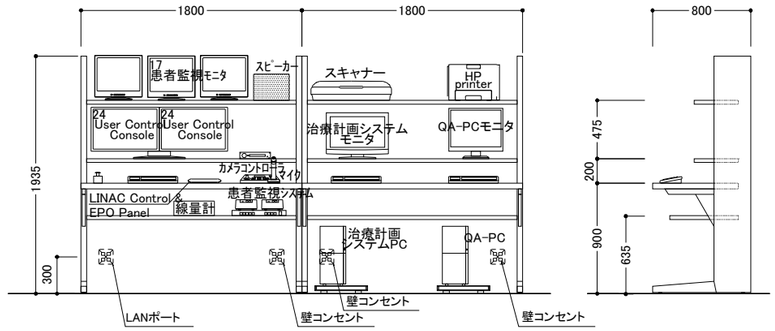
※ #4 X管用高電圧発生装置を治療室内に設置する場合ピット蓋に開口を設けること(CK-A3_2図面参照)

2 / A1 操作室コンソール参考図

SCALE: 1:50



操作室コンソール参考レイアウト(平面図)



操作室コンソール参考レイアウト(正面図)

(側面図)

コンクリート密度	2.10/㎤以上
	床ベースフレーム用　型枠抜き ベースフレーム設置後、埋め戻し工事が必要。 後打ちアンカーが可能である事。(床伏図参照)
床耐荷重	約2000kg/㎡
天井構造	X線管球、ﾋｰﾄｴｸｽﾁｪﾝｼﾞｬｰの設置が可能である事。 一般天井仕上げ、点検口取付(天井伏図参照)
天井高さ	CH＝3000(推奨)
出入口扉	鉛入り扉(自動):鉛厚は遮蔽計算により決定の事。 W1900×開口有効H2100(最小開口寸法W1300×H2050) インターロック用ドアスイッチ付

〔装置室〕

床	OAフロア深さ200mm以上(推奨)
防音処理	90dB程度の音が出るため、防音処理が必要
出入口扉	W1200×H2100(最小開口寸法W900×H2100)

〔搬入経路〕

搬入開口	W1500×開口有効H2100(推奨最小寸法)
耐荷重	2000kg以上

〔空調条件〕※空調条件は機器の故障に繋がる重要事項の為厳守願います。

室名	温度	湿度	装置発熱量(kw/h)	備 考
治療室	10～24℃	30%以上～75%以内	1.39	単独空調 24時間運転
装置室	21℃以下	30%以上～70%以内	10.23	
操作室	15～30℃	30～75%	4.41	―――

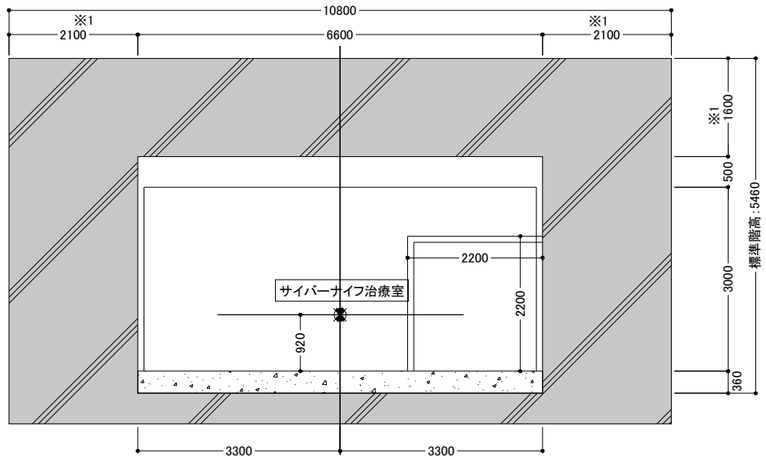
※治療室・装置室ともに結露無きこと

Item	機器名称	Size L x W x H /mm	Weight /kg
1a	マニピュレータ	2807 x 1428 x 2728	2094
1b	エックス線ヘッド	1aに含む	330
1d	ティーチペンダント	330 x 254 x 76	1.36
2	ディテクタ	2794 x 724 x 267	430.3
3a	X線管球(2台)	506 x 358 x 405	73×2
3b	X線管用オイルクーラ(2台)	244 x 232 x 121	6.13×2
4	X線管用高電圧発生装置(2台)	609 x 381 x 685	150
5	標準治療台	2260 x 560 x 970	159
6	シンクロニー検出器	915 x 457 x 1905	11.34
7c	ロボカウチ2(オプション)	2565 x 1194 x 2413	1814
8	エクスチェンジコリメータスタンド(オプション)	1290 x 736 x 1290	133
9	ユーザーコントロールモニタ	556 x 409 x 40	7.6
10	ユーザーコントロールモニタ2	556 x 409 x 40	7.6
11	オペレータパネル	381 x 254 x 152	2
12	サイバーナイフ用コントロールキーボード	N/A	2
13	コントローラー(マニピュレータ用)	584 x 813 x 1550	185
14	AMMラック	1020 x 808 x 2080	528
15	コンピュータラック	965 x 635 x 1803	305
16	電源部(PDU)	965 x 635 x 1295	434
17	メカニカルラック	965 x 635 x 1803	240
18	コントローラー(ロボカウチ用)	600 x 790 x 1550	150
19	治療計画システム筐体 モニター	575 x 190 x 432 556 x 409 x 228	21 7.6
20	プリンタ	457 x 480 x 399	27
―			

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 メーカー参考図 (放射線機器-2)		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12 (令和7年)	A602

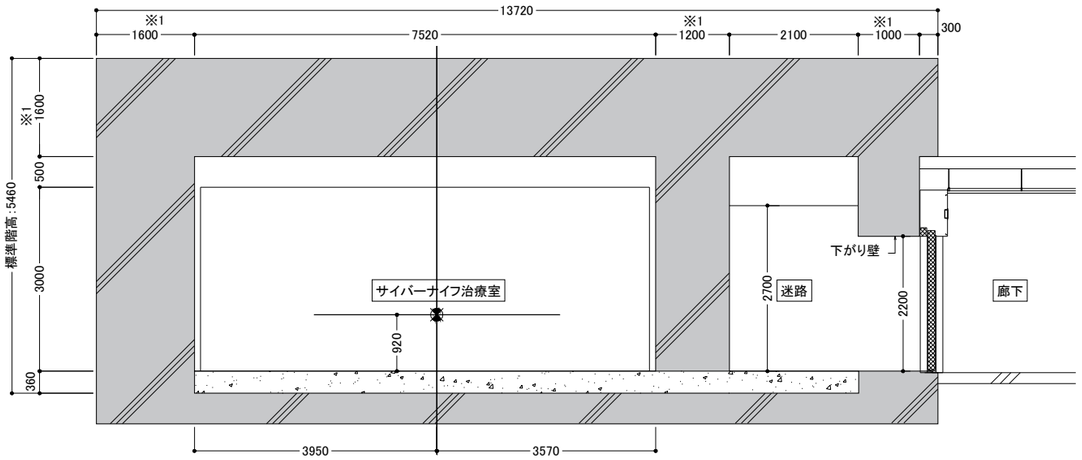
1 A2 断面図 E

SCALE: 1:50



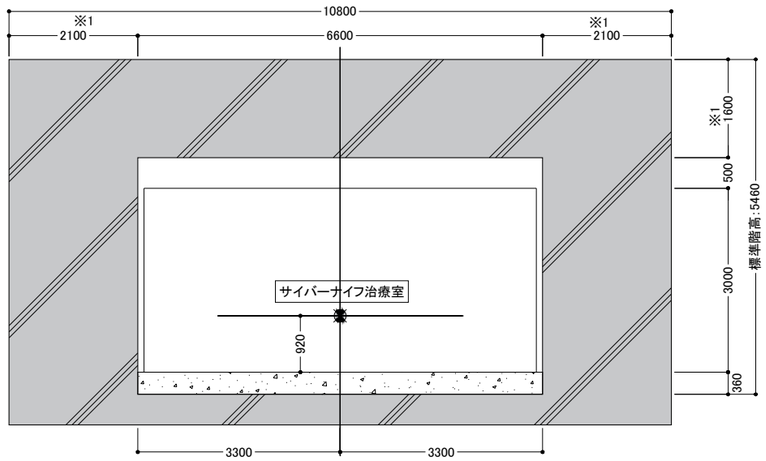
2 A2 断面図 N

SCALE: 1:50



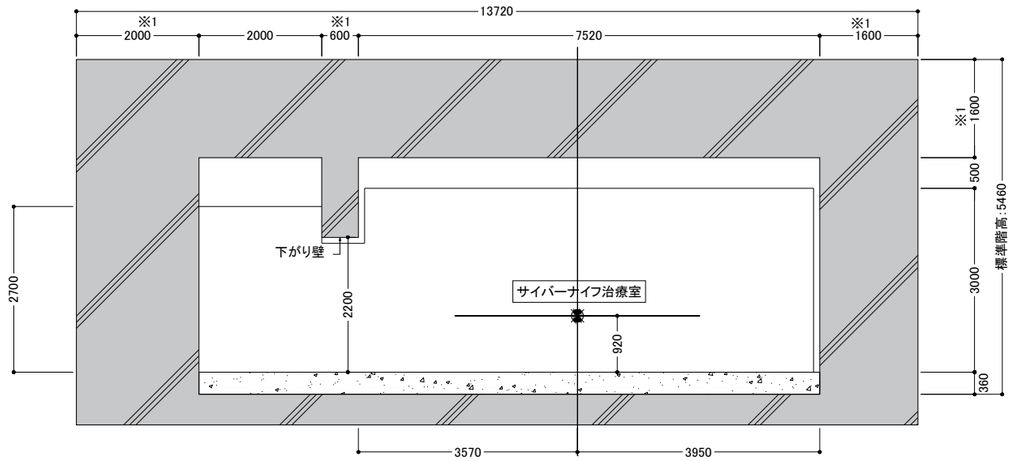
3 A2 断面図 W

SCALE: 1:50



4 A2 断面図 S

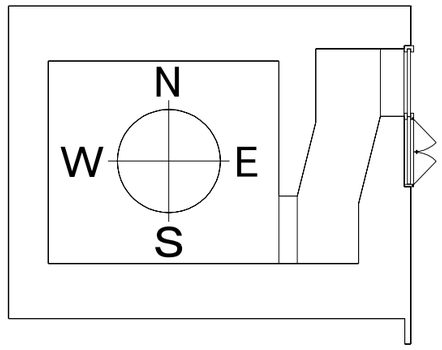
SCALE: 1:50



【コンクリート密度:2.10g/cm^{3}以上】
※断面図の階高は、標準的な高さです。ご指示により変更が可能です。
※階下に人が立ち入る恐れがある場合は、床下にも遮蔽の検討が必要です。

※1 この部分のコンクリート厚みは参考であり、最終的には機器使用条件を
打合せの上遮蔽計算を行い遮蔽材の厚みを決定する必要があります。

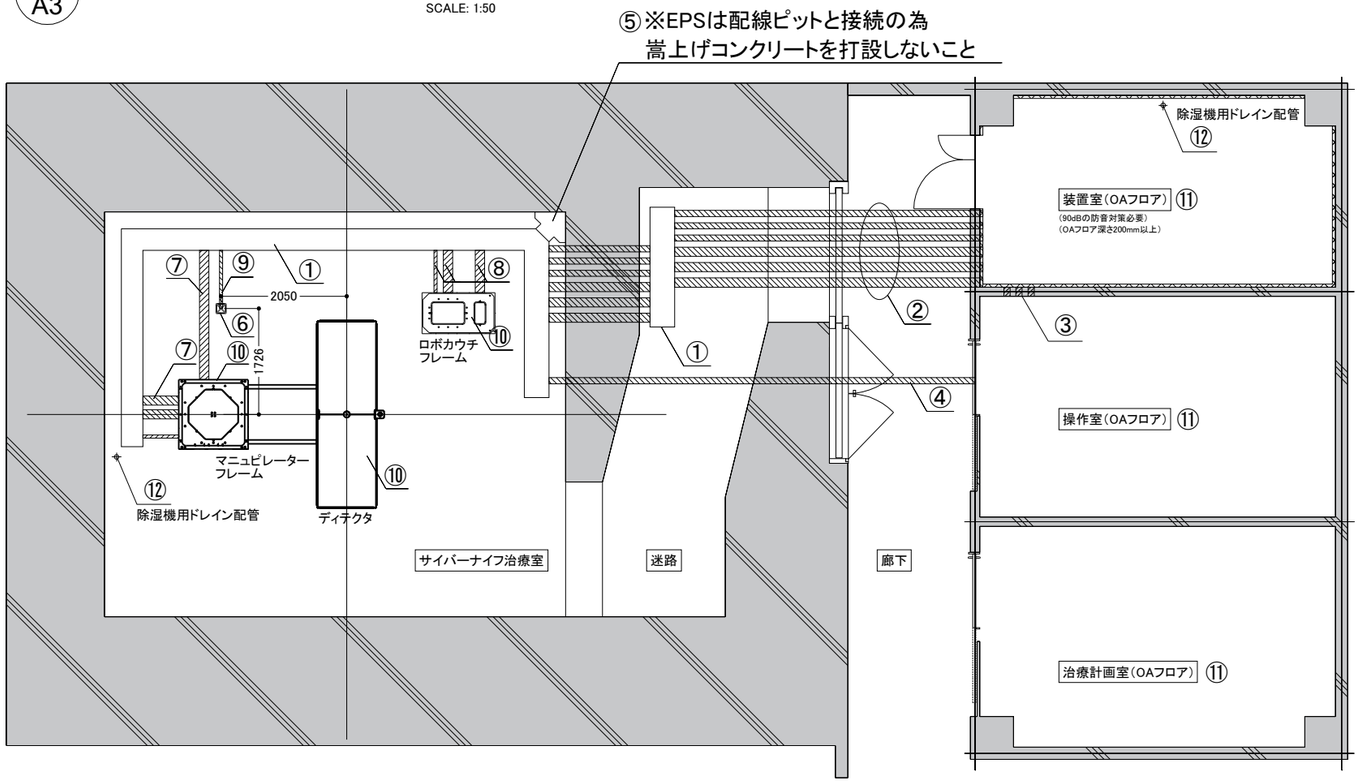
5 A2 キープラン



件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 メーカー参考図（放射線機器-3）		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12（令和7年）	A603

1 A3 配線配管・配線ピット図面

SCALE: 1:50



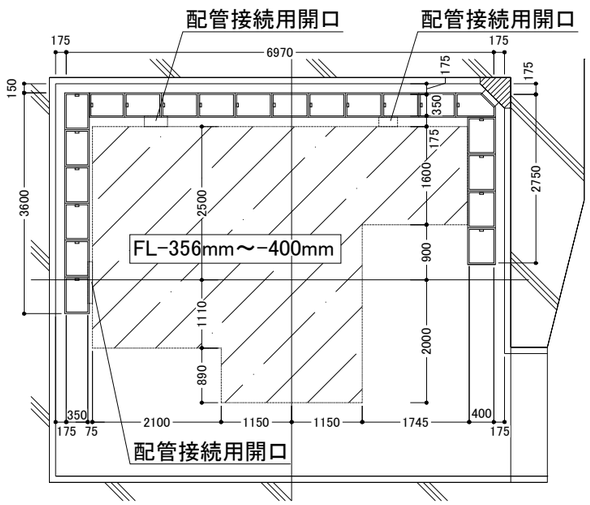
サイバーナイフ治療室　一部装置室・操作室				
番号	機器名	寸法(mm)	施工	数量
①	配線ピット(蓋付)	W350・W400×H360	建築	1台
②	配線用埋設配管(装置室～治療室)	φ100×3・φ150×3	電気or設備	計6本
③	配線用埋設配管(装置室～操作室)	φ100×3	電気or設備	3本
④	配線用埋設配管(治療室～操作室)	φ100	電気or設備	1本
⑤	EPS:天井裏と配線ピットをつなぐ配線ルートを設ける事	W300×D150	建築	1ヶ所
⑥	配線用プルボックス	□200×H360	電気or設備	1台
⑦	配線用埋設配管(治療室内)	φ60×1・φ150×3	電気or設備	1ヶ所
⑧	配線用埋設配管(治療室内)	φ60×1・φ150×2	電気or設備	1ヶ所
⑨	配線用埋設配管(治療室内)	φ50×1	電気or設備	1ヶ所
⑩	ベースフレーム	3種類	メーカー	1台
⑪	OAフロア(ケーブルを立上げる為に壁際はパーティクルボードが望ましい)		建築	
⑫	除湿機用ドレイン配管	φ50	設備	2箇所

※装置ケーブルの長さには制限がございますので担当者に相談下さい。

※フロアピットは機器の納入が未定の場合、改修工事の場合に造るもので
通常はシンダーコンクリート打設時に合わせて設置致します。

2 A3 機器設置用ピット図

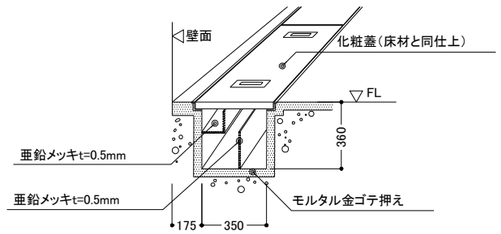
SCALE: 1:50



3 A3 配線ピット姿図

SCALE: 1:50

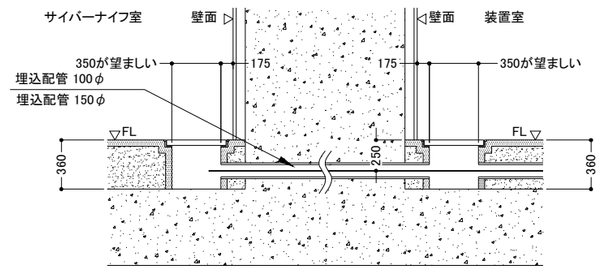
① 配線ピット（化粧フタ付）（建築工事）
W350×D360



4 A3 埋設配管断面図

SCALE: 1:50

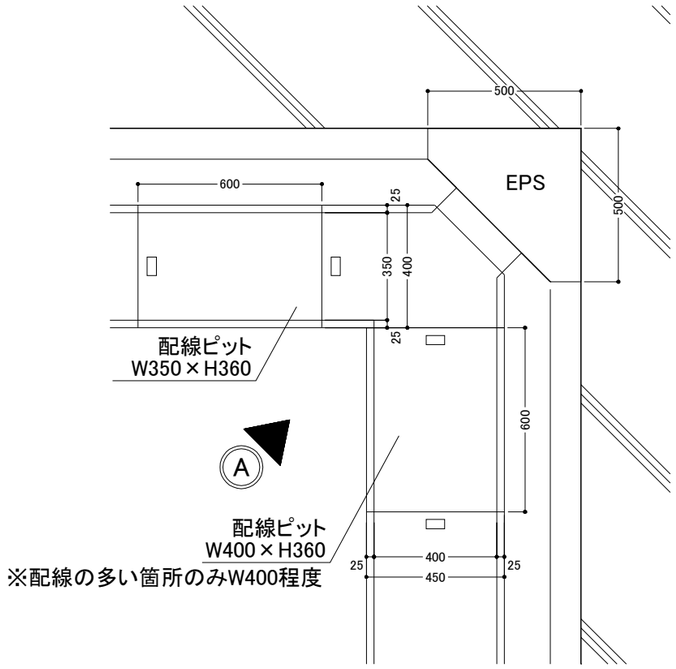
② 配線用埋込配管（装置室～治療室間の貫通部分）（電気or設備工事）
管径×本数：φ100×3本　　φ150×3本
埋込深さ　：FL−200（配管取付中心）



件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	メーカー参考図（放射線機器-4）	意匠
縮　尺	図示	日　付 2025/12（令和7年）	A604

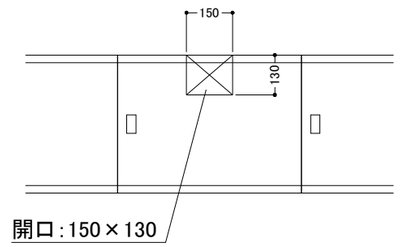
1 A3_2 EPS・配線ピット詳細図

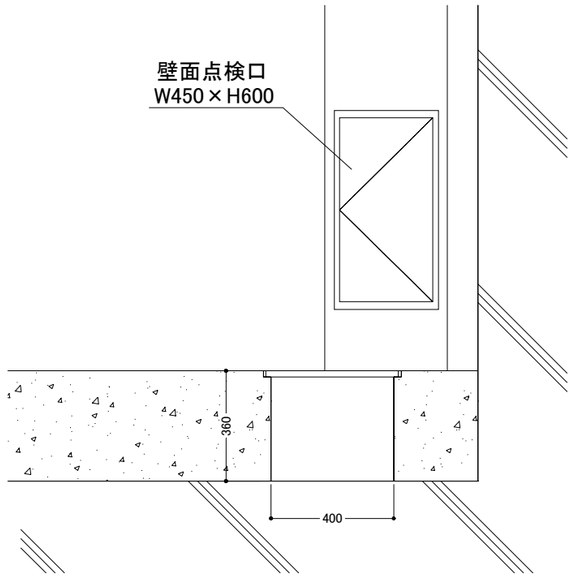
SCALE: 1:10



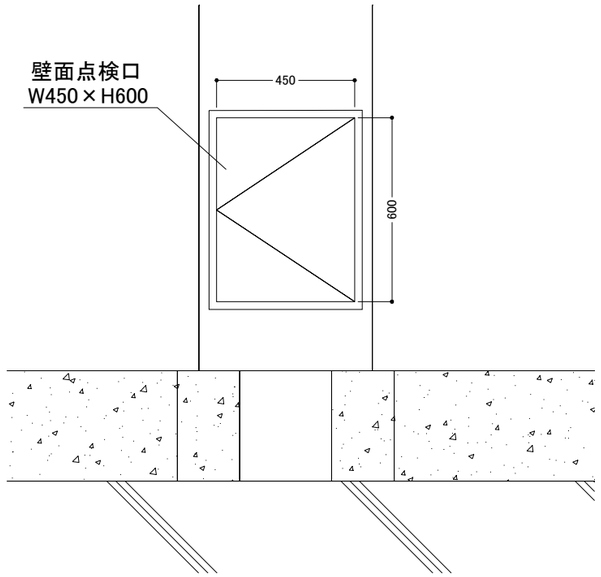
平面図

＃4 X管用高電圧発生装置用 ピット蓋 詳細図





立面図

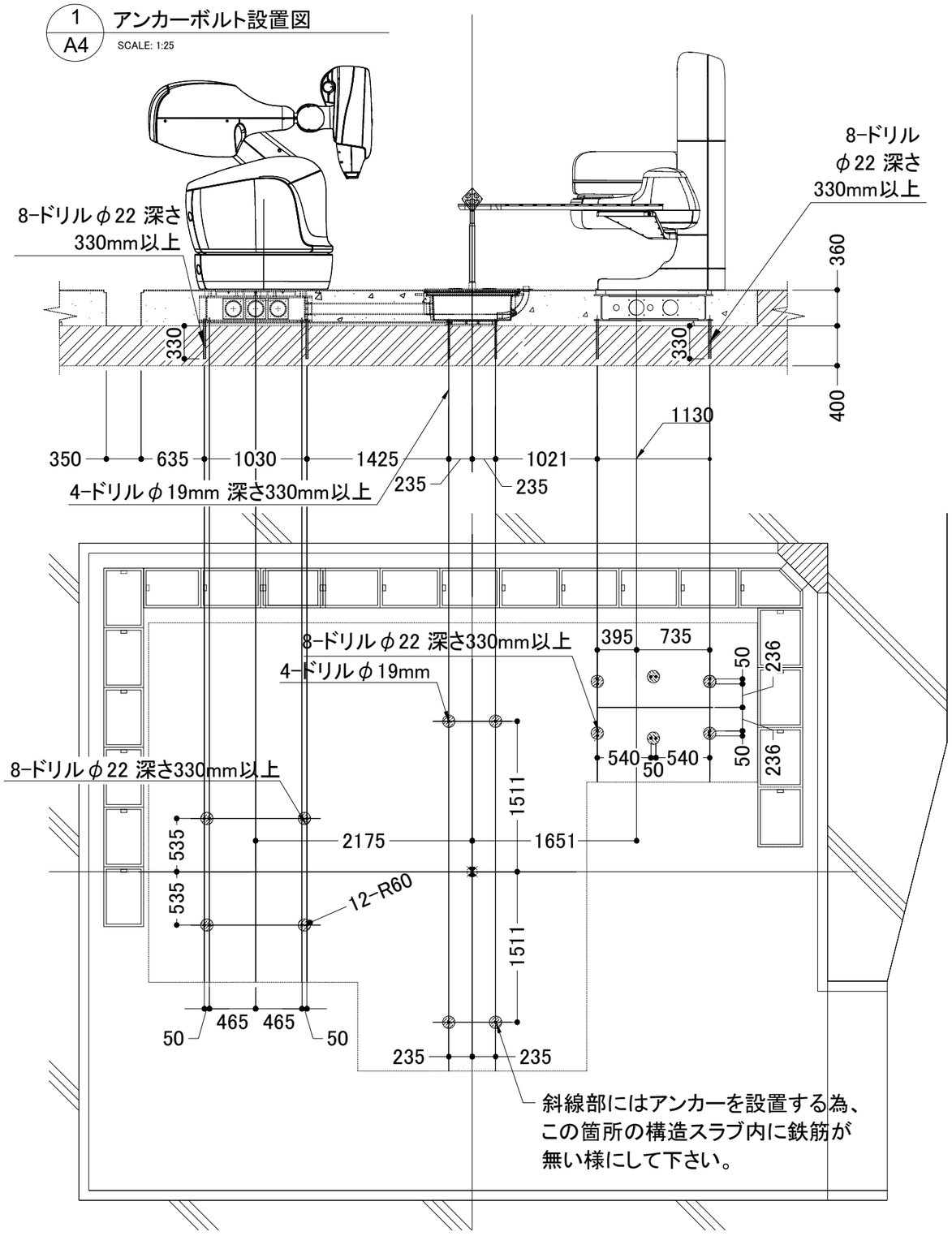


A 矢視図

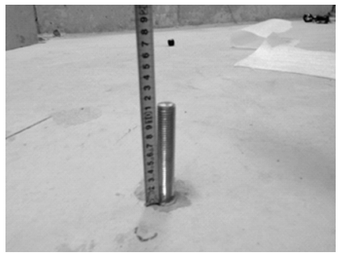
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 メーカー参考図（放射線機器-5）		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12（令和7年）	A605

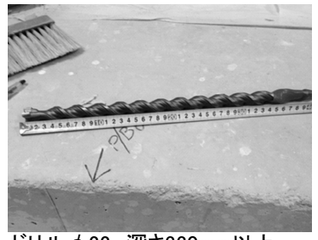
1 A4 アンカーボルト設置図

SCALE: 1:25



※正確なアンカー位置出しの為、底面は不陸整生のこと

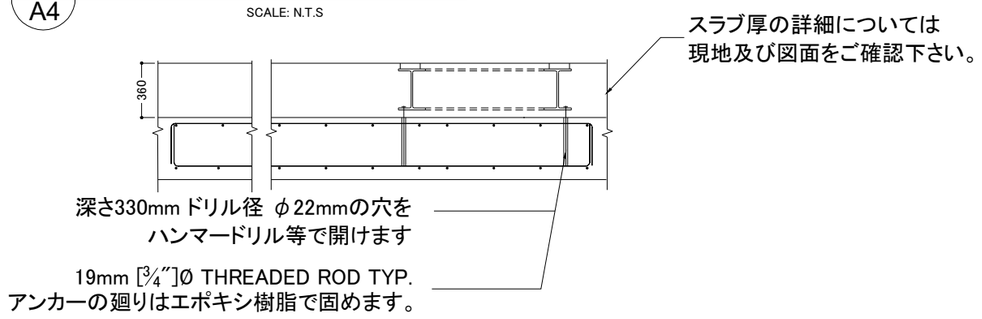




ドリル φ22、深さ330mm以上

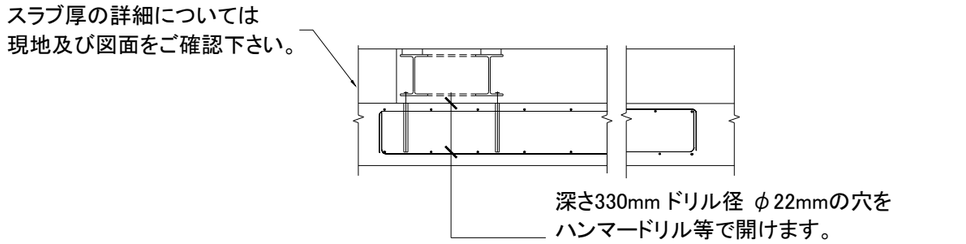
2 A4 ロボットフレーム設置図

SCALE: N.T.S

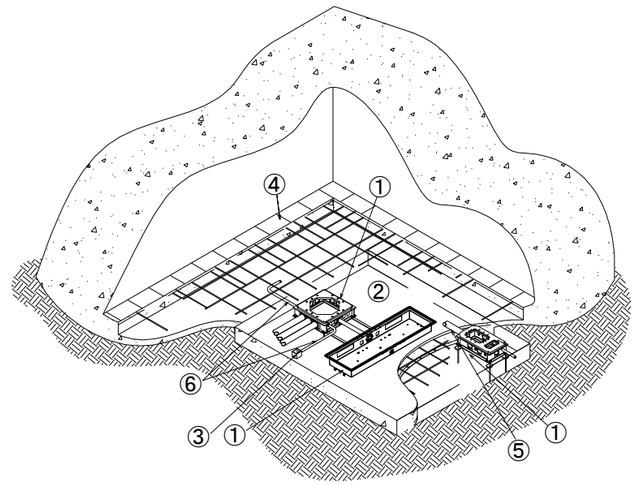


3 A4 ロボカウチフレーム 設置図

SCALE: N.T.S.



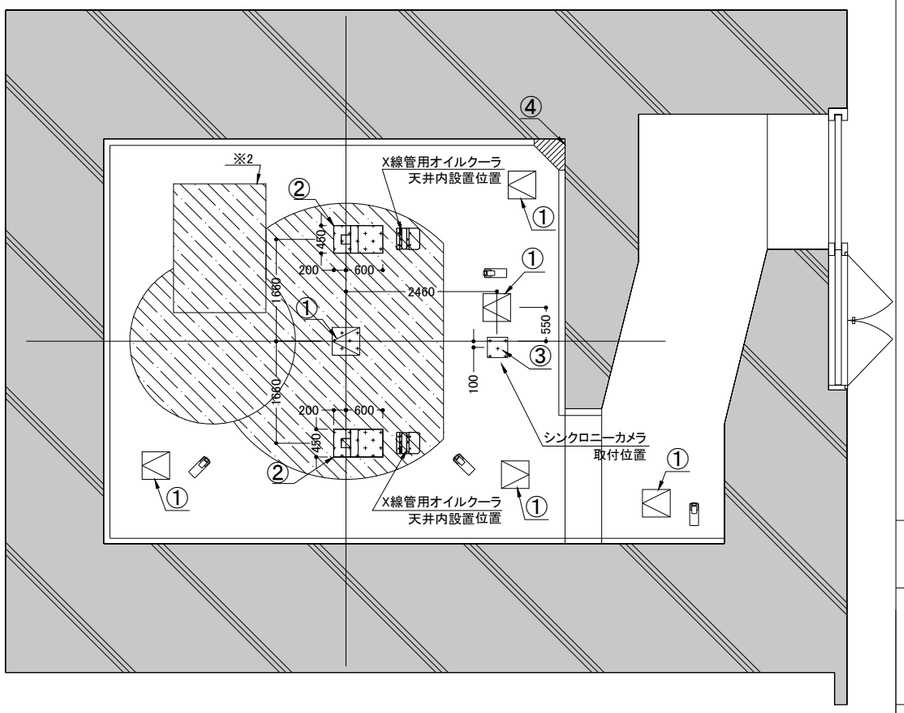
①ベースフレーム	②フロアーピット
③配線引出しボックス（□200×H360）	
④配線ピット（W350×H360）	
⑤埋設配線（150φ、50φ）	
⑥埋設配線（50φ）	



件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 メーカー参考図（放射線機器-6）		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12（令和7年）	A606

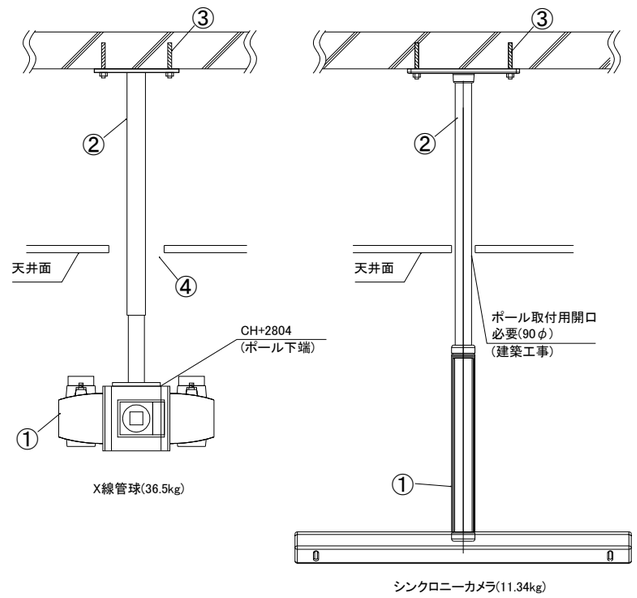
1 / A5 天井伏図・天吊り器具図

SCALE: 1:50



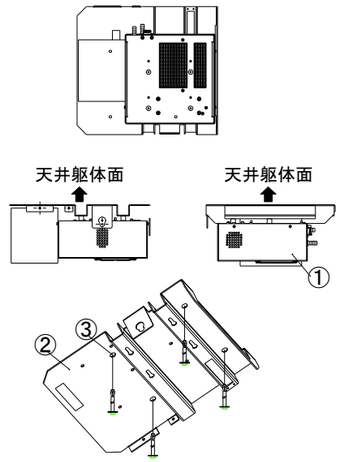
サイバーナイフ治療室				
NO	機　器　名	寸法(mm)	施工	数量
①	天井点検口	450角	建築	6箇所
②	X線管球取付用点検口3分割型(CK-A5_2 詳細図参照)	800×450	建築	2箇所
③	ポスト取付後φ90の開口		建築	1箇所
④	EPS （天井裏と配線ピット間に配線ルートを設ける）	W450×D200	建築	1箇所
□	天井面の照明器具取付不可範囲		電気	4箇所
▨	X線管球、シンクロニ検出器、X線管用オイルクーラの取付を行うための天井スラブ面に、ダクト・配管・軽鉄の障害物がない事。			

天井吊　X線管球・シンクロニー検出器図



※機器取付面に軽鉄、配管の障害物がない事

X線管用オイルクーラ見取図



①X線管用オイルクーラ（天井懐内）

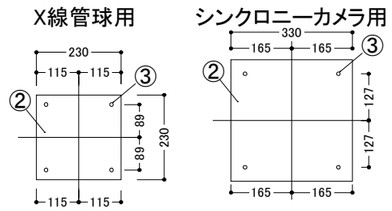
※機器取付面に軽鉄、配管の障害物がない事

②機器取付用プレート

③アンカーボルト 3/8'×4本(2箇所：計8本)

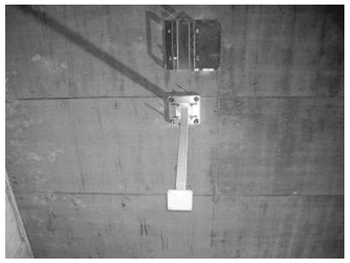
① X線管球、シンクロニ検出器	Accuray＆医療機器代理店工事
② X線管球取付用支持ポスト、シンクロニ検出器取付用ポスト ※スラブ～天井スラブ迄の高さが3800mmを超える場合は架台の取付を行います。	
③ アンカーボルト 3/8'×4本（3箇所：計12本）	
④ X線管球取付用開口 天井切り欠き口150　化粧見切り仕上（建築工事）	建築工事

天井スラブ取付ベース図

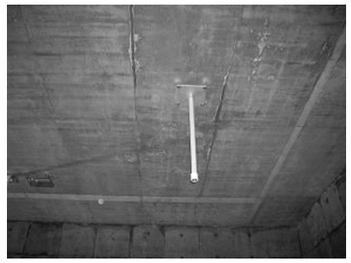


※機器取付面に軽鉄、配管の障害物がない事

X線管球取付用支持ポスト



シンクロニーカメラ取付用支持ポスト

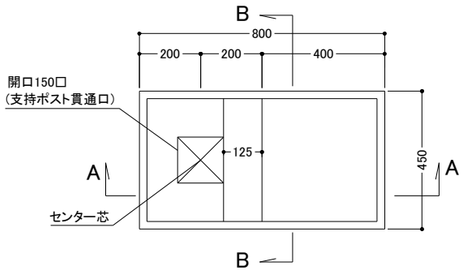


X線管球/X線管用オイルクーラ取付状況

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	メーカー参考図（放射線機器-7）	意匠
縮　尺	図示　　日　付 2025/12（令和7年）	A607

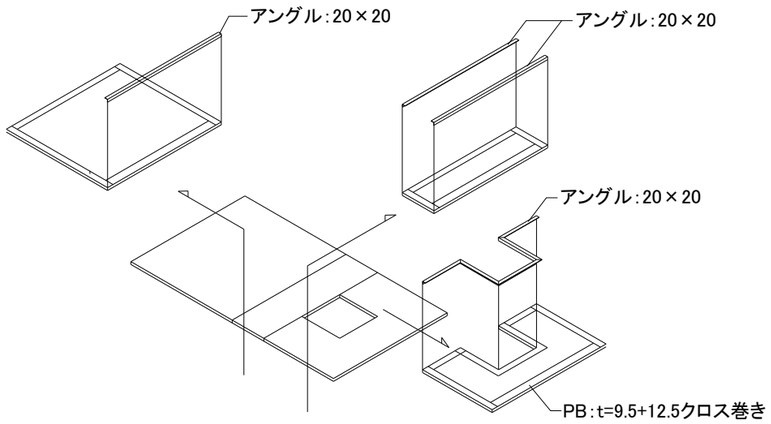
1 A5_2 X線管球取付点検口3分割型

SCALE: 1:10

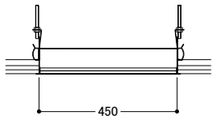


＜X線管球取付点検口3分割型＞

＜X線管球取付点検口 スケッチ＞



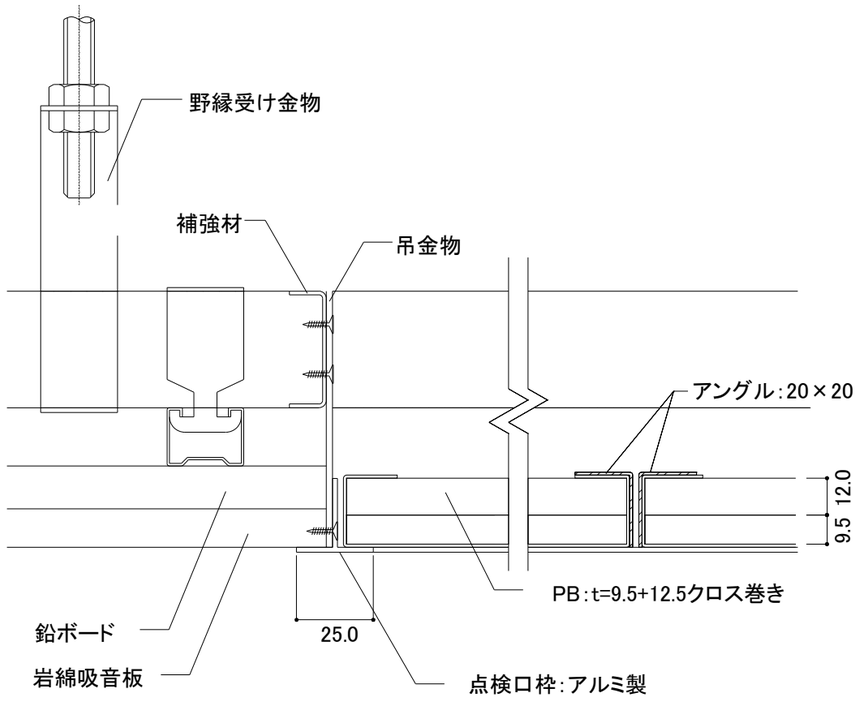
A-A断面図



B-B断面図

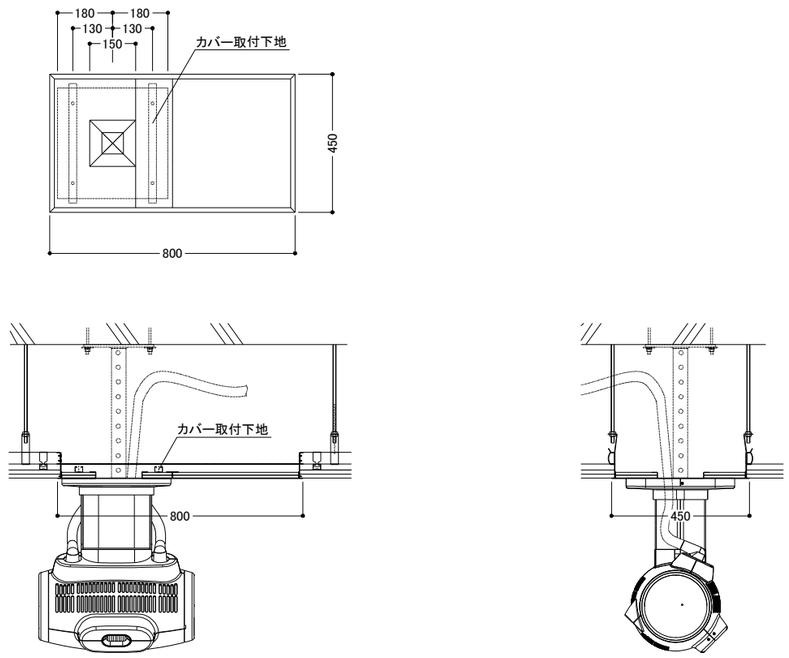
2 A5_2 X線管球取付点検口3分割型詳細図

SCALE: 1:1



2 A5_2 X線管球取付詳細図

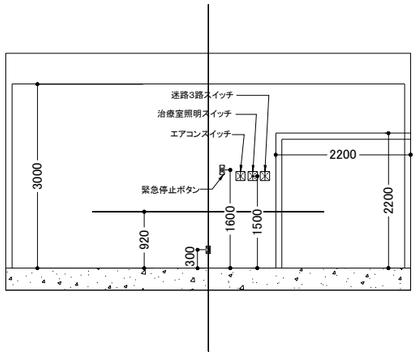
SCALE: 1:10



件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 メーカー参考図（放射線機器-8）		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12（令和7年）	A608

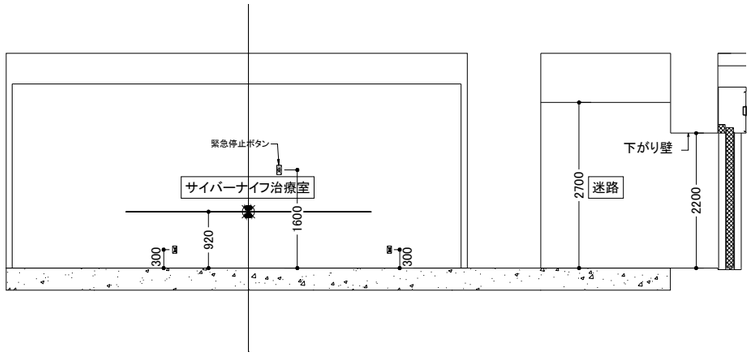
1 A2 断面図 E

SCALE: 1:50



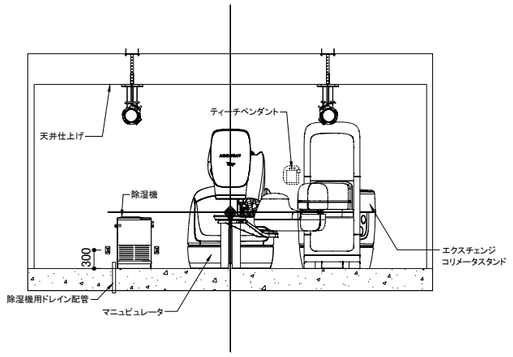
2 A2 断面図 N

SCALE: 1:50



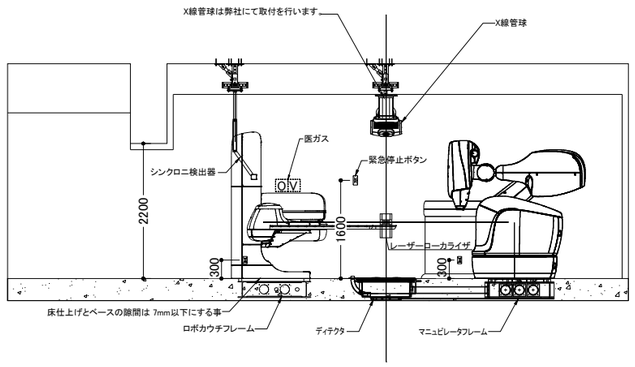
3 A2 断面図 W

SCALE: 1:50

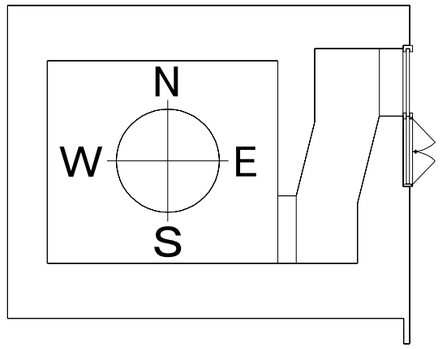


4 A2 断面図 S

SCALE: 1:50



5 A7 キープラン



件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 メーカー参考図（放射線機器-9）		意匠
縮 尺 図示	日 付 2025/12（令和7年）	A609

＜特記事項＞

①電源仕様

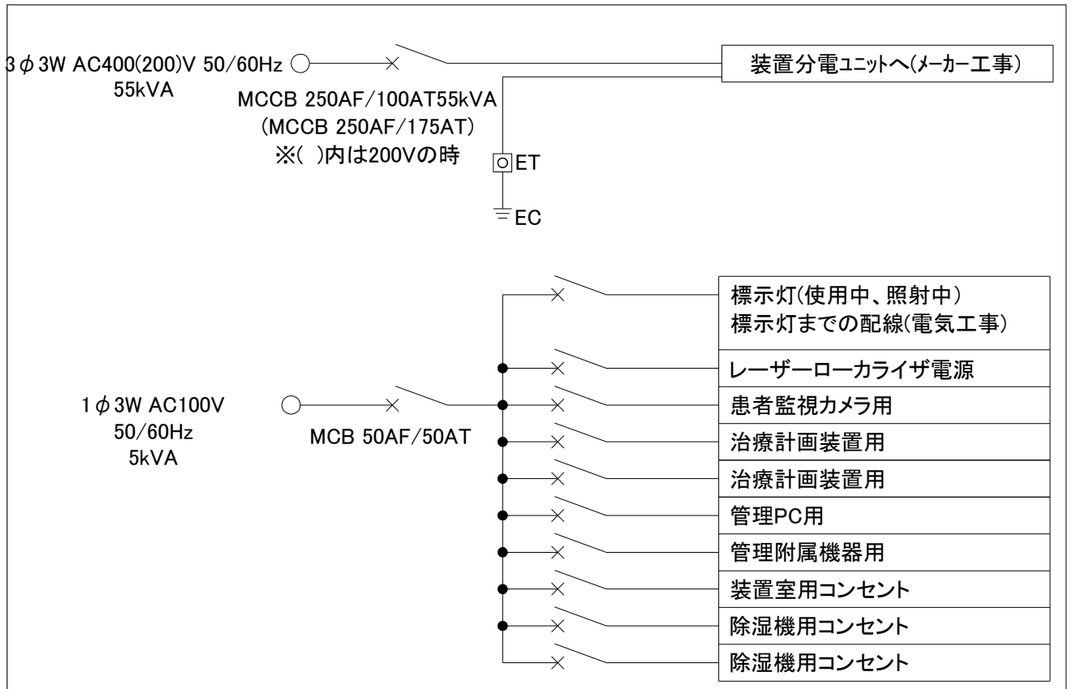
サイバーナイフ本体　3φ3W　AC400V若しくはAC200V　55kVA 変動率5%以下

周辺機器(付属品)　1φ3W　AC100V 50/60Hz　5kVA

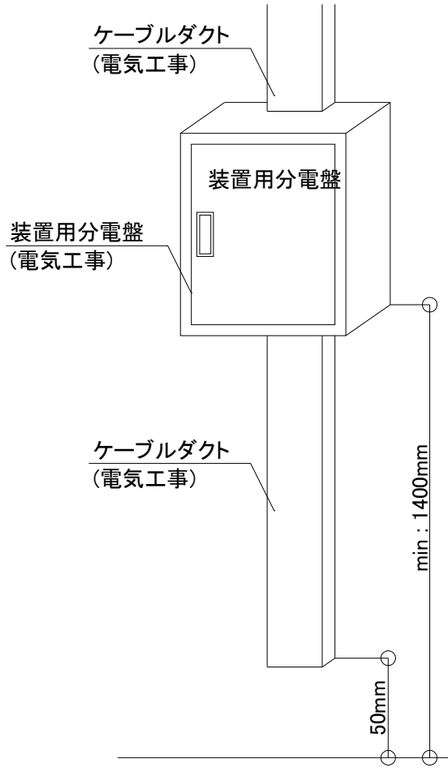
※周辺機器には病院殿で用意される機器及びサービスコンセントは含まれておりません。

②接地仕様

専用接地幹線　C種



装置用分電盤結線図(参考)



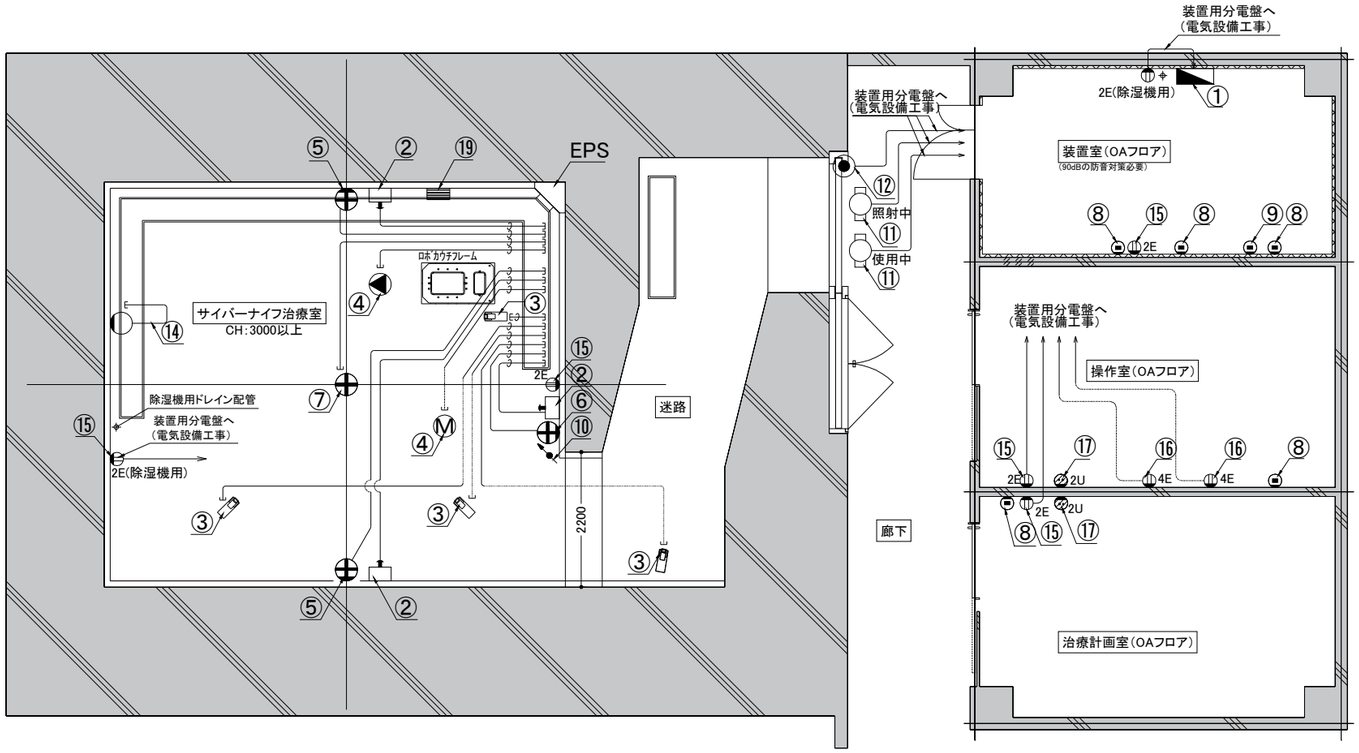
③ケーブルダクトと配線ピットの接続部は必要に応じてピット蓋または
ケーブルダクト下部を切り欠くこと。

④装置用分電盤から装置側の分電ユニット(システムトランス)へ接続し、
各ユニットに必要な電源を分配する。(メーカー側工事)

件　名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図　名	メーカー参考図（放射線機器-10）	意匠
縮　尺 ―	日　付 2025/12（令和7年）	A610

1/E2 電気・設備詳細図

SCALE: 1:50



番号	記号	仕　様	施工	数量 治療室	装置室	操作室	治療計画室
①		装置用電源盤仕様 電圧:3φ3W AC400V　主開閉器容量:100 電圧変動率:5%以下　容量 :55kVA アース　:C種単独 ※装置電源とは別に、操作室内に周辺機器用として AC100V5kVAの電源が必要となります。	電気		1ヶ所		
②		緊急停止スイッチ スイッチボックス:1個用(カバープレート付) 2wスイッチ×(治療室3箇所) 配線用空配管:PF22(配線ピットへ、呼び線入り) 取付高:FL+1600	電気	3ヶ所			
③		患者監視カメラ用 配線用空配管:PF22(配線ピットへ、呼び線入り)	電気	4ヶ所			
④	M	天井埋め込みスピーカー、天井埋め込みマイク用 配線用空配管:PF22(配線ピットへ、呼び線入り)	電気	各1ヶ所			
⑤		レーザーローカライザ用(サイド2箇所) スイッチボックス:1個用(カバープレート付) 配線用空配管:PF22(配線ピットへ、呼び線入り) 取付高:FL+920	電気	2ヶ所			
⑥		レーザーローカライザ電源スイッチ用 スイッチボックス:1個用(カバープレート付) 配線用空配管:PF22(配線ピットへ、呼び線入り) 取付高:FL+1300	電気	1ヶ所			
⑦		レーザーローカライザ用(天井1箇所) 配線用空配管:PF22(配線ピットへ、呼び線入り)	電気	1ヶ所			
⑧		LANポート プレート取付高:FL+300	電気	詳細に関しましては、 I.T.ネットワーク図面 CK-N1 をご参照ください。			
⑨		リモートアクセス用LANポート プレート取付高:FL+300	電気				
⑩		照明用調光器(治療室) 治療室内の調光が可能なこと。取付高:FL+1300	電気	1ヶ所			
⑪		標示灯(使用中、照射中)　FL+2350 電源配線、装置用分電盤付近のOAフロア内へ (3m余長)無電圧にて配線	電気	出入口 上部 各1ヶ所			
⑫		インターロック用　ドアスイッチ回路 取付高:治療室出入口扉上部 扉閉鎖時に閉路、開放時に開路(無電圧 A接点) 配線、装置用分電盤付近のOAフロア内へ(3m余長)	電気	出入口 上部 1ヶ所			
⑬		ロボカウチコントローラ用 スイッチボックス:1個用(カバープレート付) 配線用空配管:PF22(床ピットへ、呼び線入り) 取付高:FL+1300	電気	1ヶ所			
⑭		ティーチペンダント用 スイッチボックス:1個用(穴あきカバープレート付) 配線用空配管:PF28(床ピットへ、呼び線入り) 取付高:FL+1500	電気	1ヶ所			
⑮	2E	アース付2口コンセント	電気	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
⑯	4E	アース付4口コンセント	電気			2ヶ所	
⑰	2U	医療用2口コンセント(発電機)	電気			1ヶ所	1ヶ所
⑱	4U	医療用4口コンセント	電気				
⑲		医療用ガス	電気	1ヶ所			

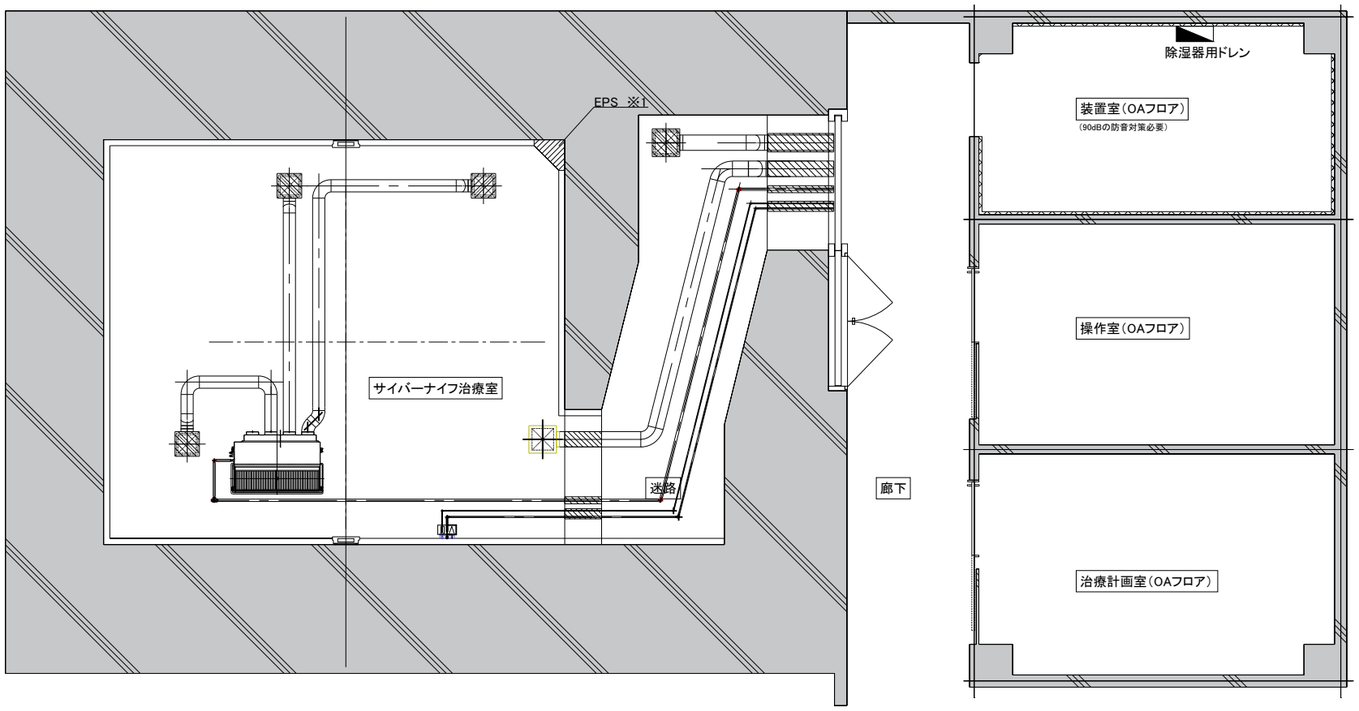
治療室内照明について

操作室の照明器具はルーバー式を推奨。治療室の照明は患者の目に入らないよう配慮する事。
（病院殿と打合せの事。）

医療用ガスについて

医療用ガスの必要性、取付け位置(高さ等)は病院殿と打合せの事。

件　名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名 メーカー参考図（放射線機器-11）		意匠
縮　尺 図示	日　付 2025/12（令和7年）	A611



参考

〔空調条件〕※空調条件は機器の故障に繋がる重要事項の為厳守願います。

室名	温度	湿度	装置発熱量(kw/h)	備 考
治療室	10～24℃	30%以上～75%以内	1.39	単独空調 24時間運転
装置室	21℃以下	30%以上～70%以内	10.23	
操作室	15～30℃	30～75%	4.41	―――

※治療室・装置室ともに結露無きこと

〔治療室〕 （参考）

発熱量	1.39KW
空調機器	・中温用空調機 LSGYP5F （P140形） 24時間交互運転70%
除湿機	RK－NP08PV 24時間運転70%以下

〔装置室〕 （参考）

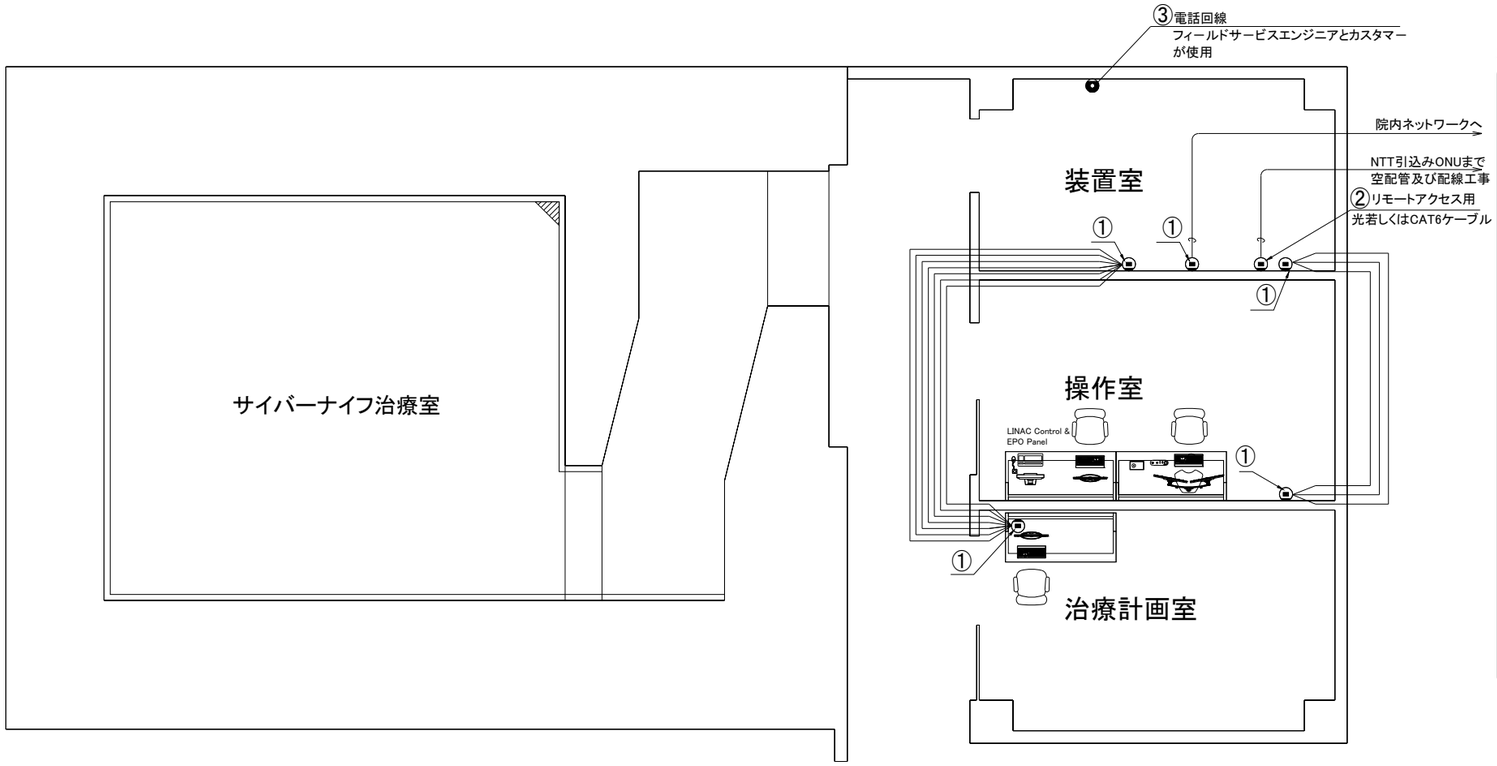
発熱量	10.2KW
空調機器	・中温用空調機（リモートサーモをつけること。） LSGYP5F （P140形） 24時間運転（1台予備）
除湿機	RK－NP08PV 24時間運転70%以下

※空調機器・除湿機の排水ドレンについては排水配管に接続すること。
※漏水によるトラブルを防ぐため、空調機器が床置きの放射線機器にかぶらないこと。やむを得ない場合はドレンパンなどを設置してください。

〔空調制御〕サイバーナイフ治療室、装置室）

空調制御器	バックアップ交互運転方法 ・リモコン　スケジュール運転 曜日毎　交互運転設定 （日、火、木、土）（月、水、金） ・故障信号取り出しバックアップ強制運転

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図 名 メーカー参考図（放射線機器-12）		意匠
縮 尺 ―	日 付 2025/12（令和7年）	A612



1
N1

I.T.ネットワーク図

SCALE: 1:50

番号	記号	名　称	仕　　様	個　　数	施工区分
①	⊕	LANポート	Category6のケーブルを推奨致します。 プレート取付高：FL+300	・最大3本(装置室～操作室) ・最大7本(装置室～治療計画室) ・最小1本(装置室～院内ネットワーク)	電気工事
②	⊕	LANポート	装置室LANポートから引き込みONU迄100m以上離れる場合は光ケーブルで接続が必要となります。 プレート取付高：FL+300	・最低1回線(装置室～ONU)	カスタマー Or電気工事
③	●	電話回線	必須ではございませんが、 フィールドサービスエンジニアが メンテナンス時に使用できる電話機をご提供ください。	・1回線(装置室)	カスタマー

ネットワーク要綱につきまして

1. 次の用途の固定IPアドレスが5つ必要です。
   a.Precision 2台に接続するIPアドレスを2つ
   b.ファイアウォール管理のIPアドレスを1つ
   c.予備用にIPアドレスを2つ

2. 装置室から操作室へは3つのLAN配線を行う事を希望致します。
   a.Precision 用に1つ
   b.フィールドサービスエンジニアアクセス用に1つ
   c.品質管理PC用に1つ

3. 装置室から治療計画室へは7つのLAN配線を行う事を希望致します。
   a.Precision 用に2つ
   b.プリンタ用に1つ
   c.Administration Workstation用に1つ
   （以前のシステムからの入替えをされるお客様のみ）
   d.Multi Plan MD Suite用に1つ
   （オプションで購入をされるお客様のみ）
   e.将来のアップグレード用に2つ

4. ネットワーク環境はCategory 6 cable,1Gbps(1000Mbps)でお願いします。

5. 院内ネットワーク(医療用画像管理システム)からはCT,MRI,PET,Angioのイメージを取得する事が出来ます。※少なくとも院内ネットワークからはCT画像が取得出来る環境が必要となります。

6. その他詳細につきましてはI.T.ネットワークガイドを参照下さい。

※LANの口数は「アキュレイ製品の導入に必要な口数」及び
「リモートアクセスを利用する場合の口数」のみを考慮しております。
RISや他の治療計画装置の端末を置くことを想定して口数を設定しておりません。

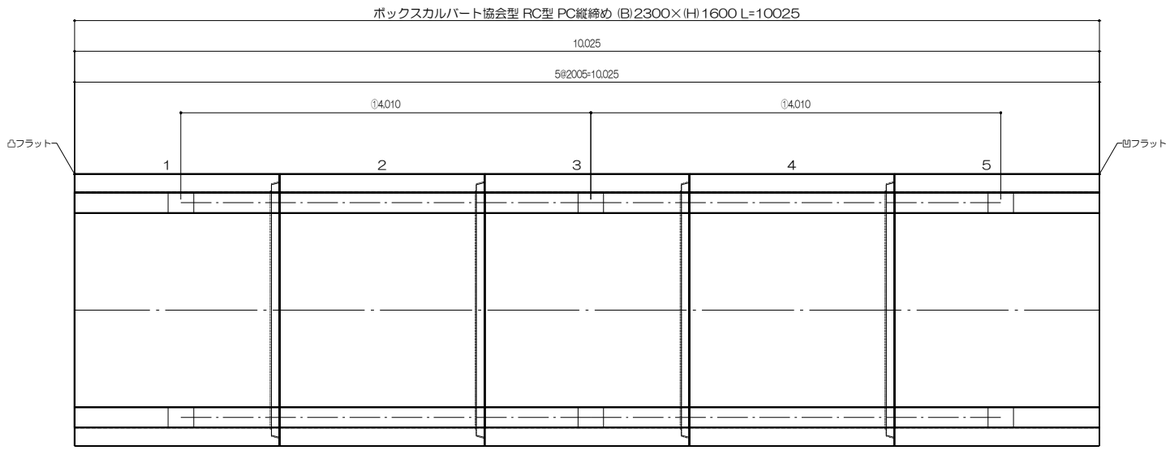
リモートアクセス要綱につきまして

1. リモートアクセスを利用する場合、外部アクセスが可能な院内ネットワーク若しくはインターネット回線をご用意下さい。
   ※装置室LANポート迄100m以上離れる場合は、光ケーブルでの接続が必要です。

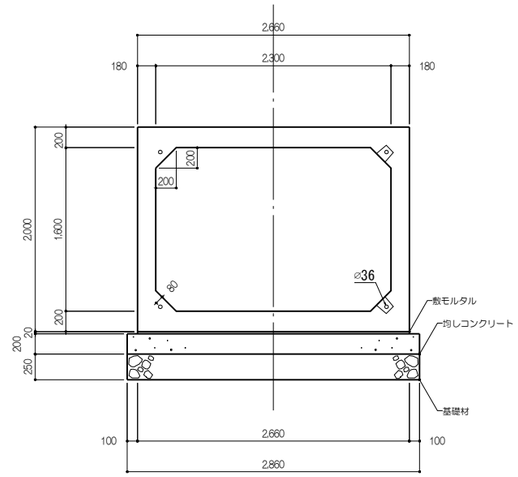
2. 次の用途の固定IPアドレスが2つ必要です。
   a.CyberKnifeSystemのリモートアクセスルーター管理用のIPアドレスを1つ
   b.CyberKnifeSystemの転送用IPアドレスを1つ
   （院内のインターネット回線を利用する場合）

3. リモートアクセスを行う為には、特定のパブリックIPアドレスへのアクセス権が必要です。特定のアウトバンドIPアドレス及びポートを病院のゲートウェイにて開く必要があります。詳細に関しましては別紙リモートアクセス導入提案書をご確認ください。

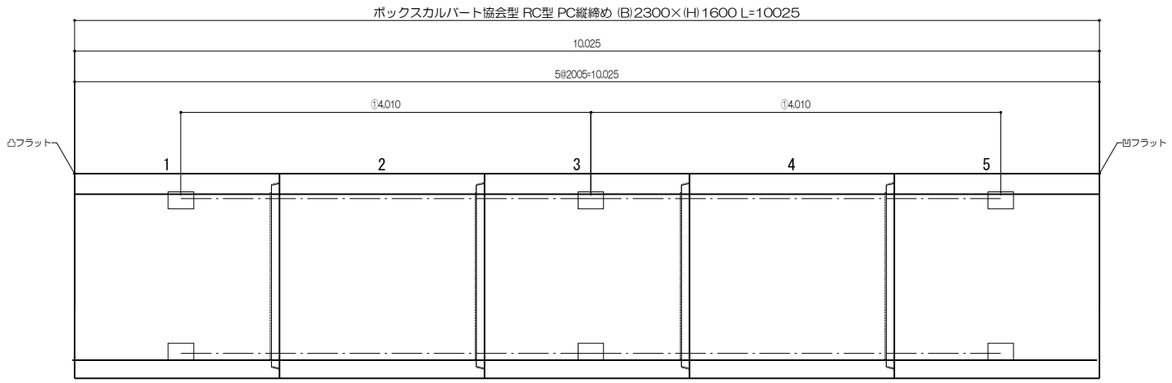
件　名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図　名 メーカー参考図（放射線機器-13）		意匠
縮　尺 図示	日　付 2025/12（令和7年）	A613



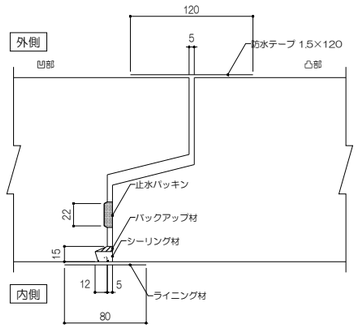
平面配列図



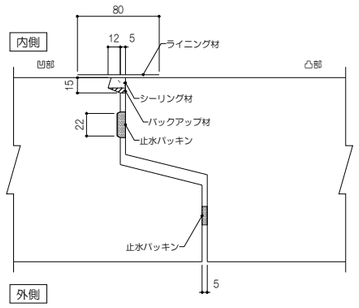
PC標準部 PC定着部



側面配列図



頂版・側壁 詳細図 S=1/3



底版 詳細図 S=1/3

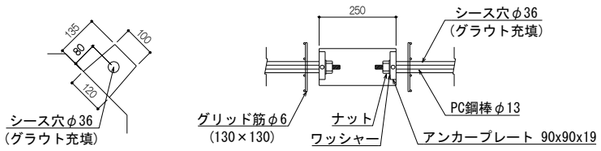
製品数量表

一式当り

製品番号	サイズ B × H × L	規格	数量	参考質量	摘要
RPCA-全国ボックスカルバート協会型 RC型 T-245 PC縦締め					
-	2300 × 1600 × 2000	標準	2 本	8600 kg	
1	2300 × 1600 × 2000	定着用 凸フラット	1 本	8600 kg	
3	2300 × 1600 × 2000	定着用	1 本	8600 kg	
5	2300 × 1600 × 2000	定着用 凹フラット	1 本	8600 kg	
		合計	5 本		

※L寸法は通水面距離とする。

100254019-1-C-9-20250902

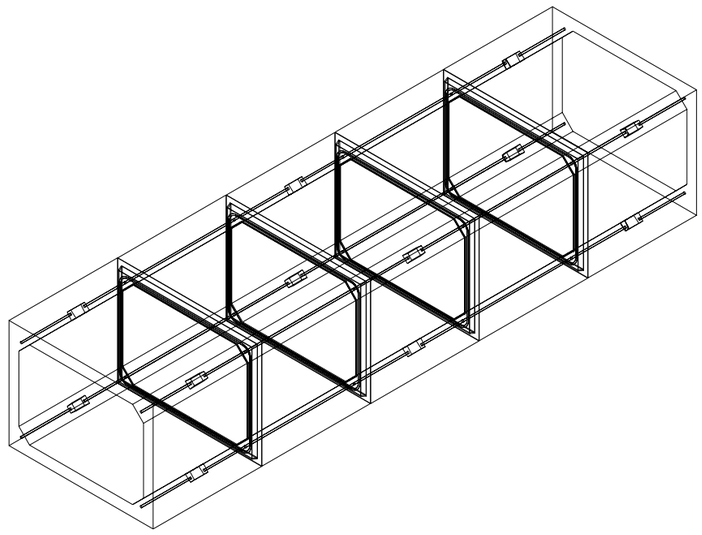


定着部詳細図 S=1/10

PC縦締め材料表

一式当り

縦締め区間	締め付力	区間数	延長	PC鋼棒 φ13 B種 1号	アンカープレート 90×90×19	ナット, ワッシャー	グラウト
①	90.00 kN	2	4.010 m	3.950m× 8本	16枚	16組	0.032 m3
合計		2		31.600 m	16枚	16組	0.032 m3



3D配列図

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	メーカー参考図（ボックスカルバート）	意匠
縮尺 1/30(A1),1/60(A3)	日付 2025/12（令和7年）	A614